

教育要覧

平成 2 4 年 版

名古屋市教育委員会

教 育 要 覧

平 成 24 年 版



(名古屋市科学館)

名 古 屋 市 教 育 委 員 会



教育委員会委員



永井委員



三林委員長



古川委員



野田委員



伊藤委員（教育長）



服部委員

（平成24年7月1日現在）

ま え が き

近年における、少子・高齢化や国際化、あるいは情報化の急速な進展は、子どもたちを取り巻く環境に、大きな影響を与えています。その状況の下、子どもたちの学力低下や家庭・地域の教育力の低下、子どもたちの安全確保の問題等の、教育分野における新たな課題が浮上しています。

本市教育委員会では、平成19年3月に策定した、初めての中期計画となる「なごやっ子教育推進計画」の後継計画として、平成23年3月に「名古屋市教育振興基本計画」を策定しました。

この計画を通して、「夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子」の育成を目指し、本市教育行政を取り巻く複雑・多様な現状に対して適切に対応していくために、名古屋市立幼稚園、小・中・特別支援・高等学校段階における教育・育成に関する施策及び生涯学習全般における学びの支援に関する施策に取り組んでいます。

この「教育要覧（平成24年版）」では、最新の統計資料とともに、平成23年度の教育のあゆみを集録し、名古屋市の教育の現状を広く紹介しています。

本書を通じて、本市の教育をご理解いただき、より一層のご支援とご協力をいただければ幸いです。

平成24年9月

名古屋市教育委員会

目 次

ま え が き

第1部 教 育 行 財 政

第1章 教 育 行 政	1
1 平成23年度本市教育行政のあらまし	1
2 教 育 委 員 会	3
3 条例規則等の制定改廃	4
4 附属機関その他の機関	9
5 教育委員会事務局及び学校以外の教育機関等	17
6 教育委員会所管施設一覧	28
7 広報広聴調査活動	28
8 企画調整事務	31
9 争 訟 事 務	32
第2章 教 育 財 政	35
1 平成24年度教育関係予算の概要	35
2 新規・拡充事業及び重点施策	38
3 小・中学校標準運営費	39
4 マイスクールプラン	40
第3章 計 画 の 推 進	41
1 名古屋市教育振興基本計画	41
2 名古屋市子ども読書活動推進計画	42
3 なごやマイ・スポーツ推進プラン	42

第2部 学校施設、設備、管理

第1章 校（園）地及び校（園）舎の実態	45
1 学校施設の整備	45
2 学校施設の現況	47
3 学校の設置及び通学区域の設定等	66
4 小規模校対策	67
第2章 学校設備の充実状況	69
第3章 学校施設の管理	70
1 学校施設の機械警備	70
2 学校（園）近隣協力員	70

第3部 幼児、児童、生徒、教職員

第1章 幼児、児童、生徒	71
1 幼児、児童、生徒数	71
2 児童・生徒表彰件数	74
3 進路状況	75
4 児童・生徒の長期欠席と就学免除・猶予状況	77
第2章 教職員	81
1 教職員構成状況	81
2 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師数	82
3 教員の採用と異動状況	83
4 教員人事の活性化	84
5 教職員表彰件数	84
6 教職員の福利厚生	84
7 平成23年度教員免許状取得状況	85
8 教育指導者の派遣事業（名古屋市教育サポートセンター）	85
9 学校事務支援センター	85

第4部 学校教育

第1章 教育指導	87
1 平成23年度学校教育の努力目標	87
2 教育課程の概況	87
3 指導方針	88
4 個に応じた指導	90
5 総合的な学習の時間	90
6 生徒指導	91
7 不登校児童生徒対策	91
8 進路指導	92
9 特別活動	92
10 道徳教育	93
11 安全教育	93
12 学校図書館教育	94
13 職業教育	94
14 野外教育	94
15 国際理解	95
16 情報教育	97
17 定時制教育	98
18 特別支援教育	99

19	幼 児 教 育	107
20	学 校 諸 行 事	108
21	開かれた学校づくり	110
22	エコ・フレンドシップ事業	110
23	海外演奏家等による音楽鑑賞の推進	110
第2章 教科用図書採択		111
1	教科用図書の採択	111
2	教科用図書の選定	111
3	平成24年度使用教科用図書	111
第3章 高等学校入学者選抜		112
1	概 要	112
2	平成24年度募集人数と志願者数等	112
第4章 教職員研修と教育研究		114
1	名古屋市教育センター	114
2	教職員研修の実施	115
3	教員免許状更新講習	119
4	なごや教師養成塾	119
5	研 究 調 査 等	119
6	教育研究資料の利用	120
7	情報教育ネットワーク	120
8	教 育 相 談	121
9	学力向上サポート事業	122
10	指導体験記録の募集	122
第5章 就 学		123
1	就 学 援 助	123
2	就 学 奨 励	124
3	私 学 助 成	125
4	越境通学防止	126

第5部 学校保健、給食、体育

第1章 学 校 保 健		129
1	児童・生徒・幼児の保健管理	129
2	就学時健康診断	133
3	教職員の保健管理	134
4	学校環境衛生管理	136
5	学校における安全対策	136
6	日本スポーツ振興センター	137
7	名古屋市学校保健会	137

第2章 学 校 給 食	138
1 学 校 給 食	138
2 運 営 組 織	141
3 普 及 活 動	142
第3章 学 校 体 育	143
1 学校体育の概要	143
2 各 種 講 習 会	144
3 元気いっぱいなごやっ子の育成	144
4 体力・運動能力調査	145
5 各 種 体 育 大 会	146
6 名古屋市小中学校体育連盟	146
7 名古屋市学校体育センター	147

第6部 生涯学習・社会教育

第1章 生涯学習の推進	149
1 生涯学習社会を目指して	149
2 生涯学習が必要とされる社会的背景	149
3 基 本 方 針	149
4 平成23年度重点事業	150
第2章 成 人 教 育	151
1 成人教育の概況	151
2 女 性 教 育	155
3 視 聴 覚 教 育	156
第3章 青少年教育	158
1 青少年教育の概況	158
2 青 少 年 の 教 育	158
第4章 文化財の保護	161
1 概 要	161
2 文化財の保護	161
第5章 市民スポーツ	163
1 市民スポーツの概況	163
2 活動状況（平成23年度主要事業実績）	166
第6章 社会教育施設	167
1 社会教育施設の概況	167
2 図 書 館	167
3 名古屋市博物館	181
4 名古屋市見晴台考古資料館	187
5 名古屋市美術館	191

6	名古屋市科学館	193
7	生涯学習センター、生涯学習推進センター、女性会館	198
8	スポーツ施設	207
9	その他の社会教育施設	222
第7章 学 校 開 放		223
1	学校開放の概況	223
2	学 校 開 放	223

第7部 人権教育

第1章 人権教育の推進体制		239
1	基本的な考え方	239
第2章 学 校 教 育		240
1	人権教育の研究推進	240
2	人権教育研修会	241
3	資 料 の 整 備	241
第3章 社 会 教 育		242
1	文化センター等における教育委員会主催事業	242
2	市民の人権問題についての認識を深めるための社会教育	242

付 録

1	事務参考資料（出版物等一覧）	245
2	教 育 年 表	249
3	中学校区一覧	251

第1部 教育行財政

第1章 教育行政

1 平成23年度本市教育行政のあらまし

(1) 教育委員会では、平成23年3月に平成26年度までを計画期間とする「名古屋市教育振興基本計画」を策定し、教育を取り巻く環境の変化に対応しながら、学校教育をはじめとした教育施策を推進することにより、夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成に取り組んだ。

(2) 学校教育では、平成23年度の努力目標を定め、社会の変化に主体的に対応できるたくましい青少年の育成を目指して、一人一人のよさや可能性を伸ばし、よりよい自己実現を促す教育の実践に努めた。

ア 学校施設の整備については、教室の増改築、大規模改造、新設校の建設等を実施した。

イ 教育指導面では、教育課程の参考及び指導指針を示すとともに、集団生活への適応を図るため、小学校1年生・2年生での30人学級を実施した。

各教科の基盤となる国語力を高めるため、小学校4～6年生を対象とした「なごやっ子漢字アッププリント」を小学校に配布・配信するとともに、小学校1～6年向けの「なごやっ子読書ノート」を全児童に配布し、「国語力推進事業」に取り組んだ。また、英語が話せるなごやっ子の育成をめざして、外国人英語指導助手とのティームティーチングによる生きた英語指導と英語活動・外国語活動アシスタントとのティームティーチングによる小学校英語活動・外国語活動の実施、日本語指導が必要な外国人児童・生徒の相談等に対応する日本語教育相談センター（教育相談室「こんにちは なごや」より改組）の運営、母語学習協力員の配置等、学習指導の充実に努めた。一方、生徒指導対策については、関係諸機関との連絡協議会の開催、学校における児童・生徒指導活動推進事業の実施、進路指導体制の確立、小・中学校基礎学習講座の開設、心理的な理由による不登校児に対する教育相談や適応指導を進める子ども適応相談センターの運営、中・高生による「夢・チャレンジ」支援事業の実施など、その充実に努めた。

さらに、特色ある教育活動や学校づくりを行うマイスクールプランの実施、人権教育、国際理解教育、情報教育等、教育内容の充実に努めたほか、「愛・地球博」を契機とし、「COP10」を通じて充実した環境教育を継続・発展させるとともに環境問題に対する一層の意識高揚を促し、環境首都なごやを担っていく人材の育成を図るため「エコ・フレンドシップ事業」を実施した。

ウ 児童・生徒の健康管理の面では、入学及び市外から転入した者を対象とした心臓検診や、全小学校でのアレルギー性疾患に関する検診、また、小学校において歯科疾患特別健診を実施するなど、児童・生徒の疾患対策の一層の充実に努めた。

学校給食では、子どもたちの心身の健全な発達に資することを目的として地産地消の取り組みを始め内容の充実に努めた。また、複数献立、弁当併用、ランチルームでの喫食等の方式での中学校スクールランチを109校で実施した。

学校体育においては、児童・生徒が生涯を通じて運動を実践し、健康な生活を営むための能力や態度の基礎の育成に努めるとともに、体育学習や部活動における指導者の資質向上に役立てるため、体育実技等の講習会を実施した。

エ 教育奨励事業としては、要・準要保護児童生徒の就学援助等を実施した。

(3) 社会教育行政については、市民が教養を高め、生涯の各時期に応じて、多様で、かつ、自主的な学習ができるよう、条件整備に努めた。

ア 成人教育の面では、社会教育施設における各種講座や講演会等を充実させて開設した。更に、家庭教育の振興を図るための事業として、家庭教育セミナー、あい・あい・あいさつ活動、地域ふれあい実践講座、ファミリーデーなごやを実施するとともに、インターネットを活用した講座を開設した。

また、女性教育の内容充実を図るとともに、関係団体の指導者育成や活動助成を行った。

イ 青少年教育については、平成18年度から青少年に関する諸施策の総合的な企画等、市長の権限に属する事務の補助執行が解かれ子ども青少年局の所管事業になるとともに、青少年教育に関する権限を子ども青少年局長の補助執行とした。

ウ スポーツ振興の面では、市民スポーツ祭をはじめ各種事業の充実を図るとともに、なごやマイ・スポーツフェスティバルやマラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知を実施したほか、スポーツ功労者表彰を実施した。また、子どものスポーツ振興のため、子どもスポーツフェスタを開催したほか、地域ジュニアスポーツクラブの育成・支援を行った。

エ 文化財保護の面では、文化財保護事業への助成、歴史的町並み保存事業の促進、遺跡発掘調査等各種調査を実施したほか、文化財の公開事業、史跡散策路の活用等、保護事業を推進した。また、「歴史の里」の整備に向けて、予定区域内の埋蔵文化財の発掘調査を実施した。

オ トワイライトスクール（放課後学級・施設開放）については、平成21年度から、放課後学級を「トワイライトスクール」として、それに関する権限を子ども青少年局長が補助執行し実施した。また、施設開放については、「生涯学習開放」として引き続き教育委員会において実施した。

(4) ふれあい交流事業については、昭和61年に名古屋市、中津川市及び稲武町（現豊田市）の3者間で結ばれた「ふれあい協定」に基づき、教育・スポーツ・文化等の交流を通して市民の友好親善と相互理解を深めた。

2 教育委員会

(1) 教育委員会の組織と活動

ア 教育委員会の組織

教育委員会は、合議制の執行機関で6人の委員で構成され、委員は市議会の同意を得て、市長が任命する。任期は4年で、教育行政の安定を図るため、毎年1人又は2人ずつ改任（又は再任）される。

教育委員会の職務権限は、教育に関する事務を管理執行することであり、市長の権限に属するもの（大学・私立学校及び教育財産の取得・処分に関する事務のほか、教育委員会の所掌に係る事項に関する契約の締結及び予算の執行）を除き、教育事務の大部分に及ぶ。

また、教育委員会は、その権限に属する事務に関し、教育委員会規則を定める権限を有している。

なお、委員の中から教育長が選任され、教育委員会の指揮監督のもとに、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどることとされている。

また、教育委員会の権限に属する事務を処理するため、教育委員会に事務局が置かれ、教育長は事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督している。

教育委員会の委員

（平成24年7月1日現在）

職 名	氏 名	年 齢	職 業	就任年月日
委 員 長	三 林 久 美	49	社会保険労務士	20. 10. 8（再任）
委 員 （委員長職務代理者）	永 井 幸 代	48	医 師	20. 10. 8
委 員 （委員長職務代理者）	古 川 隆	63	会 社 役 員	22. 3. 24
委 員	野 田 敦 敬	54	大 学 教 授	22. 10. 1
委 員	服 部 はつ代	67	団 体 役 員	23. 10. 1
委 員 （ 教 育 長 ）	伊 藤 彰	59		22. 4. 1

イ 教育委員会の会議

教育委員会の意思は、教育委員会の会議において決定される。会議は、委員長が招集し、委員長及び在任委員の過半数が出席して開かれ、その議事は出席委員の過半数で決し、可否

同数のときは委員長の決するところによる。

平成23年度は、定例会12回、臨時会6回の会議を開き、重要案件の審議を行った。

なお、教育委員会の権限に属するすべての事務を教育委員会の会議の審議を経て決定することは實際上不可能であり、合理的とは言えないため、重要な事項を除き、平常事務的な事項の決定は教育長専決規則（昭和31年名古屋市教育委員会規則第13号）の定めるところにより教育長が専決している。

平成23年度において教育委員会に提出された議案は次のとおりである。

教育委員会議案一覧表

内 容	件 数	内 容	件 数
事務局人事に関するもの	1 件	社会教育委員等の委嘱等に関するもの	15 件
教職員人事に関するもの	3 件	教科書の採択に関するもの	4 件
条例の改正等に関するもの	7 件	そ の 他	20 件
教育委員会規則に関するもの	29 件		
予算に関するもの	5 件		
表彰に関するもの	6 件		

3 条例規則等の制定改廃（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（１）条 例

条例番号	名 称	概 要
23年24	名古屋市名城庭球場条例の一部を改正する条例 [平成23.5.17公布、同年7.1施行]	名城庭球場の駐車場の使用料を定めるため、規定を整理した。
23年25	名古屋市総合体育館条例の一部を改正する条例 [平成23.5.17公布、平成24.4.1施行]	総合体育館のプール及びトレーニング室について、他のスポーツ施設と共通に使用できる共通回数券及び共通定期券を定める等のため、規定を整理した。
23年26	名古屋市体育館条例の一部を改正する条例 [平成23.5.17公布、平成24.4.1施行他]	体育館の利用料金を指定管理者の収入として収受させる等のため、規定を整理した。
23年27	名古屋市スポーツトレーニングセンター条例の一部を改正する条例 [平成23.5.17公布、平成24.4.1施行他]	上社レクリエーションルームの利用料金を指定管理者の収入として収受させる等のため、規定を整理した。

条例番号	名 称	概 要
23年28	名古屋市瑞穂運動場条例等の一部を改正する条例 [平成23. 5. 17公布、平成24. 4. 1施行]	瑞穂運動場のプール及びトレーニング室等について、他のスポーツ施設と共通に使用できる共通回数券及び共通定期券を定める等のため、規定を整理した。
23年29	名古屋市港サッカー場条例の一部を改正する条例 [平成23. 5. 17公布、平成24. 4. 1施行他]	港サッカー場の利用料金を指定管理者の収入として収受させるため、規定を整理した。
23年32	名古屋市楠学習センター条例を廃止する条例 [平成23. 7. 22公布、平成24. 4. 1施行]	楠学習センターを廃止するため、条例を廃止した。
23年41	名古屋市スポーツ振興審議会条例及び名古屋市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 [平成23. 10. 17公布・施行]	スポーツ振興法の全部改正に伴い、スポーツ推進審議会委員の委嘱基準を定める等のため、規定を整理した。
24年8	名古屋市博物館条例等の一部を改正する条例 [平成24. 3. 16公布、同年4. 1施行]	博物館法の一部改正に伴い、博物館協議会等の委員の委嘱基準を定める等のため、規定を整理した。
24年9	名古屋市図書館条例の一部を改正する条例 [平成24. 3. 16公布、平成25. 4. 1施行他]	志段味図書館の管理を指定管理者に行わせる等のため、規定を整理した。
24年10	名古屋市図書館協議会条例の一部を改正する条例 [平成24. 3. 16公布、同年4. 1施行]	図書館法の一部改正に伴い、図書館協議会委員の委嘱基準を定める等のため、規定を整理した。
24年22	名古屋市教育基金条例の一部を改正する条例 [平成24. 3. 26公布、同年4. 1施行]	名古屋市教育基金の積立てに関し、規定を整理した。
24年23	名古屋市学校給食センター条例を廃止する条例 [平成24. 3. 26公布、同年4. 1施行]	学校給食センターを廃止するため、条例を廃止した。

(2) 教育委員会規則

規則番号	名 称	概 要
23年17	名古屋市総合体育館条例施行規則等の一部を改正する規則 [平成23. 4. 5公布・施行]	体育施設における指定管理者選定委員会の構成員を変更する等のため、規定を整理した。
23年18	名古屋市立幼稚園授業料等減免規則の一部を改正する規則 [平成23. 5. 18公布・施行]	市立幼稚園の授業料等の減免額を変更するため、規定を整理した。

規則番号	名 称	概 要
23年19	名古屋市総合体育館条例施行規則の一部を改正する規則 [平成23. 5. 18公布、平成24. 4. 1施行]	総合体育館の共通回数券及び共通定期券の導入等について、規定を整理した。
23年20	名古屋市体育館条例施行規則の一部を改正する規則 [平成23. 5. 18公布、平成24. 4. 1施行他]	体育館の利用料金について必要な事項を定める等のため、規定を整理した。
23年21	名古屋市スポーツトレーニングセンター条例施行規則の一部を改正する規則 [平成23. 5. 18公布、平成24. 4. 1施行他]	上社レクリエーションルームの利用料金について必要な事項を定める等のため、規定を整理した。
23年22	名古屋市港サッカー場条例施行規則の一部を改正する規則 [平成23. 5. 18公布、平成24. 4. 1施行他]	港サッカー場の利用料金について必要な事項について定める等のため、規定を整理した。
23年23	名古屋市瑞穂運動場条例施行規則等の一部を改正する規則 [平成23. 5. 18公布、平成24. 4. 1施行]	瑞穂運動場の共通回数券及び共通定期券の導入等について、規定を整理した。
23年24	名古屋市名城庭球場条例施行規則の一部を改正する規則 [平成23. 5. 18公布、同年7. 1施行他]	名城庭球場の駐車場の使用方法を定める等のため、規定を整理した。
23年25	名古屋市学校施設開放に関する規則の一部を改正する規則 [平成23. 7. 20公布、同年9. 1施行他]	守山中学校の格技場をスポーツ開放の使用に供するため、規定を整理した。
23年26	名古屋市体育指導委員規則の一部を改正する規則 [平成23. 9. 5公布・施行]	スポーツ振興法の全部改正に伴い、委員の名称等、規定を整理した。
23年27	名古屋市図書館館則の一部を改正する規則 [平成23. 9. 20公布、同年10. 27施行]	鶴舞中央図書館の開館時間を変更する等のため、規定を整理した。
23年28	名古屋市立幼稚園授業料等減免規則の一部を改正する規則 [平成23. 9. 30公布、同年10. 1施行]	障害者自立支援法の一部改正に伴い、規定を整理した。
23年29	名古屋市スポーツ振興審議会運営規則の一部を改正する規則 [平成23. 10. 17公布・施行]	名古屋市スポーツ振興審議会条例の一部改正に伴い、審議会の名称が変更したため、規定を整理した。
23年30	名古屋市学校施設開放に関する規則の一部を改正する規則 [平成23. 10. 17公布、同年11. 1施行他]	北山中学校の運動場の開放月日を変更するため、規定を整理した。

規則番号	名 称	概 要
23年31	名古屋市美術館条例施行規則及び名古屋市科学館条例施行規則の一部を改正する規則 [平成23. 12. 12公布、平成24. 1. 21施行]	美術館及び科学館の常設展について共通観覧券を発行するため、規定を整理した。
23年32	名古屋市立高等学校の通学区域並びに群及びグループに関する規則の一部改正する規則 [平成23. 12. 28公布、平成24. 1. 4施行]	長久手市の市制施行等に伴い、規定を整理した。
24年1	名古屋市楠学習センター条例施行規則を廃止する規則 [平成24. 3. 23公布、同年4. 1施行]	名古屋市楠学習センター条例の廃止に伴い、規則を廃止した。
24年2	名古屋市生涯学習センター処務規則の一部を改正する規則 [平成24. 3. 23公布、同年4. 1施行]	生涯学習センターの事業係を廃止することに伴い、規定を整理した。
24年3	名古屋市女性会館処務規則の一部を改正する規則 [平成24. 3. 23公布、同年4. 1施行]	女性会館の管理係を廃止する等のため、規定を整理した。
24年4	名古屋市図書館処務規則の一部を改正する規則 [平成24. 3. 23公布、同年4. 1施行他]	鶴舞中央図書館整理課の組織及び分掌事務を変更する等のため、規定を整理した。
24年5	名古屋市科学館処務規則の一部を改正する規則 [平成24. 3. 23公布、同年4. 1施行]	科学館総務課の経営係を廃止する等のため、規定を整理した。
24年6	名古屋市教育委員会職名及び補職名規則の一部を改正する規則 [平成24. 3. 23公布、同年4. 1施行]	栄養士の補職名を管理栄養士に変更するため、規定を整理した。
24年7	名古屋市立高等学校学則の一部を改正する規則 [平成24. 3. 23公布、同年4. 1施行]	緑高等学校等の生徒定員を変更する等のため、規定を整理した。
24年8	名古屋市立特別支援学校学則の一部を改正する規則 [平成24. 3. 23公布、同年4. 1施行]	天白養護学校等の高等部の生徒定員を変更するため、規定を整理した。
24年9	名古屋市立幼稚園園則の一部を改正する規則 [平成24. 3. 23公布、同年4. 1施行]	預かり保育を実施する等のため、規定を整理した。
24年10	名古屋市図書館館則の一部を改正する規則 [平成24. 3. 23公布、同年4. 1施行]	図書館の開館時間を変更する等のため、規定を整理した。

規則番号	名 称	概 要
24年11	名古屋市立幼稚園授業料等減免規則の一部を改正する規則 [平成24. 3. 23公布、同年4. 1施行]	児童福祉法等の一部改正に伴い、規定を整理した。
24年12	名古屋市教育委員会事務局規則及び公所と称する規則の一部を改正する等の規則 [平成24. 3. 28公布、同年4. 1施行]	名古屋市学校給食センター条例の廃止に伴い、規定を整理した。
24年13	名古屋市野外教育センター条例施行規則等の一部を改正する規則 [平成24. 3. 28公布、同年4. 1施行]	名古屋市暴力団排除条例の制定に伴い、施設に係る使用の許可について、規定を整理した。

(3) 市 規 則

規則番号	名 称	概 要
23年65	名古屋市私立高等学校及び私立幼稚園授業料補助に関する条例施行細則の一部を改正する規則 [平成23. 6. 20公布・施行]	私立高等学校の授業料補助の額を改定する等のため、規定を整理した。
23年81	名古屋市私立高等学校及び私立幼稚園授業料補助に関する条例施行細則の一部を改正する規則 [平成23. 9. 30公布、同年10. 1施行]	障害者自立支援法の一部改正に伴い、規定の整理をした。
24年39	名古屋市私立高等学校及び私立幼稚園授業料補助に関する条例施行細則の一部を改正する規則 [平成24. 3. 30公布、同年4. 1施行]	私立幼稚園の授業料補助対象者を区分する所得割額を改める等のため、規定を整理した。

(4) 訓 令

訓令番号	名 称	概 要
23名教委教訓令2	教育次長以下代決規程の一部を改正する規程 [平成23. 4. 15公布・施行]	平成22年度における子ども手当の支給に関する法律の一部改正に伴い、規定を整理した。
23名教委訓令4	名古屋市立学校文書管理規程の一部を改正する規程 [平成23. 8. 29公布、同年9. 1施行]	文書の収受に係る帳簿について、管理の特例を設けるため、規定を整理した。
23名教委教訓令3	名古屋市教育委員会事務局係設置並びに分掌事務規程の一部を改正する規程 [平成23. 9. 5公布・施行]	スポーツ振興法の全部改正に伴い、生涯学習部スポーツ振興課市民スポーツ係の分掌事務を変更するため、規定を整理した。

訓令番号	名 称	概 要
23名教委教訓令4	教育次長以下代決規程の一部を改正する規程 [平成23. 10. 11公布・施行]	平成23年度における子ども手当の支給等に関する特別措置法の施行に伴い、規定を整理した。
23名教委教訓令5	名古屋市教育委員会事務局係設置並びに分掌事務規程の一部を改正する規程 [平成23. 10. 17公布・施行]	名古屋市スポーツ振興審議会条例の一部改正に伴い、生涯学習部スポーツ振興課市民スポーツ係の分掌事務を変更するため、規定を整理した。
24名教委教訓令1	名古屋市立高等学校及び幼稚園に勤務する職員の勤務時間の特例等に関する規程の一部を改正する規程 [平成24. 3. 29公布、同年4. 1施行]	市立高等学校において定時制課程（夜間）に勤務する教育職員の勤務時間の割振りを改正するため、規定を整理した。
24名教委教訓令1	名古屋市教育委員会事務局係設置並びに分掌事務規程の一部を改正する規程 [平成24. 3. 29公布、同年4. 1施行]	学校教育部指導室に主査（施設に係る調整）を新設する等のため、規定を整理した。
24名教委教訓令2	教育次長以下代決規程の一部を改正する規程 [平成24. 3. 29公布、同年4. 1施行]	楠学習センターの廃止等に伴い、規定を整理した。

4 附属機関その他の機関

（１）名古屋市産業教育審議会

産業教育振興法（昭和26年法律第228号）第11条、名古屋市産業教育審議会委員定数条例（昭和27年名古屋市条例第4号）及び名古屋市産業教育審議会規則（昭和27年名古屋市教育委員会規則第3号）に基づき、昭和27年7月に発足し、教育委員会の諮問に応じて、産業教育に関して調査審議し、教育委員会に対して答申又は建議を行っている。

（２）名古屋市社会教育委員協議会

社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条及び名古屋市社会教育委員条例（昭和24年名古屋市条例第58号）に基づき、教育委員会が委嘱した10人の社会教育委員によって構成される協議会である。名古屋市社会教育委員協議会規則（昭和24年名古屋市教育委員会規則第6号）に基づき、会議を開催し、教育委員会の諮問に応じ、意見を述べている。任期は2年で、平成24年2月1日に第32期社会教育委員を委嘱した。

平成23年度は、6回開催し、補助金交付などについて審議した。

委 員

（平成24年7月1日現在）

種 別	役 職	氏 名
学 校 教 育 関 係 者	名古屋市立前津中学校長	本 田 修 三

種 別	役 職	氏 名
社 会 教 育 関 係 者	名古屋市立小中学校PTA協議会会長 名古屋市地域女性団体連絡協議会会長 日本ボーイスカウト愛知連盟理事	寺 本 充 加 藤 玲 子 東 頭 信 夫
家 庭 教 育 の 向 上 に 資 す る 活 動 を 行 う 者	臨床心理士	後 藤 かをり
学 識 経 験 者	名城大学大学院教授 金城学院大学教授 中日新聞社編集局整理部記者 愛知大学教授 弁護士	伊 藤 康 児 原 史 子 野 村 由美子 加 藤 鉦 治 長谷川 龍 伸

(3) 名古屋市文化財調査委員会

名古屋市文化財保護条例（昭和47年名古屋市条例第4号）に基づき、教育委員会の諮問に応じて市指定文化財の指定などに関して意見を述べるとともに、文化財の保存、活用に関する専門的事項を調査審議している。

平成23年度は、1回開催し、文化財保護行政上の課題などについて審議・報告した。

委 員

(平成24年7月1日現在)

所属・職名	氏 名	担 当 部 会
愛 知 学 院 大 学 非 常 勤 講 師	赤 羽 一 郎	考古埋蔵文化財、史跡名勝天然記念物
名 古 屋 造 形 大 学 教 授	池 田 洋 子	美術工芸
東 海 学 院 大 学 教 授	岡 本 真理子	建造物・町並み
名 古 屋 工 業 大 学 大 学 院 教 授	河 田 克 博	建造物・町並み
名 古 屋 芸 術 大 学 教 授	岸 野 俊 彦	文書典籍
中 京 大 学 非 常 勤 講 師	鬼 頭 秀 明	無形文化財・民俗文化財
愛 知 県 立 芸 術 大 学 教 授	熊 田 由美子	美術工芸
南 山 大 学 教 授	黒 沢 浩	考古埋蔵文化財・史跡名勝天然記念物
愛 知 学 院 大 学 教 授	白 石 浩 之	考古埋蔵文化財、史跡名勝天然記念物

所属・職名	氏 名	担 当 部 会
日 本 福 祉 大 学 教 授	高 部 淑 子	文書典籍
中 部 大 学 教 授	永 田 典 子	無形文化財・民俗文化財
名 古 屋 大 学 大 学 院 准 教 授	西 澤 泰 彦	建造物・町並み
名 古 屋 大 学 博 物 館 准 教 授	西 田 佐 知 子	史跡名勝天然記念物
愛 知 県 立 旭 丘 高 等 学 校 教 諭	服 部 誠	無形文化財・民俗文化財
岐 阜 聖 徳 学 園 大 学 教 授	安 田 徳 子	文書典籍
豊 田 市 美 術 館 館 長	吉 田 俊 英	美術工芸

（４）名古屋市スポーツ推進審議会

スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第31条及び名古屋市スポーツ推進審議会条例（昭和57年名古屋市条例第16号）に基づき、教育委員会が任命した15人以内によって構成される審議会である。

平成23年度は、２回開催し、「名古屋市スポーツ功労者表彰」などについて審議した。

委 員

（平成24年７月１日現在）

役 職	氏 名
名古屋市女性レクリエーションバレーボール連絡協議会会長	磯 田 芳 美
名古屋市会教育子ども委員会委員長	小 川 としゆき
名古屋市教育スポーツ協会理事（名古屋市体育協会運営審議員）	後 藤 泰 之
中日ドラゴンズ取締役球団代表	佐 藤 良 平
あいち健康の森健康科学総合センターセンター長	津 下 一 代
三重大学教授	鶴 原 清 志
東海学園大学講師	中 田 有 紀
愛知淑徳大学教授	松 田 秀 子
北京五輪日本代表（シンクロナイズドスイミング）	松 村 亜矢子
名古屋グランパスエイト取締役事業本部長	山 本 秀 樹
名古屋大学教授	山 本 裕 二
名古屋市スポーツ推進委員連絡協議会評議員	淀 川 悦 子

(5) 名古屋市図書館協議会

図書館法（昭和25年法律第118号）第14条及び名古屋市図書館協議会条例（昭和44年名古屋市条例第7号）に基づき、鶴舞中央図書館に置かれ、図書館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、図書館奉仕について館長に対して意見を述べるができる。

平成23年度は、6回開催し、主に次のような事項について審議した。

ア 「名古屋市図書館中期計画」の進捗状況報告について

イ 「平成23年度名古屋市図書館サービス計画における重点事項（目標）」について

ウ 新しいサービス展開について

エ 図書館の運営体制について

オ 子ども読書活動推進計画について

委 員

（平成24年7月1日現在）

種 別	役 職	氏 名
学 校 教 育 者 関 係	名古屋市立笈瀬中学校長	森 岡 知 彦
社 会 教 育 者 関 係	名古屋市地域女性団体連絡協議会理事 名古屋市立小中学校PTA協議会理事 児童文学波の会運営委員	橋 本 りゑ子 南 川 綾 子 大 澤 則 子
家庭教育の向上に 資する活動を行う者	臨床心理士	後 藤 かをり
学 識 経 験 者	岐阜聖徳学園大学非常勤講師 名城大学人間学部教授 愛知文教大学教授 中日新聞編集局資料部部長 愛知県弁護士会図書委員会副委員長	阿 部 紀 子 神 谷 俊 次 榎 英 一 木 村 昭 彦 小 林 和 正

(6) 名古屋市児童図書選定協議会

児童図書選定協議会規程（昭和33年名教訓第3号）に基づき、次の事項を審議している。

ア 本市小中学校向図書を選定すること。

イ 選定図書の普及に関すること。

現在当会は、委員37人と特別委員2人で組織されており、平成23年度は11回開催された。

(7) 名古屋市生涯学習推進センター協議会

名古屋市生涯学習センター条例（平成12年名古屋市条例第38号）に基づき、教育委員会の附属機関として、教育委員会の諮問に応じ、生涯学習推進センターの事業の実施について調査審議している。なお、協議会の委員は教育委員会が委嘱し、会長・副会長は委員の互選による。

平成23年度は、2回開催し、主に次のような事項について審議した。

ア 大学連携講座・名古屋市民大学講座及び調査研究事業について

イ 事業実施状況及び平成24年度事業計画について

委 員

(平成24年7月1日現在)

種 別	役 職	氏 名
学 校 教 育 関 係 者	名古屋市立名城小学校長	鈴 木 博 志
社 会 教 育 関 係 者	名古屋市立小中学校PTA協議会副会長 名古屋市地域女性団体連絡協議会理事 日本ボーイスカウト愛知連盟名古屋地区協議会連合会委員 生涯学習研究会・なごや副代表 名古屋市北生涯学習センター協議会委員	大 嶽 達 郎 遠 藤 恒 子 三 井 信 之 清 水 浩 子 小 川 雄 二
学 識 経 験 者	心理カウンセラー 愛知県立大学外国語学部国際関係学科教授 放送大学愛知学習センター所長 弁護士	山 本 道 子 鵜 殿 悦 子 服 部 重 昭 江 本 真 理

(8) 名古屋市博物館協議会

博物館法（昭和26年法律第285号）第20条及び名古屋市博物館条例（昭和52年名古屋市条例第8号）に基づき、博物館に置かれ、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

平成23年度は、2回開催し、次のような事項について審議した。

ア 平成22年度事業報告について

イ 平成22年度決算について

ウ 平成23年度事業中間報告について

エ 平成24年度事業計画（案）について

オ 平成24年度予算（案）について

委 員

(平成24年7月1日現在)

種 別	役 職	氏 名
学 校 教 育 関 係 者	名古屋市立大坪小学校長 学校法人菊武学園理事長 名古屋市立名東高等学校長	小 林 啓 子 高 木 弘 恵 鈴 木 靖 之
社 会 教 育 関 係 者	名古屋市地域女性団体連絡協議会理事 徳川美術館長 熱田神宮宝物館長	遠 藤 恒 子 徳 川 義 崇 宮 田 理 博

種 別	役 職	氏 名
家庭教育関係者	名古屋市立小中学校PTA協議会理事	金 森 美佐子
学 識 経 験 者	日本放送協会名古屋放送局長 中日新聞社常務取締役事業担当 名古屋造形大学教授 名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長 愛知淑徳大学教授 岐阜聖徳学園大学教授 東朋テクノロジー株式会社取締役社長 名古屋市博物館資料委員	佐 藤 幹 夫 高 坂 毅 池 田 洋 子 滝 茂 夫 柴 垣 勇 夫 安 田 徳 子 富 田 英 之 羽 賀 祥 二

(9) 名古屋市美術館協議会

博物館法第20条及び名古屋市美術館条例（昭和63年名古屋市条例第7号）に基づき、美術館に置かれ、美術館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

平成23年度は、2回開催し、次のような事項について審議した。

ア 平成22年度事業実施結果について

イ 平成23年度事業実施状況について

ウ 平成24年度事業計画案及び予算案について

委 員

(平成24年7月1日現在)

種 別	役 職	氏 名
学 校 教 育 関 係 者	名古屋市立幅下小学校長 愛知県私学協会副会長 愛知県立旭丘高等学校長 名古屋市立名東高等学校長	佐 藤 佳 子 大 谷 恩 川 村 則 夫 鈴 木 靖 之
社 会 教 育 関 係 者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団理事長 名古屋市社会教育委員 名古屋市地域女性団体連絡協議会理事	相 羽 規 充 野 村 由美子 遠 藤 恒 子
家庭教育関係者	名古屋市立小中学校PTA協議会	松 葉 小緒里
学 識 経 験 者	愛知県立芸術大学准教授 名古屋商工会議所文化・観光委員会委員長 愛知県美術館長 名古屋造形大学教授 名古屋大学文学研究科准教授	小 西 信 之 滝 茂 夫 村 田 眞 宏 江 本 菜穂子 加 藤 靖 恵

(10) 名古屋市科学館協議会

博物館法第20条及び名古屋市科学館条例（昭和37年名古屋市条例第27号）に基づき、科学館に置かれ、科学館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる。

平成23年度は、2回開催し、次のような事項について審議した。

ア 平成22年度事業報告について

イ 平成22年度決算見込について

ウ 平成24年度事業計画案について

委 員

(平成24年7月1日現在)

種 別	役 職	氏 名
学 校 教 育 関 係 者	名古屋市立前津中学校長	本 田 修 三
	名古屋市立菊里高等学校長	今 村 眞 志
	名古屋市立植田幼稚園長	加 藤 智 子
	愛知県私学協会副会長	大 谷 恩
社会教育関係者	名古屋市地域女性団体連絡協議会理事	田 畠 多津子
家庭教育の向上 に資する活動を行 う 者	名古屋市立小中学校PTA協議会理事	宇 野 直 子
学 識 経 験 者	金城学院大学教授	小 林 身 哉
	情報・システム研究機構理事	郷 通 子
	名古屋大学大学院医学系研究科教授	直 江 知 樹
	名古屋大学大学院生命農学研究科准教授	東 村 博 子
	日本ガイシ株式会社顧問	瀬 瀬 満
	名古屋商工会議所文化・観光委員会委員長	須 田 寛
	中日新聞社常務取締役事業担当	高 坂 毅
	日本放送協会名古屋放送局長	佐 藤 幹 夫
	財団法人中部科学技術センター専務理事	神 崎 修 三

(11) 名古屋市女性会館運営審議会

名古屋市女性会館条例（昭和53年名古屋市条例第22号）に基づき、教育委員会の諮問に応じ、女性会館における各種の事業の運営について審議している。審議会の委員は教育委員会が委嘱し、その定数は12人以内とし、会長、副会長は委員の互選による。

平成23年度は、3回開催し、主に次のような事項について審議した。

ア 平成23年度後期主催講座

イ 平成24年度事業計画

ウ 平成24年度前期主催講座

委 員

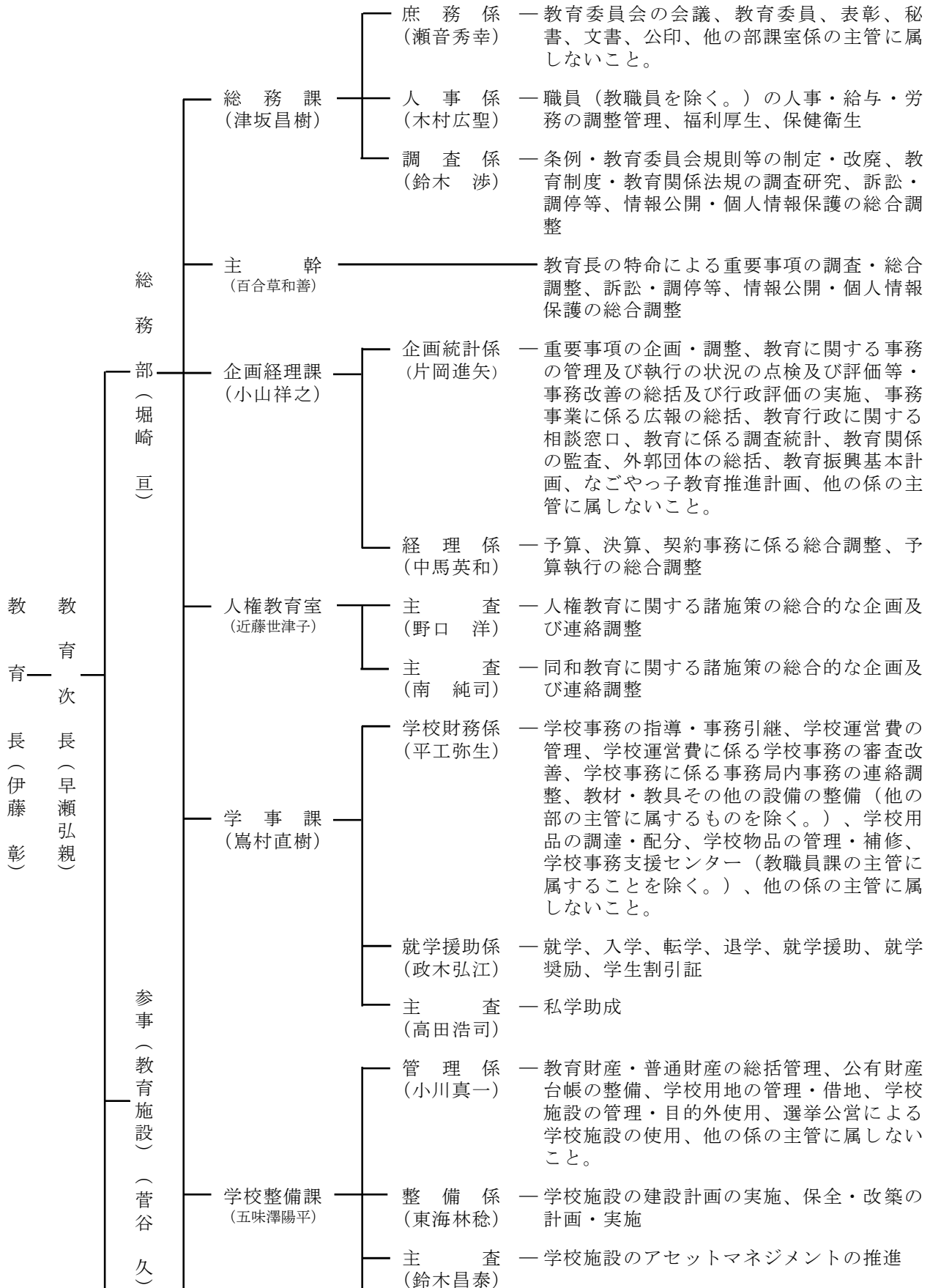
(平成24年 7 月 1 日現在)

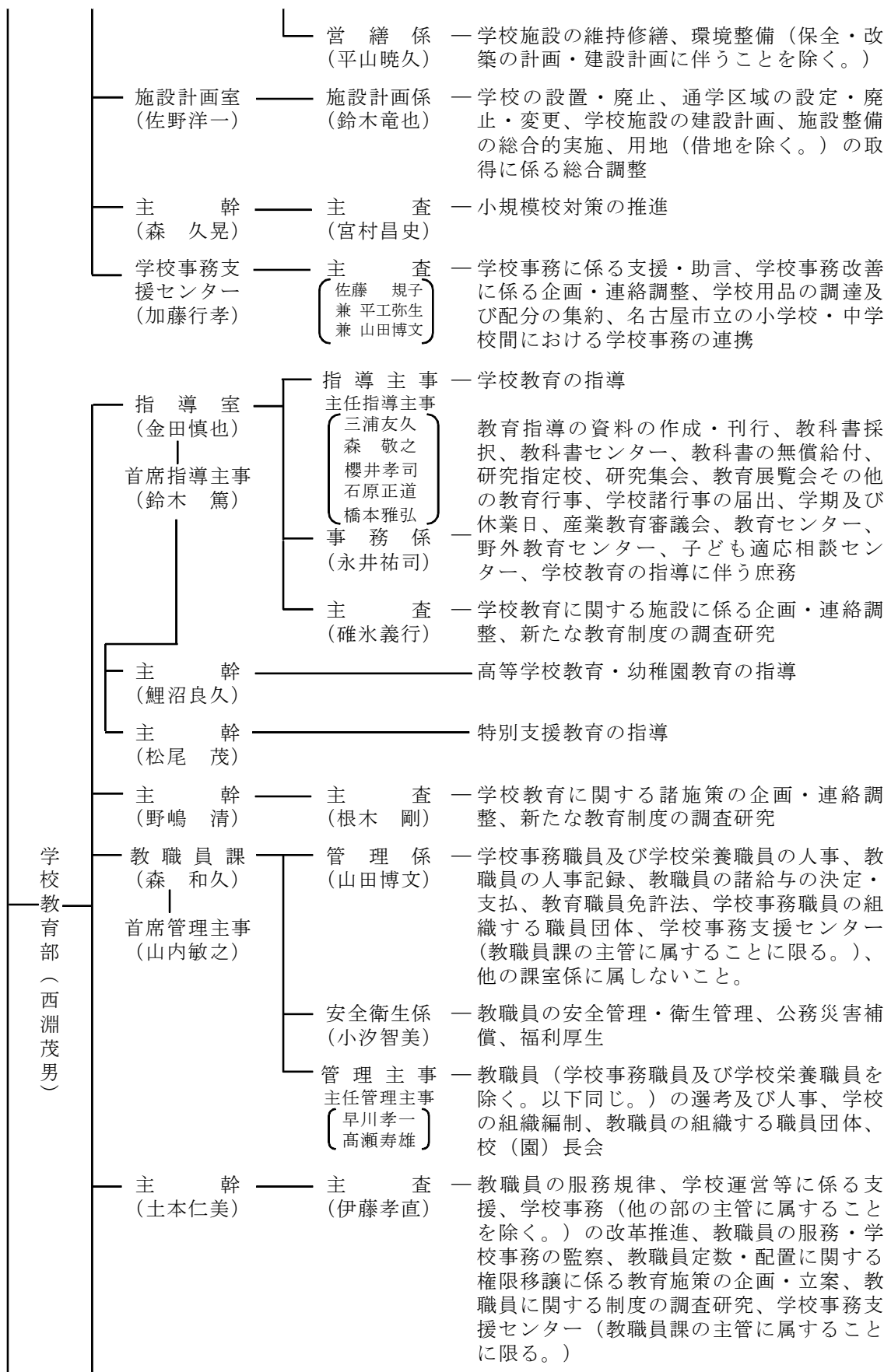
種 別	役 職	氏 名
社 会 教 育 関 係 団 体 代 表	名古屋市地域女性団体連絡協議会会長	加 藤 玲 子
	名古屋市西区地域女性団体連絡協議会会長	伊 藤 武 子
	名古屋市立小中学校 P T A 協議会副会長	佐 藤 泰 久
	なごや消費者団体連絡会理事	伊 藤 ゆかり
	情報ネットワーク協会役員	桜 井 真 弓
学 識 経 験 者	愛知淑徳大学名誉教授	富 安 玲 子
	名古屋大学大学院教授	松 田 武 雄
	南山大学教授	石 田 裕 久
	椙山女学園大学教授	東 珠 実
	中日新聞社編集局生活部記者	境 田 未 緒
行 政 機 関	愛知県県民生活部社会活動推進課男女共同参画室長	牛 嶋 早 苗
	名古屋法務局人権擁護部第一課長	所 満

5 教育委員会事務局及び学校以外の教育機関等

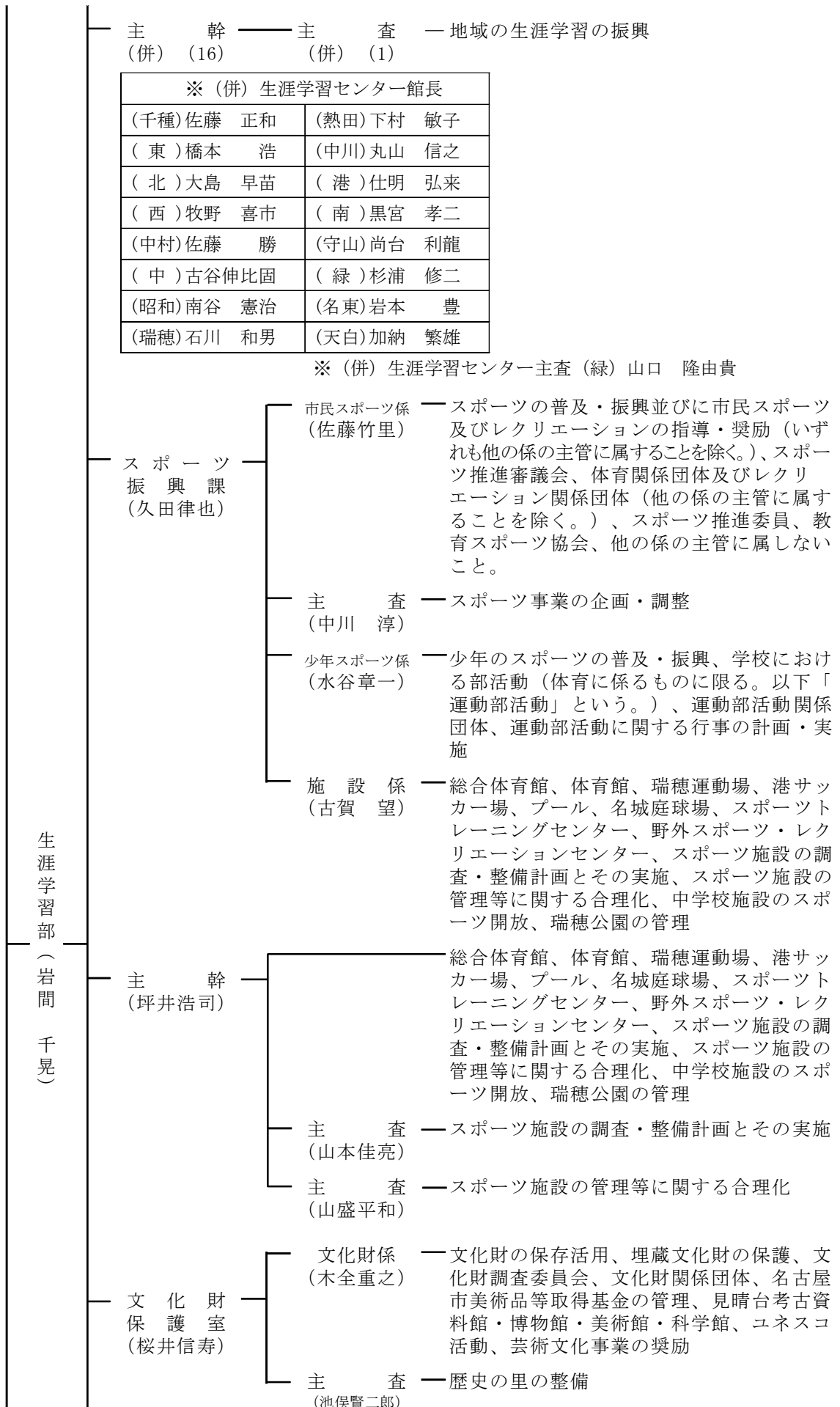
(1) 機構及び事務分掌

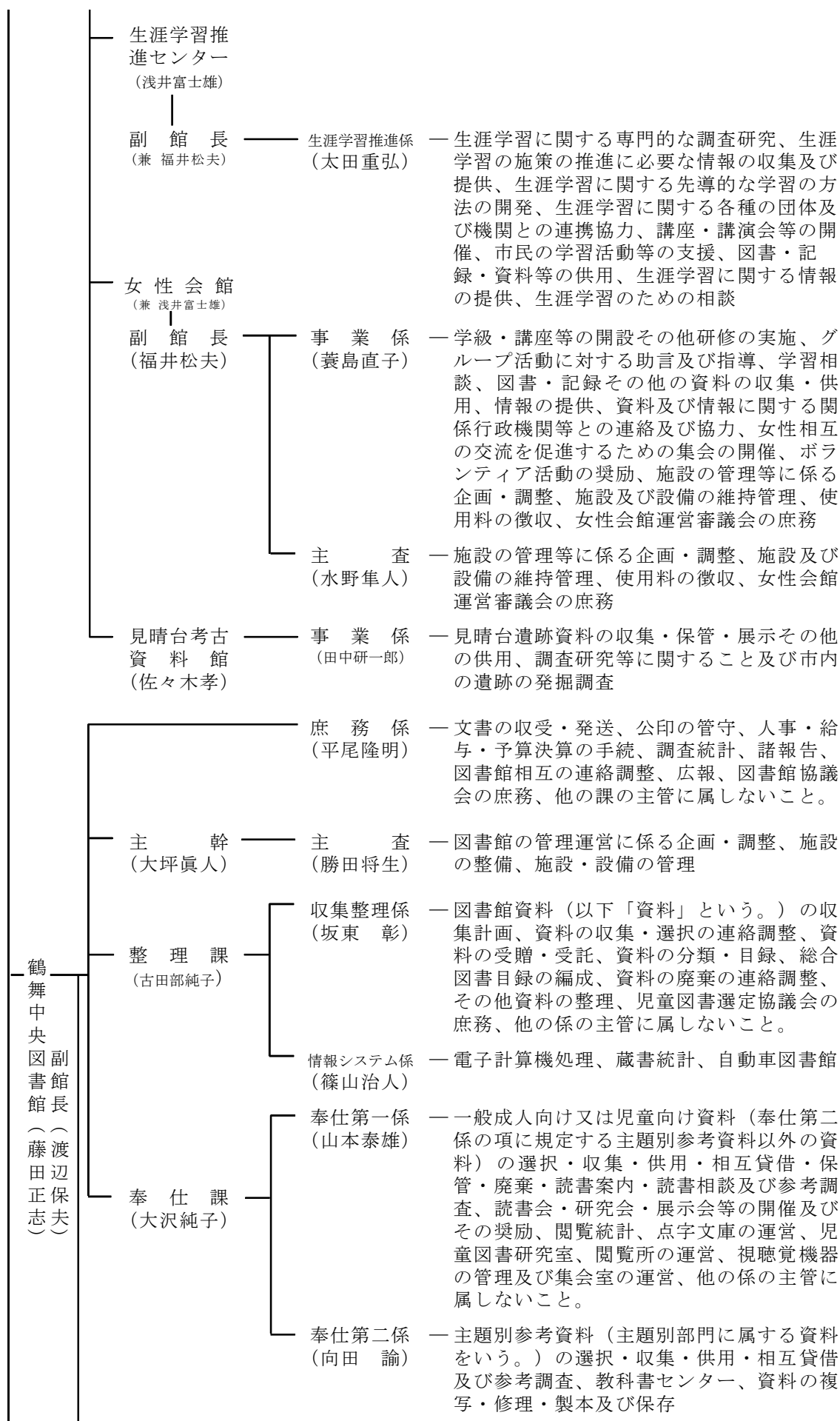
(平成24年7月1日現在)



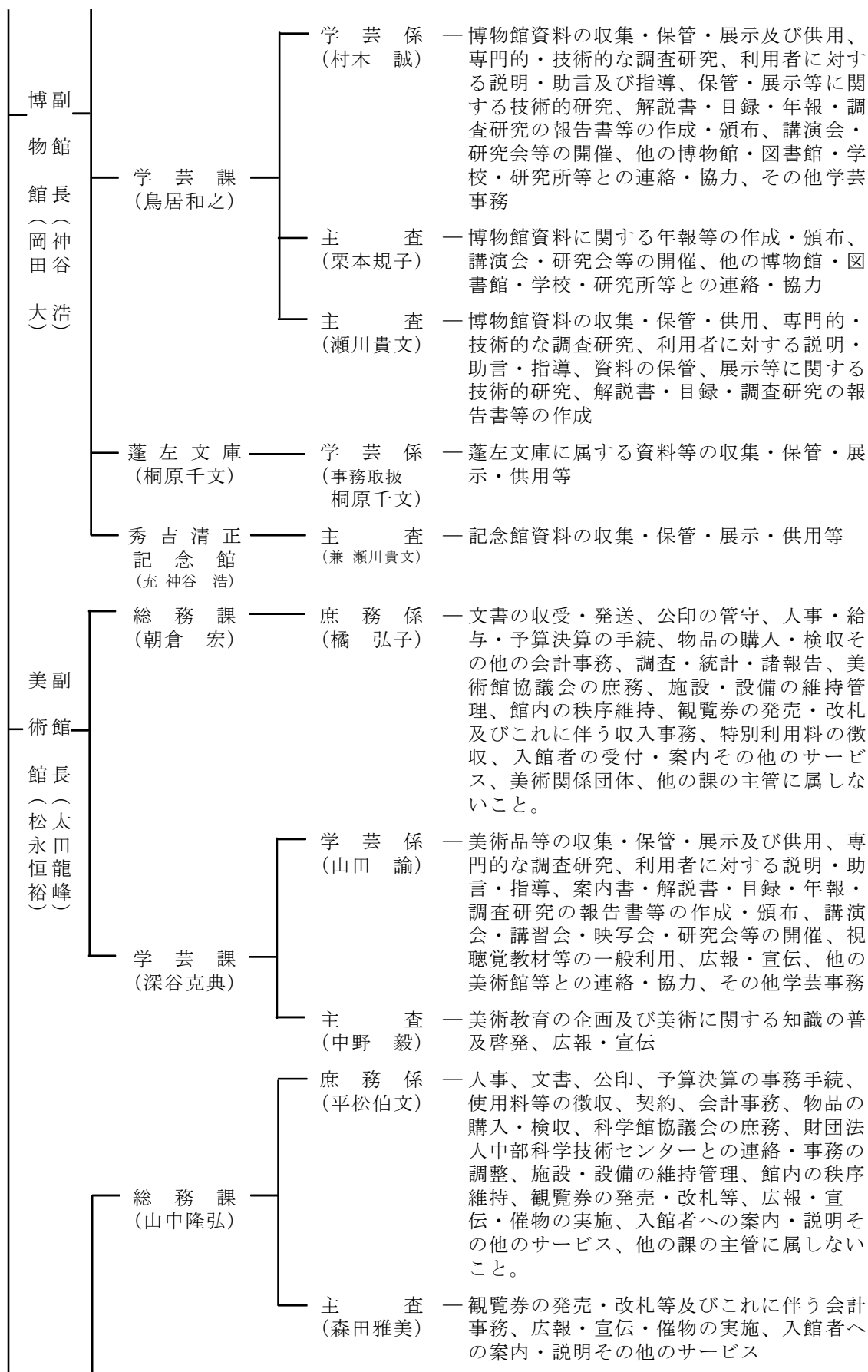


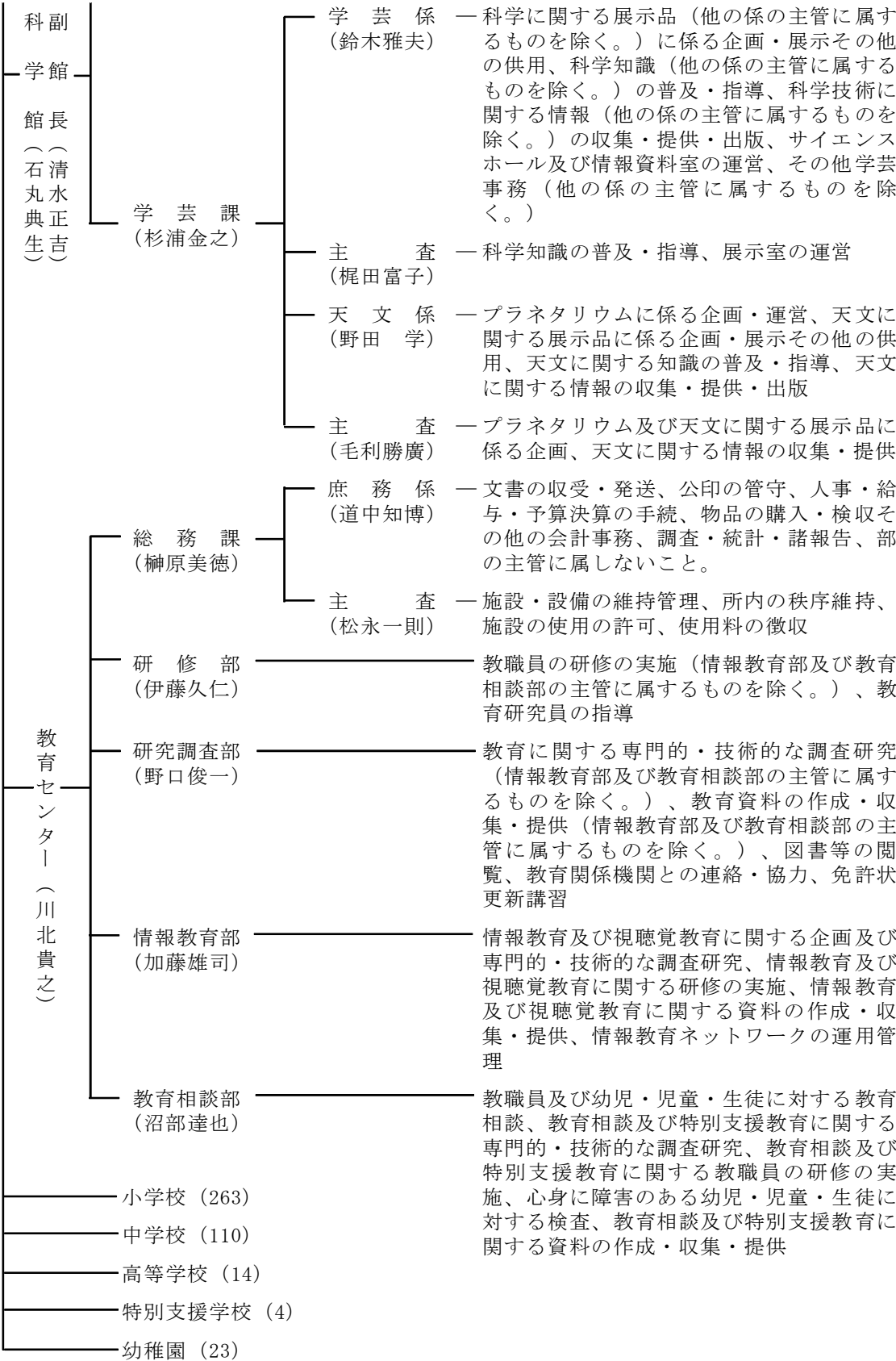
学校保健課 (森川孝次)	保健体育係 (谷 茂明) 主任指導主事 (伊藤正男)	— 学校の保健・安全に関する計画及び環境衛生、児童生徒及び幼児の健康診断及び健康管理、就学時の健康診断、学校医・学校歯科医・学校薬剤師、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付事業、保健関係団体、学校体育の指導・奨励並びに学校体育行事の計画及び実施（いずれも他の部の主管に属することを除く。）、学校体育施設及び用具、他の係の主管に属しないこと。
	小学校給食係 (鈴木良規)	— 学校給食(中学校スクールランチを除く。)の運営及び同物資の管理、学校給食の衛生管理、学校給食に係る調理及び栄養の指導、学校給食設備の整備、給食関係団体
	中学校給食係 (遠島春菜)	— 中学校スクールランチの運営及び同物資の管理、中学校スクールランチの衛生管理、中学校スクールランチに係る調理及び栄養の指導、中学校スクールランチの設備の整備
稲武野外教育センター (木村和良)	副所長 (小林由弘)	— 野外教育の施設としてセンターを使用させること、野外教育に関する指導・助言・調査研究・図書その他の資料の収集等
中津川野外教育センター	副所長 (近藤倫正)	— //
野外学習センター (松浦和彦)		— //
子ども適応相談センター (鬼頭昌也)	教育相談部 (兼 羽根田秀夫)	— 不登校児の教育相談・心理療法による治療・相談に関する調査研究、他の部の主管に属しないこと。
	適応指導部 (兼 伊勢村和生)	— 不登校児の学習指導及び生活指導、不登校児の指導に関する調査研究
生涯学習課 (竹内勇夫)	企画係 (坂手重樹)	— 生涯学習の推進に関する、諸施設の企画・調査・研究、社会教育委員、生涯学習推進センター・女性会館・図書館(他の係の主管に属することを除く。)、生涯学習センターの管理運営に係る総合調整、小学校施設の生涯学習開放、高等学校施設の学習開放、他の課室係の主管に属しないこと。
	主 査 (櫻井景子)	— 生涯学習センターその他の社会教育施設の管理等に関する合理化、小学校施設の生涯学習開放、生涯学習に関する事業の連絡調整
	社会教育主事 主任社会教育主事 (高岸宏幸)	— 社会教育に関する事業の企画及び実施に係る専門的事項
	社会教育係 (事務取扱 高岸宏幸)	— 社会教育に関する諸施策の企画・調査・研究、成人教育、家庭教育の振興、女性教育、生涯学習推進センター・女性会館の事業、生涯学習センターにおける教育に関する事業の企画及び実施に係る専門的事項、PTA、女性教育関係団体、視聴覚教育、学校における部活動(他の課の主管に属することを除く。)
	主 査 (吉田拓生)	— 女性教育、女性教育関係団体、女性会館





千種図書館 (長谷川新樹)	奉 仕 係 (村瀬和正)	— 資料の収集・整理・保存・館内供用・個人貸出し・団体貸出し・相互貸借、読書案内・読書相談、読書会等の開催、他の図書館等との協力等
東 図 書 館 (服部隆宏)	奉 仕 係 (勅使河原了)	— //
北 図 書 館 (山下博文)	奉 仕 係 (靱山隆俊)	— //
楠 図 書 館 (兼 山下博文)	奉 仕 係 (岡部なぎさ)	— //
西 図 書 館 (井上 徹)	奉 仕 係 (山中隆敏)	— //
山田図書館 (兼 井上 徹)	奉 仕 係 (天野和彦)	— //
中村図書館 (田中文男)	奉 仕 係 (澤木勇司)	— //
瑞穂図書館 (田中敦司)	奉 仕 係 (森田和光)	— //
熱田図書館 (仲西優満)	奉 仕 係 (岩田孝司)	— //
中川図書館 (加藤敏生)	奉 仕 係 (高木聖史)	— //
富田図書館 (兼 加藤敏生)	奉 仕 係 (塩沢宏之)	— //
港 図 書 館 (安立満裕)	奉 仕 係 (山田靖子)	— //
南陽図書館 (兼 安立満裕)	奉 仕 係 (河合和美)	— //
南 図 書 館 (西村正博)	奉 仕 係 (中村繁夫)	— //
守山図書館 (尾田 功)	奉 仕 係 (河口尊洋)	— //
志段味図書館 (兼 尾田 功)	奉 仕 係 (加藤晴生)	— //
緑 図 書 館 (村林 孝)	奉 仕 係 (中村 剛)	— //
徳重図書館 (兼 村林 孝)	奉 仕 係 (阪口泰子)	— //
名東図書館 (岩口りつ子)	奉 仕 係 (大熊悦子)	— //
天白図書館 (森 弘美)	奉 仕 係 (細川稔之)	— //
総 務 課 (林 幸司)	庶 務 係 (蘆澤耕二)	— 文書の収受・発送、公印の管守、人事・給与・予算決算の手續、物品の購入・検収その他の会計事務、調査・統計・諸報告、博物館協議会の庶務、観覧券の発売・改札及びこれに伴う収入事務、特別利用料・使用料の徴収、他の課の主管に属しないこと。
	主 査 (杉野直美)	— 施設・設備の維持管理、館内の秩序維持、施設の使用の許可、入館者の受付・案内その他のサービス、分館





財団法人名古屋市教育スポーツ協会へ派遣

局付理事

〈事務局長〉

各務 憲一

局付主幹

〈総務課長〉

太田 之夫

〈学校開放課長〉

村松 直樹

〈学校給食課長〉

阪野 吉雄

局付主査

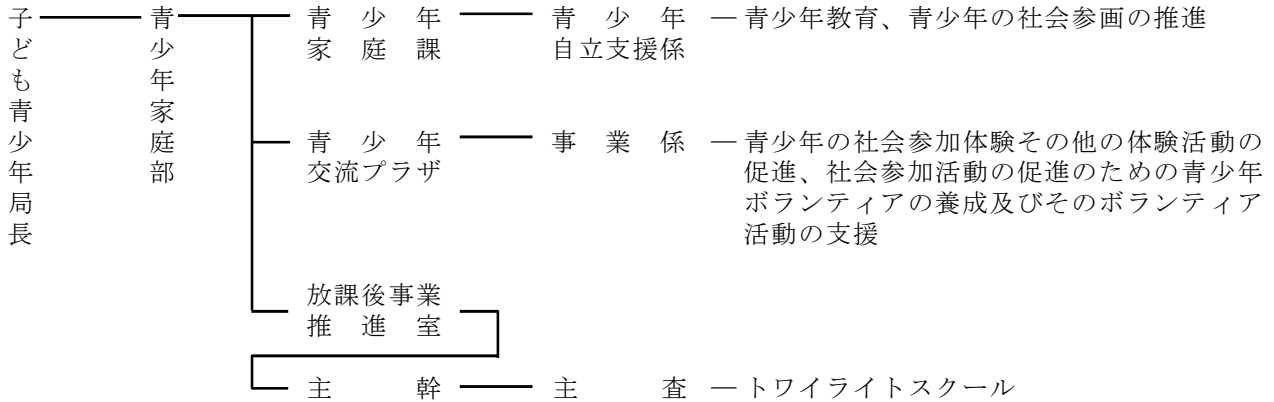
〈総務課庶務係長〉

森園 茂樹

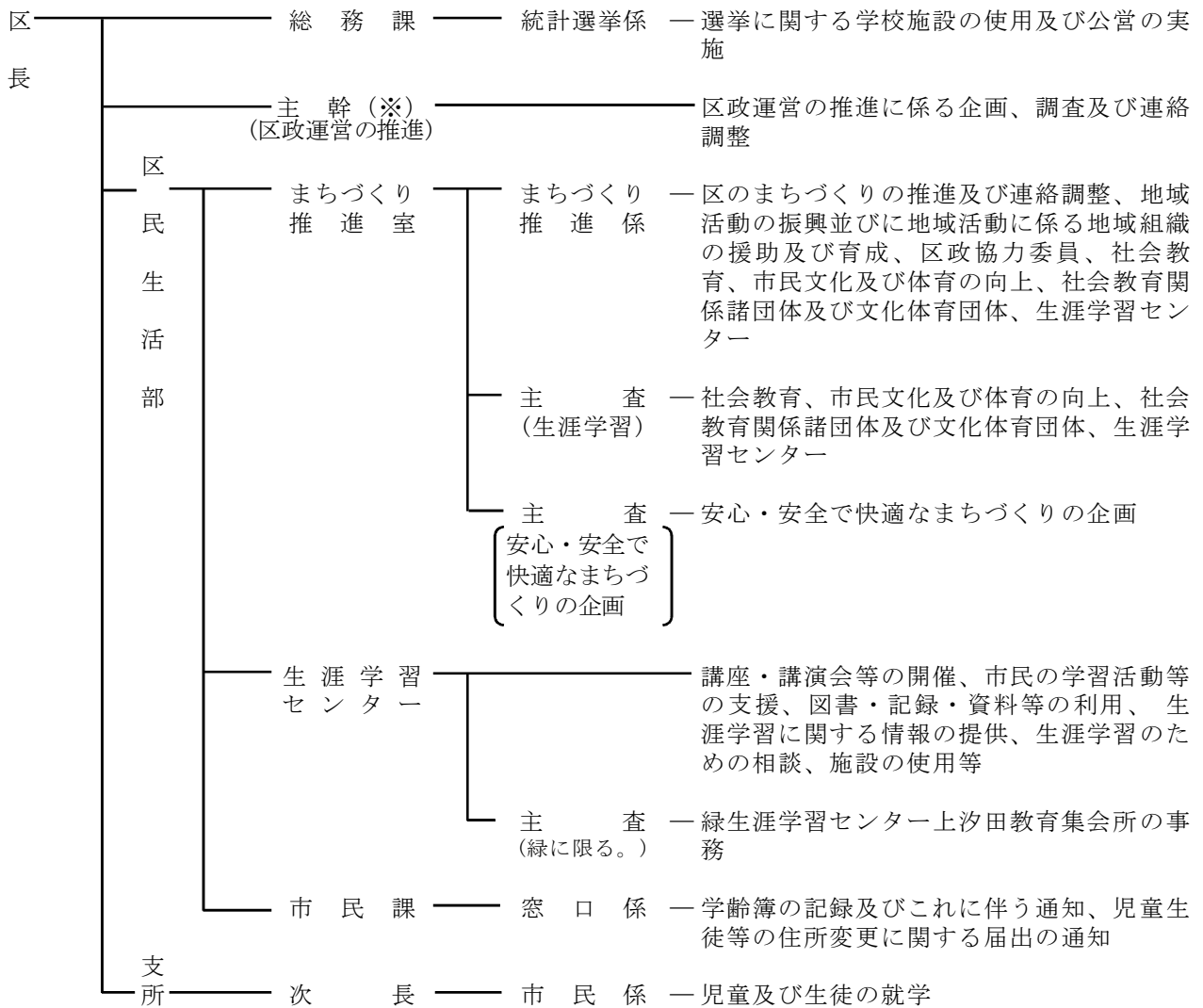
〈総務課経理係長〉

足立 精一

(2) 子ども青少年局における教育関係事務



(3) 区役所(16区)における教育関係事務



※ 〈兼〉環境局環境事業所長
 〈兼〉緑政土木局土木事務所長
 〈併〉消防局消防署副署長

組織機構 \ 職種別	合 計	指 導 主 事	事 務 職 員				技 術 職 員			
			主 事 等	社 会 教 育 主 事	司 書	学 芸 員	技 師 等	保 健 師	管 理 栄 養 士	業 務 士
総 計	631	89	322	32	114	45	13	2	4	10
総 務 部	99	1	96	—	—	—	1	—	—	1
総 務 課	26	—	25	—	—	—	—	—	—	1
企 画 経 理 課	19	—	19	—	—	—	—	—	—	—
人 権 教 育 室	3	—	3	—	—	—	—	—	—	—
学 事 課	21	—	21	—	—	—	—	—	—	—
学 校 整 備 課	21	—	20	—	—	—	1	—	—	—
施 設 計 画 室	9	1	8	—	—	—	—	—	—	—
学 校 教 育 部	104	49	47	—	—	—	1	2	4	1
指 導 室	44	28	15	—	—	—	—	—	—	1
教 職 員 課	39	17	20	—	—	—	—	2	—	—
学 校 保 健 課	21	4	12	—	—	—	1	—	4	—
生 涯 学 習 部	77	1	44	27	—	2	3	—	—	—
生 涯 学 習 課	41	—	15	26	—	—	—	—	—	—
ス ポ ー ツ 振 興 課	26	1	23	1	—	—	1	—	—	—
文 化 財 保 護 室	10	—	6	—	—	2	2	—	—	—
小 計	280	51	187	27	—	2	5	2	4	2
学校事務支援センター	3	—	3	—	—	—	—	—	—	—
稲武野外教育センター	6	1	2	—	—	—	—	—	—	3
中津川野外教育センター	5	1	2	—	—	—	—	—	—	2
野 外 学 習 セ ン タ ー	3	—	2	—	—	—	—	—	—	1
子ども適応相談センター	8	5	3	—	—	—	—	—	—	—
生涯学習推進センター	4	—	2	2	—	—	—	—	—	—
女 性 会 館	8	—	7	1	—	—	—	—	—	—
見 晴 台 考 古 資 料 館	12	—	3	—	—	9	—	—	—	—

鶴舞中央図書館	53	—	18	—	34	—	—	—	—	1
千種図書館	8	—	2	—	6	—	—	—	—	—
東図書館	5	—	2	—	3	—	—	—	—	—
北図書館	5	—	2	—	3	—	—	—	—	—
楠図書館	4	—	1	—	3	—	—	—	—	—
西図書館	9	—	2	—	7	—	—	—	—	—
山田図書館	4	—	1	—	3	—	—	—	—	—
中村図書館	8	—	2	—	6	—	—	—	—	—
瑞穂図書館	5	—	2	—	3	—	—	—	—	—
熱田図書館	8	—	2	—	6	—	—	—	—	—
中川図書館	5	—	2	—	3	—	—	—	—	—
富田図書館	4	—	1	—	3	—	—	—	—	—
港図書館	5	—	2	—	3	—	—	—	—	—
南陽図書館	4	—	1	—	3	—	—	—	—	—
南図書館	8	—	2	—	6	—	—	—	—	—
守山図書館	5	—	2	—	3	—	—	—	—	—
志段味図書館	4	—	1	—	3	—	—	—	—	—
緑図書館	5	—	2	—	3	—	—	—	—	—
徳重図書館	4	—	1	—	3	—	—	—	—	—
名東図書館	5	—	2	—	3	—	—	—	—	—
天白図書館	8	—	2	—	6	—	—	—	—	—
博物館	33	—	15	—	—	15	3	—	—	—
蓬左文庫	4	—	2	—	1	1	—	—	—	—
秀吉清正記念館	2	—	1	—	—	1	—	—	—	—
美術館	17	—	10	—	—	6	1	—	—	—
科学館	32	—	16	2	—	11	3	—	—	—
教育センター	48	31	15	—	—	—	1	—	—	1
小計	351	38	135	5	114	43	8	—	—	8

(注) 1 教育長を除く。

2 事務職員の役職者は主事等に、技術職員の役職者は技師等を含む。

3 育児休業代替任期付職員を含む。

6 教育委員会所管施設一覧

学 校 教 育 施 設	幼稚園	23	社 会 教 育 施 設	生涯学習推進センター	1
	小学校	263		生涯学習センター	16
	中学校	110		生涯学習センター分館	1
	高等学校	14		女性会館	1
	特別支援学校	4		総合体育館	1
	野外教育センター	3		体育館	14
	子ども適応相談センター	1		名城庭球場	1
そ の 他 の 施 設	小計	418	社 会 教 育 施 設	プール	13
	学校事務支援センター	1		野外スポーツ・レクリエーション施設	2
	教育センター	1		スポーツトレーニングセンター	2
	教育センター分館	1		瑞穂運動場	1
	小計	3		港サッカー場	1
				図書館	21
				博物館	3
				見晴台考古資料館	1
				美術館	1
				科学館	1
				小計	81
				合計	502

7 広報広聴調査活動

(1) 広 報

教育委員会の重点施策や事業は、市の広報紙「広報なごや」あるいはテレビ・ラジオ等を通して幅広く市民に知らせるとともに、市政記者クラブを通じて報道機関へ関係資料を提供した。

ア きょういくなごや

名古屋市の教育の現状を、写真とグラフなどを使ってわかりやすく表した8ページのリーフレット。

イ 教育要覧 平成23年版

平成22年度中における市の教育事業等を集録した。

(2) 広 聴

市民の教育に対する「声」を行政に反映させることを目的として市民経済局が行う次のような広聴活動に協力した。

ア 個 別 広 聴（市民の声）

市民からの教育に関する苦情、要望・意見、相談・問合せは、市民経済局広聴課および区

役所まちづくり推進室を通じて「市民の声」として寄せられた。平成23年度の総数は724件で、その主な内訳は次のとおりである。

声 の 種 類	件 数	声 の 種 類	件 数
1 学 校 教 育	229	2 生 涯 学 習	384
(1) 入学・転校	25	(1) 成人教育	28
(2) 通学区域	18	(2) 社会教育施設	162
(3) 学校施設	25	(3) 博物館施設	53
(4) 教職員	45	(4) 文化財保護	17
(5) 教育指導・教育相談	91	(5) スポーツ・レクリエーション	124
(6) 就学支援	5		
(7) 学校給食	20	3 そ の 他	111

イ 集 会 広 聴

(ア) 地域懇談会

地域住民の声を広く聴き、これを市政に反映させるために、区内の各種団体や、小学校の通学区域を単位とする学区民の代表者と、区長をはじめ区内官公所（署）の長や各局関係課長等が懇談する「地域懇談会」を開催している。

平成23年度は、65回開催され、「教育」に関する事項は35件であった。

(イ) 団体広聴

さまざまな団体から、その活動の一つとして、市政に対する要望や意見が提出される。このため、団体への文書回答のほか、団体から要請のある場合は、関係局担当職員との話し合いの場を設け、団体とのコミュニケーションに努めている。

平成23年度は、20団体の要望等が団体広聴として処理されたが、そのうち教育に関する要望等が含まれていたのは、13団体であった。

(3) 調査統計

平成23年度に実施した調査統計は次のとおり14件で、このうち文部科学省主管によるものが4件、県教育委員会主管によるものが3件、市教育委員会が独自に実施したものが7件であった。

<平成23年度実施の調査統計一覧>

調査件名	調査実施月	対象と方法	調査事項	主管
学校基本調査	23年 5 月			文 部 科学省
学校調査 卒業後の状況調査 不就学学齢児童生徒調査		市立学校（悉皆） 中・高（悉皆） 市教委・区役所（悉皆）	学校、在学者、学級数等 卒業者数、進学者数等 理由別不就学者数	
学校保健統計調査	23年 4 月	市立学校（標本）	発育・健康状態	〃
地方教育費調査	23年 6 月	市立学校・市教委（悉皆）	学校教育費、社会教育費及び教育行政費の使途別、財源別支出状況等	〃
社会教育調査	23年10月	社会教育施設・市教委（悉皆）	職員・施設・設備・事業実施・利用の状況	〃
中学校卒業者の進学状況調査	23年 5 月	中学校（悉皆）	高等学校進学者等	県教委
高等学校入学状況調査	23年 5 月	高等学校（悉皆）	志願者・入学者数	〃
中学校卒業見込者の進路希望状況調査	23年 9 月 12月	中学校（悉皆）	高等学校への進学希望者数	〃
幼児児童生徒数、学級数、教職員数調査	23年 4 月	市立学校（悉皆）	在学者数、学級数、教職員数	市教委
小学校卒業者の進学状況調査	23年 4 月	小学校（悉皆）	設置者別中学校入学状況	〃
高等学校卒業者の進路状況調査	23年 4 月	高等学校（悉皆）	進学者、就職者数等	〃
学校保健調査	23年 4 月	市立学校（悉皆）	発育状況、健康状態	〃
長期欠席児童生徒数調査	23年 4 月	小・中（悉皆）	欠席日数、欠席理由、欠席中の状態等	〃
幼児人口実態調査	23年 4 月	区役所（悉皆）	学区別幼児（0～5歳）数	〃
義務教育人口の推計	23年 5 月	市教委、小・中学校（悉皆）	学校別児童生徒数、学級数、教職員数	〃

8 企画調整事務

企画調整事務は、教育委員会内の重要事項の企画調整並びに他の局等に関わり合いをもつ事務事業についての連絡調整である。各種計画の教育委員会における対応をはじめ、教育委員会内の全般の事務事業について総合的・有機的な執行のための潤滑油的な役割を担っている。

(1) 教育委員会内の重要事項の総合調整

教育委員会の重要事業計画及び教育委員会内重要事項の事前・事後調整

(2) 複数の局室区にわたる重要事項の連絡調整

総合調整会議にかかる議案の事前調整、その決定事項の事後調整、進行管理

(3) 教育長・教育次長の特命による事務事業

教育委員会内各課間における分掌事項の間隙部分に対する対応措置の立案

(4) 規程に基づく事務

ア 計画主任の事務（計画主任設置規程）

イ 広報幹事の事務（名古屋市広報広聴事務取扱規程）など

○ 本市の計画

計 画 の 名 称	教育委員会関係部分	備 考
名古屋市基本構想	IV－3 市民の教育と文化	昭和52年12月20日 市議会で議決
名古屋市中期戦略ビジョン	施策 6, 7, 8, 9, 11, 12, 14, 22, 28, 29, 32, 38の該当部分	平成22年9月28日 市議会で議決 (～平成24年度まで)

9 争 訟 事 務

(1) 教職員に係る勤務条件に関する措置要求

平成23年度中に市人事委員会の判定又は決定があった勤務条件に関する措置要求は、1件である。

ア 平成23年9月15日提出の件 要求者 中学校教諭

勤務校における暴風警報発令時の学校行事について、生徒手帳の記載と矛盾しない措置を講じること等

(平成23年10月24日名古屋市人事委員会決定「要求却下」)

(2) 教職員に係る不利益処分についての不服申立て

ア 平成20年4月9日提出の件(平成20年人委(不)第1号) 不服申立人 中学校教諭

主治医が病気は完治し復職可と診断しているにもかかわらず、平成20年4月1日付で処分庁がなした休職更新処分は、就労権の不当な侵害であり取り消されるべきである。

(平成24年3月1日申立て取下げ)

イ 平成22年7月22日提出の件(平成22年人委(不)第2号) 不服申立人 元小学校事務職員

平成22年5月28日付で処分庁のなした懲戒免職処分は、処分の前提となる事実認定に誤りがあるため取り消されるべきである。

(平成24年3月28日名古屋市人事委員会判定「処分承認」)

ウ 平成22年7月23日提出の件(平成22年人委(不)第1号) 不服申立人 元中学校事務職員

平成22年5月28日付で処分庁のなした懲戒免職処分は、処分の前提となる事実認定に誤りがあるなど違法・無効であるので取り消されるべきである。

(現在名古屋市人事委員会において審理中である。)

エ 平成23年5月27日提出の件(平成23年人委(不)第1号) 不服申立人 中学校教諭

平成23年4月1日付で処分庁のなした転任処分は、申立人の意に反する不利益な処分であるとともに、その手続が違法になされた人事であることから、取り消されるべきである。

(平成24年3月13日名古屋市人事委員会判定「却下」)

(3) 学校事故に係る訴訟事件

ア 損害賠償請求事件(平成21年(ワ)第3066号等)

原告 元小学校の児童及びその保護者

被告 名古屋市

平成20年度に、当時小学5年生の原告が、校長や教頭、教諭らから違法な体罰を受け傷害を負い、また、教諭らの不適切な指導により不登校となったとして、傷害や精神的苦痛を受けた慰謝料200万円の支払を請求して、平成21年6月1日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、平成23年1月13日に、請求棄却の判決があった。原告はこれを不服として平成23年1月25日名古屋高等裁判所に控訴したが、平成23年7月7日に、控訴棄却の判決があった。

(4) その他の訴訟事件

ア 損害賠償請求事件（平成18年（ワ）第5419号等）

原告 元中学校生徒の保護者

被告 名古屋市

平成15年5月に、当時中学3年生の生徒が自殺を図ったことに対して、原告はいじめを苦にした自殺を疑い、学校に対して原因の調査を要望したが、学校はいじめの事実や原因について十分に調査・説明する義務があるにもかかわらず、学校の対応は不誠実であり、精神的苦痛を受けたとして、慰謝料等 550万円の支払いを請求して、平成18年12月26日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、平成22年3月30日に、請求棄却の判決があった。原告はこれを不服として平成22年4月12日名古屋高等裁判所に控訴したが、平成23年1月27日に、控訴棄却の判決があった。控訴人は平成23年2月8日上告及び上告受理の申立てをし、現在係属中である。

イ 損害賠償請求事件（平成21年（ワ）第6866号等）

原告 元小学校児童の保護者

被告 名古屋市ほか 1 名

平成17年11月に、当時小学6年生の児童の保護者であった原告が、担任教諭と面談した際、担任教諭から暴行を受け、頸椎捻挫の傷害を負ったとして、治療費や後遺障害慰謝料等4,118万円の支払を請求して、平成21年5月20日東京地方裁判所に提訴した。被告名古屋市はこれに対し平成21年6月29日名古屋地方裁判所への移送を申立てし、平成21年7月22日に、東京地方裁判所が移送を決定した。相手方（原告）はこれを不服として平成21年7月30日東京高等裁判所に抗告したが、平成21年10月9日に、抗告棄却の決定があったものであり、名古屋地方裁判所は、平成23年7月28日に、原告の請求を棄却した。原告はこれを不服として平成23年8月16日名古屋高等裁判所に控訴したが、平成24年1月27日に、控訴棄却の判決があった。

ウ 損害賠償請求事件（平成21年（ハ）第8934号等）

原告 元中学校教諭

被告 名古屋市

平成21年6月に、原告が名古屋市教育委員会に対して行った情報公開請求において開示された文書に欠落があったため、自宅から市役所に複数回出向かざるを得なくなったとして、損害賠償等9,840円の支払いを求めて平成21年9月25日名古屋簡易裁判所に提訴したもので、平成22年2月15日に、請求棄却の判決があった。原告はこれを不服として平成22年3月1日名古屋地方裁判所に控訴したが、平成22年7月9日に、控訴棄却の判決があった。控訴人は平成22年7月20日名古屋高等裁判所に上告したが、平成23年5月26日に、上告棄却の判決があった。

エ 慰謝料等請求事件（平成22年（ワ）第6642号）

原告 元小学校児童及びその保護者

被告 名古屋市

平成19年度に、当時小学6年生の児童であった原告が、同級生児童からのいじめを受けた

ことに対して、担任を始めとする小学校教員らはいじめ等を認識していたにもかかわらず、適切な指導監督処置を怠ったことにより不登校に追い込まれたとして、精神的苦痛を受けた慰謝料等 330万円の支払いを請求して、平成22年9月24日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、現在係属中である。

オ 建物収去土地明渡請求事件（平成24年（ワ）第1460号）

原告 名古屋市

被告 原告所有土地を占有する市民ほか1名

名古屋市が旧国民学校用地として取得した土地について、売買後も占有を継続している者に対し、建物収去及び土地明渡し等を請求して、平成24年3月30日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、現在係属中である。

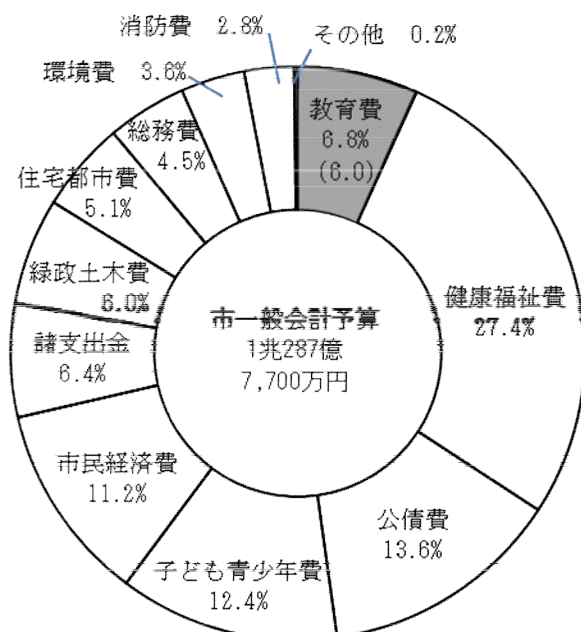
第2章 教 育 財 政

1 平成24年度教育関係予算の概要

(1) 平成24年度当初予算

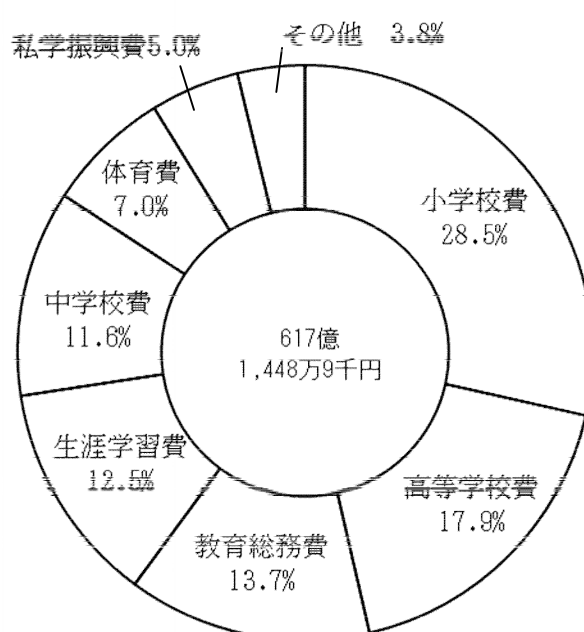
教育委員会所管予算額は、617億1,448万9千円で、一般会計の総額1兆287億7,700万円のうち6.0%を占めている。

一般会計予算内訳（単位%）



教育費（ ）は、教育委員会所管分

教育委員会所管予算科目別内訳（単位%）



当初予算の科目別内訳

科 目	24年度 予算額	23年度 予算額	増△減	主 な 内 容
	千円	千円	千円	
教 育 総 務 費	8,451,650	8,404,281	47,369	
教 育 委 員 会 費	8,700	8,718	△18	委員会の運営費
事 務 局 費	2,937,702	2,903,098	34,604	教職員の人事管理費、職員の人件費始め事務局運営費
教 育 指 導 費	1,733,045	1,751,719	△18,674	学校教育の指導・支援費及び子ども適応相談センターの運営費
学校保健体育費	1,108,557	1,120,437	△11,880	学校医等の報酬、学校保健衛生対策費及び学校体育振興費

科 目	24年度 予算額	23年度 予算額	増△減	主 な 内 容
教 育 奨 励 費	千円 1,894,737	千円 1,825,979	千円 68,758	要・準要保護児童生徒及び定時制 高校生の就学奨励事業費
教育センター費	508,477	499,878	8,599	教育センターの運営費
野 外 教 育 セ ン タ ー 費	260,432	294,452	△34,020	稲武・中津川野外教育センター、 野外学習センターの運営費
小 学 校 費	17,616,550	19,743,574	△2,127,024	
学 校 管 理 費	15,792,437	16,138,961	△346,524	小学校263校の運営費
学 校 整 備 費	1,824,113	3,604,613	△1,780,500	改築（１校）の工事費、増築（２ 校）の工事費
中 学 校 費	7,164,142	9,502,126	△2,337,984	
学 校 管 理 費	6,541,877	6,647,641	△105,764	中学校110校の運営費
学 校 整 備 費	622,265	2,854,485	△2,232,220	改築（１校）の工事費、増築（１ 校）の工事費、学校建設用地の取 得
高 等 学 校 費	11,028,139	10,885,360	142,779	
学 校 管 理 費	11,028,139	10,885,360	142,779	全日制13校、定時制２校の運営費
幼 稚 園 費	1,687,225	1,706,297	△19,072	
幼 稚 園 費	1,687,225	1,706,297	△19,072	幼稚園23園の運営費、園庭の芝生 化
特 別 支 援 学 校 費	625,379	610,761	14,618	
学 校 管 理 費	625,379	610,761	14,618	特別支援学校４校の運営費
私 学 振 興 費	3,083,904	3,108,224	△24,320	
私 学 振 興 費	3,083,904	3,108,224	△24,320	私立高校生、私立幼稚園児の授業 料補助など各種助成
生 涯 学 習 費	7,716,397	8,638,155	△921,758	
生涯学習推進費	4,378,589	4,623,500	△244,911	生涯学習の推進、学校開放事業の 実施、部活動の振興、成人・女性 教育の振興、文化財の保護及び職 員の人件費

科 目	24年度 予算額	23年度 予算額	増△減	主 な 内 容
生涯学習施設費	千円 633,483	千円 605,877	千円 27,606	生涯学習センター（16館）、生涯学習推進センター、女性会館、見晴台考古資料館等生涯学習施設の運営費
図 書 館 費	1,009,894	949,291	60,603	図書館（21館）の運営費
博 物 館 費	376,798	384,318	△7,520	博物館の運営費
科 学 館 費	667,309	642,903	24,406	科学館の運営費
美 術 館 費	208,466	224,306	△15,840	美術館の運営費
生涯学習施設整備費	441,858	1,207,960	△766,102	瑞穂図書館移転改築の設計変更、美術館空調設備の改修
体 育 費	4,341,103	4,229,507	111,596	
体育振興費	4,341,103	4,229,507	111,596	市民スポーツの振興費及び総合体育館、スポーツセンター（13館）、市営プール（13か所）、瑞穂運動場、志段味スポーツランド等市民体育施設の運営費
計	61,714,489	66,828,285	△5,113,796	

(2) 教育予算の推移（教育委員会所管分）

年 度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
(百万円) 教 育 費	75,051	74,391	75,885	73,103	72,834	69,943	70,327	78,204	66,829	61,715
(%) 対前年度伸率	△9.3	△0.9	2.0	△3.7	△0.4	△4.0	0.5	11.2	△14.5	△7.7

2 新規・拡充事業及び重点施策

◆学校教育＜４９５億７７百万円＞

事項	主な内容
小学校の津波避難ビル指定に向けた調査	●津波避難ビルの指定を受けていない港区と南区の小学校において、指定に必要な整備内容の調査を実施
名古屋港スタディーツアー	●郷土に対する理解を深めるため、小学校４年生を対象として海上からの名古屋港見学を実施
中学校（守山区）新設の設計	●志段味中学校から分離
普通教室の冷房化に向けた調査	●小・中学校の学習環境の充実を図るため、普通教室への冷房導入に向けた調査を実施
小・中・特別支援学校での防災教育	●児童・生徒の防災意識を高め、家庭と連携した防災教育を推進するための防災ノート等を作成
学校の窓ガラス飛散防止対策工事の設計	●児童・生徒の安全確保と避難所となる学校施設の安全対策のため、校舎の大規模改造にあわせて窓ガラスに飛散防止フィルムを貼付する工事の設計を実施
学校のリニューアル改修の調査・設計	●築４０年程度の学校施設を対象に、内外装の改修、設備機器の更新等を行うリニューアル改修を、試行的に実施するための調査・設計
肢体不自由学級設置校等へのエレベーターの整備	●小学校の肢体不自由学級設置校等においてエレベーターを整備
魅力ある高等学校をつくるための基本計画の策定	●魅力ある市立高等学校づくりに向けて、外部有識者の提言、市民の意識調査等を踏まえ、基本計画を策定
理数教育の充実	●理数教育推進校を指定し、理科・数学に興味をもつ生徒の育成を図り、その成果を市立高等学校全体に広めるための行事を開催
学習支援講師の配置	●基礎学習、発展学習、日本語教育の指導、不登校児童・生徒や発達障害児童・生徒への対応のため非常勤講師を配置
幼稚園における預かり保育の実施	●子育て支援の一環として、在園児に対して預かり保育を実施
国語力向上の推進	●児童・生徒の国語力を向上させるため、シンポジウムを開催するとともに読書活動等を推進
発達障害対応支援員の配置	●発達障害のある幼児・児童・生徒の介助等を行うための支援員を配置
日本語指導が必要な児童・生徒の支援	●日本語指導が必要な児童・生徒の日本語習得と学校生活への適応を図る施策を実施
不登校対策の充実に向けた基本構想の検討調査	●より多くの不登校児童・生徒が学校復帰できるよう調査等を実施

高等学校入学準備金の貸与	●経済的理由により修学困難な生徒に対し、入学準備金を貸与
小学校の耐震改修	●建物強度確認調査の結果、耐震性が不十分と判断された星ヶ丘小学校校舎について、耐震改修を実施
小学校１・２年生での30人学級の実施	●集団生活への適応を図るため、小学校１・２年生における30人学級を全校で実施
小学校校舎の改築	●志段味東小学校
校舎等の大規模改造の設計	●昭和55年以前に建設された校舎等の内装・外壁・屋上防水等工事の設計

◆生涯学習等＜121億37百万円＞

事項	主な内容
部活動外部指導者の派遣	●教員指導者を補助し、専門的な技術指導を行う外部指導者を派遣。安全対策のため、高等学校柔道部へ派遣
芸術と科学の杜	●白川公園一帯のまちの賑わいを創出するため、美術館、科学館及び周辺施設が連携した事業を実施
瑞穂図書館移転改築の設計変更	●建築基準法施行令の改正等に伴う設計内容の変更
瑞穂公園ラグビー場大型映像装置の設置	●施設機能向上のため、大型映像装置を設置
図書館の耐震改修	●対策が必要とされた天白図書館について実施
「親学ノススメ」の展開	●「家庭教育セミナー」や親学関連講座等を実施
瑞穂公園北陸上競技場の改修	●第3種公認競技場として継続認定を受けるためのフィールド整備

3 小・中学校標準運営費

標準運営費とは、各教科等教育活動に要する経費及び学校の維持管理等に要する経費（人件費、光熱水費等を除く。）の標準を算定したものである。

（１）標準運営費の推移

年度	小 学 校				中 学 校			
	校数	予 算 額	1 校 均	児童1人平均	校数	予 算 額	1 校 均	生徒1人平均
	校	千円	千円	円	校	千円	千円	円
15	260	3,773,066	14,512	32,183	109	2,220,416	20,371	41,521
16	260	3,430,490	13,194	28,741	110	1,998,374	18,167	37,892
17	260	3,087,441	11,875	25,871	110	1,798,542	16,350	34,365
18	260	2,886,757	11,103	24,014	110	1,681,637	15,288	31,856
19	261	2,800,154	10,729	23,354	110	1,631,188	14,829	30,513
20	262	2,800,154	10,688	23,404	110	1,631,188	14,829	30,631
21	263	2,800,154	10,647	23,548	110	1,631,188	14,829	30,594
22	262	2,800,154	10,688	23,813	110	1,631,188	14,829	30,718
23	262	2,800,154	10,688	24,356	110	1,631,188	14,829	30,421
24	263	2,810,842	10,688	24,694	110	1,631,188	14,829	30,337

（注）事務局等で一括支払又は一括購入する経費を含む。

(2) 平成24年度 1校当たり標準運営費

科 目	区 分	小 学 校			中 学 校		
		24予算	23予算	対前年比較	24予算	23予算	対前年比較
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
報 償 費		70	70	0	105	105	0
交 際 費		6	6	0	6	6	0
需 用 費		5,265	5,265	0	7,103	7,103	0
	(消耗品費)	(4,726)	(4,726)	(0)	(5,919)	(5,919)	(0)
	(燃料費)	(4)	(4)	(0)	(6)	(6)	(0)
	(食糧費)	(18)	(18)	(0)	(17)	(17)	(0)
	(印刷製本費)	(289)	(289)	(0)	(932)	(932)	(0)
	(修繕料)	(179)	(179)	(0)	(178)	(178)	(0)
	(賄材料費)	(49)	(49)	(0)	(51)	(51)	(0)
役 務 費		305	305	0	475	475	0
	(通信料)	(258)	(258)	(0)	(400)	(400)	(0)
	(手数料)	(47)	(47)	(0)	(75)	(75)	(0)
委 託 料		348	348	0	408	408	0
使用料及び賃借料		22	22	0	66	66	0
工 事 請 負 費		1,804	1,804	0	2,079	2,079	0
原 材 料 費		47	47	0	60	60	0
備 品 購 入 費		2,811	2,811	0	4,512	4,512	0
	(庁用備品費)	(852)	(852)	(0)	(803)	(803)	(0)
	(事業用備品費)	(1,027)	(1,027)	(0)	(1,968)	(1,968)	(0)
	(図書費)	(932)	(932)	(0)	(1,741)	(1,741)	(0)
負担金補助及び交付金		10	10	0	15	15	0
合 計		10,688	10,688		14,829	14,829	

4 マイスクールプラン

小・中・高等学校、特別支援学校では、様々な体験活動や既存の教科の枠を超えた学習を行う等、多彩な特色ある教育活動や学校づくりを「マイスクールプラン」として実施している。

第3章 計画の推進

1 名古屋市教育振興基本計画

(1) 計画の概要

名古屋市教育振興基本計画は、平成19年度から平成22年度までの中期計画として、平成19年3月に策定されたなごやっ子教育推進計画の後継計画として平成23年3月に策定された。

この計画では、現在の本市教育を取り巻く環境を踏まえた施策展開を効果的に進めていくため、計画の対象範囲を、名古屋市立幼稚園、小・中・特別支援・高等学校段階などにおける教育・育成に関する施策及び生涯学習全般における学びの支援に関する施策としている。

ア 基本理念

この計画では、「夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成」を計画の基本理念とし、以下に掲げる資質を持った「なごやっ子」像をめざしている。

- (ア) なごや（郷土）が大好きで、なごや（郷土）をもっとよくしたいと望んでいる
- (イ) 豊かな感性と創造力を備える
- (ウ) 社会性を備え、他人を思いやり、協力・協調する
- (エ) 人生をたくましく生きる力を備える
- (オ) 未来への夢を抱き、学び成長し続ける

イ 計画期間

平成23年度～平成26年度（4年間）

(2) 課題としてみられること

- ア 名古屋における教育
- イ 学校づくり、教育的ニーズへの対応
- ウ 親子のふれあい、地域のつながり
- エ 名古屋の教育制度
- オ 生涯学習

(3) 施策の基本的方向

- ア 「なごやっ子」としての資質を育む“学び”の提供
- イ 教育環境の整備と、教員の意欲・資質の向上
- ウ 学校・家庭・地域の連携
- エ 教育関連制度の改革・改善
- オ 生涯を通じた学びの支援

2 名古屋市子ども読書活動推進計画

(1) 計画の概要

子どもの読書活動を推進していくため、平成19年度に策定した「名古屋市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭・地域・図書館・学校や関係機関がそれぞれ連携・協力し、さまざまな読書の機会や場の提供、読書に取り組みやすい環境や仕組みづくりに取り組んでいる。

ア 基本理念

読書は、新しい知識や情報を与えてくれるだけでなく、生涯にわたって人生を豊かにするとともに、子どもが生きる力を育むための大切な手段である。すべての子どもが、読書に親しみ、生きる力を身につけ、その可能性・夢を広げていくため、「読書でふくらむ子どもの夢」をキャッチフレーズに、子どもの読書活動を推進していく。

(2) 平成23年度の主な実績

- ア 4月23・24日、オアシス21 銀河の広場にて「なごやっ子読書フェスティバル2011」を開催。人形劇や読み聞かせ等を実施し、約2,900人の市民が参加。
- イ 市内小学生16名を子ども図書館大使に任命し、図書館の裏側探検や、大使によるおはなし会の開催等、計7回のプログラムを実施。修了後、各学校の実情に合わせて報告。
- ウ 千種保健所・北保健所・西保健所・中村保健所・中保健所・昭和保健所・瑞穂保健所・熱田保健所・中川保健所・港保健所・南保健所・守山保健所・緑保健所・名東保健所・天白保健所・北保健所楠分室・西保健所山田分室にて、乳幼児健診時に絵本の読み聞かせを実施。
- エ 図書館5館で、読み聞かせボランティア養成講座を開催。

(3) 平成24年度の主な事業予定

- ア 秋の読書週間（10月27日から11月9日まで）にあわせ、11月4日「読書フェスティバル」を開催。
- イ 市内全区で小学生を子ども図書館大使に任命し、図書館の裏側探検や、大使によるおはなし会の開催等を実施。プログラム修了後、学校等で報告の機会を設定。
- ウ 市内全保健所の乳幼児健診時に絵本紹介冊子を配布。絵本の読み聞かせを実施する保健所を拡充。

3 なごやマイ・スポーツ推進プラン

(1) 計画の概要

21世紀初頭の市民スポーツをさらに振興していくために、市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指す基本計画として、平成14年3月に「なごやマイ・スポーツ推進プラン」を策定した。

ア 基本理念

子どもから高齢者まで誰もが、そのライフステージごとにそれぞれに適したスポーツ・レクリエーション活動に親しんで、体力の向上や健康の保持増進を図っていけるよう、市民の豊かなスポーツライフを実現する。また、これらの活動を通じて健全な心を育て、家族・地域とのふれあいや絆を深めることができる、明るく健康で活力に満ちた生涯スポーツ社会を築く。

イ 到達目標

成人のスポーツ実施率（週1回以上の習慣性のあるもの）を50%まで高める。

※平成23年12月調査の実施率：58.4%

（2）基本方針

市民一人ひとりが自分に適した、自分のしたいスポーツ・レクリエーションを見つけ、行い、自分自身のスポーツライフの創造をめざす「マイ・スポーツ」をキーワードに施策を展開する。

（3）平成23年度の主な実績

ア 9月25日から10月31日まで、「なごやマイ・スポーツフェスティバル」を開催し、24,993人の市民が参加した。

イ 地域ジュニアスポーツクラブ、5か所の育成を支援した。

ウ 1月21日に、「子どもスポーツフェスタ・冬」を開催し、2,814人の子どもが参加した。

エ 各区において「なごやかウォーク」を実施し、10,095人の市民が参加した。

オ スポーツイベント・ボランティア活動に、15事業、延べ166人の市民が参加した。

（4）平成24年度の主な事業

ア 「体育の日」を中心に「なごやマイ・スポーツフェスティバル」を開催する。

イ 地域ジュニアスポーツクラブの育成を支援する。

ウ 「子どもスポーツフェスタ」を年2回開催する。

エ 各区において行っている「なごやかウォーク」を拡充し、実施する。

オ スポーツイベント・ボランティアを活用して、引き続き事業を実施していく。

第2部 学校施設、設備、管理

第1章 校（園）地及び校（園）舎の実態

1 学校施設の整備

（1）校（園）舎の建設

ますます多種・多様化する学校施設へのニーズの中で、よりよい教育環境をめざして、既存の施設を有効に活用しつつ、学校施設の改善・向上を図っている。平成23年度の主な整備内容は次のとおりである。

ア 校舎の改築、改修

小・中学校においては、21年度から行ってきた神丘中学校の改築を終え、新たに志段味東小学校の改築に着手した。また、校舎の老朽化対策として小学校24校、中学校8校について、大規模改造を行う等既存施設の改善に努めている。

イ 新設校の建設

過大規模となった志段味西小学校の分離新設校として「下志段味小学校」を建設した。

ウ 事業費

平成23年度の事業費（委託料を含む）は、小学校5,548,724千円、中学校3,741,754千円。高等学校59,154千円、幼稚園4,701千円である。

(2) 学校施設の維持修繕

平成23年度に実施した維持修繕は以下のとおりである。

(千円)

種別 項目	小学校費	中学校費	高等学校費	幼稚園費	特別支援学校費
指 定 修 繕 費	776,799	417,186	77,793	14,196	18,940
(校舎雨漏り補修)	222,002	110,015	15,535	4,977	1,921
(校舎・教室補修)	107,470	66,769	16,217	5,050	6,069
(障害児用施設改修)	55,829	26,706	0	494	0
(トイレ補修)	53,317	25,404	10,153	1,260	409
(給食調理所補修)	11,182	0	0	0	0
(給排水補修)	58,536	20,761	4,231	0	1,372
(電気・ガス補修)	52,074	29,842	9,727	0	4,327
(空調機器補修)	28,339	13,520	0	1,218	1,208
(プール補修)	64,800	34,148	15,335	0	1,418
(運動場補修)	17,871	14,310	0	850	0
(体育館補修)	50,925	31,040	3,822	0	0
(門・塀補修)	33,166	19,462	1,124	0	1,155
(防球ネット補修)	9,503	16,810	1,187	0	0
(その他)	11,785	8,399	462	347	1,061
常 時 修 繕 費	433,735	248,696	26,330	16,636	5,298
合 計	1,210,534	665,882	103,844	30,832	24,239

2 学校施設の現況

(1) 幼稚園 23園

(平成24年5月1日現在)

区分 園名	幼児数 人	学級数	園地面積 m²	園舎	
				建物延面積 m²	保育室数
総計	2,158	98	42,440	18,402	132
第二	112	5	1,529	1,031	8
第一	115	6	2,653	1,162	6
大幸	98	5	2,216	989	8
報徳	57	3	1,682	1,115	7
楠西	52	3	2,117	626	4
おりべ	67	3	2,221	794	6
第三	112	6	3,767	1,881	10
比良西	70	3	1,859	570	4
吹上	71	3	2,376	763	6
高田	54	3	860	565	4
常磐	58	3	—	—	4
荒子	41	2	—	598	4
春田	58	3	2,585	572	4
はとり	72	3	1,590	572	4
二城	136	6	1,998	750	6
鳴子	119	5	2,365	1,024	6
桶狭間	118	6	1,820	734	6
大高	81	4	2,594	826	6
神の倉	115	5	1,652	656	5
西山台	167	6	1,988	848	6
猪高	161	6	2,916	1,013	8
梅森坂	67	3	1,652	571	4
植田	157	6	—	742	6

(注) 園地面積、園舎の—は、併設などの区分不可能なもの。

(2) 小学校 263校

区 分 校 名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
総 計	112,013	(361) 4,166	(12,114) 3,186,030	1,562,763	5,561	1,642

千 種 区 15校

計	6,910	252 (19)	(11,521) 172,829	92,785	331	94
内 山	120	8 (2)	7,987	5,324	11	6
春 岡	268	12 (1)	9,783	4,817	14	6
千 種	179	7	11,068	5,437	16	7
高 見	468	17 (1)	10,533	7,143	31	7
大 和	345	13	8,055	4,780	15	5
田 代	911	29 (2)	11,427	9,184	34	8
上 野	668	24 (2)	10,116	7,623	32	7
東 山	989	32 (1)	10,059	6,820	37	5
自 由 ケ 丘	317	14 (2)	21,299	5,203	14	6
千 石	161	6	11,566	4,536	13	6
富 士 見 台	979	30 (2)	13,276	8,600	30	6
星 ケ 丘	302	13 (1)	9,087	5,066	16	6
宮 根	352	14 (2)	10,817	5,933	26	6
千 代 田 橋	441	19 (3)	13,200	6,483	25	7
見 付	410	14	14,556	5,836	17	6

東 区 9校

計	2,788	108 (7)	(10,215) 91,938	50,662	157	57
旭 丘	443	17 (2)	9,951	5,392	20	7
筒 井	308	14 (1)	9,578	5,920	16	7
東 桜	277	11	9,542	5,294	14	7
矢 田	408	15 (2)	11,591	8,145	28	7
山 吹	454	15	10,412	5,417	18	6

区 分 校 名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
東 白 壁	265	10	7,404	4,890	15	5
葵	201	7	10,924	4,771	12	5
明 倫	205	7	9,336	4,873	12	6
砂 田 橋	227	12 (2)	13,200	5,960	22	7

北 区 19校

計	7,442	277 (25)	(11,372) 216,084	113,478	397	123
飯 田	474	18 (2)	8,300	5,527	23	6
大 杉	207	9 (1)	12,751	5,414	15	6
清 水	462	17 (2)	11,468	7,087	26	6
杉 村	176	6	7,775	5,038	12	7
名 北	460	16 (2)	12,075	6,880	27	7
金 城	425	15 (2)	11,650	6,379	27	7
城 北	667	22 (1)	11,646	7,491	28	7
六 郷	107	6	6,603	3,556	6	6
楠	795	28 (3)	9,938	7,134	28	6
光 城	494	18 (1)	13,731	6,550	18	7
東 志 賀	383	13	11,235	6,368	25	6
味 鉢	743	25 (2)	16,671	7,463	33	6
西 味 鉢	316	13 (1)	11,115	4,520	14	6
楠 西	365	14 (2)	9,809	5,161	17	6
如 意	292	12	10,651	5,208	15	7
宮 前	355	14 (2)	13,053	6,710	28	8
川 中	272	11 (1)	11,420	5,898	18	7
六 郷 北	152	7 (1)	12,993	4,999	16	5
辻	297	13 (2)	13,200	6,095	21	7

西 区 19校

計	6,871	257 (22)	(10,504) 199,584	100,827	353	113
---	-------	----------	---------------------	---------	-----	-----

区 分 校 名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
榎	189	7	5,771	3,951	11	5
幅 下	169	6	13,659	4,871	11	6
栄 生	218	8	9,855	4,162	11	7
上 名 古 屋	366	13 (1)	9,628	5,940	22	6
城 西	338	13	10,910	5,199	17	6
児 玉	282	12 (1)	10,056	4,859	14	6
枇 杷 島	303	13 (1)	8,658	5,489	23	6
南 押 切	154	8 (2)	8,000	3,742	11	5
江 西	91	6	7,437	3,980	10	6
那 古 野	108	6	6,947	4,327	6	5
庄 内	611	22 (2)	13,257	7,553	28	7
稲 生	548	21 (2)	10,653	7,548	31	4
山 田	925	29 (2)	16,411	6,536	32	6
平 田	448	16 (2)	10,156	5,479	24	6
比 良	307	14 (3)	11,992	5,223	18	6
大 野 木	595	21 (2)	11,103	5,712	22	6
浮 野	148	6	11,690	5,100	20	8
比 良 西	381	14 (2)	11,994	5,169	17	6
中 小 田 井	690	22 (2)	11,407	5,987	25	6

中 村 区 15校

計	5,005	196 (24)	(10,943) 164,147	93,049	278	103
中 村	216	11 (4)	8,886	5,840	20	7
牧 野	314	13 (2)	9,063	5,549	16	8
米 野	209	7	8,971	3,938	13	6
日 比 津	372	14 (2)	10,565	6,101	18	6
柳	341	13 (2)	9,017	4,511	18	6
稲 葉 地	626	22 (2)	13,971	7,415	30	6
日 吉	292	12 (1)	13,679	5,584	17	7
岩 塚	463	17 (2)	15,149	6,313	23	7

区 分 校 名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
豊 臣	142	6	8,648	4,358	11	5
千 成	385	14	12,679	6,373	25	7
諏 訪	277	11 (1)	13,464	4,460	12	6
稲 西	305	14 (2)	10,244	5,247	21	8
八 社	477	17 (2)	12,853	5,865	20	7
ほ の か	465	17 (2)	10,382	7,962	20	6
笹 島 (※)	121	8 (2)	6,576	13,533	14	11

(※) 校地面積、建物延面積、特別教室数には笹島中学校分含む

中 区 11校

計	2,065	94 (8)	(9,530) 104,835	51,111	134	61
名 城	271	12 (1)	10,914	6,127	21	5
栄	151	8 (1)	10,052	5,117	13	6
新 栄	162	6	9,219	5,047	12	6
松 原	218	9 (1)	11,430	4,285	11	6
橘	301	14 (2)	6,823	5,114	15	6
平 和	157	6	11,817	4,309	9	5
老 松	189	8 (2)	10,341	5,299	16	6
大 須	177	7	7,418	5,042	12	6
正 木	281	12 (1)	8,134	4,001	12	5
千 早	97	6	9,074	3,389	7	5
御 園	61	6	9,613	3,381	6	5

昭 和 区 11校

計	4,328	167 (18)	(10,271) 112,983	58,261	213	67
鶴 舞	194	8	8,252	4,337	11	5
吹 上	311	14 (2)	7,946	5,437	23	7
村 雲	315	14 (2)	13,035	5,086	17	6
松 栄	759	26 (2)	9,302	6,808	28	6

区 分 校 名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
御 器 所	471	16	9,738	5,430	21	5
広 路	395	16 (2)	10,601	5,537	22	7
八 事	340	15 (2)	7,265	4,070	16	5
白 金	152	6	9,604	4,146	9	6
川 原	429	18 (5)	13,297	5,868	19	6
滝 川	703	24 (3)	12,927	6,298	29	7
伊 勝	259	10	11,016	5,244	18	7

瑞 穂 区 11校

計	4,989	190 (16)	(11,714) 128,862	68,776	237	70
弥 富	675	24 (2)	14,134	7,619	25	6
御 劔	254	9	11,666	6,866	12	6
堀 田	269	13 (2)	14,766	6,054	23	7
汐 路	619	23 (2)	12,473	7,246	27	7
高 田	347	14 (1)	7,929	5,442	18	6
瑞 穂	440	19 (3)	10,969	5,885	26	6
井 戸 田	291	12	9,748	5,276	18	6
穂 波	394	16 (2)	11,158	5,510	17	7
豊 岡	344	13	9,996	6,112	17	6
陽 明	823	27 (2)	13,405	7,216	30	7
中 根	533	20 (2)	12,618	5,550	24	6

熱 田 区 7校

計	2,687	103 (9)	(10,704) 74,928	39,163	135	37
高 蔵	311	13 (1)	10,615	5,093	16	6
旗 屋	341	14 (2)	7,738	4,902	16	5
千 年	282	13 (1)	9,714	4,765	16	4
船 方	687	22	16,648	6,766	27	5
白 鳥	341	14 (2)	7,834	6,040	22	6

校 名	区 分	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室
野 立		346	14 (2)	11,414	6,156	22	6
大 宝		379	13 (1)	10,965	5,441	16	5

中 川 区 24校

計		11,651	428 (35)	(11,808) 283,401	137,651	523	147
広 見		110	6	11,390	3,794	6	6
露 橋		333	13 (1)	14,148	4,604	14	5
愛 知		298	13 (2)	13,200	5,485	18	6
八 熊		317	14 (2)	10,878	5,214	19	6
昭 和 橋		494	18 (1)	8,726	5,432	20	7
常 磐		869	29 (3)	13,492	7,318	32	4
八 幡		611	22 (2)	9,186	6,907	29	7
荒 子		1,050	32 (2)	13,424	8,596	41	5
正 色		133	8 (2)	11,642	5,281	17	7
篠 原		597	22 (2)	10,768	6,275	23	7
戸 田		597	21 (1)	11,278	6,286	27	7
豊 治		642	23 (2)	12,174	5,554	25	5
千 音 寺		831	28 (2)	14,608	6,662	27	6
長 須 賀		438	15	8,137	4,140	14	6
万 場		463	17 (2)	14,409	6,547	25	6
野 田		492	17	10,912	5,239	19	6
明 正		313	13 (2)	12,293	5,911	23	6
中 島		530	20 (2)	11,572	6,239	27	9
玉 川		322	13 (1)	10,063	4,427	15	5
西 中 島		373	14 (1)	12,072	5,236	19	6
五 反 田		505	18	11,609	5,475	20	7
春 田		452	18 (2)	12,758	6,418	25	6
赤 星		611	22 (2)	12,060	5,954	23	7
西 前 田		270	12 (1)	12,602	4,657	15	5

校 名	区 分	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室

港 区 20校

計		8,021	304 (28)	(11,462) 229,244	117,839	417	120
東 築 地		667	23 (2)	14,872	8,129	30	7
中 川		205	7	7,284	5,479	12	7
大 手		537	19 (2)	12,250	6,355	25	6
港 西		487	16	9,279	5,614	25	6
小 碓		510	19 (2)	13,986	7,983	30	5
西 築 地		193	8 (1)	9,810	4,919	12	6
高 木		528	20 (2)	9,281	6,195	23	6
南 陽		435	17 (2)	13,342	7,191	28	6
港 楽		350	15 (3)	9,284	5,465	22	5
成 章		258	11	10,131	5,153	15	6
明 徳		420	15 (2)	9,927	5,361	22	6
稲 永		475	19 (2)	12,830	6,844	25	6
東 海		234	11 (2)	10,537	4,666	13	6
野 跡		274	12 (1)	12,288	4,228	13	4
当 知		526	20 (2)	10,654	6,296	26	7
正 保		375	14 (1)	12,649	5,209	18	7
神 宮 寺		265	12 (1)	11,924	5,143	18	6
西 福 田		216	8	12,602	5,099	15	6
福 田		653	23 (2)	13,497	6,222	27	5
福 春		413	15 (1)	12,817	6,288	18	7

南 区 18校

計		6,166	242 (26)	(13,087) 235,577	114,765	396	122
豊 田		546	20 (2)	12,287	6,429	23	6
明 治		416	15 (2)	14,411	8,072	33	8
呼 続		316	15 (2)	11,740	6,570	26	6

校 名	区 分	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室
白	水	210	7 (1)	13,012	5,469	19	7
桜		260	13 (2)	10,727	5,304	18	7
道	徳	378	14 (1)	16,302	8,563	29	7
笠	寺	432	17 (2)	21,316	6,939	32	8
大	生	159	8 (2)	13,728	5,636	14	7
大	磯	238	9 (1)	9,413	4,544	14	6
千	鳥	254	12 (2)	12,413	6,007	20	7
菊	住	397	17 (3)	10,802	5,757	20	7
宝		329	13	14,705	10,138	31	7
柴	田	171	8 (1)	11,492	5,788	12	5
伝	馬	475	17 (1)	16,794	7,381	18	8
星	崎	333	12	11,906	5,476	22	7
春	日 野	384	15 (2)	10,623	4,597	18	6
笠	東	429	15 (1)	10,034	4,724	19	6
宝	南	439	15 (1)	13,872	7,371	28	7

守 山 区 20校

計	9,889	360 (29)	(14,112) 282,258	125,520	472	130
大 森	431	16 (2)	13,140	6,350	26	6
小 幡	657	21 (1)	26,804	8,834	39	6
守 山	484	17 (2)	18,482	7,561	23	9
廿 軒 家	732	24 (2)	17,676	6,564	25	6
鳥 羽 見	355	14 (2)	16,568	6,160	19	6
瀬 古	834	29 (3)	18,008	7,609	30	7
志 段 味 東	507	19 (2)	11,512	5,313	21	7
志 段 味 西	596	21	14,166	5,571	29	6
白 沢	533	20 (2)	11,967	5,819	23	6
本 地 丘	164	8 (2)	15,920	5,643	27	5
苗 代	896	30 (3)	9,089	5,989	29	6
天 子 田	326	12	11,706	6,480	26	7

区 分 校 名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
二 城	537	19	10,276	5,207	21	6
森 孝 東	261	12 (2)	13,320	4,950	14	6
森 孝 西	360	15 (2)	15,006	5,463	22	7
西 城	245	10	13,637	5,685	13	6
大 森 北	351	12	7,690	5,587	15	7
小 幡 北	479	18 (1)	10,014	5,402	18	7
吉 根	773	28 (2)	13,800	7,813	28	7
下 志 段 味	368	15 (1)	13,477	7,520	24	7

緑 区 28校

計	15,129	542 (48)	(15,099) 422,785	176,548	663	172
鳴 海	578	21 (2)	29,580	8,359	26	7
平 子	454	17 (1)	14,987	4,954	19	5
鳴 海 東 部	688	24 (2)	16,970	6,866	25	6
東 丘	560	21 (1)	18,144	5,558	21	5
鳴 子	298	13 (2)	13,547	5,771	18	6
有 松	759	26 (2)	12,931	7,037	27	7
大 高	556	20 (2)	31,322	7,411	28	7
緑	330	14 (2)	9,915	4,882	17	5
片 平	556	20 (2)	13,515	6,128	23	6
戸 笠	419	15 (1)	11,640	5,358	21	7
太 子	429	15 (1)	13,222	5,175	19	6
旭 出	674	22 (1)	13,317	6,367	24	7
浦 里	194	9 (2)	14,598	6,287	22	7
黒 石	265	11 (1)	10,363	4,854	16	6
神 の 倉	829	28 (2)	12,388	6,418	28	6
長 根 台	511	19 (2)	14,450	6,373	28	6
桶 狭 間	950	30 (2)	14,764	6,442	29	5
相 原	428	16 (2)	11,588	5,721	21	7
桃 山	584	19 (1)	12,874	6,462	25	7

区 分 校 名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
南 陵	352	14 (2)	14,817	5,914	24	6
大 高 北	313	12	17,190	4,850	14	5
大 高 南	393	16 (3)	21,170	5,916	19	6
徳 重	408	15 (1)	13,888	6,268	25	7
滝 ノ 水	573	21 (2)	13,221	7,559	33	6
大 清 水	994	31 (1)	12,999	6,640	31	5
常 安	308	13 (1)	13,001	5,995	16	6
小 坂	712	27 (3)	12,725	8,010	28	7
熊 の 前	1,014	33 (3)	13,659	8,973	36	6

名 東 区 19校

計	9,551	338 (22)	(12,824) 243,664	114,791	454	120
猪 高	581	21 (1)	20,945	8,788	35	7
藤 が 丘	564	21 (2)	10,931	6,493	30	6
香 流	646	23 (2)	10,159	5,892	26	6
猪 子 石	421	13	10,811	5,181	19	7
高 針	400	15 (2)	16,499	5,965	22	7
西 山	1,251	37	15,213	7,297	40	7
名 東	932	30 (2)	13,511	7,075	33	6
梅 森 坂	200	8 (1)	11,568	5,264	21	6
蓬 来	396	14	10,844	6,501	18	9
本 郷	360	15 (2)	9,901	6,013	23	6
貴 船	720	24 (2)	13,110	6,349	28	6
上 社	624	20	12,898	5,615	24	5
豊 が 丘	271	11	12,036	4,764	16	6
引 山	301	14 (2)	14,771	5,897	23	7
極 楽	461	16	10,830	5,711	20	6
平 和 が 丘	311	13 (1)	12,401	5,530	21	5
前 山	436	16 (2)	11,567	6,191	23	7
北 一 社	451	16 (1)	12,470	5,679	20	6

校 名 区 分	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
牧 の 原	225	11 (2)	13, 199	4, 586	12	5

天 白 区 17校

計	8, 521	308 (25)	(13, 112) 222, 911	107, 537	401	106
天 白	868	28 (2)	14, 402	7, 111	32	6
野 並	516	19 (1)	10, 122	6, 298	29	6
高 坂	155	7 (1)	12, 396	5, 265	14	7
八 事 東	582	22 (2)	9, 934	6, 442	28	6
表 山	588	21 (1)	11, 372	5, 347	22	6
平 針	622	22 (2)	15, 335	6, 849	26	7
平 針 南	335	13 (1)	13, 987	6, 058	19	6
植 田	570	20 (2)	20, 565	7, 237	27	6
し ま だ	405	14 (2)	16, 579	6, 371	23	5
山 根	552	21 (2)	11, 566	5, 583	22	7
相 生	156	6	11, 592	5, 593	17	7
大 坪	407	16 (2)	10, 502	5, 431	18	6
原	735	23	11, 536	6, 395	28	6
植 田 南	472	18 (2)	12, 303	7, 053	28	7
平 針 北	298	12 (1)	11, 954	5, 819	19	6
植 田 北	486	19 (1)	14, 066	6, 350	19	6
植 田 東	774	27 (3)	14, 700	8, 335	30	6

(注) 1 学級数欄の () 内は、特別支援学級数の再掲。

2 校地面積欄の () 内は、1 校当たりの平均。

(3) 中学校 110校

校 名 \ 区 分	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
総 計	53,299	1,684 (152)	(17,631) 1,939,442	852,533	2,143	1,334

※校地面積、建物延面積、特別教室数のうち、笹島中学校分は、笹島小学校欄に記載

千 種 区 7 校

計	2,886	97 (9)	(18,353) 128,473	56,178	120	88
今 池	254	11 (2)	13,935	6,348	12	11
城 山	523	18 (2)	17,801	8,470	21	13
振 甫	489	16 (2)	22,270	9,021	22	13
千 種 台	558	18 (2)	19,836	8,969	18	12
若 水	339	11	14,065	7,396	17	13
千 種	320	11 (1)	17,248	7,469	15	13
東 星	403	12	23,318	8,505	15	13

東 区 4 校

計	1,222	42 (4)	(16,354) 65,417	28,644	60	50
あ ず ま	208	9 (2)	16,531	7,371	12	13
富 士	381	12	16,151	7,523	18	13
桜 丘	317	9	17,071	6,680	12	11
矢 田	316	12 (2)	15,664	7,070	18	13

北 区 7 校

計	3,654	115 (12)	(18,841) 131,888	58,417	153	88
若 葉	318	11 (2)	14,565	7,314	15	12
志 賀	528	17 (2)	20,692	8,126	26	11
大 曾 根	530	17 (2)	24,692	9,054	23	13
八 王 子	313	12 (3)	16,374	7,954	19	13
楠	719	22 (2)	17,505	9,207	24	13

校 名 \ 区 分	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
北 陵	633	18	21,521	8,997	27	13
北	613	18 (1)	16,539	7,765	19	13

西 区 7 校

計	3,281	107 (12)	(13,793) 96,556	51,564	129	85
浄 心	435	13	11,489	7,427	17	11
菊 井	193	9 (3)	10,532	5,982	12	11
名 塚	555	18 (2)	17,185	8,759	22	13
天 神 山	380	13 (2)	12,929	7,853	18	13
山 田	819	26 (4)	14,246	7,979	25	13
山 田 東	618	18	12,958	6,911	22	11
平 田	281	10 (1)	17,217	6,653	13	13

中 村 区 7 校

計	2,401	77 (7)	(18,205) 109,234	45,192	126	74
豊 国	350	11 (1)	19,296	7,945	21	13
笹 島 (※)	75	4 (1)	—	—	8	—
笈 瀬	215	7 (1)	14,796	6,600	15	12
御 田	563	16	27,370	7,857	22	13
豊 正	596	20 (4)	22,239	9,420	28	12
黄 金	215	7	13,064	6,584	11	11
日 比 津	387	12	12,469	6,786	21	13

※校地面積、建物延面積、特別教室数のうち、笹島中学校分は笹島小学校欄に記載

中 区 4 校

計	828	30 (2)	(18,257) 73,031	27,271	52	44
前 津	205	7	13,947	7,457	12	12
伊 勢 山	374	13 (2)	23,306	6,774	18	10
白 山	110	4	21,784	6,290	10	11

校 名 \ 区 分	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
丸 の 内	139	6	13,994	6,750	12	11

昭 和 区 5校

計	1,780	60 (8)	(16,297) 81,489	33,990	82	60
桜 山	496	14	14,406	6,828	18	13
北 山	232	8 (1)	19,920	6,575	12	12
川 名	555	18 (2)	21,381	8,004	24	12
円 上	222	9 (2)	13,056	6,397	13	11
駒 方	275	11 (3)	12,726	6,186	15	12

瑞 穂 区 5校

計	2,174	69 (7)	(18,508) 92,540	38,914	87	64
田 光	255	10 (2)	13,195	7,160	12	12
瑞 穂 ケ 丘	275	8	26,529	6,774	13	13
萩 山	731	21	21,685	8,587	25	13
汐 路	572	18 (3)	18,112	8,239	22	13
津 賀 田	341	12 (2)	13,019	8,154	15	13

熱 田 区 4校

計	1,268	42 (5)	(15,085) 60,341	27,381	53	44
沢 上	284	10 (1)	15,156	6,522	12	10
宮	311	11 (2)	14,952	8,122	15	13
日 比 野	452	14 (2)	13,599	7,669	18	13
日 比 野 (南)	221	7	16,634	5,068	8	8

中 川 区 11校

計	5,952	188 (18)	(18,081) 198,893	85,868	214	135
一 色	314	11 (2)	13,209	7,331	14	12

校 名	区 分	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室
長	良	910	30 (5)	27,196	9,374	30	12
山	王	302	11 (2)	18,939	7,410	17	13
一	柳	766	22	18,676	7,972	25	13
八	幡	355	10	13,098	6,496	13	13
昭 和	橋	369	12 (1)	14,287	7,105	15	11
富	田	505	16 (2)	26,563	7,988	22	13
は と り		931	28 (2)	17,985	9,154	28	11
助	光	352	11	16,513	6,737	12	13
供 米 田		622	19 (1)	15,980	8,126	19	11
高	杉	526	18 (3)	16,447	8,175	19	13

港 区 8 校

計		4,149	126 (8)	(18,308) 146,465	65,109	170	98
港 南		714	22 (2)	16,989	8,740	24	12
港 北		475	13	19,834	7,903	24	9
東 港		617	20 (2)	17,874	8,886	26	13
南 陽		704	21 (2)	23,897	8,741	26	12
宝 神		585	17	16,525	8,192	23	13
当 知		483	15 (2)	16,500	7,756	18	13
港 明		353	11	18,541	7,915	16	13
南 陽 東		218	7	16,305	6,976	13	13

南 区 7 校

計		3,311	106 (12)	(17,768) 124,381	60,676	145	87
本 城		601	19 (1)	17,361	8,752	27	13
新 郊		307	11 (2)	14,022	7,178	15	11
桜 田		507	16 (2)	21,519	8,441	21	12
大 江		493	15 (2)	16,510	8,255	21	13

校 名 \ 区 分	生徒数 人	学級数	校地面積 m ²	建物延面積 m ²	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
名 南	349	12 (2)	22,245	9,910	19	13
南 光	494	15 (1)	16,198	10,319	24	14
明 豊	560	18 (2)	16,526	7,821	18	11

守 山 区 7校

計	4,657	143 (12)	(19,684) 137,790	53,778	163	87
守 山	706	20	17,072	8,537	22	13
守 山 東	717	22 (3)	32,033	7,812	22	12
守 山 西	997	32 (5)	18,348	8,554	33	13
志 段 味	743	24 (2)	18,009	6,637	25	13
大 森	637	20 (2)	17,960	7,997	25	12
守 山 北	409	12	17,823	7,117	15	11
森 孝	448	13	16,545	7,124	21	13

緑 区 12校

計	7,132	221 (19)	(17,687) 212,254	98,818	270	150
鳴 海	459	15 (2)	18,196	8,689	28	13
有 松	823	26 (3)	18,431	9,146	29	13
大 高	602	18 (1)	30,579	8,628	20	13
鳴 子 台	413	13 (1)	17,100	8,711	21	12
東 陵	475	15 (1)	17,844	6,672	16	12
千 鳥 丘	359	12 (1)	16,776	7,821	18	13
神 沢	621	19 (1)	13,895	7,902	23	13
扇 台	735	23 (3)	16,536	9,101	29	12
滝 ノ 水	994	28 (1)	16,522	8,473	29	13
左 京 山	434	14 (1)	13,337	7,536	15	13
鎌 倉 台	382	13 (2)	16,539	6,905	14	10
神 の 倉	835	25 (2)	16,499	9,234	28	13

校 名 \ 区 分	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室

名 東 区 8校

計	4,487	137 (8)	(19,448) 155,590	64,451	172	96
猪 高	638	21 (2)	37,661	9,227	26	12
神 丘	931	26 (1)	16,090	8,764	29	13
高 針 台	821	25 (2)	17,264	8,475	26	12
猪 子 石	402	13 (1)	16,203	9,481	26	13
藤 森	541	17 (2)	15,169	7,585	22	13
牧 の 池	373	11	18,791	7,139	15	12
上 社	295	9	16,621	6,193	10	10
香 流	486	15	17,791	7,587	18	11

天 白 区 7校

計	4,117	124 (9)	(17,871) 125,100	56,282	147	84
天 白	707	21 (2)	26,405	8,652	23	12
御 幸 山	698	22 (3)	15,975	8,542	23	12
久 方	372	12	16,558	8,038	21	12
平 針	489	15 (2)	16,407	8,134	20	12
南 天 白	221	7	16,501	6,444	10	12
植 田	1,103	32 (2)	16,754	8,557	32	11
原	527	15	16,500	7,915	18	13

- (注) 1 学級数欄の()内は、特別支援学級数の再掲。
2 校地面積欄の()内は、1校当たりの平均。

(4) 高等学校 14校

区 分 校 名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
計	12,805	330	(32,512) 455,171	205,018	362	290
菊 里	1,076	27	35,841	13,747	30	41
向 陽	1,086	27	26,486	11,970	30	18
桜 台	1,120	28	27,679	13,810	30	19
北	955	24	35,180	13,196	28	21
緑	994	25	35,588	12,024	30	17
富 田	951	24	40,415	11,458	25	25
山 田	789	20	29,838	11,614	28	18
名 東	1,118	28	35,011	13,054	30	21
西 陵	599	15	31,997	14,083	22	17
名 古 屋 商	951	24	29,476	16,814	24	23
若 宮 商	692	18	32,526	11,786	24	15
工 業	731	19	42,554	23,873	24	21
工業(定時制)	115	4	—	—	—	—
工 芸	829	21	43,232	25,516	21	21
中 央	799	26	9,348	12,073	16	13

(注) 校地面積欄の()内は、1校当たりの平均。

(5) 特別支援学校 4校

区 分 校 名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
計	981	166	40,628	32,501	134	68
西	238	41	9,065	7,836	32	16
南	303	49	11,603	11,227	39	18
天 白	139	28	10,273	4,999	19	13
守 山	301	48	9,687	8,439	44	21

3 学校の設置及び通学区域の設定等

(1) 学校の設置

(平成 24 年 4 月 1 日)

校 名	位 置
名古屋市立下志段味小学校	守山区大字下志段味字島ノ口 1825 番地

(2) 通学区域の設定等

ア 通学区域の設定 (平成 24 年 4 月 1 日施行)

名古屋市立下志段味小学校の通学区域の設定

次の区域を名古屋市立下志段味小学校の通学区域とする。

名古屋市立志段味西小学校の通学区域の内、日の後1001番地、大字吉根字日ノ後602番地～606番地、大字下志段味字穴ヶ洞、字池田、字池段寺、字上東禅寺2479番地の1～2479番地の2、2480番地の1、2481番地～2482番地の1、2483番地～2500番地の2、2503番地の1～2503番地の2、2504番地の1、2505番地の1、2505番地の3～2506番地、2506番地の2の一部、2508番地の1、2509番地の1、2510番地の1～2510番地の2、2510番地の5～2532番地の3、2533番地の2～2533番地の6、2533番地の7の一部、2534番地の2～2534番地の8、2534番地の9の一部、2535番地～2542番地の1、2582番地の1、2582番地の5～2583番地の1、2583番地の4、2585番地の1、2587番地の1、2588番地～2589番地の4、2590番地の1、2590番地の5～2593番地の1、2594番地の1、2595番地～2597番地、2598番地の2、2598番地の6の一部、2599番地の1、2600番地～2612番地の2、字上ノ山、字落合、字風越、字唐曾、字北荒田、字北畑、字吉田、字熊田、字釵当先、字石米、字小段、字島野口、字下東禅寺2435番地の1～2435番地の2、2436番地の1、字真光寺、字新林、字作り道、字長箴、字長戸、字長根、字長廻間、字濁り池、字西島2365番地～2375番地の4、2376番地の2、2376番地の7の一部、2377番地の1、2421番地の1、2422番地の1、2423番地～2428番地の1、2429番地の1、2433番地の6、字西新外、字西ノ原、字生下り、字廻間、字東新外、字東新田、字深沢2613番地の2、2613番地の14の一部、2614番地の1、2615番地の1、2615番地の5～2616番地の1、字前田、字南荒田、字焼田、字横堤

イ 通学区域の変更 (平成 24 年 4 月 1 日施行)

(ア) 名古屋市立志段味西小学校の通学区域の変更

次の区域を名古屋市立志段味西小学校の通学区域から除く。

名古屋市立下志段味小学校の通学区域

(イ) 名古屋市立平子小学校及び名古屋市立大高北小学校の通学区域の変更

次の区域を名古屋市立平子小学校の通学区域から除き、名古屋市立大高北小学校の通学区域に加える。

名古屋市緑区青山四丁目 512 番、515 番、516 番の各地番

(ウ) 名古屋市立志段味中学校の通学区域の変更

次の区域を名古屋市立志段味中学校の通学区域に加える。

名古屋市立下志段味小学校の通学区域

4 小規模校対策

「名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針」及び「小規模校対策に関する実施計画」に基づき、保護者、地域住民等の理解を得ながら小規模校対策を進めていく。

（１）名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針

平成21年9月に名古屋市学校教育研究協議会から、名古屋市における小・中学校の適正規模、学校規模適正化の対象などの検討結果が報告された。この協議会からの報告を踏まえ、平成22年3月に「名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針」を策定した。

（２）小規模校対策に関する実施計画

「名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針」に基づき、小規模校対策の対象となる学校の選定、学校ごとの方策、今後の取り組みの進め方などをまとめた「小規模校対策に関する実施計画」を平成22年9月に策定・公表した。

ア 計画の概要

（ア）実施計画期間 平成23年度から平成28年度まで

（イ）対象校

平成22年5月1日現在の学級数及び0歳から5歳までの幼児人口により、小規模校対策の対象校（小学校44校）を選定し、優先順位をつけ第1から第3までのグループに分類した。

第1グループ（9校）

- ・6学年すべてが単学級の学校で、実施計画期間内も同じ状況が継続する見込みの学校
幅下小・南押切小・江西小・那古野小・豊臣小・御園小・白金小・大生小・高坂小

第2グループ（18校）

- ・6学年すべてが単学級の学校で、実施計画期間内に6学級でなくなる見込みの学校（6学級⇒7～11学級）
- ・7学級から11学級の学校で、実施計画期間内に6学級になる見込みの学校（7～11学級⇒6学級）

内山小・千種小・六郷小・六郷北小・榎小・浮野小・中村小・栄小・平和小・

千早小・大須小・広見小・正色小・中川小・西築地小・浦里小・梅森坂小・相生小

第3グループ（17校）

- ・7学級から11学級の学校で、実施計画期間内も同じ状況が継続する見込みの学校
東桜小・明倫小・大杉小・杉村小・栄生小・米野小・諏訪小・松原小・鶴舞小・井戸田小・西福田小・白水小・柴田小・千鳥小・本地丘小・西城小・牧の原小

(ウ) 学校ごとの方策と具体的な進め方

- a 第1グループについては、統合相手校など小規模校対策の具体的な学校ごとの方策を定め、実施計画期間内の開校を目指す。

幅下小・江西小・那古野小 : 3校を統合

南押切小 : 榎小(第2グループ)・栄生小(第3グループ)の3校を統合

豊臣小 : 諏訪小(第3グループ)と統合

御園小 : 名城小と統合

白金小 : 村雲小と統合

大生小 : 宝小と統合

高坂小 : 相生小(第2グループ)と統合

- b 第2グループについては、保護者・地域説明会を開催し、児童数の推移や地域の状況等を把握しながら、第1グループに準じて進める。

- c 第3グループについては、保護者・地域説明会を開催し、その後、学校から児童数の推移等の情報収集を行う。

(3) 平成23年度の主な実績

- ・ 計画の対象校(44校)及び統合の相手校(3校)について、各学校の状況に応じ、24年度入学予定児童の保護者への説明会や、PTAや地域住民に対する説明等を実施するなど、小規模校対策への理解を得るための取り組みを進めた。
- ・ 幅下小学校・江西小学校・那古野小学校では、保護者、地域住民等からなる3校合同の検討組織を設置し、統合に向けた協議を開始した。
- ・ 豊臣小学校では、検討組織を設置し、協議を開始した。

第2章 学校設備の充実状況

平成23年度に実施した学校設備の充実状況は、次のとおりである。

(千円)

種 別 項 目		小学校	中学校	高等学校	幼稚園	特別支援 学校	備 考
1	主要設備品の更新	102,201	38,686	10,103	—	—	
2	多目的スペース 設備品	—	—	—	—	—	
3	増改築設備品	21,683	51,955	—	—	—	
4	体育館兼講堂設備品	—	—	—	—	—	
5	産業教育設備品	—	—	5,067	—	—	
6	理科教育設備品	43,528	39,498	2,946	—	—	
7	教材教具設備品	274,407	194,190	37,573	35,467	3,728	
8	教室設備品修繕費	12,535	11,523	474	—	—	
9	表簿用紙の購入	4,759	2,577	864	270	153	
10	どん帳の整備	—	—	—	—	—	
計		459,113	338,429	57,027	35,737	3,881	

第3章 学校施設の管理

1 学校施設の機械警備

(1) 概 要

教育委員会が所管する学校における教職員の勤務時間外の学校施設、物品等の保全を図るため、電話回線を利用した送信装置及び受信装置により次の警備を行い、火災、盗難等の災害が発生したときには、時間外学校管理員（嘱託員）が緊急措置を講ずる。

ア 火災警備 自動火災報知設備による火災の警戒

イ 盗難警備 防犯警報装置による重要な行政文書、物品等の盗難、その他の不法行為等の発生の際の警戒

(2) 集中監視センター

教育館内に学校整備課の分室を設け機械警備の受信装置を置いている。教職員の勤務時間外に16人の嘱託員が、交替でその常時監視にあたり、災害発生時には必要に応じて学校に出向く等、緊急措置のために備えている。

2 学校（園）近隣協力員

機械警備の補完として、各校（園）2名（併設園を除く）を学校（園）長の内申に基づき教育委員会が依頼する。学校内の鍵を保管し、学校施設の異常を確認した場合に関係機関へ通報したり、地震・風水害等で避難所となる場合には、その開設について協力する。

第3部 幼児、児童、生徒、教職員

第1章 幼児、児童、生徒

1 幼児、児童、生徒数

(1) 市立幼稚園・学校の学校種別学年幼児、児童、生徒数

(平成24年5月1日現在)

区 分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校		特別支援学校			
				全日制	定時制	小学部	中学部	高等部	
1 年	男	299	9, 211	9, 127	1, 614	162	23	41	129
	女	274	8, 879	8, 447	2, 396	116	10	22	81
	計	573	18, 090	17, 574	4, 010	278	33	63	210
2 年	男	375	9, 409	9, 297	1, 639	126	25	40	118
	女	372	9, 063	8, 648	2, 262	105	17	15	62
	計	747	18, 472	17, 945	3, 901	231	42	55	180
3 年	男	411	9, 431	9, 058	1, 699	116	15	39	131
	女	427	8, 930	8, 722	2, 281	122	2	26	62
	計	838	18, 361	17, 780	3, 980	238	17	65	193
4 年	男	—	9, 565	—	—	89	29		
	女	—	9, 100	—	—	78	13		
	計	—	18, 665	—	—	167	42		
5 年	男	—	9, 918	—	—	—	18		
	女	—	9, 243	—	—	—	11		
	計	—	19, 161	—	—	—	29		
6 年	男	—	9, 905	—	—	—	35		
	女	—	9, 359	—	—	—	17		
	計	—	19, 264	—	—	—	52		
計	男	1, 085	57, 439	27, 482	4, 952	493	145	120	378
	女	1, 073	54, 574	25, 817	6, 939	421	70	63	205
	計	2, 158	112, 013	53, 299	11, 891	914	215	183	583

(注) 幼稚園1年欄は3歳児、2年欄は4歳児、3年欄は5歳児。

(2) 行政区別幼児、児童、生徒数

(平成24年5月1日現在)

区 分		千 種	東	北	西	中 村	中	昭 和	瑞 穂	熱 田
幼稚園	男	51	91	102	85	—	—	41	28	—
	女	61	122	74	97	—	—	30	26	—
	計	112	213	176	182	—	—	71	54	—
小学校	男	3,590	1,451	3,793	3,572	2,589	1,042	2,227	2,534	1,360
	女	3,320	1,337	3,649	3,299	2,416	1,023	2,101	2,455	1,327
	計	6,910	2,788	7,442	6,871	5,005	2,065	4,328	4,989	2,687
中学校	男	1,521	634	1,894	1,623	1,274	437	943	1,107	656
	女	1,365	588	1,760	1,658	1,127	391	837	1,067	612
	計	2,886	1,222	3,654	3,281	2,401	828	1,780	2,174	1,268
高等学校	全日制	男	477	460	500	342	—	564	—	—
		女	1,550	369	455	1,046	—	522	—	—
		計	2,027	829	955	1,388	—	1,086	—	—
	定時制	男	—	—	—	—	394	—	—	—
		女	—	—	—	—	405	—	—	—
		計	—	—	—	—	799	—	—	—
特別支援学校	男	—	—	—	—	—	—	—	—	204
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	99
	計	—	—	—	—	—	—	—	—	303

区 分		中 川	港	南	守 山	緑	名 東	天 白	計
幼稚園	男	94	—	—	74	228	209	82	1,085
	女	135	—	—	62	205	186	75	1,073
	計	229	—	—	136	433	395	157	2,158
小学校	男	6,066	4,095	3,172	4,993	7,727	4,868	4,360	57,439
	女	5,585	3,926	2,994	4,896	7,402	4,683	4,161	54,574
	計	11,651	8,021	6,166	9,889	15,129	9,551	8,521	112,013
中学校	男	3,044	2,172	1,657	2,374	3,699	2,334	2,113	27,482
	女	2,908	1,977	1,654	2,283	3,433	2,153	2,004	25,817
	計	5,952	4,149	3,311	4,657	7,132	4,487	4,117	53,299
高等学校	全日制	男	1,161	—	454	477	489	28	4,952
		女	521	—	666	517	629	664	6,939
		計	1,682	—	1,120	994	1,118	692	11,891
	定時制	男	99	—	—	—	—	—	493
		女	16	—	—	—	—	—	421
		計	115	—	—	—	—	—	914
特別支援学校	男	163	—	—	187	—	—	89	643
	女	75	—	—	114	—	—	50	338
	計	238	—	—	301	—	—	139	981

(3) 高等学校の課程別・学科別生徒数、学級数

(平成24年5月1日現在)

区 分		全 日 制		定 時 制		計		学科別
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	比率 (%)
普 通 科	男女計	3,625	194	364	22	3,989	216	66.0
		4,112		353		4,465		
		7,737		717		8,454		
商 業 科	男女計	85	42	30	4	115	46	13.5
		1,558		52		1,610		
		1,643		82		1,725		
工 業 科	男女計	1,145	40	99	4	1,244	44	13.1
		415		16		431		
		1,560		115		1,675		
家 庭 科	男女計	—	3	—	—	—	3	0.9
		120		—		120		
		120		—		120		
音 楽 科	男女計	11	3	—	—	11	3	0.9
		103		—		103		
		114		—		114		
英 語 科	男女計	23	3	—	—	23	3	0.9
		95		—		95		
		118		—		118		
総 合 学 科	男女計	63	15	—	—	63	15	4.7
		536		—		536		
		599		—		599		
合 計	男女計	4,952	300	493	30	5,445	330	100.0
		6,939		421		7,360		
		11,891		914		12,805		
課程別比率 (%)		92.9		7.1		100.0		

(注) 比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。

(4) 年度別学校数、学級数、幼児・児童・生徒数、教員数

幼 稚 園

(各年度5月1日現在)

区 分	園 数	学級数	幼 児 数			教員数
			男	女	計	
22 年 度	24	96	1,052	1,086	2,138	159
23 年 度	23	96	1,098	1,062	2,160	159
24 年 度	23	98	1,085	1,073	2,158	167

小 学 校

(各年度5月1日現在)

区 分	学校数			学級数	児 童 数			教員数
	本校	分校	計		男	女	計	
22 年 度	262	0	262	4,205	59,274	56,000	115,274	6,000
23 年 度	262	0	262	4,188	58,444	55,258	113,702	6,030
24 年 度	263	0	263	4,166	57,439	54,574	112,013	6,063

中 学 校

(各年度5月1日現在)

区 分	学校数			学級数	生 徒 数			教員数
	本校	分校	計		男	女	計	
22 年 度	109	1	110	1,654	26,875	25,579	52,454	3,177
23 年 度	109	1	110	1,683	27,371	25,908	53,279	3,196
24 年 度	109	1	110	1,684	27,482	25,817	53,299	3,219

高 等 学 校

(各年度5月1日現在)

区 分	学校数			学級数		生 徒 数						教員数	
	全日制	定時制	計	全日制	定時制	全 日 制			定 時 制			全日制	定時制
						男	女	計	男	女	計		
22 年 度	13	2	15	298	29	5,120	6,684	11,804	463	468	931	788	83
23 年 度	13	2	15	298	30	5,051	6,765	11,816	472	481	953	797	83
24 年 度	13	2	15	300	30	4,952	6,939	11,891	493	421	914	794	84

特別支援学校

(各年度5月1日現在)

区 分	学校数	学級数	小 学 部			中 学 部			高 等 部			教員数
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	
22 年 度	4	151	136	60	196	110	65	175	327	179	506	355
23 年 度	4	160	144	68	212	120	60	180	343	184	527	381
24 年 度	4	166	145	70	215	120	63	183	378	205	583	404

2 児 童 ・ 生 徒 表 彰 件 数

区 分	小学校		中学校		特別支援学校		高等学校		総 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
21 年 度	39	51	38	43	0	0	0	0	77	94	171
22 年 度	37	51	37	39	1	0	1	1	76	91	167
23 年 度	39	48	34	47	1	0	0	0	74	95	169

3 進 路 状 況

(比率は小数点以下第2位を四捨五入しているの、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。)

(1) 平成24年度入学及び平成23年度卒業児童生徒数

区 分	入学児童生徒数			卒業児童生徒数		
	男	女	計	男	女	計
小 学 校	9,211	8,879	18,090	9,960	9,425	19,385
中 学 校	9,127	8,447	17,574	8,979	8,530	17,509
高 等 学 校 全日制	1,609	2,391	4,000	1,657	2,164	3,821
定時制	161	116	277	92	89	181

(2) 平成23年度市立中学校卒業者の進路状況

区 分	卒 業 者	進 学 者			就 職 者 そ の 他
		全日制	定時制	通信制等	
男	8,979	7,976	193	586	224
女	8,530	7,884	112	359	175
計	17,509	15,860	305	945	399
比 率 %	100.0	90.6	1.7	5.4	2.3

(3) 平成23年度市立高等学校卒業者の進路状況

ア 全日制課程

区 分	卒 業 者			進 学 者				就職者		専修学校等 入学者		就職をして 進学した者		その他	
				国公立		私 立									
	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
普通科	1, 218	1, 259	2, 477	260	215	631	771	13	18	286	225	—	—	28	30
商業科	26	505	531	—	—	6	101	15	256	5	117	—	—	—	31
工業科	382	122	504	2	3	52	23	276	50	50	46	—	—	2	—
家庭科	0	40	40	—	—	—	17	—	1	—	20	—	—	—	2
音楽科	2	38	40	1	16	—	14	—	—	—	4	—	—	1	4
英語科	6	34	40	—	3	3	23	—	—	3	6	—	—	—	2
総合科	23	166	189	—	1	15	70	8	39	—	54	—	—	—	2
計	1, 657	2, 164	3, 821	263	238	707	1, 019	312	364	344	472	—	—	31	71
比率%	100. 0			58. 3				17. 7		21. 3		0. 0		2. 7	

イ 定時制課程

区 分	卒 業 者			進 学 者				就職者		専修学校等 入学者		就職をして 進学した者		その他	
				国公立		私 立									
	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
普通科	73	80	153	1	—	24	25	15	3	17	35	—	—	16	17
商業科	2	7	9	—	—	1	—	—	2	1	3	—	—	—	2
工業科	17	2	19	—	—	—	—	11	1	2	1	—	—	4	—
計	92	89	181	1	—	25	25	26	6	20	39	—	—	20	19
比率%	100. 0			28. 2				17. 7		32. 6		—		21. 5	

(注) 専修学校等入学者…専修学校（専門課程）、専修学校（一般課程）、各種学校（予備校、洋裁学校等）、又は公共職業訓練機関等に入学した者

(4) 市立中学校、高等学校の進路累年比較

ア 中 学 校

区 分	卒 業 者		進 学 者						就 職 者 そ の 他	
			全日制		定時制		通信制等			
	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率
21 年 度	17, 943	100. 0	16, 248	90. 6	363	2. 0	853	4. 8	479	2. 7
22 年 度	17, 189	100. 0	15, 545	90. 4	339	2. 0	847	4. 9	458	2. 7
23 年 度	17, 509	100. 0	15, 860	90. 6	305	1. 7	945	5. 4	399	2. 3

イ 高等学校（全日制）

区 分	卒 業 者		進 学 者		就職進学者		就 職 者		そ の 他	
	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率
21 年 度	3,707	100.0	2,143	57.8	—	—	605	16.3	959	25.9
22 年 度	3,801	100.0	2,224	58.5	—	—	658	17.3	919	24.2
23 年 度	3,821	100.0	2,227	58.3	—	—	676	17.7	918	24.0

ウ 高等学校（定時制）

区 分	卒 業 者		進 学 者		就職進学者		就 職 者		そ の 他	
	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率
21 年 度	170	100.0	51	30.0	—	—	15	8.8	104	61.2
22 年 度	172	100.0	44	25.6	—	—	18	10.5	110	64.0
23 年 度	181	100.0	51	28.2	—	—	32	17.7	98	54.1

4 児童・生徒の長期欠席と就学免除・猶予状況

(比率は小数点以下第3位を四捨五入しているので、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。)

(1) 平成23年度間長期欠席児童生徒数

ア 長期欠席者総数と長期欠席率

区 分	在 学 者 数			長期欠席者数			長期欠席率 (%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
小 学 校	58,444	55,258	113,702	655	543	1,198	1.12	0.98	1.05
中 学 校	27,371	25,908	53,279	1,099	952	2,051	4.02	3.67	3.85
合 計	85,815	81,166	166,981	1,754	1,495	3,249	2.04	1.84	1.95

(注) 長期欠席者とは、年間を通じて30日以上欠席した者

イ 長期欠席者総数と長期欠席率（欠席理由別）

区 分	長期欠席者数	欠席理由別長期欠席者数			欠席理由別欠席率 (%)		
		身体傷病	不登校	家庭によるもの	身体傷病	不登校	家庭によるもの
小 学 校	1,198	398	465	335	33.22	38.81	27.96
中 学 校	2,051	295	1,395	361	14.38	68.02	17.60
合 計	3,249	693	1,860	696	21.33	57.25	21.42

ウ 長期欠席者の行政区別比較

区 分		千 種	東	北	西	中 村	中	昭 和
小 学 校	在 学 者	6,903	2,867	7,585	6,915	4,985	2,109	4,419
	長 期 欠 席 者	61	26	105	63	56	47	21
	長 期 欠 席 率	0.88	0.91	1.38	0.91	1.12	2.23	0.48
中 学 校	在 学 者	2,836	1,244	3,731	3,285	2,494	842	1,811
	長 期 欠 席 者	72	42	170	125	130	61	46
	長 期 欠 席 率	2.54	3.38	4.56	3.81	5.21	7.24	2.54

エ 欠席理由別・欠席日数別長期欠席者数

区 分			小 学				
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年
在 学 者 (A)			18,528	18,476	18,794	19,172	19,329
長 期 欠 席 者 (B)			147	148	153	231	241
学年別長期欠席率 (B / A × 100) %			0.79	0.80	0.81	1.20	1.25
欠 席 理 由 別	本人によるもの	身 体 傷 病	54	60	50	69	74
		不 登 校	34	37	57	104	105
	家庭によるもの	経 済 的 理 由	0	0	0	0	0
		家 族 の 傷 病	2	1	0	1	7
		保 護 者 の 無 理 解	27	24	23	28	30
		そ の 他	30	26	23	29	25
	30 日 ～ 49 日		72	78	69	102	96
	50 日 ～ 99 日		56	49	45	87	84
欠 席 日 数 別	100 日 ～ 149 日		12	13	20	29	32
	150 日 以 上		6	8	16	12	22
	全 欠 席		1	0	3	1	7

瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
5,005	2,717	11,927	8,166	6,352	9,998	15,261	9,736	8,757	113,702
27	20	175	145	94	87	125	76	70	1,198
0.54	0.74	1.47	1.78	1.48	0.87	0.82	0.78	0.80	1.05
2,134	1,233	5,910	4,247	3,377	4,502	6,964	4,545	4,124	53,279
45	35	286	279	159	150	209	126	116	2,051
2.11	2.84	4.84	6.57	4.71	3.33	3.00	2.77	2.81	3.85

校			中 学 校				
6 年	計	比率 (%)	1 年	2 年	3 年	計	比率 (%)
19,403	113,702		17,960	17,798	17,521	53,279	
278	1,198		516	791	744	2,051	
1.43	1.05	—	2.87	4.44	4.25	3.85	—
91	398	33.22	86	110	99	295	14.38
128	465	38.81	347	533	515	1,395	68.02
0	0	—	2	0	1	3	0.15
2	13	1.09	11	10	8	29	1.41
31	163	13.61	32	88	73	193	9.41
26	159	13.27	38	50	48	136	6.63
116	533	44.49	155	177	150	482	23.50
90	411	34.31	143	222	179	544	26.52
37	143	11.94	120	164	187	471	22.96
28	92	7.68	85	187	189	461	22.48
7	19	1.59	13	41	39	93	4.53

(2) 就学免除・猶予児童生徒数

(平成24年5月1日現在)

[illegible]

第 2 章 教 職 員

1 教職員構成状況

(1) 学校種別職務別教職員数

(平成24年5月1日現在)

区 分	校 (園) 長		教 頭		主 幹 教 諭		教 諭		養 護 教 諭		栄 養 教 諭	講 師		合 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	男	女	男	女	計
幼 稚 園	1	20					5	118					23	6	161	167
小 学 校	221	41	221	42	3	1	1,650	3,425		301	20	57	81	2,152	3,911	6,063
中 学 校	100	9	102	8	5	1	1,509	1,291		131	1	38	24	1,754	1,465	3,219
高 等 学 校	12	1	12	1			463	245	1	23		19	17	507	287	794
	1		3				48	25		4		2	1	54	30	84
特 別 支 援 学 校	4		6	2			142	215	1	8	1	17	8	170	234	404
小 計	339	71	344	53	8	2	3,817	5,319	2	467	22	133	154	4,643	6,088	10,731
合 計	410		397		10		9,136		469		22	287				

区 分	事務職員		実習助手		栄養職員		業 務 士			
							給食調理員		用 務 員	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
幼 稚 園									23	21
小 学 校	108	170			4	93	24	834	288	264
中 学 校	60	75				2			119	113
高 等 学 校	32	9	20	36					14	13
	3	1	2	4					2	1
特 別 支 援 学 校	7	9		(24)	2	1		14	4	4
小 計	210	264	22	(24) 40	6	96	24	848	450	416
合 計	474		(24) 62		102		872		866	

(注) 実習助手欄の()内は、介助職員で別掲。業務士には、嘱託員を含む。

(2) 学校種別年齢段階別教員数 (小、中学校) (平成24年4月1日現在)

区 分	小 学 校						中 学 校					
	男		女		計		男		女		計	
	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率
25歳未満	67	1.2	159	2.9	226	4.1	48	1.6	59	1.9	107	3.5
25歳～29歳	329	6.0	593	10.7	922	16.7	253	8.3	235	7.8	488	16.1
30歳～34歳	312	5.6	550	10.0	862	15.6	228	7.5	155	5.1	383	12.6
35歳～39歳	173	3.1	374	6.8	547	9.9	176	5.8	189	6.2	365	12.0
40歳～44歳	183	3.3	360	6.5	543	9.8	155	5.1	162	5.3	317	10.5
45歳～49歳	253	4.6	481	8.7	734	13.3	216	7.1	161	5.3	377	12.4
50歳～54歳	262	4.7	389	7.0	651	11.8	322	10.6	195	6.4	517	17.1
55歳以上	446	8.1	592	10.7	1,038	18.8	283	9.3	193	6.4	476	15.7
合 計	2,025	36.7	3,498	63.3	5,523	100.0	1,681	55.5	1,349	44.5	3,030	100.0
平 均 年 齢	41歳10月		40歳4月		41歳7月		42歳7月		40歳5月		41歳4月	

- (注) 1 臨時講師(1年未満)、非常勤講師は含まない。
2 比率は小数点以下第2位を四捨五入しているので、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。

2 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師数

(平成24年5月1日現在)

区 別 学校別	学校医	学校医 (眼科)	学校医 (耳鼻咽喉科)	学校医 (精神科)	学 校 歯科医	学 校 薬剤師
小 学 校 (263)	人 263	人 263	人 —	人 —	人 263	人 263
中 学 校 (110)	110	110	110	—	110	110
全日制 (13)	13	—	—	—	13	13
高等学校 単位制 (1)	1	—	—	—	1	1
定時制 (2)	2	—	—	—	2	2
幼 稚 園 (23)	23	—	—	—	23	23
特別支援学校 (4)	4	4	4	4	4	4
計	416	377	114	4	416	416

- (注) () 内は、学校・園数(分校を含む。)

3 教員の採用と異動状況

(1) 教員志願と採用状況

平成23年度実施の教員採用選考により、幼・小・中・高・特別支援学校（小・中学校特別支援学級を含む。）教員及び養護教員合わせて367人を平成24年4月1日付で採用した。

平成23年度実施教員採用選考状況

区 分	志願者数	受験者数	採用者数	採 用 内 訳				
				幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学 校
					(特別支援学級含む)			
幼 稚 園 教 員	139	119	6	6	—	—	—	—
小 学 校 教 員	872	793	183	—	183	—	—	—
中 学 校 教 員	1,386	1,166	141	—	—	115	26	—
高等学校教員								
特別支援学校教員	92	80	11	—	—	—	—	11
養 護 教 員	172	154	26	—	14	10	1	1
合 計	2,661	2,312	367	6	197	125	27	12

(2) 平成23年度末教員異動状況

ア 教員異動の大部分は、平成24年4月1日付で実施した。

イ 教員の異動方針は、次のとおりである。

- (ア) 清新の気を流入し、教育意欲の高揚を図る。
- (イ) 公正かつ適正な異動を行い、人事の刷新を図る。
- (ウ) 広く人材を登用し、学校教育の活性化を図る。
- (エ) 適材を適所に配置し、教職員構成の均衡を図る。

平成23年度末教員異動状況（一般教員）

区 分	転 任	退職及び市外転出
幼稚園	21	4
小学校	559	199
中学校	315	97
高等学校	65	30
特別支援学校	39	11
合 計	999	341

平成23年度末教員異動状況（校（園）長・教頭）

区 分	新 任		転 任		退職及び市外転出	
	校（園）長	教 頭	校（園）長	教 頭	校（園）長	教 頭
幼 稚 園	2	—	3	—	2	—
小 学 校	47	45	42	33	56	9
中 学 校	21	25	13	10	22	3
高 等 学 校	2	2	5	2	3	1
特 別 支 援 学 校	2	2	1	0	2	0
合 計	74	74	64	45	85	13

4 教員人事の活性化

平成15年度から平成18年度に、教育委員会事務局以外の市長部局の職員と校長との相互の人事交流を導入した。

5 教職員表彰件数

区 分	幼稚園	小学校		中学校		特別支援学校		高等学校		総 計		
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
21 年 度	0	5	10	2	0	0	1	0	0	7	11	18
22 年 度	0	2	5	2	5	3	0	0	0	7	10	17
23 年 度	0	1	6	5	0	1	1	0	0	7	7	14

6 教職員の福利厚生

教職員の福利厚生は、主として公立学校共済組合及び財団法人愛知県教育職員互助会の事業として実施されている。また補完的に市立学校教職員で組織する名古屋市教職員福利厚生会が、レクリエーションを主体とした事業を実施している。

7 平成23年度教員免許状取得状況

名古屋市立学校教員で平成23年度中に新たに免許状を取得した件数は次のとおりで、合計89件である。

免 許 状 種 別	件数	計	免 許 状 種 別	件数	計
高等学校教諭専修免許状	10	12	幼稚園教諭専修免許状	0	3
高等学校教諭一種免許状	2		幼稚園教諭一種免許状	2	
高等学校助教諭臨時免許状	0		幼稚園教諭二種免許状	1	
			幼稚園助教諭臨時免許状	0	
中学校教諭専修免許状	8	10	養護教諭専修免許状	1	4
中学校教諭一種免許状	1		養護教諭一種免許状	3	
中学校教諭二種免許状	1		養護教諭二種免許状	0	
中学校助教諭臨時免許状	0		養護助教諭臨時免許状	0	
小学校教諭専修免許状	8	39	特別支援学校教諭専修免許状	0	19
小学校教諭一種免許状	12		特別支援学校教諭一種免許状	3	
小学校教諭二種免許状	19		特別支援学校教諭二種免許状	16	
小学校助教諭臨時免許状	0		特別支援学校助教諭臨時免許状	0	
栄養教諭一種免許状	2	2			
栄養教諭二種免許状	0				

8 教育指導者の派遣事業（名古屋市教育サポートセンター）

学校教育の充実及び円滑な推進を図るため「名古屋市教育人材バンク」を昭和61年7月に教育館内に設置し、臨時講師の発掘、登録及び紹介事務を行っている。平成20年4月より、「名古屋市教育サポートセンター」と名称を変更し、人材を有効に活用するための事業拡大を図る。

平成23年度中の登録者数及び派遣・紹介した講師の人数は次のとおりである。

種 別	登 録 者 数 (23.4～24.3)	登 録 者 総 数 (24.3.31現在)	派 遣 者 数 (23.4～24.3)
臨 時 講 師	825 人	4,286 人	1,840 人

9 学校事務支援センター

学校事務の適正化、効率化を図るため、学校事務支援センターを平成23年4月に開設した。

物品の一括調達や単価用品の入札・契約・支払事務のほか、学校事務の学校間連携の推進に関すること、手引・マニュアルの電子化・更新等、事務支援や事務改善を行っている。

第4部 学 校 教 育

第1章 教 育 指 導

1 平成23年度学校教育の努力目標

学校は、「夢に向かって人生をきり拓く子どもの育成」を期し、豊かな感性と創造力を備え、心身ともに調和のとれた人間形成を図る役割を担っている。

そのため、各学校では、一人一人の持つよさや可能性を理解し、他者とのかかわりの中でその伸長を図るとともに、「生きる力」をはぐくむ教育実践が進められている。一方、学ぶ意欲の向上や学習習慣の確立、いじめ・不登校の解消、運動習慣の確立など、家庭や地域と連携して取り組まなければならない課題もある。

そこで、各学校では、子どもの実態と学習指導要領等並びに移行措置の趣旨を踏まえ、明確な教育目標に基づく創意ある教育活動を学びの連続性を重視しつつ展開していかなければならない。さらに、学校評価や学校評議員制を活用しつつ、主体的に学校運営や教育活動の改善に取り組む「創造していく学校づくり」に努めていかなければならない。

子どもが、笑顔で学校生活を送り、瞳を輝かせて学ぶことができるよう、平成23年度名古屋市学校教育の努力目標を次のように定める。

広がる笑顔 輝く瞳

- 1 基礎的・基本的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現する力の育成に努める。
- 2 創り出す喜びや表現する楽しさ、美しいものや自然に感動する心など、豊かな感性の育成に努める。
- 3 思いやりの心、自律心や公共心、自他の生命や人権を尊重する態度、自分や家族・郷土に対する誇りや愛着など、道徳性の涵養に努める。
- 4 すすんで運動に親しむとともに、望ましい生活習慣を身に付け、生涯を通じて健康・安全で活力のある生活を送ろうとする態度の育成に努める。

2 教育課程の概況

学習指導要領を基準とし、本市教育課程を参考として、各学校で教育課程を編成し、年間35週の授業時間を確保した。

平成23年度の名古屋市立小中学校の授業時間数の設定は、次のとおりである。

小学校標準授業時数（平成23年度）

区 分		第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年	第 5 学年	第 6 学年
各教科の授業時数	国 語	306	315	245	245	175	175
	社 会	—	—	70	90	100	105
	算 数	136	175	175	175	175	175
	理 科	—	—	90	105	105	105
	生 活	102	105	—	—	—	—
	音 楽	68	70	60	60	50	50
	図 画 工 作	68	70	60	60	50	50
	家 庭	—	—	—	—	60	55
	体 育	102	105	105	105	90	90
道 徳 の 授 業 時 数		34	35	35	35	35	35
特別活動の授業時数		34	35	35	35	35	35
総合的な学習の時間の授業時数		—	—	70	70	70	70
外 国 語 活 動		—	—	—	—	35	35
総 授 業 時 数		850	910	945	980	980	980

中学校標準授業時数（平成23年度）

区 分		第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
必修教科の授業時数	国 語	140	105	105
	社 会	105	105	85
	数 学	140	105	140
	理 科	105	140	140
	音 楽	45	35	35
	美 術	45	35	35
	保 健 体 育	90	90	90
	技 術 ・ 家 庭	70	70	35
	外 国 語	105	105	105
道 徳 の 授 業 時 数		35	35	35
特 別 活 動 の 授 業 時 数		35	35	35
総合的な学習の時間の授業時数		50～65	70～105	70～130
選択教科等に充てる授業時数		0～15	15～50	10～70
総 授 業 時 数		980	980	980

3 指 導 方 針

各学校においては、名古屋市学校教育の努力目標を達成するため、一人一人の児童生徒の持つよさや可能性を理解し、その伸長を図るとともに、「生きる力」をはぐくむ適切な教育活動を行うことによって、自らの力を十分に発揮し、自信と希望をもって学校生活を送ることができるようにする必要がある。そのために、次の事項について具体的に検討し、校内での共通理解を図り、創意と工夫のある指導に努める。

【教育課程編成】

教育課程の編成に当たっては、学習指導要領に基づくとともに、本市教育課程を参考にして、児童生徒一人一人の学習状況や興味・関心を的確に把握し、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をはぐくみ、自ら課題を解決しようとする力の育成が図られるよう全体として調和のとれた編成に努める。その際、各教科等の関連、学びの連続性を重視するとともに、地域や学校の実態に応じ、創意工夫を生かした教育活動が展開できるように留意する。

【指導と評価】

- 1 各教科等の指導に当たっては、知的好奇心を喚起する「分かる授業」を展開し、児童生徒の学ぶ意欲を高めるとともに、次の点に留意する。
 - ・ 言語活動の充実を図り、体験的・問題解決的な学習及び自主的・自発的な学習を重視した指導に努める。指導にあたっては、「コミュニケーション能力育成事例集」等を参考にする。
 - ・ 児童生徒が、学習内容を確実に身に付けることができるように個別指導やグループ別指導、繰り返し指導を取り入れる。また、学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童生徒の興味・関心等に応じた課題学習や補充的・発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など、指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実に努める。
 - ・ 学ぶ意欲の向上や学習習慣の確立、運動習慣の確立などについては、家庭と連携して定着を図ることが必要である。
 - ・ 児童生徒が、情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用できるようにする学習活動の充実に努める。
 - ・ 教科書やその他の教材・教具の有効活用や学校図書館、特別教室・施設の計画的な活用に努める。
- 2 児童生徒の個に応じた指導に配慮して、個性の伸長を図るとともに、豊かな心の育成に努め、相互理解に基づく温かい人間関係を育てる。また、より良い人格の形成や社会性の育成を図るために、すべての教育活動を通して、基本的な生活習慣及び集団や社会のルール・マナーを身に付けさせる指導に努める。
- 3 健康教育、人権教育、国際理解教育、環境教育、情報教育等については、他の各教科等との関連付けを図るなど、指導計画に適切に位置付けた指導に努める。
- 4 障害のある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、一人一人の教育的なニーズを把握し、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服するため、計画的・組織的に適切な指導及び必要な支援に努める。

中学校の選択教科（移行期間のみ）については、地域や学校の実態を踏まえ、生徒の特性等に応じた学習活動が行えるように各学校において適切に定める。
- 5 学習の到達目標を明確にして、学習内容の指導の徹底を図るとともに、評価規準を設定して、指導の過程や成果を絶えず評価し、より効果的な指導が行えるよう指導の改善を図るなど、指導と評価の一体化に努める。

4 個に応じた指導

(1) 小学校1年生・2年生の30人学級、中学校1年生の35人学級の全校実施

学校生活の入門期の小学校1、2年生において30人以下の学級を基本として構成し、一人一人を大切にしたいきめ細かな指導を展開することにより、学校生活に早く慣れ親しむことを目的としている。平成21年度より、愛知県と同様、「中1ギャップ」に対応するため、中学校1年生での35人学級を実施している。

(2) 少人数指導の推進

基本教科を中心とした少人数による指導やチームティーチングを通して、児童生徒の基礎学力の定着を図ることを目的としている。

(3) 小学校高学年の教科担任制の推進

基礎・基本の確実な定着を図るとともに、発展的な学習を進めるために、各学校の状況により、小学校高学年において教科担任制の取り組みを推進している。

(4) 学習支援講師

基礎学力の補充が必要な児童生徒の個別指導を促進するために基礎学習講座講師を、各教科における自学自習の機会を広げるために発展学習講座講師を、また、不登校児童生徒や問題行動への対応に取り組む教員をサポートするために不登校対応支援講師や児童・生徒指導支援講師を派遣している。さらに、日本語指導を必要とする児童生徒が多く在籍する学校には日本語指導講師を、通常の学級に在籍している発達障害の児童生徒に対してきめ細かな指導が必要である学校には発達障害対応支援講師を派遣し、学習補充や適応指導の充実を図っている。

5 総合的な学習の時間

(1) 趣旨

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を育成するために、児童生徒の興味・関心などに基づく課題や国際理解、情報、環境、福祉・健康などの課題、地域や学校の特色に応じた課題等に取り組む。小学校3年生から中学校3年生まで実施。

(2) 取り組み例

- 藤前干潟の自然や環境を守る取り組みや福祉についての調べ学習
- 地域の人々の協力を得た中学生の職場体験学習
- 保護者や地域の方々を学習ボランティアとして招いている。
- 「その道の達人派遣事業」で、その道の達人である大学教授・ものづくりの熟練職人・外国人ボランティア・博物館等の学芸員・図書館司書などが学校に出向き、自らの専門分野を児童生徒にわかりやすく教える授業を展開した。

- 環境教育を推進する一つの方法として、「環境学習ウィーク・トライ&アクション」において、児童生徒の主体的な環境保全活動の取り組みをした。

6 生 徒 指 導

- (1) 学校教育全体を通して、共通理解に基づいた生徒指導体制の確立を目指し、望ましい人間関係の育成、一人一人を大切にする個別指導に努めた。
- (2) 小学校低学年では、基本的生活習慣の育成に重点をおき、中学年以上では、生活場面での具体的指導に努めた。また、中学校では教師と生徒、生徒相互の人間的な心のふれあいを重視し、一人一人の生活実態に即した適切な指導と教育相談の充実に努めた。
- (3) 家庭・地域・関係諸機関との連携を密にするとともに、「いじめ」を始めとする児童生徒の問題行動については早期発見・早期対応に努めた。
- (4) 生徒指導対策として、次の事業を実施した。
 - 生徒指導担当教員の連絡会の開催…………… 中学校生徒指導主事連絡会（ブロック・区）
 - 関係諸機関との連絡会の開催…………… 中学校生徒指導連絡協議会（市教委・学校・関係諸機関）
 - 児童・生徒指導活動推進…………… 進路指導、地域別保護者会、要指導児童・生徒家庭訪問、緊急指導対策、中学校生徒指導連絡会、小中学校連絡会、校外補導等
 - スクールカウンセラーの配置…………… 中学校110校、高等学校14校に配置
 - 中・高生による「夢・チャレンジ」支援事業… 16校で実施
 - 基礎学習講座の開設（小・中・特別支援学校）… 非常勤講師をのべ144校に配置
 - 生徒指導校内研修会の開催…………… 外部講師を招き、各中・特別支援学校ごとに開催
 - 高校生徒指導活動推進…………… 要指導生徒家庭訪問、緊急指導対策、生徒指導連絡会、校外補導等
 - 問題行動等の防止対策…………… 中学校ブロックいじめ・問題行動等防止対策
 - ふれあいフレンド事業…………… 小学校86校に配置

7 不登校児童生徒対策

(1) 概 要

- ア 「生活指導の手引」等を参考にして不登校児童生徒への援助・指導や教育相談活動の充実に向けての取り組みを進めた。
- イ 遊び・非行や無気力などによる不登校児童生徒に対しては、13人の生徒指導相談員が臨床心理士のサポートを受け、家庭・学校などへの訪問相談・指導を行った。
- ウ 不登校児童生徒の減少を図るために、不登校対応支援講師を派遣し、児童生徒の実態に合った具体的な不登校対策を推進した。

(2) 名古屋市子ども適応相談センター（愛称：なごやフレンドリーナウ）

心理的な理由により登校できない児童生徒に対して、教育相談、適応指導を行いながら早期に学校へ復帰させることを目的として、昭和63年12月に開設した。平成3年9月には改築移転し、施設・事業の拡充を図った。

教育相談部と適応指導部の二部門による相談・適応指導を行う。

平成23年度の実績等は次表のとおりである。

所 在 地	名古屋市西区城西三丁目20番30号
通所申込者数	242人
学校復帰者数	96人（小学生16人・中学生80人）

8 進 路 指 導

- (1) 中学生に対する進路指導は、主として学級活動の時間に、高校生に対しては、主としてホームルームの時間に行った。
- (2) 自己の個性の理解、進路への関心の高揚、進路の明確化とその吟味、進路情報の理解と活用、望ましい勤労観・職業観の形成、将来の生活設計、適切な進路選択などの指導に努めた。
- (3) 中学校全校に配置した進路指導用コンピュータを活用し、事務量の軽減を図るとともに、学校独自の指導資料の作成や、より適切な進路指導が行えるよう配慮した。
- (4) 中学校全校に整備した進路指導室を活用し、生徒一人一人の実態に即した進路指導の一層の充実を図った。
- (5) 個々の生徒に対する指導の徹底を図るために、生徒の家庭との連絡を密にし、保護者会、進路相談など計画的に実施した。
- (6) よりきめの細かい進路指導の体制を確立するため、非常勤講師あるいは本務教員を配置した。

9 特 別 活 動

教師と児童生徒、児童生徒相互の人間的な触れ合いを基盤に、望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図った。また、集団の一員としての自覚を高め、よりよい生活や人間関係を築いていく資質や能力を身に付けていくよう支援した。

- (1) 児童生徒が児童会・生徒会活動に、自発的・積極的に参加するよう支援した。
- (2) 学級活動においては、児童生徒が自主的に活動の計画や実践をできるよう支援した。
- (3) 児童一人一人が個性の伸長を図り、集団の一員として協力できるように、文化的、体育的、生産的又は奉仕的な活動の全般にわたってクラブを設けるようにした。
- (4) 日常の学習成果を生かし、児童生徒の自主的な活動を助長するような学校行事の実践に努めた。
- (5) 心豊かな実践力のある児童生徒を育てるために、全小中学校で体験活動や地域との交流活動などを実施した。

10 道 徳 教 育

- (1) 学校の教育活動の全体を通して行うことを基本とし、特に、各学校の教育目標、地域や児童生徒の実態を踏まえた全体計画を全教師の共通理解のもとに作成し、効果的な指導に努めた。また、家庭や地域社会との連携を図り、指導の効果を一層高めるように努めた。
- (2) 道徳の時間の指導に当たっては、「生きる力」の育成及び今日的な教育課程に対応した重点指導の内容を明確にし、児童生徒の実態に即した年間指導計画を作成し、その指導実践を通して、よりよく生きるための道徳的実践力を培うように努めた。
- (3) 毎時間の指導においては、読み物資料・「心のノート」の利用、教育機器の活用、体験活動との関連を図るなどし、一人一人の児童生徒の道徳性の育成を図るように努めた。

11 安 全 教 育

(1) 交通安全教育

交通安全指導の手引、名古屋市教育課程（特別活動編）に基づき、地域や学校の実情に即した指導を行った。

交通訓練日の設定や、交通安全行事への積極的な参加により、交通安全の意識の高揚に努めた。

各校の通学路を検討し、登下校の安全確保に努めた。

ア 新入学児童の交通安全対策

新入学児童全員に黄色い帽子を支給し、通学の安全を図った。

新入学児童保護者に対して市長から交通安全メッセージの手紙を送り、交通指導員から「交通安全のお願い」のリーフレットを渡すとともに交通安全講話を行い、交通安全の徹底を図った。

イ 交通安全指導用備品の配置

小学校262校及び特別支援学校4校に自転車用ヘルメットなどの備品を配置した。

ウ 通学路安全対策検討会の開催

通学路の交通安全施設に関する要望事項を、各関係機関と協議・判定し、その結果を各学校に説明した。

関係機関から児童・生徒の交通事故防止や区における安全対策について説明した。

エ 学童交通生活安全協力功労者及び団体への感謝状贈呈

各区に選考委員会を設け、区長の推薦により、教育委員会が対象者を決定し、個人16人、団体16団体に対し、感謝状と記念品を贈呈した。

オ 平成23年度における幼児・児童・生徒の交通事故（教育委員会への届出による）

事故程度別（人）				学校種別（人）				
軽 傷	重 傷	死 亡	計	幼	小	中	高	計
33	20	1	54	0	40	11	3	54

（２）防災教育

東日本大震災の教訓を踏まえ、各学校では防災計画の見直し、検討を行った。

授業時、業間など様々な場合を想定した避難訓練を実施し、緊急時の避難方法の習得に努めた。

12 学校図書館教育

- （１）自ら学ぶ学習態度の育成を目指し、教育活動全体を通して、学校図書館の計画的な利用を図った。
- （２）豊かな人間性の育成を目指し、図書館利用指導や読書指導を通して、読書の習慣化に努めた。
- （３）利用しやすい図書館づくりを目指し、資料整理と施設・設備の改善に努めた。
- （４）「学校図書館の指導の手引き」を活用し、子どもたちの健やかな成長を支える読書活動が推進されるよう努めた。

13 職 業 教 育

- （１）教育課程の運営に当たって、指導内容及び指導方法の工夫と改善を推進した。
- （２）望ましい勤労観・職業観の育成を目指し、インターンシップ（就業体験）を職業に関する専門学科を有する全日制の全ての高校で実施した。
- （３）課題解決能力の育成を図るため、職業に関する全ての学科で「課題研究」の推進を図った。
- （４）全校をインターネットに接続し、ネットワークを活用した模擬取引等の実施をすすめるなど、その教育利用を推進した。
- （５）本市の職業教育の充実・振興を図ることを目的として、商業科・工業科・総合学科の高校生10人を東南アジアに派遣し、現地の産業の視察や体験活動などを行った。

14 野 外 教 育

（１）概 要

名古屋の児童生徒に対して、自然に親しみ豊かな自然環境の中での学習や集団生活を体験させるため、稲武（昭和41年9月開設）及び中津川（昭和45年12月開設）の野外教育センターを利用し、中学校2年生、小学校5年生全員に2泊3日の野外教育を実施した。また、野外学習センター（平成2年5月開設）は、高校生のオリエンテーション・部活動合宿・その他の研修や中学生の野外教育などの場として利用されている。

(2) 施設の概要

施設名	名古屋市稲武 野外教育センター	名古屋市中津川 野外教育センター	名古屋市野外 学習センター
所在地	愛知県豊田市稲武町 井山1番地の19	岐阜県中津川市 苗木4827番地	愛知県豊田市富永町 ヨシガタイラ15番地
施 設	敷地総面積 約315万㎡ 建 物 (延面積) 第一本館 2,950.70㎡ 第二本館 1,553.69㎡ 第三本館 1,376.37㎡ 多目的ホール 1,722.77㎡ 収容人員 600人 第一本館 200人 第二本館 200人 第三本館 200人	敷地総面積 約12万㎡ 建 物 (延面積) 第一本館 4,093.30㎡ 第二本館 2,619.62㎡ 多目的ホール 738.93㎡ 集会室 814.05㎡ 収容人員 700人 第一本館 400人 第二本館 300人	敷地総面積 約123万㎡ 建 物 (延面積) 管理棟 951.29㎡ 食堂棟 1,455.76㎡ 宿泊棟 1,587.10㎡ 体育館 1,332.00㎡ 収容人員 500人

(3) 平成23年度施設利用状況

施 設 名	校 数	参加者合計 (含引率者)
稲 武 野 外 教 育 セ ン タ ー	100 校	17,227 人
中 津 川 野 外 教 育 セ ン タ ー	266	20,879
野 外 学 習 セ ン タ ー	89	6,739

※ 表中のほか、社会教育団体等（60団体、3,949人）が利用した。

15 国 際 理 解

(1) 高校生海外派遣事業

本市では、平成4年から市立商業科・工業科・総合学科に在籍する高校生10人を東南アジアに夏季休業中12日間派遣し、体験学習や現地産業の視察を通して相互理解を深め国際的感覚の向上に努めている。また、平成7年より普通科を設置する市立高校8校より16人をシドニー市の現地高校へ18日間派遣するとともに、シドニー市からの高校生16人を14日間市立高校8校で受け入れてきた。平成21年度より本市からの派遣のみとなり、夏季休業中16日間派遣し、現地校での英語学習、授業体験、交流活動などにより、国際的視野をもった人間の育成を図っている。

(2) 姉妹友好都市児童生徒書画展

本市の姉妹友好都市、ロサンゼルス、メキシコ、シドニー、トリノ、南京へ小中学生の絵画を約400点送った。また、5都市から約400点の絵画を送ってもらい作品交換を通して国際親善に努めた。さらに、南京とは、書の作品約100点ずつの作品交換も行い、書を通じての親善も深めた。これらの作品については、名古屋市博物館において、本市児童生徒の作品とともに11月下旬に展示され、小中学生はもちろん、多数の市民の観覧を受け、国際親善に役立

った。なお、名古屋国際学園の絵画作品と、「ふれあい協定」による中津川市・豊田市（旧稲武町）の小中学生の絵画・書写作品も展示した。

（３）国際理解教育

本市では、昭和55年度より中高等学校の生徒に外国人英語指導助手の指導による学習を体験させ、英語学習に対する意欲を高めるとともに、生徒との直接的な交流による国際理解教育の実践を図っている。平成23年度は、助手95人を中学校全校、高等学校10校へ派遣した。また、商業高校3校（中央高校含む）と総合学科高校1校には高等学校非常勤外国人講師を7人配置し、1校当たり全学年で年間500時間程度生きた英語による学習を体得した。さらに、名東高校にはロサンゼルス市より現職教員2人を配置するとともに、英語に慣れ親しむために小・特別支援学校265校へ英語活動アシスタントを、小学校259校に外国語活動アシスタントを派遣した。

（４）日本語教育が必要な児童生徒の受け入れ

ア 趣 旨

急増する外国人児童生徒の学校生活への円滑な適応を図るとともに、外国人児童生徒との直接的な交流体験を通して日本人児童生徒の国際理解を促進するために本市では以下のような取り組みを行っている。

イ 学校生活への適応指導

日本語教育相談センター（平成23年5月 教育相談室「こんにちは なごや」より改組）に教育経験豊かな日本語学習支援コーディネーターと、ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン語及びハングルが理解できるコンサルタントを配置して、電話等による相談や翻訳・通訳派遣要請に応じた。また、上記言語の会話集及びガイドブック「ようこそなごやへ」を活用して、日本語指導の充実を図っている。

ウ 日本語指導講師の配置

日本語指導が必要な児童生徒が多く在籍する小中学校には、日本語教育適応学級担当教員を配置するとともに、日本語指導講師を派遣し、日本語習得のための個別指導等を行った。

エ 母語学習協力員の配置

中区、港区、緑区に、フィリピン語、ポルトガル語、中国語が話せる母語学習協力員を配置し、拠点校を中心に日本語指導や適応指導の補助を行った。

（５）帰国児童生徒教育

ア 趣 旨

近年、海外から帰国したり、海外へ出国したりする保護者の増加に伴い、同伴する児童生徒の就学・進路や学校への適応にかかわる教育相談が多くなった。そこで本市としては、教

育相談機関と帰国児童生徒教育の研究校の充実を図るとともに、高等学校への帰国生徒の受け入れを実施している。また、中国からの帰国者が増加し、それに伴う児童生徒の教育の重要性が問われるようになってきた。

イ 教育相談機関

名古屋市教育センター等で、次のような事項について相談に応じた。

- 相談内容 1 出国に伴う教育上の問題
2 帰国に伴う進路・就職や学校への適応の問題

相 談 員 名古屋市教育センター担当指導主事

ウ 帰国児童生徒教育研究協議会における研究

最近、海外勤務経験者児童生徒とあいまって中国帰国児童生徒が増加しており、その教育上の問題も複雑化してきた。

(ア) 海外勤務経験者児童生徒数 田代小25人、東山小26人、城山中33人、笹島小23人、笹島中21人

(イ) 中国帰国児童生徒数 浦里小22人、千鳥丘中11人 (平成23年度調査実績)

そこで、これらの問題に対応するために海外日本人学校の教職経験者や、帰国児童生徒教育研究協力校(上記7校)の教員で組織する帰国児童生徒教育研究協議会において、学校生活への早期適応指導、国際理解教育等に関する研究を進めている。指導方法としては学齢相当学年に入級させ、一般児童・生徒とともに学習させること、特別時間割を設けて特定時間に帰国児童生徒を個別指導することで対応した。

エ 帰国児童生徒教育推進校

帰国児童生徒教育研究協力校のうち、笹島小学校と笹島中学校では、特に日本語教育が必要な海外勤務経験者児童生徒への個別指導などを行い、学校生活への適応を図った。また、AETや外国人ボランティアの協力を得て、児童生徒が海外で身に付けた言語や国際的な感覚の保持・伸長を図った。

オ 海外帰国生徒にかかる入学者選抜

海外帰国生徒の高等学校への受け入れ特別措置として、名東高校英語科において、平成21年度一般入学者選抜に先立ち、所定の資格を有する者に特別選抜を実施している。

16 情 報 教 育

(1) 学習用コンピュータの設置及びネットワークの整備

学習用コンピュータは、平成10年度には特別支援学校に各8台のマルチメディア対応のコンピュータの設置、平成11年度からは、小学校22台、中学校42台のコンピュータにサーバを加え、ネットワーク化に対応させ、その後、機器の更新と拡充を図っている。

平成18年度からは、電子黒板とノートパソコンを組み合わせて配備し、教室での活用を進めている。

ネットワークについては、すべての学校で平成22年度末までに校内LANを整備している。現在、名古屋市立の全幼稚園、小・中・特別支援・高等学校412校が一つのネットワークで結ばれ、名古屋市教育センターを通してインターネットにつながっており、安全かつ安心してインターネットが使える環境が整っている。

(2) 情報教育の推進

「郷土学習なごや」などの教育用デジタルコンテンツ、学習リンク集などをネットワーク環境のもとで提供しており、電子黒板を使って、「分かる授業の実現」に取り組んでいる。

また、情報モラルに関して「情報モラルコンテンツ」をパッケージ化して提供し、情報モラル教育を推進している。

(3) 視聴覚教材

名古屋市教育センター情報教育部視聴覚ライブラリーでは、16ミリ映画教材、ビデオ教材、DVD教材などを、学校や社会教育関係団体等へ貸し出している。

17 定 時 制 教 育

(1) 定時制教育の概況

生涯学習社会の中で、定時制高校には、勤労青年だけでなく、さまざまな学習歴をもった生徒が学習の場を求めて入学を希望するようになった。昨今では志望者数も増加傾向に転じている。これに応じて各校では、多様な教育課程の編成や、個別指導、少人数指導、個人面談や家庭訪問等、指導内容・指導方法の工夫・改善に取り組んでいる。

さらには平成11年度には、学年の区分を設けず、多様な選択科目から生徒が自分のペースに合わせて学習計画をたて、修得した単位を積み上げて卒業するという、新しいタイプの課程として、中央高校に本市としては初めて、単位制による課程を新設した。

定時制生徒のための教育条件の整備・充実は、関係方面の協力を得てその実績をあげている。条件に合致した生徒への教科書の無償給付、給食（割子弁当・牛乳）の補助などがその主なものである。

また、魅力ある定時制教育のあり方を求めて、指導内容・指導方法についての実践研究を重ね、修学の喜びを体験させるよう工夫をこらしている。

(2) 平成23年度定時制教育充実のための経費

設 備 費	教 科 書 無償給与費	給 食 費	修 学 指 導 事 業 費	計
円 300,000	円 1,103,000	円 900,000	円 469,000	円 2,772,000

(3) 主な定時制教育振興事業

ア 定時制教育に精励する生徒への激励及び表彰

イ 部活動等での活躍が顕著である生徒への激励及び表彰

- ウ 「名古屋市立高等学校定時制入学案内」（平成24年度生徒募集用パンフレット）「単位制による定時制課程（昼間）普通科」（紹介リーフレット）の作成・配布及び「広報なごや」に生徒募集要項を掲載（1回）
- エ 「定時制の生徒調査と研究紀要」（平成23年度版）の作成・発行
- オ 定時制教育に関する各種調査・研究

18 特別支援教育

（１）概 況

障害のある児童生徒に対して、障害の種類及び程度に応じたきめ細かい教育を行うため、知的障害、弱視、難聴、言語障害、自閉症・情緒障害、肢体不自由及び病弱（病院内）の特別支援学級と、難聴、言語障害、発達障害の通級指導教室を設けると共に、知的な障害の程度が比較的重い児童生徒のために特別支援学校を設置した。また、障害が重いため学校へ通って学習することの困難な児童生徒に対しては、教師が家庭へ出向いて指導する訪問教育を行っている。さらに、軽度の知的障害の生徒のための職業教育を充実するため、平成23年度に守山養護学校高等部に産業科を設置した。小中学校及び幼稚園に在籍する障害のある幼児児童生徒に年間を通して付き添っている保護者等の負担を軽減するために、学校生活介助アシスタントを配置している。また、学級や教科担任との連携を図りながら、発達障害のある幼児児童生徒に対する学校（園）生活全般での介助などを行う発達障害対応支援員を配置している。

（２）就学指導

特別支援学級や通級指導教室、特別支援教育諸学校への入級・入室や入学については、適切な就学をすすめるため医師・学識経験者等の意見聴取者及び教育職員・関係行政職員等の委員からなる就学指導委員会を設けている。

ア 学校別就学指導委員会

市内の各小学校及び中学校に置かれる就学指導委員会で、当該学校の通学区域内に居住する障害のある児童生徒の保護者への就学上の指導及び相談を行う。

イ 区別就学指導委員会

行政区内等に居住する障害のある児童生徒の就学に関する調整並びに、学校別就学指導委員会への指導及び助言をする。

ウ 障害別専門部会

弱視・難聴等の特別支援学級や言語障害・難聴の通級指導教室、特別支援学校については、障害種別に専門部会を開催し、入級・入室及び入学対象者の就学指導を行う。

エ 市就学指導委員会

障害のある児童生徒の障害の程度に応じた特別支援教育諸学校及び特別支援学級への就学について、調査し審議するとともに、学校別就学指導委員会の依頼に応じて指導及び助言を行う。

(3) 特別支援教育の現状

ア 特別支援学級

特別支援学級の種別と入級対象者

種 別	入 級 対 象 者
知的障害学級	知的発達に遅滞がみられ、他人との意思疎通に軽度の困難があり日常生活を営むのに一部援助が必要で、社会生活への適応が困難な者
弱視学級	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が困難な者
難聴学級	補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが困難な者
自閉症・情緒障害学級	自閉症又はそれに類する者等、及び心理的な要因でかん黙等がみられる者
肢体不自由学級	補装具によっても歩行や筆記等日常生活における基本的な動作に軽度の困難がある者
病弱学級 (病院内)	慢性の呼吸疾患その他の疾患等の状態が持続的又は間欠的に医療又は生活の管理を必要とする者
言語障害学級	構音障害、吃音等のある者又は言語機能の基礎的事項に発達の遅れがある者

・ 特別支援学級設置状況一覧表（設置年度は最初の年度を記載）

知的障害学級

（平成24年5月1日現在）

小 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	児童数
千 種	内 山	30	1	5
	春 岡	H13	1	1
	高 見	H17	1	3
	田 代	58	1	3
	自 由 ケ	H17	1	2
	上 野	59	1	4
	富 士 見	56	1	5
	星 ケ	H7	1	6
	宮 根	H18	1	3
東	千 代 田 橋	H20	1	4
	旭 丘	41	1	5
	筒 井	H15	1	3
	矢 田 橋	62	1	4
北	砂 田 橋	H11	1	2
	飯 田	30	1	2
	大 杉	38	1	2
	清 水	H14	1	5
	名 北	58	1	5
	金 城	60	1	2
	城 北	36	1	2
	光 城	H12	1	3
	楠 楠	52	1	2
	味 鉢	H13	1	3
	西 味	H18	1	2
	楠 西	H12	1	1
	宮 前	H14	1	4
	辻	61	1	4
西	上 名 古 屋	36	1	4
	枇 杷 島	H22	1	1
	南 押 切	38	1	3
	庄 内	H22	1	4
	稲 生	59	1	4
	山 田	59	1	3
	平 田	51	1	3
	比 良	56	1	2
	大 野 木	H23	1	4
	比 良 西	H17	1	2
中 村	中 小 田 井	H20	1	4
	中 村	40	1	3
	ほ の か	H14	1	5
	牧 比 野	H21	1	4
	日 柳 津	H20	1	6
		H12	1	3
	稲 葉 地	H24	1	2
	日 吉	36	1	4
	岩 塚	59	1	1
	稲 西	50	1	2
中	八 社	H18	1	2
	栄 原	H21	1	2
	松	H20	1	1

小 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	児童数
中	橘	31	1	2
	老 松	57	1	2
	正 木	H17	1	2
昭 和	吹 上	39	1	3
	村 雲	H20	1	2
	松 栄	30	1	8
	広 路	42	1	2
	川 原	60	1	2
	八 事	H21	1	4
瑞 穂	滝 川	H20	1	3
	弥 富	58	1	3
	堀 田	37	1	3
	汐 路	59	1	3
	瑞 穂	32	1	4
	穂 波	H19	1	4
熱 田	陽 明	H21	1	3
	中 根	H18	1	4
	高 蔵	H15	1	3
	旗 屋	H19	1	4
	千 年	H21	1	4
	白 鳥	31	2	7
中 川	大 立	38	1	2
	宝 宝	H24	1	3
	露 橋	36	1	3
	愛 知	H16	1	1
	八 常	H14	1	2
	荒 幡	30	1	6
	正 幡	H20	1	3
	篠 子	H21	1	7
	戸 色	37	1	1
	音 原	H17	1	2
	豊 田	41	1	2
	千 治	H22	1	4
	万 寺	H19	1	3
	明 場	H7	1	8
	中 正	61	1	5
港	赤 島	H17	1	3
	西 星	H21	1	5
	春 中	H19	1	6
	西 前	H20	1	2
	築 田	H20	1	5
	地 手	H18	1	7
港	大 碓	36	1	4
	小 碓	59	1	5
	高 木	57	1	3
港	南 陽	H16	1	3
	港 楽	40	1	5
	明 徳	51	1	3
港	稲 永	53	1	5
	東 海	H15	1	1

小学校					
区	校名		設置年度	学級数	児童数
港	野	跡	H23	1	3
	当	知	H20	1	5
	正	保	H21	1	3
	福	田	58	1	2
	福	春	H22	1	4
南	豊	田	H22	1	2
	明	治	59	1	4
	伝	馬	H18	1	2
	呼	続	60	1	2
	白	水	42	1	3
	柴	田	H22	1	2
	桜		36	1	2
	菊	住	H19	1	3
	道	徳	49	1	1
	笠	寺	58	1	7
	大	生	39	1	1
	千	鳥	32	1	2
	春	日 野	H11	1	2
	笠	東	H23	1	4
	宝	南	H18	1	3
守山	守	山	36	1	7
	小	幡	H16	1	4
	廿	軒 家	H22	1	7
	大	森	50	1	5
	瀬	古	H16	1	4
	鳥	羽 見	40	1	3
	志	段 味 東	H13	1	6
	白	沢	58	1	4
	苗	代	60	2	9
	本	地 丘	H24	1	3
	森	孝 東	H17	1	3
	森	孝 西	H22	1	2
	小	幡 北	H18	1	5
	吉	根	H19	1	3
	下	志 段 味	H24	1	4
緑	鳴	海	50	1	4
	鳴	海 東	60	1	3
	東	丘	H11	1	6
	平	子	40	1	3
	鳴	子	59	1	3
	大	子 高	61	1	5
	有	松	58	1	7
	緑		48	1	2
	片	平	47	1	1

小 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	児童数
緑	戸 笠	H20	1	4
	太 子	H11	1	1
	浦 里	H20	1	1
	旭 出	H12	1	2
緑	黒 石	55	1	3
	神 の 倉	H16	1	3
	長 根 台	H14	1	2
	桶 狭 間	H18	1	2
	相 原	H16	1	2
	桃 山	H19	1	6
	南 陵	H13	1	5
	大 高 南	H21	1	2
	滝 ノ 水	H21	1	3
	大 清 水	H14	1	5
	常 安	H21	1	3
	小 坂	H17	1	3
	熊 の 前	H20	1	4
名 東	香 流	57	1	4
	高 針	52	1	4
	藤 が 丘	H13	1	2
	名 東	60	1	6
	本 郷	58	1	2
	貴 船	H12	1	3
	引 山	H11	1	1
	平 和 が 丘	H17	1	5
	前 山	H18	1	2
	梅 森 坂	H23	1	2
天 白	北 一 社	H18	1	3
	牧 の 原	H22	1	5
	天 白	40	1	5
	八 事	H16	1	3
	平 針	50	1	1
	植 田	55	1	1
	野 並	H21	1	4
	高 坂	H19	1	4
	し ま だ	60	1	3
	平 針 南	H17	1	2
計	大山坪根	59	1	5
	植 田 南	H18	1	3
	平 針 北	H23	1	3
	植 田 北	H11	1	4
	植 田 北	H18	1	4
	植 田 東	H21	1	2
	(187校)	188	631	

中 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	生徒数
千 種	今池 城山 千種 振台 千甫 種	35	1	4
		59	1	7
		H16	1	3
		41	1	4
		60	1	7
東	あずま 矢田	40	1	6
		58	1	3
北	若葉 志賀 大根 八曾 王子 楠 北	36	1	6
		H23	1	3
		H13	1	3
		34	2	14
		40	1	4
		H23	1	5
西	名塚 天神 山田 平田	58	1	4
		38	1	6
		56	2	13
		60	1	5
中 村	豊国 笈瀬 豊正	36	1	6
		37	1	4
		38	2	10
中	伊勢山	H23	1	4
昭 和	北山 円上 駒方	33	1	3
		42	1	3
		58	2	9
瑞 穂	田光 汐路 津賀 田	H15	1	3
		58	2	14
		38	1	5
熱 田	沢上 宮野 日比	H23	1	5
		59	1	4
		35	1	7
中 川	一色 長良 山王 昭橋 富田 はと 供米 高田 杉	39	1	6
		36	2	14
		35	1	4
		H23	1	4
		45	1	4
		60	1	6
		H24	1	3
		H22	2	11

中 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	生徒数
港	港南 東南 南陽 当知	34	2	11
		37	2	12
		62	1	7
		58	1	6
南	本城 新郊 桜田 大江 明豊 名南 南光	39	1	2
		H22	1	6
		36	1	6
		59	1	3
		H22	1	5
		H13	1	4
守 山	守山東 守山西 志段味 大森	38	2	9
		41	2	13
		H22	2	10
		57	1	3
緑	鳴海 大有 鳴子 東台 千陵 神鳥 扇沢 滝台 左ノ 鎌京 倉倉 台	40	1	3
		H10	1	6
		H10	2	10
		58	1	3
		H16	1	7
		H21	1	2
		H11	1	4
		H15	2	9
		H14	1	5
名 東	猪高 神丘 高針 藤台 森	H21	1	3
		H17	1	5
		H14	1	6
		59	1	6
天 白	天白 御幸 平山 植針 植田	52	1	4
		H19	3	17
		H4	1	7
		59	2	13
計		(72校)	89	443

自閉症・情緒障害学級

小 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	児童数
千 種	内山代ヶ丘野台山根橋	58	1	4
		H22	1	3
		H21	1	4
		H11	1	4
		H14	2	8
		H15	1	4
		H18	1	2
		H24	1	2
東	旭矢砂田	53	1	5
		H19	1	4
		H17	1	3
北	飯清水名金楠味楠宮川辻	H16	1	2
		H21	1	4
		H14	1	3
		H15	1	2
		H4	2	9
		H16	1	4
		H20	1	7
		H22	1	5
		H18	1	3
		H24	1	3
西	児南庄稲山平比良小田	H23	1	3
		H24	1	3
		H24	1	2
		H18	1	2
		H24	1	2
		H22	1	4
		H11	2	10
		H18	1	1
中 村	笹中ほ牧日諏稲岩稲八	H22	1	2
		59	1	3
		H20	1	4
		H24	1	3
		H17	1	4
		H23	1	3
		H15	1	3
		H22	1	3
		H20	1	3
		H16	1	2
中	橘	59	1	2
		H16	1	1
昭 和	吹松広川八滝	54	1	3
		59	1	4
		H15	1	4
		H14・H22	4	19
		H22	1	3
		48	1	6
瑞 穂	弥堀高瑞穂陽中	H20	1	4
		58	1	3
		H24	1	2
		H15	1	3
		H22	1	4
		H19	1	7
熱 田	旗白野	H21	1	4
		H21	1	3
		57	1	3
中 川	愛八常八荒正篠豊千万明中玉赤春	H17	1	1
		H18	1	3
		H7	1	4
		H21	1	4
		H22	1	5
		59	1	1
		H21	1	3
		H24	1	2
		H20	1	3
		H14	1	5
		H22	1	5
		H17	1	1
		H15	1	3
		H22	1	3
		H22	1	2

(平成24年 5 月 1 日現在)

小 学 校					
区	校 名	設置年度	学級数	児童数	
港	東大西高南港明稲東神福	築地手碓地木陽楽徳永海寺田	H18	1	4
			H17	1	3
			H11	1	3
		築地木陽楽徳永海寺田	H21	1	2
			H14	1	1
			H17	1	1
			H20	1	3
			H14	1	4
			58	1	5
			H23	1	2
			H21	1	2
		61	1		
南	豊明呼桜菊笠大大千春日	田治統住寺生磯鳥野	H22	1	2
			H15	1	6
			H15	1	3
			57	1	1
			H22	1	3
			H15	1	2
			H23	1	1
			H24	1	3
			H18	1	1
			H12	1	2
守 山	守廿大瀬鳥志白苗本森森吉	山家森古見東沢代丘東西根	H15	1	3
			H23	1	3
			H17	1	5
			H21	1	5
			57	1	2
			H21	1	6
			H13	1	6
			H19	1	4
			H22	1	4
			H21	1	3
			H14	1	2
			H21	1	3
緑	鳴鳴海東東鳴大有片浦神長桶相南大徳滝小熊の	海部丘子高松平里倉台間原陵南重水坂前	57	1	5
			H24	1	3
			H23	1	3
			H9	1	1
			H10	1	7
			H20	1	5
			H12	1	1
			H15	1	3
			H21	1	2
			H18	1	4
			H18	1	3
			H22	1	5
			H21	1	5
			H22	1	2
			H22	1	3
			H16	1	2
			H13	1	5
			H22	1	4
			H20	1	6
名 東	猪香高藤名本貴引前牧	高流針丘東郷船山山原	H元	1	4
			63	1	2
			H13	1	4
			H15	1	2
			H21	1	5
			H19	1	2
			H14	1	6
			H15	1	3
			H15	1	4
			H22	1	3
天 白	天八平植し表大山植植	白東針田だ山坪根南東	59	1	4
			H18	1	5
			H14	1	2
			57	1	4
			H24	1	2
			H23	1	4
			H23	1	6
			H22	1	2
			H13	1	3
	H21	1	2		
計		(147校)	152	513	

中 学 校					中 学 校				
校 名	設置年度	学級数	生徒数		校 名	設置年度	学級数	生徒数	
今 城 千 振 あ 矢 若 志 大 八	池 山 台 甫 ま 田 葉 賀 根 子	59 H24 H19 H21 59 H10 57 H24 H17 H17 H16	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3 3 1 3 3 4 2 3 2 4 3	山 王 田 里 杉 陽 知 郊 田 江 豊 南 東 西 森 海 松 台 倉 高 台 石 森 白 針	H22 58 H20 H22 H元 H3 H22 59 63 H23 58 59 H2 H19 59 H15 H21 H18 H18 H23 60 H24 H11 57 H23	1 1	2 5 2 5 6 5 3 5 3 4 2 6 12 3 3 4 3 4 2 7 3 8 4 7	
名 天 山 笹 豊 伊 川 (くすのき学園)	塚 山 田 島 正 山 名	H24 63 62 H23 61 62 59・61 H9	1 1 2 1 2 1 2	3 4 10 5 13 3 14	守 山 守 山 大 鳴 有 扇 鎌 倉 倉 猪 高 針 子 猪 藤 天 平	59 H2 H19 59 H15 H21 H18 H18 H23 60 H24 H11 57 H23	1 2 1	6 12 3 3 4 4 3 4 2 7 3 8 4 7	
円 駒 田 汐 津 日 一 長	上 方 光 路 田 野 色 良	59・H24 H20 H21 H元 H24 H23 57 H15 60	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2	3 2 2 8 3 2 2 4 4 10	計	(52校)	57	231	

難 聴 学 級

校 名	設置年度	学級数	生徒数
菊 井 中	49	2	10
計	(1校)	2	10

言語障害学級

校 名	設置年度	学級数	生徒数
菊 井 中	24	1	1
計	(1校)	1	1

肢体不自由学級

校 名	設置年度	学級数	児童生徒数
常 磐 小	H15	1	4
瀬 古 小	H16	1	5
小 坂 小	H18	1	1
当 知 小	H20	1	2
大 野 木 小	H21	1	1
千 代 田 橋 小	H22	1	1
六 郷 北 小	H22	1	2
村 雲 小	H22	1	2
瑞 穂 小	H22	1	3
菊 住 小	H23	1	1
植 田 東 小	H24	1	2
長 良 中	H20	1	2
神 の 倉 中	H22	1	2
守 山 西 中	H23	1	2
計	(13校)	14	30

弱 視 学 級

校 名	設置年度	学級数	児童生徒数
笹 島 小	49	1	2
熊 の 前 小	H20	1	2
計	(2校)	2	4

病院内学級

校名(病院名)	設置年度	学級数	児童数
中村小(第一日赤)	57	2	10
名城小(名古屋医療)	57	1	2
滝川小(第二日赤)	57	1	1
汐路小(市 大)	59	1	1
昭和橋小(掖済会)	60	1	1
港楽小(中部労災)	58	1	0
大高南小(南生協)	57	1	0
計	(7校)	8	15

イ 通級指導教室

・通級指導教室の種別と入室対象者

言 語 障 害 教 室	言語障害がある者で、通常の学級での学習におおむね参加できる者
難 聴 教 室	聴覚障害がある者で、通常の学級での学習におおむね参加できる者
発 達 障 害 教 室	発達障害がある者で、通常の学級での学習におおむね参加できる者

・通級指導教室設置状況一覧表

(平成24年5月1日現在)

言語障害教室

校 名	設置年度	教室数	児童数
東 桜 小	H5 (40)	1	9
牧 野 小	H5 (49)	1	6
井 戸 田 小	H5 (60)	1	6
高 蔵 小	H5 (44)	1	5
成 章 小	H9	1	9
小 幡 小	H7	1	4
鳴 海 小	H7	1	6
表 山 小	H6	1	11
計	(8校)	8	56

難 聴 教 室

校 名	設置年度	教室数	児童数
東 桜 小	H5 (40)	1	8
牧 野 小	H5 (49)	1	2
井 戸 田 小	H5 (60)	1	9
高 蔵 小	H5 (44)	1	6
計	(4校)	4	25

※ () 内は学級としての設置年度

発達障害教室

校 名	設置年度	教室数	児童・生徒数
田 代 小	H18	1	13
星 ケ 丘 小	H22	1	7
矢 田 小	H24	1	9
矢 田 中	H21	1	8
東 志 賀 小	H18	1	14
楠 小	H22	1	9
稲 生 小	H22	1	15
山 田 小	H24	1	8
中 小 田 井 小	H21	1	14
稲 葉 地 小	H21	1	15
八 社 小	H24	1	8
正 木 小	H20	1	7
桜 山 中	H19	1	9
弥 富 小	H22	1	9
豊 岡 小	H21	1	8
白 鳥 小	H22	1	17
大 宝 小	H22	1	9

校 名	設置年度	教室数	児童・生徒数
常 磐 小	H22	1	11
篠 原 小	H19	1	13
万 場 小	H24	1	9
高 木 小	H22	1	8
豊 田 小	H22	1	21
大 磯 小	H19	1	8
廿 軒 家 小	H21	1	12
有 松 小	H18	1	16
旭 出 小	H22	1	8
大 高 南 小	H22	1	11
熊 の 前 小	H22	1	11
猪 子 石 小	H21	1	14
前 山 小	H22	1	7
植 田 小	H22	1	11
し ま だ 小	H20	1	12
計	(32校)	32	351

※県立聾学校による巡回指導

大和小・砂田橋小・辻小・川中小・岩塚小・愛知小・小碓小・稲永小・東海小・廿軒家小・本地丘小・二城小・鳴海小・猪子石小・平和が丘小・植田小・大坪小— 16校 21教室 21名

富士中・御田中・黄金中・港北中・南陽中・港明中・鳴海中・神沢中— 8校 9教室 9名

ウ 名古屋市立特別支援学校（知的障害）

特別支援学校設置状況一覧表

（平成 24 年 5 月 1 日現在）

校 名	開 設 年 度	区 分		小 学 部 1 ～ 6 年	中 学 部 1 ～ 3 年	高 等 部 1 ～ 3 年	計
西養護学校	48	普通科	通 常	48	45	140	233
			訪問教育	2	3	—	5
		計		50	48	140	238
南養護学校	51	普通科	通 常	65	50	184	299
			訪問教育	2	2	—	4
		計		67	52	184	303
天白養護学校	55	普通科	通 常	42	28	69	139
			施設内教育	0	0	—	0
		計		42	28	69	139
守山養護学校	60	普通科	通 常	56	55	137	248
		産業科(H23～)		—	—	53	53
		計		56	55	190	301

（注） 施設内教育の施設とは、子ども青少年局所管のあけぼの学園。

（４）その他

ア 特別支援学級・特別支援学校連合運動会

期 日 8 月 8 日

場 所 日本ガイシスポーツプラザ ガイシホール

参加者 市立小・中学校の特別支援学級・特別支援学校の児童・生徒

イ 特別支援教育展（きらめき展）

期 日 2 月 7 日～14 日

場 所 名古屋市教育センター 1 階展示ホール

出品者 市立小・中学校の特別支援学級・通級指導教室・特別支援学校の児童・生徒

ウ 「名古屋の特別支援教育」の刊行

目 的 一般の学校職員・PTA等に対して、本市の特別支援教育の概要についての理解を図ること。

内 容 特別支援学校及び特別支援学級・通級指導教室の教育、障害の種類、教育措置、就学指導、その他本市の特別支援教育の現状等についての概要

19 幼 児 教 育

（１）幼稚園教育の概況

幼児期は、さまざまな体験を通して、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な時期であ

る。

幼稚園教育は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、一人一人の個性を大切にしながら、家庭と力を合わせ、幼児の健やかな成長や発達を促すことを目的としている。

そして、友達や先生と一緒に生活しながら、自分で行動する意欲や態度、友達を思いやる心などが育つような環境を整えて教育している。

(2) 幼稚園心の教育推進プラン

ア 体験学習の充実

幼稚園において、幼児の心に響く豊かな体験を推進することで、幼児期の健やかな成長を促す。

- ・人形劇や音楽等の鑑賞事業
- ・自然体験、社会体験事業

イ 子育て支援事業

幼稚園は地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を担い、地域の親子に幼稚園の施設や機能を開放し、幼児期の教育に関する相談に応じたり、情報を提供したり、保護者同士の交流の機会を提供したりするなど「親と子の育ちの場」として、子育てを支援する事業を実施している。

- ・園舎、園庭開放
- ・未就園児の親子登園日の設定
- ・子育て相談
- ・子育て井戸端会議
- ・預かり保育（平成24年度は11園で実施）など

(3) その他

「名古屋市立幼稚園の子どもたち」リーフレットの刊行

目的 市民に名古屋市立幼稚園の教育の概要について理解を図る。

内容 名古屋市立幼稚園の教育内容、幼稚園の一日の流れ、名古屋市立幼稚園配置図等についての概要

20 学 校 諸 行 事

(1) 名古屋市教育祭

ア 主 催 団 体

名古屋市教育祭実施委員会（名古屋市教育委員会、名古屋市立高等学校長会、名古屋市立小中学校長会、名古屋市立幼稚園長会、名古屋市立高等学校教員組合、名古屋市教員組合、名古屋市立幼稚園教職員組合）

イ 協 賛 団 体

名古屋市教育会、名古屋市立高等学校PTA協議会、名古屋市立小中学校PTA協議会、名古屋市立幼稚園PTA協議会

ウ 行 事 内 容

- (ア) 展覧会 高等学校は名古屋市民ギャラリー栄において9月20日から6日間、幼稚園は名古屋市博物館において12月6日から6日間、作品を展示した。小・中学校は学校ごとに実施した。
- (イ) 発表会 高等学校は11月5日に音楽会をアートピアホールにおいて実施した。小・中学校は11月9日に音楽会を中京大学文化市民会館プルニエホールにおいて、午前・午後に分かれそれぞれ実施した。

(2) 修学旅行

ア 目 的 地

小学校 (262校)

京都・奈良	259校	京都・奈良・大阪	1校	奈良	1校	金沢	1校
-------	------	----------	----	----	----	----	----

中学校 (109校)

東京・千葉・山梨	15校	東京・千葉	4校	東京・千葉・静岡	4校	東京・静岡	3校
東京・山梨	6校	東京・千葉・長野	1校	神奈川・東京・千葉	5校	その他関東方面	3校
大阪・兵庫	51校	兵庫	2校	その他関西方面	11校	その他の方面	4校

高等学校 (14校 : 18行程)

長野 (スキー)	4校	岡山・広島	1校	広島・兵庫	2校
広島・大阪・神戸	1校	京都・大阪・神戸	1校	長崎・福岡・京都	1校
浜松・山梨	1校	奈良・京都	2校	沖縄	1校
広島・尾道	1校	広島・香川・岡山・兵庫	2校	韓国	1校

特別支援学校 (4校)

小・中学部	静岡・浜名湖	4校
高 等 部	大阪	4校

イ 実施時期

- 小 学 校 5月26校、6月25校、9月47校、10月151校 11月13校
- 中 学 校 5月15校、6月83校、7月5校、9月6校
- 高等学校 5月1校、9月1校、10月9校、11月2校、1月5校
- 特別支援学校 小・中学部 9月1校 10月3校
- 高 等 部 5月2校、10月1校、11月1校

21 開かれた学校づくり

(1) 学校開放週間

1週間程度、保護者や地域の人々の参加・協力を得て学習や行事に取り組むことにより、年間を通じて開かれた学校づくりを進めている。

(2) 学校評議員制

家庭や地域との連携を深め教育活動の充実を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進するために、学校運営のあり方について幅広く意見を聞いている。

平成23年度は、小学校262校、中学校109校、特別支援学校4校、高等学校14校、幼稚園23園の412校（園）で実施。

(3) ホームページの開設

学校から家庭・地域への情報発信のひとつとして学校ホームページの利用を行っている。

22 エコ・フレンドシップ事業

環境問題に対する児童生徒の一層の意識高揚を促し、環境首都なごやを担っていく人材の育成を進めるために、「環境未来探検隊（児童生徒の派遣と交流事業）」「なごや子ども環境会議（成果発表・普及事業）」の2つの事業を行っている。

環境未来探検隊は、名古屋市内の小中学校から公募をし、小学校5年生から中学校3年生127名が集まった。子供たちは、「森」「里山」「海・水辺」「人・企業」「生き物・外来種」「エネルギー」の6つのコースに分かれ、それぞれ体験活動を行い、生物多様性や自然を守るための人々の努力、再生可能エネルギーなどについて学習を深めた。その結果をもとに「なごや子ども環境会議」で成果発表・意見交換を行い、最後に「なごや子ども環境宣言」を話し合ってまとめ、採択した。

23 海外演奏家等による音楽鑑賞の推進

世界のトップクラスの演奏会を学校で開催することにより、音楽を身近な芸術文化として実感させるために、ゲージ弦楽四重奏団と名古屋フィルハーモニー交響楽団木管五重奏による演奏会を、中学校2校、小学校2校で開催した。

第2章 教科用図書採択

1 教科用図書の採択

教科用図書は、学習指導上重要なものであるから、その採択は慎重かつ公正に行わなければならない。教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」に基づき、厳正かつ民主的に、本市児童生徒に最も適した教科用図書を採択する方針を定めた。小学校用教科用図書は平成23年度と同一のものを、中学校用教科用図書は種目ごとに1種のを採択する方針を決定し、教科用図書選定協議会を設置し、その意見を聴いて平成24年度使用教科用図書を採択した。

2 教科用図書の選定

(1) 教科用図書選定協議会

この協議会は、P T A代表、学識経験者、校長、教諭及び教育委員会事務局職員をもって構成する。会議においては、教科用図書選定における選定答申のあり方について調査審議し、教育委員会へ答申した。

(2) 教科用図書の展示会

教科書センターを、鶴舞中央図書館、西図書館及び教育センターに設置した。展示会は、6月11日から7月5日まで開催した。

3 平成24年度使用教科用図書

(1) 小学校用（教科—出版社名）

国語—光村図書、書写・音楽—教育出版、社会・家庭・保健—東京書籍、地図—帝国書院、算数—啓林館、理科・生活—大日本図書、図画工作—日本文教出版

(2) 中学校用（教科—出版社名）

国語・書写・社会（地理）・社会（歴史）—教育出版、社会（公民）・技術家庭・英語—東京書籍、地図—帝国書院、数学—啓林館、理科・保健体育—大日本図書、音楽（一般）・音楽（器楽合奏）—教育芸術社、美術—日本文教出版

第3章 高等学校入学者選抜

1 概 要

平成24年度名古屋市立高等学校入学者選抜は、「平成24年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」に基づき実施した。

全日制課程の入学者選抜は、中学校長より提出される推薦書と調査書及び面接等による「推薦入学」と、調査書及び学力検査（国語、数学、社会、理科、英語）と面接等による「一般入学」により実施した。なお、名東高校国際英語科では「海外帰国生徒にかかる入学者選抜」を行った。

定時制課程においては、中学校長より提出される調査書及び基礎学力検査、作文、面接により実施した。

2 平成24年度募集人数と志願者数等

（1）全日制課程

日程 推薦入学 2月16日（面接）

海外帰国生徒にかかる入学者選抜 2月16日（学力検査及び面接）

一般入学 Aグループ：3月12日（学力検査）、13日（面接）

Bグループ：3月15日（学力検査）、16日（面接）

学 科	募集人数	推薦入学 志願者数	推薦入学 合格者数	一般入学 募集人数	一般入学 志願者数	倍 率	昨年度 の倍率
	人	人	人	人	人		
普 通 科	2,600	618	389	2,211	5,306	2.40	2.21
音 楽 科	40	41	20	20	40	2.00	1.50
国 際 英 語 科	40	13 (1)	13 (1)	27	61	2.26	3.04
商 業 科	560	256	238	322	747	2.32	2.58
工 業 科	520	362	253	267	748	2.80	2.30
家 庭 科 (ファッション文化)	40	37	20	20	57	2.85	2.05
総 合 学 科	200	169	100	100	214	2.14	2.14
合 計	4,000	1,496 (1)	1,033 (1)	2,967	7,173	2.42	2.26

（注）（ ）内は、海外帰国生徒にかかる入学者選抜の再掲。

(2) 定時制課程

日程 前期選抜 3月9日 後期選抜 3月28日

学 科	総募集人員	志 願 者 数	
		前期選抜	後期選抜
	人	人	人
普 通 科（昼間）	160	211	39
普 通 科（夜間）	80	28	25
商 業 科（夜間）	40	14	13
工 業 科（夜間）	40	43	16
合 計	320	296	93

（注）前期選抜の募集人員は、昼間定時制は総募集人員の8割程度、夜間定時制は総募集人員の7割程度。

第 4 章 教職員研修と教育研究

1 名古屋市教育センター

(1) 教育センターの概要

教育センターは、研修・研究調査部門、障害児教育部門、講堂・展示ホールを包括する総合教育センターとして、昭和56年7月16日開所。平成16年4月1日、視聴覚教育センターと情報処理教育センターが統合され、情報教育部が設置された。

教育センターでは、名古屋市立学校教職員の資質向上を図るため、初任者研修など各種の研修を実施するほか、平成8年10月1日に開設した子ども教育相談「ハートフレンドなごや」（教育相談の総合窓口）を通して、幼児から高校生年齢までの子どもの教育・養育上の問題に関するあらゆる相談に応じるとともに、教職員相談を実施している。また、最も重要な教育課題に対する研究を行い、学校現場に還元している。さらに、教育資料の作成・収集及び頒布、教育に関する専門的・技術的事項の調査研究も行っている。

	設立年月日	構 造	建物延面積	所 在 地
教 育 センター	昭和56年 7月16日	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上7階 塔屋2階	m ² 10,870.04	熱田区神宮三丁目 6番14号
分 館 (教育館)	昭和37年 9月1日	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階 塔屋2階	4,965.61	中区錦三丁目16番6号

(2) 平成23年度利用状況

区 分		延 件 数		延 利 用 人 数	
教育センター	主 催 事 業	件	件	人	人
	一 般 利 用	2,075	3,093	34,408	125,264
分 館	主 催 事 業	367	6,064	10,316	121,952
	一 般 利 用	5,697		111,636	
合 計	主 催 事 業	2,442	9,157	44,724	247,216
	一 般 利 用	6,715		202,492	

2 教職員研修の実施

(1) 研 修

(平成23年度)

	研 修 会 名	内 容	対 象	講座 数
基 本 研 修	幼稚園新規採用教員研修会	教員としての心構えや基本的な知識・技能	幼新規採用教諭のうち対象者	1
	初任者研修会	教員としての使命感や基本的な知識・技能	小・中・特新規採用教諭のうち対象者	1
	高等学校初任者研修会	教員としての使命感や基本的な知識・技能	高新規採用教諭のうち対象者	1
	新規採用養護教員研修会	養護教諭としての心構えや基本的な知識・技能	小・中・特新規採用養護教諭のうち対象者	1
	高等学校新規採用養護教員研修会	養護教諭としての心構えや基本的な知識・技能	高新規採用養護教諭のうち対象者	1
	新規採用学校事務職員研修会	学校事務職員としての心構えや基本的な職務内容	小・中・特新規採用学校事務職員全員	1
	教職経験者研修会（Ⅰ）	実践的指導力の養成	小・中・特経験5年目教諭全員	1
	高等学校教職経験者研修会（Ⅰ）	生徒指導・教科指導についての知識や考え方	高経験5年目教諭・養護教諭全員	1
	養護教員経験者研修会（Ⅰ）	学校保健に関する専門的な知識・技能	小・中・特経験5年目養護教諭全員	1
	学校事務職員経験者研修会（Ⅰ）	職務遂行に必要な実務や教育法規	小・中・特経験5年目学校事務職員全員	1
	幼稚園教職経験者研修会（Ⅱ）	幼稚園教員としての幅広い見識・資質の向上	幼経験10年目教諭全員	1
	教職経験者研修会（Ⅱ）	教員としての幅広い見識・資質の向上	小・中・特経験10年目教諭全員	1
	高等学校教職経験者研修会（Ⅱ）	教員としての幅広い見識・資質の向上	高経験10年目教諭全員	1
	養護教員経験者研修会（Ⅱ）	学校保健推進のための専門的な知識・技能	小・中・特経験10・11年目養護教諭全員	1
	高等学校養護教員経験者研修会（Ⅱ）	学校保健推進のための専門的な知識・技能	高経験10・11年目養護教諭全員	1
	学校事務職員経験者研修会（Ⅱ）	一人一人の課題解決と今日的な教育課題の理解	小・中・特経験10・11年目学校事務職員全員	1
	学校栄養職員経験者研修会（Ⅱ）	給食指導・食に関する指導に必要な理論や実務の理解	小・中・特経験10・11年目学校栄養職員全員	1

	研 修 会 名	内 容	対 象	講 座 数
基 本 研 修	事務長研修会（新任事務長研修・事務長研修）	事務長の役割、学校運営への参画・遂行能力の養成	小・中・特の新任事務長全員と経験２年目以上の事務長の希望者	1
	学校間連携拠点校担当者研修会	拠点校担当者としての指導能力・調整能力の養成	小・中・特の学校間連携拠点校の事務長・主査	1
	学校運営研修会（Ⅰ）	教務主任の役割と学校運営	新任教務主任 ２年目教務主任 教務主任全員	1 1 1
	学校運営研修会（Ⅱ）	校務主任の役割と学校運営	新任校務主任 校務主任全員	1 1
	生徒指導研修会	生徒指導の今日的な課題と対応についての理解	小・中・特・高生活指導主任、生徒指導主事又は生活指導関係教諭	1
	情報教育担当者研修会	これからの情報教育のあり方についての理解	幼・小・中・特・高の情報教育担当者等、情報教育を推進する者１人以上	1
	教育相談研修会	教育相談担当者としての校内教育相談の在り方についての理解	教育相談担当教員各校１人及び教員の希望者	1
	新任特別支援学校・特別支援学級等教員研修会	特別支援学校、特別支援学級及び通級指導教室の担当教員としての実務	通常の学級から初めて特別支援学校並びに特別支援学級の担任となった教諭全員、又は新たに通級指導教室の担当となった教諭全員、及び、特別支援学級の担任のうち、本研修未受講の希望者、通級指導教室の担当教諭の希望者	1
	特別支援学校教員研修会	特別支援学校教員として必要な障害の基礎的な知識・理解	特別支援学校教諭全員	1
	特別支援学級・通級指導教室教員研修会	障害のある子どもの理解や指導に関する総合的な知識や今日的課題	特別支援学級の担任、通級指導教室担当教諭全員	1
	幼稚園教育研修会	幼稚園教員としての実践力や見識	幼教諭全員	1
	学校事務職員研修会	学校事務職員にかかわる今日的課題	小・中・特の学校事務職員全員	1

	研 修 会 名	内 容	対 象	講座 数
基 本 研 修	栄養教諭・学校栄養職員研修会	栄養教諭・学校栄養職員としての見識	小・中・特の栄養教諭・学校栄養職員全員	1
	指導改善特別研修	学習指導、児童・生徒理解、意欲使命感、今日的教育課題等	該当教員	1
	講師研修会	教員としての心構え、基本的な指導方法、児童生徒理解	任用1年目の常勤講師・非常勤講師全員	1
	幼稚園教育課程研修会	幼稚園教育課程の講習	幼稚園各園1人	1
	小学校教育課程研修会	小学校教育課程の講習	小学校各教科等教諭代表	1
	中学校教育課程研修会	中学校教育課程の講習	中学校各教科等教諭代表	1
	特別支援教育教育課程研修会	特別支援教育教育課程の講習	特別支援学級担任及び通級指導教室担当教諭代表	1
	高等学校教育課程説明会	高等学校教育課程の講習	高等学校各校、各教科等教諭1人以上	1
	人権教育担当教員研修会	人権教育についての理解	人権教育担当教諭 各校（園）1人	1
経 営 研 修	校（園）長研修会	学校経営と校長の職務	新任校（園）長 経験2年目校（園）長 校（園）長全員	1 1 1
	教頭研修会	学校経営と教頭の職務	新任教頭 経験2年目教頭 教頭全員	1 1 1
専 門 研 修	アイデアいっぱい！ 楽しい授業づくり講座	各教科等の基礎的な指導法及び意欲を高める教材、学習方法	小・中・特2年目以上の教員の希望者	24
	高等学校各科研修講座	教科等の専門的な知識・技能を高める	高各科担当教員	21
	16ミリ映写機等操作技術講座	16ミリ映写機操作技術の習得	幼・小・中・特・高の希望者	1
	コンピュータ講座	学校におけるコンピュータ活用	幼・小・中・特・高の希望者	23
	情報教育研修講座	高校普通教科「情報」等の指導者養成	高の普通教科「情報」等担当者の希望者	1

	研 修 会 名	内 容	対 象	講座 数
専 門 研 修	学校運営推進講座	学校教育の推進を担う教員の 資質向上及び意識改革	小・中・特経験13年目以上 の教諭・養護教諭の希望者	1
	子ども理解を深める ための教育相談講座	子どもが抱えている課題を解 決するための指導・支援の在 り方を専門家を交えて検討	幼・小・中・特・高の経験 20年目以上の教諭・養護教 諭の希望者	1
	教育相談基礎講座： 教育臨床相談研修会	教育相談に関する基本的な知 識・技能の習得	幼・小・中・特・高の経験 6年目以上の教諭・養護教 諭・常勤講師の希望者	1
	教育相談発展講座： 教育相談実践研修会	教育相談を校内の中心となっ て推進するための専門的な知 識・技能の習得	教育臨床相談研修会又は 教育相談集中研修会を修 了した教諭・養護教諭の希 望者	1
	発達障害のある子ども の理解と支援講座	発達障害のある子どもの理解 と支援に関する基礎的知識の 理解	幼・小・中・特・高の教員 の希望者	1
	特別支援学校・特別 支援学級指導法講座	障害のある子どもの指導法に ついての実践的な研修	幼・小・中・特の教諭・養 護教諭・常勤講師の希望者	1
	障害のある子どもの 理解と支援講座	種々の障害に関する理解と障 害のある子どもへの支援の実 際	幼・小・中・特の経験3年 目以上の教諭・養護教諭の 希望者	1
	発達障害支援専門講 座	校（園）内の特別支援教育推 進者としての専門的な知識・ 技能	幼・小・中・特・高の指定 の研修講座を修了した教 諭・養護教諭の希望者	1
	日本語指導を必要と する児童・生徒指導 法講座	日本語指導を必要とする児童 生徒教育に必要な知識・技能	「日本語教育適応学級担 当教員」配置校の教諭・常 勤講師1人及び希望者	1
	小学校外国語活動講 座	小学校外国語活動に関する実 践的な知識・技能	小・特の教諭・常勤講師の 希望者	1
	幼年教育研修講座	幼年教育に関する具体的な問 題の究明と教員としての資質 の向上	幼経験3年目以上の教諭 の希望者	1
	学校事務職員研修講 座	職務遂行に必要な実務・法 規・財務	小・中・特経験3年目以上 の学校事務職員の希望者	5
	学校保健研修講座	児童生徒の心身の健康問題に 対応していくために必要な知 識・技能	小・中・特・高の養護教諭・ 保健主事の希望者	1
	管理監督者のための メンタルヘルス研修	管理職としての職場のメンタ ルヘルス	校（園）長の希望者 教頭の希望者	1 1

	研 修 会 名	内 容	対 象	講座 数
専門 研修	名古屋市美術館における鑑賞教育講座	美術作品の鑑賞のさせ方	教職経験者研修（Ⅱ）受講者のうち希望者	1
長期 研修	特別支援教育研修	特別支援教育に関する具体的な研修課題の追究と専門性の向上	小・中・特の経験4年目以上で45歳以下の教諭・養護教諭の希望者	1
	教育研究員	教育実践における具体的な問題の究明と教員の資質向上	経験年数8年目以上の教諭・養護教諭の希望者	1
	生涯学習研修	生涯学習についての研究	幼・小・中・高・特経験11年目以上の教諭の希望者	1
	長期社会体験研修	教育に対する使命感や情熱の再認識と力量向上	幼・小・中・高・特経験6年目以上の教諭・養護教諭の希望者	1
	若手教員海外派遣研修	今日のかつ喫緊の教育課題の解決の参考となる海外先進事例の調査	経験年数3年目以上で35歳以下の教諭・養護教諭の希望者	1

（２）英語教員海外研修

本市教員の海外研修を通して、本市英語教育の充実と発展に努める。

３ 教員免許状更新講習

本市教員が教員免許状更新講習を所定の期間内に受講する機会を確保するため、教育委員会が開設者となり、夏季休業中に名古屋市立大学で１コース、９月から１０月の土、日曜日に教育センターで１コースの講習を実施した。

４ なごや教師養成塾

教員の大量退職に伴う新規採用教員の増加などに対応するため、実践的な指導力を備えた人材を育成することを目的として開講している。

本市小学校教員を目指す大学生等を対象に、講座と体験研修により、即戦力としての人材を育成することを指導方針としている。

５ 研 究 調 査 等

（１）研 究 調 査

「センター研究」

今日的な教育課題について、実態を把握し、効果的な指導・対応の在り方などを追究し、名古屋市の学校（園）教育の発展に資する研究・調査を行う。

(2) 主な刊行物

ア 「教育センターNAGOYA」

「教育センターNAGOYA」を、第57号から第59号まで編集、刊行した。

イ 「教師となって」

新任教師として必要な専門職としての教師の資質や実践的指導について編集し、初任者研修会資料として刊行した。

(3) 名古屋教育史

名古屋教育史通史編第Ⅰ巻の発刊に向けて資料調査及び編集作業を行った。

6 教育研究資料の利用

(1) 教育センター図書室

昭和22年に「教育課程文庫」として開設されて以来、毎年内外の教育図書の収集整理を行い、その拡充を図っている。研究や研修のための貸出し、調査・相談サービスをする。

区 分	図 書	研 究 資 料	教 科 書	計
	冊	冊	冊	冊
23年度増減数	193	214	156	563
24. 3. 31現在	27, 751	25, 469	13, 406	66, 823

上記の表の区分以外の資料

上記の表の資料の利用実績

ア 雑 誌 初等教育資料始め60種

ア 22年度貸出総数 1, 398冊

イ 新 聞 日本教育新聞始め6種

イ 22年度調査・相談サービス 327件

(2) 教育研究資料の活用

図書資料を始め、各学校や教育研究所などで研究された教育資料を収集・整理している。教育情報検索システムや教育関係文献目録で、閲覧、貸出しの便宜を図っている。

調査普及教科書資料室には、小・中学校の教科書を整備して研究できるようにしている。

7 情報教育ネットワーク

(1) 概 要

平成16年4月、教育センター内に情報教育部ができたことを受け、名古屋市情報教育ネットワークの運用・管理をしている。現在、このネットワークを通して名古屋市立の全幼稚園、小、中、特別支援、高等学校が一つに結ばれている。各学校が安心してインターネットを利用できるように、教育センターではウィルスチェックや有害情報除去のためのフィルタリングを行っている。さらに、外部からの不正侵入を防ぐためのファイヤーウォールも設置し、二重の防御態勢で安心して学習に取り組める環境を得ている。学校からの質問や相談、機器のトラブルに対しては、専用のヘルプデスクを設置し対応している。

(2) 名古屋市情報教育支援サイト「くすのきネットなごや」

児童生徒、教員が教育現場でインターネットをより便利に、かつ簡単に使えるように、名古屋市情報教育支援サイト「くすのきネットなごや」を提供している。

各教科や総合的な学習の時間での調べ学習をはじめ、教員の教材研究や授業支援等でも幅広く活用できる。

- ・ 名古屋市の教育課程に合わせ、校種、学年、教科、単元別に沿った構成を整えるとともに、地域、学区の教材を充実し、名古屋市独自の情報教育支援サイトになっている。
- ・ インターネット等を原因とするトラブルを防止するために、名古屋市独自の情報モラル学習用コンテンツを開発し、児童生徒・教職員だけでなく、保護者に対しても情報モラルコンテンツを配信している。
- ・ 児童生徒、教員により作成された授業のアイデアや指導のコツ、すぐに活用できる教材や資料の登録が容易にでき、共有化を目指している。
- ・ 授業や現職教育の資料を配信し、教員の研修を支援している。

(3) 校内LAN・電子黒板・学習用コンピュータ等の整備

普通教室でICTを活用して「分かる授業」をすることができるように、すべての小・中学校、特別支援学校、高等学校へ、校内LANや移動させて使用できるノートパソコン・プロジェクタ・電子黒板の整備を進めた。

8 教 育 相 談

(1) 教育相談 子ども教育相談「ハートフレンドなごや」

幼児から高校生年齢までの子ども本人、その保護者、学校関係者等から、子どもの教育・養育上の問題に関するあらゆる内容について相談に応じている。

ア 電話相談・来所相談・メール相談

- ・ いじめ、不登校などの学校生活に関わること
- ・ 発達の様子に関わること
- ・ 就学や進路について気掛かりなこと
- ・ 帰国・出国に際しての学校教育のこと 等

イ 訪問相談

- ・ 不登校の小中学生を対象に、家庭を訪問することを基本にして、相談に応じている。

(2) 教職員相談

ア 一般相談

- ・ 子どもの指導や保護者との関わり方、教職員間の悩み（指導主事）

イ 専門相談

- ・ 心の健康問題（精神科医）
- ・ 法律問題（弁護士）

9 学力向上サポート事業

(1) 概 要

各小・中・高・特別支援学校の創意工夫を生かした積極的な教科指導の研究や教育活動の展開を支援し、知的好奇心を喚起する「分かる」授業、感動ある授業を実践することにより、「学力」の向上に資する。またその成果を普及し学校教育の一層の充実を図ることをねらいとする。

(2) 対象事業（事業期間 2年）

区 分	小 学 校	中 学 校	高等学校	特別支援学校	合計
1 課題提示型 教育委員会が提示する今日的な課題に基づく研究	汐路、八幡	振甫	山田	西養護	5校
2 新規創出型 学校の実情から独自に設定した課題に基づく研究	弥富、篠原、赤星、西前田、大清水				5校
3 実績汎用型 これまでの各事業の研究成果を取り入れた研究	金城、松栄、滝川、穂波、道德、平子、平針北		菊里		8校
合 計	14校	1校	2校	1校	18校

10 指導体験記録の募集

幼稚園・小・中・高・特別支援学校教職員の日常指導の中で生じた問題点を、実践的に解明した記録を募集した。平成23年度（第59回）は、552編の応募があった。そのうち特選2編、入選37編、佳作145編を表彰した。

第5章 就 学

1 就 学 援 助

(1) 概 要

就学援助は、経済的理由のため就学困難な児童・生徒の保護者に対して、市が学用品費、給食費等の援助をすることにより、児童・生徒が小・中学校における義務教育を円滑に受けられるようにする制度である。

就学援助の対象となる者は、次に掲げる児童・生徒の保護者である。

ア 要保護児童生徒

生活保護法（昭和25年法律第144号）第6条に規定する要保護者のうち、教育扶助を受けている家庭の児童・生徒

イ 準要保護児童生徒

教育委員会が、生活保護法第6条に規定する要保護者に準ずる程度に困窮していると認定した児童・生徒

ウ 特別支援教育就学奨励費受給児童生徒

特別支援学級に在級している児童・生徒の保護者のうち、その世帯の収入額が需要額の2.5倍未満の者（一部の支給費目を除く）ただし、上記ア及びイを除く。

(2) 平成23年度事業実績

費 目	支 給 人 数	支 給 単 位	支 給 金 額	
			小 学 校	計
			中 学 校	
入 学 準 備 金 (準)	人	円	円	円
	小 1,780	19,900	35,422,000	98,923,700
	中 2,773	22,900	63,501,700	
学用品費・通学用品費 校 外 活 動 費 (準)	小1年 2,016	12,610	202,120,850	416,035,750
	その他 12,603	14,780		
	中1年 2,910	23,880	213,914,900	
	その他 5,791	26,050		
修 学 旅 行 費 (要・準)	小 2,938	(平均) 22,900	67,280,740	209,954,942
	中 2,981	(平均) 47,861	142,674,202	
通 学 交 通 費 (準)	小 3	(所要額全額)	93,440	108,830
	中 1		15,390	
学 校 給 食 費 (準)	小(完全) 14,619	41,800	566,848,241	839,106,677
	中(完全) 65	47,300	2,705,067	
	中 スクールランチ 8,636	1食280+ミルク代	269,553,369	
学 校 病 医 療 費 (要・準)	小 47	(平均) 21,242	998,390	3,092,805
	中 305	(平均) 6,867	2,094,415	

費 目	支 給 人 数	支 給 単 位	支 給 金 額	
			小 学 校	計
			中 学 校	
野 外 活 動 費 (準)	人 小 2,544	円 5,570	円 14,157,490	円 29,150,930
	中 2,717	5,520	14,993,440	
特 別 支 援 教 育 就 学 奨 励 費	小 652	「通学交通費 全額」	18,294,779	32,366,106
	中 295	「その他 限度額」	14,071,327	
合 計		小 学 校	905,215,930	1,628,739,740
		中 学 校	723,523,810	

2 就 学 奨 励

(1) 高等学校（入学準備金）

ア 概 要

勉学の意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な者に対し、名古屋市入学準備金条例（平成16年名古屋市条例第11号）に基づいて、高等学校等に入学するために必要な学資を貸与した。（平成16年度より実施。）

イ 平成23年度事業実績

区 分	貸与額	貸 与 人 員		貸 与 金 額	
国 公 立	300,000円	217人	計	65,100,000円	計
私 立	300,000円	3人	220人	900,000円	66,000,000円

(2) 高等学校（市立高等学校入学料免除）

ア 概 要

高等学校教育の振興に資するため、名古屋市立高等学校入学料免除規則（平成14年教育委員会規則第6号）に基づいて、入学料を免除した。

イ 平成23年度事業実績

区 分	人 員	金 額
入 学 料	281人	1,381,750円

(3) 幼稚園（市立幼稚園授業料及び入学料減免）

ア 概 要

幼稚園教育の振興に資するため、市立幼稚園に就園している園児の保護者に対し、名古屋市立幼稚園授業料等減免規則（昭和47年名古屋市教育委員会規則第22号）に基づいて、授業料等を減免した。

イ 平成23年度事業実績

減 免 区 分		減免額 (年)	人 員	金 額
		円	人	円
市民税所得割額の納税義務を負う者がいない世帯（生活保護世帯を含む）				
同一世帯に小学校1～3年生の兄・姉がいる場合				
兄・姉が1人	在園児1人目	58,000	25	1,400,900
	在園児2人目以降	102,000	0	0
兄・姉が2人以上	在園児1人目以降	102,000	2	200,400
同一世帯に小学校1～3年生の兄・姉がいない場合				
在園児1人目		43,000	45	1,875,400
在園児2人目		73,000	8	578,400
在園児3人目以降		102,000	1	102,000
市民税課税総所得金額等の合計額が169,000円以下の世帯		13,000	7	91,000
市民税課税総所得金額等の合計額が169,000円を超え336,000円以下の世帯		5,000	13	65,000
東日本大震災の被災者		105,400	2	210,800
			103	4,523,900

3 私 学 助 成

(1) 概 要

私立学校における保護者負担を軽減し、私立学校教育の振興に寄与するため、私立高等学校及び私立幼稚園に在籍している方を対象に、名古屋市私立高等学校及び私立幼稚園授業料補助に関する条例（昭和48年名古屋市条例第27号）等に基づいて、授業料等の補助を行った。（平成12年4月に総務局から事務移管された。）

ア 私立高等学校授業料補助 平成23年度事業実績

補 助 区 分	補助額 (年)	人 員	金 額
	円	人	円
愛知県の実施する授業料減免の対象とならない者で、市民税の所得割額が298,500円未満の世帯	26,000	1,314	34,164,000
同298,500円以上388,500円未満の世帯	15,000	1,165	17,475,000
合 計		2,479	51,639,000

イ 私立幼稚園授業料補助 平成23年度事業実績

補 助 区 分		補助額(年)	人 員	金 額
ア	生活保護世帯	円	人	円
		223, 200	19	3, 685, 800
		264, 000	3	682, 000
		303, 000	0	0
		244, 000	2	474, 000
		303, 000	0	0
イ	市民税非課税世帯・市民税所得割 非課税世帯	193, 200	1, 174	216, 652, 200
		249, 000	118	25, 698, 000
		303, 000	3	588, 000
		222, 000	487	102, 143, 400
		303, 000	77	18, 465, 440
		ウ	市民税所得割額が、 34, 500円以下の世帯	109, 200
207, 000	167			31, 851, 600
303, 000	2			324, 000
159, 000	594			93, 358, 000
303, 000	97			22, 239, 180
エ	市民税所得割額が、 183, 000円以下の世帯			48, 600
		175, 000	1, 226	201, 397, 800
		303, 000	9	1, 830, 500
		111, 000	4, 625	505, 900, 400
		303, 000	407	95, 420, 940
		オ	市民税所得割額が、 233, 000円以下の世帯	43, 600
60, 000	216			11, 630, 000
70, 000	4			245, 000
60, 000	939			54, 950, 000
70, 000	62			4, 077, 300
カ	上記ア～オ以外の世帯			32, 000
		37, 000	498	16, 629, 900
		47, 000	7	282, 200
		37, 000	2, 146	76, 103, 000
		47, 000	164	7, 226, 900
		合 計		

(注) 補助区分における補助年額の内訳は、上段から1人目の方、同時在園2人目の方、同時在園3人目以降の方、小学校1～3年生に兄弟がいる場合の2人目の方、小学校1～3年生に兄弟がいる場合の3人目以降の方。

4 越 境 通 学 防 止

(1) 概 要

市立小・中学校への通学は、特別な事情がある場合を除いて住所地の学区の学校へ通学するようになっている。越境通学とは、不正な住民登録を行うなど不当な手続きによって住所

を偽り、通学区の学校に就学せず他学区の学校へ通学することをいう。

こうした越境通学は、行政的には違法な行為であり、人間尊重という教育本来の目的をゆがめ、教育の機会均等をそこなうものである。また、児童・生徒の人間形成を進めるうえからも大きなへい害となり、さらに、義務教育に関する施策に支障を及ぼすことになる。

このような越境通学の防止については、これまで関係者の協力を得て努力してきたが、依然として解消していない。

そのため、防止対策をさらに推進するために、教育委員会・校長会・区長代表・関係局長などで構成する「名古屋市学区外通学防止対策連絡会議」を設置し（昭和53年2月）、「越境入学防止対策基本方針」を決定して、種々対策を講じその解消に一層の努力をしてきた。

（２）越境入学防止対策基本方針

越境入学は、法令に反する行為であるばかりか、児童・生徒の人間形成を進めるうえで教育本来の目的をゆがめるものである。なかでも旧「地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」第2条第1項に規定する対象地域を学区に有する学校（以下「関係校」という）から他校への越境入学は、教育の機会均等・人間尊重のうえから重大な問題を生ずるものである。そのため連絡会議は、越境入学防止について、次の基本方針を決定するものとする。

- 1 越境入学は、発生を防ぐことが重要であり、教育委員会及び各小学校は、小・中学校への入学予定者の保護者に対して適正学区の学校へ入学するよう指導する。また、一般市民に対しても理解を求める。
- 2 教育委員会及び各小・中学校は、実態調査に基づき、現に越境通学していると認められる児童・生徒の保護者に適正学区へ復帰するよう勧告するとともに、あわせて、今後の防止対策の参考資料とするため、各種調査を行う。
- 3 各小・中学校において、小・中学校1年生及び各学年転入学者のうち、入学後に越境通学者と認められたものについては、保護者に対して居住地の学校へ通学するよう説得に努める。
- 4 各区役所窓口においては、学齢児童・生徒を含む世帯分離について慎重に取り扱い、特に関係校を含む学区からの転出については、十分な確認を行うなど、適切な措置をとるものとする。
- 5 越境入学の多い小・中学校及び区は、緊密な連携をはかり、越境入学防止の徹底をはかる。
- 6 市外からの越境入学を防止するため、教育委員会は、近隣市町村及びその教育委員会と緊密な連絡をとり、協力を依頼する。

（３）平成23年度における主な対策

ア 越境通学者の保護者に対して、適正学区の学校に復帰するよう文書で勧告した。

（平成23年7月・12月、24年3月）

イ 区役所における指導

区役所の窓口において、越境通学のためと思われる住民登録の届出について、注意喚起文

書を手渡すとともに誓約書や家主の証明書をとるなど指導を強めた。

越境通学者の保護者に対して、区役所から住所の確認の文書を出し、指導をした。

ウ 教職員への趣旨の徹底

小・中学校の職員室等に啓発ポスターを掲示するとともに、教職員全員にパンフレット（「越境入学を防止するために」）を配布して趣旨の徹底を図った。

全教頭を対象とする研修の場において、越境通学が及ぼすへい害を説明し、防止をしていただくよう指導した。

エ 隣接市町村教育委員会との協議

名古屋市外からの越境入学を防止するため隣接市町村教育委員会と協議し、協力を要請した。

オ 各 P T A への協力依頼

名古屋市立小中学校の各 P T A 会長あてに越境入学防止に関するチラシを配布し、協力を依頼した。

市 P T A 会報紙上に、越境入学防止の啓発文を掲載し、協力を依頼した。

カ 市民・保護者への P R

市民・保護者へは、「広報なごや」等で啓発に努めた。

平成24年度小学校1年生と平成23年度小学校6年生の保護者全員に対し、越境入学防止に関するチラシを配布し、啓発に努めた。

各区役所・支所に越境入学防止についての立看板・ポスターを掲示し、リーフレットを配布するなどして来庁する市民の啓発に努めた。

キ 幼児教育機関への協力依頼

幼稚園・保育所で越境入学防止に関するポスターを掲示した。

ク 区役所職員への趣旨の徹底

職員研修の場において、越境通学が及ぼすへい害を説明し、防止をしていただくよう指導した。

第5部 学校保健、給食、体育

第1章 学 校 保 健

1 児童・生徒・幼児の保健管理

定期健康診断、臨時健康診断及び健康相談を、学校医（眼科・耳鼻咽喉科を含む）・学校歯科医が中心となって実施した。

また、ぎょう虫卵の有無の検査を民間検査機関に委託して実施した。

定期健康診断実施結果は次表のとおりである。

平成23年度学校種別疾病異常の被患率 (%)

性 別	疾病異常 校種別	低 視 力	結 膜 炎	中 耳 炎	慢 性 副 鼻 腔 炎	ア デ ノ イ ド	へ ん とう 肥 大	伝 染 性 皮 ふ 疾 患	心 臓 疾 患	ぜ ん 息	腎 臓 疾 患	う 歯		結 核 性 疾 患
												処 完 了 置 者	未 処 置 あ る 者	
男 子	幼 稚 園	…	—	—	—	—	2.78	—	0.57	0.77	—	11.97	21.07	…
	小 学 校	27.98	2.92	0.27	0.25	0.01	3.75	0.05	1.34	6.20	0.27	28.05	21.18	—
	中 学 校	44.98	1.34	0.20	0.52	0.00	0.89	0.08	1.46	5.31	0.26	20.66	15.05	—
	高等学校	50.29	1.02	0.09	0.14	—	0.80	0.02	1.73	4.63	0.43	30.48	13.67	—
女 子	幼 稚 園	…	—	—	—	—	1.76	—	0.88	0.20	—	9.17	20.59	…
	小 学 校	33.91	2.32	0.22	0.16	0.01	3.22	0.03	1.20	3.87	0.25	26.91	18.03	—
	中 学 校	52.04	0.97	0.21	0.28	—	0.58	0.00	1.29	3.16	0.31	24.02	15.33	0.01
	高等学校	48.96	0.92	0.14	0.15	—	1.41	—	1.72	3.31	0.34	35.02	13.04	—

(注) 表中「…」は調査を実施していないことを、「—」は該当者のないことを表す。

(1) 児童・生徒の疾患対策

ア 心臓検診

小・中・高・特別支援学校1年生の児童・生徒全員を対象に心電図検査を実施した。なお、昭和57年度から心電図判読の省力化、迅速化、診断の均一化を目的としてコンピューターによる自動解析を導入し、昭和60年度から市外から転入した児童・生徒も対象とした。精密検診は専門の医療機関に依頼し、心疾患者に対しては適切な事後指導を行うとともに、学校における指導管理のために個人ごとの管理指導表を作成し、学校医の指導のもとに活用した。昭和59年度から川崎病既往症の小学校1年生に対し運動負荷心電図・心エコー等精密検査を実施した。昭和61年度から必要と認められる者を対象に心エコー図及びホルター心電図を導入した。なお、検診データのコンピューター処理を昭和63年度から小学校1年生、平成元年度から中学校1年生に導入した。平成23年度の結果は次表のとおりである。

区 分	受 診 人 員	要 精 検 査	心 疾 患 者
	人	人 %	人 %
小 学 校	18,476	391 (2.11)	270 (1.46)
中 学 校	17,833	465 (2.61)	394 (2.21)
高 等 学 校	4,225	147 (3.48)	109 (2.58)

イ 屈折検診

名古屋市学校医会に委託して、小学校1～6年生の全児童のうち、矯正視力で両眼とも(D)ランク(0.3未満)であった者を対象に特別精密検診を実施し、117人が受診した。

ウ 腎臓検診

小・中・高・特別支援学校の児童・生徒全員を対象にアンケート調査及び第1次検査を実施し、異常の認められた者についてはさらに第2・3次検査を行った。平成23年度の結果は次表のとおりである。

このうち要再検者に対しては、医師への受診をすすめるとともに、主治医の診断結果の報告を求め、学校医の指導のもとに健康管理を行った。

区 分	受 診 人 員	要 観 察	要 再 検
	人	人 %	人 %
小 学 校	113,434	30 (0.03)	110 (0.10)
中 学 校	52,098	23 (0.04)	85 (0.16)
高 等 学 校	12,580	10 (0.08)	17 (0.14)
特 別 支 援 学 校	873	0 (0.00)	2 (0.23)
計	178,985	63 (0.04)	214 (0.12)

エ 糖尿病検診

小・中・高・特別支援学校の児童・生徒全員を対象にアンケート調査及び尿糖検査を実施し、異常の認められた者については医師への受診をすすめるとともに、主治医の診断結果の報告を求め、学校医の指導のもとに健康管理を行った。平成23年度の結果は次表のとおりである。

区 分	受 診 人 員	要 観 察	要 治 療
	人	人 %	人 %
小 学 校	113,434	1 (0.001)	6 (0.005)
中 学 校	52,098	1 (0.002)	7 (0.013)
高 等 学 校	12,580	0 (0.000)	4 (0.032)
特 別 支 援 学 校	873	0 (0.000)	0 (0.000)
計	178,985	2 (0.001)	17 (0.009)

オ ギョウ虫卵検査

小学校1～3年及び幼稚園児全員を対象にギョウ虫卵検査を行った。平成23年度の結果は次表のとおりである。

区 分	ギョウ虫卵	
	検査人員	保有者
	人	人 %
幼 稚 園	2,164	0 (0.00)
小 学 校	55,626	109 (0.20)
計	57,790	109 (0.19)

カ う歯予防対策

児童・生徒の歯と口の健康づくりのため、歯の衛生週間に協賛し、市内小・中・特別支援学校で歯科保健活動の充実を期し、優れた実践活動を展開している学校を毎年数校表彰して歯科衛生思想の向上を図った。平成23年度の表彰校は、特別優良校が小学校1校、中学校2校、優良校が小学校19校、中学校6校、特別支援学校1校、歯科衛生活動奨励校が小学校3校、中学校3校であった。

また、歯みがきが歯の健康にとってどのような意味を持つのかを児童・生徒に認識させ、自分の歯ならびに合ったみがき方を習慣づけるため、小学校3年生全員を対象に染め出し錠による歯口清掃指導を行った。平成23年度の結果は次表のとおりである。

区 分	受診人員	り患者数	う歯総数	処置歯総数	1人平均う歯数
	人	人	本	本	本
小学校	112,932	13,556	25,121	16,812	0.22
中学校	52,089	18,710	51,606	35,158	0.99

キ 歯科疾患特別健診

歯周疾患対策として全市より抽出した小学校を対象に、歯科疾患特別健診を実施した。平成23年度の結果は次表のとおりである。

区 分		受診人員	歯周疾患要観察者	歯周疾患要治療勧告者
春 期	小学校4年生	人 2,103	人 654	人 141
秋 期	小学校4年生	2,074	553	89

ク アレルギー性疾患対策事業

アレルギー性疾患を早期に発見して、適切な健康管理を行うとともに、健康の保持増進を図ることを目的とし小学校1年生18,676人に対して、内科、眼科、耳鼻咽喉科の検診として行った。平成23年度の結果は次表のとおりである。

区 分	内 科		眼 科	耳鼻咽喉科
	アトピー	ぜん息	アレルギー性結膜炎	アレルギー性鼻炎
要 観 察	人 % 856 (4.58)	人 % 237 (1.27)	人 % 123 (0.66)	人 % 269 (1.44)
要 医 療	154 (0.82)	21 (0.11)	161 (0.86)	440 (2.36)

(2) 児童・生徒の体位

平成23年度の児童・生徒の主な体位は次表のとおりである。

性別	年 齢	項目 年度	身 長 (cm)				体 重 (kg)			
			昭和 46 年	平成 3 年	平成 23 年	全国 平均	昭和 46 年	平成 3 年	平成 23 年	全国 平均
男 子	6 歳 (小学 1 年生)		115.0	116.5	116.6	116.6	20.3	21.3	21.0	21.3
	12 歳 (中学 1 年生)		147.6	151.6	152.3	152.3	39.5	43.6	43.2	43.8
	15 歳 (高校 1 年生)		165.4	168.1	168.4	168.3	54.7	59.2	58.7	59.4
女 子	6 歳 (小学 1 年生)		114.0	115.6	115.7	115.6	19.8	20.8	20.6	20.8
	12 歳 (中学 1 年生)		148.6	151.3	151.9	151.9	40.9	43.4	43.0	43.6
	15 歳 (高校 1 年生)		155.2	157.2	157.2	157.1	50.0	51.2	50.2	51.4

性別	年 齢	項目 年度	座 高 (cm)			
			昭和 46 年	平成 3 年	平成 23 年	全国 平均
男 子	6 歳 (小学 1 年生)		64.5	65.1	64.8	64.9
	12 歳 (中学 1 年生)		79.3	80.8	81.1	81.2
	15 歳 (高校 1 年生)		88.6	89.7	89.9	90.3
女 子	6 歳 (小学 1 年生)		64.0	64.6	64.4	64.4
	12 歳 (中学 1 年生)		80.9	81.6	82.0	82.1
	15 歳 (高校 1 年生)		84.0	85.2	85.1	85.4

2 就学時健康診断

学校保健安全法（昭和33年法律第56号）第11条の規定により、平成24年4月に小学校へ入学する者の心身の状況を把握して適切な就学を図るため、平成23年11月末までに各小学校において実施した。

この健康診断の結果、疾病のあるものについては入学時までには治療して入学するように指導した。また、心身に障害があり、普通学級で学習することが困難と認められる者には、その心身の状況に応じた適切な就学指導・相談を進めた。

3 教職員の保健管理

教職員の健康管理として、健康診断・健康相談・安全衛生教育等を行った。なかでも、メンタルヘルスの重要性に鑑み、総合的な対策として「名古屋市教職員いきいき心の健康づくり計画」を策定した。本計画は、教職員安全衛生委員会及び「元気な学校づくり」プロジェクト会議等での検討を経て、平成24年3月に完成し、平成24年度から平成28年度の5年間を実施期間の目途としている。

(1) 健康診断

学校保健安全法第15条及び教職員安全衛生管理規則（昭和60年教育委員会規則第14号）第16条の規定に基づき、定期健康診断、個別健康診断及び特別健康診断を実施した。

平成23年度の実施結果は次表のとおりである。

① 定期健康診断・個別健康診断

健診区分	受診者数
管 理	人 2,054
一般A	6,240
一般B	1,592
計	9,886

項 目	受診者数	所見なし	要観察及び要医療
	人	人 %	人 %
胸 部	9,787	9,758 (99.7)	29 (0.3)
高 血 圧	9,821	8,756 (89.2)	1,065 (10.8)
腎 臓 病	9,827	8,910 (90.7)	917 (9.3)
糖 尿 病	9,824	9,325 (94.9)	499 (5.1)
心 臓 病	8,221	7,391 (89.9)	830 (10.1)
貧 血	8,225	6,562 (79.8)	1,663 (20.2)
肝 臓 病	8,238	6,083 (73.8)	2,155 (26.2)
脂質異常症	8,239	4,515 (54.8)	3,724 (45.2)
尿 酸	8,218	7,214 (87.8)	1,004 (12.2)

② 特別健康診断

胃検診受診状況

受 診 者	要 精 検 者	出 現 率
人 2,120	人 68	% 3.2

大腸がん検診

受 診 者 数	要 精 検 者	出 現 率
人 3,546	人 158	% 4.5

風しん抗体検査 (抗体値8倍未満……風しんに対する免疫がない。)

受 診 者 数	8 倍 未 満	出 現 率
人 211	人 14	% 6.6

B型肝炎抗体検査

受 診 者 数	無 抗 体 者	ワクチン接種者
人 216	人 57	人 45

V D T業務検診

一 次 検 診	要 二 次 検 診
人 1,438	人 96

要二次検診(77)の内訳

経 過 観 察 等	所 見 な し
人 6	人 71

海外派遣後健康診断

対 象 者	受 診 者
人 5	人 5

(2) 健康相談

教職員課分室にて、保健師等がからだや心の悩みなどについて常時相談に応じた。

電話相談及び個別面接	人 1,414
------------	------------

(3) 安全衛生教育

ア 産業医等が57校（園）へ出向き衛生講話を行った。

イ 教職員の健康を保持・増進するため、健康教室（12回）・予防教室（4回）・安全衛生セミナー（7回）を合計23回開催した。

4 学校環境衛生管理

(1) 感染症予防及び環境衛生管理のために、学校便所の清掃消毒を実施した。

(2) 学校プール衛生対策として、循環ろ過機の設置によるプール水の消毒、浄化、プール施設の清掃及び水質検査を実施した。

(3) し尿浄化槽の維持管理のため、501人以上のし尿浄化槽設置校には技術管理者を配置し、また、し尿浄化槽のある学校には消毒薬品の配布と清掃を実施した。

(4) 飲料水の衛生維持のために、水質検査及び飲料用貯水槽の清掃・消毒を実施した。

5 学校における安全対策

(1) 来訪者への声かけや校内巡視などの日常的な取り組みを始め、各職員の役割や対処方法などを明記した防犯対策・マニュアルを各学校の実情に応じて作成し、緊急時の対応を周知徹底している。また、全校に、防犯カメラやさすまたを整備するとともに、「なごやっ子あんしんメール」の運用を開始し、児童・生徒の登下校時の安全確保を図るための不審者情報を、保護者の登録アドレスへ直接メール配信できるようにした。

(2) 児童の登下校時等の安全確保を推進するために、小学校区毎に「子ども安全ボランティア」等が「通学路の見守り活動」等を実施した。また、警察官OBをスクールガードリーダーとして委嘱し、登下校時の巡回や学校周辺の巡回を実施するとともに、学校、PTA及び地域の方々に対し専門的立場から指導助言を行った。

(3) 登下校時等の安全確保等のために、新入学児童を対象に防犯ブザーを配布した。

6 日本スポーツ振興センター

学校安全の普及・充実に図るとともに、小・中・高・特別支援学校及び幼稚園の管理下において児童、生徒及び幼児に事故が起きた場合、その治療、見舞等に必要な給付等を行うため日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度に加入した。

平成23年度 学校種別加入及び医療費給付状況 (H24. 6. 20現在)

種 別	加入校数	加入人員	給付件数	給付金額
	校(園)	人	件	円
小 学 校	262	113,567	14,837	25,331,916
中 学 校	110	53,237	12,221	58,685,455
高 等 学 校	16	12,758	3,618	26,771,399
特別支援学校	4	900	87	148,092
幼 稚 園	23	2,217	214	348,392
計	415	182,679	30,977	111,285,254

7 名古屋市学校保健会

学校保健の研究及び普及発達を図ることを目的として、学校医・学校歯科医・学校薬剤師・学校(園)長・保健主事・養護教諭・PTA、その他学校保健関係者によって組織されている団体である。

平成23年度に実施した主な事業は、次のとおりである。

- (1) 第62回指定都市学校保健協議会への参加
- (2) 第61回全国学校保健研究大会への参加
- (3) 第54回名古屋市学校保健協議会の開催
- (4) 第44回名古屋市学校保健研究大会の開催
- (5) 平成23年度「名古屋市学校保健優良校」審査
- (6) 学校保健に関する研修会・講演会の開催
- (7) 会報「なごや学校保健」及び「教育医学」の発行
- (8) 各種疾患・歯科疾患・学校環境衛生に関する調査研究

第2章 学 校 給 食

1 学 校 給 食

学校給食は、健康教育の一環として、児童・生徒に、望ましい食事のあり方を理解させるとともに、食事を通して心のふれあいを深め、好ましい人間関係の育成と心身の健全な発達に資するものである。

(1) 学校給食の実施状況

(平成24年5月1日現在)

項目 校別	種 別	実施 校数	実 施 人 員			備 考
			児童生徒数	教職員数	計	
小 学 校	完全給食	校 263	人 112,013	人 7,848	人 119,861	
中 学 校	〃	1	459	36	495	
〃	〃 (スクールランチ)	109	52,840	3,552	56,392	
特別支援学校	完全給食	4	972	469	1,441	訪問教育を除く
高 等 学 校 (定時制)	〃	2	136	—	136	
計		379	166,420	11,905	178,325	

中学校スクールランチについては、ランチルームを整備するとともに、複数メニューからの選択・弁当の持参も認める方法で実施している。

(2) 献立と栄養摂取状況

ア 給 食 内 容

学校給食のねらいは、児童・生徒の栄養改善・健康増進を図るとともに、食事の正しいあり方を体得させ、好ましい人間関係を育成することである。

子どもは大人とちがって、生活をするのに必要なエネルギーのほかに自分自身の体の成長、発育のための栄養素を必要とするので、この成長期にある児童・生徒の食事内容は、体の構成に必要な良質のたんぱく質（特に動物性たんぱく質）、骨の発育に必要なカルシウム、体の調子をよくし、抵抗力をつける各種のビタミンなどが豊富なものでなければならない。

このような点をふまえて栄養管理にあたっては、児童・生徒1人1回当たりの学校給食摂

取基準とその食品構成により、児童・生徒の必要とする栄養量を確保し、家庭において不足しがちな栄養素を補充するよう配意している。

従来の小学校における完全給食は、パン（めん）・牛乳・おかずであったが、昭和55年度からは、食事内容の多様化を目的として米飯を月1回採り入れた。その後も国の方針として米を主食とした日本型食生活の推進がいわれ、本市においても米飯給食を順次拡大し、平成23年度より週3回を週3.5回とし実施している。

また、昭和58年度からは、国際理解教育の一環として、児童が姉妹・友好都市提携している都市の特徴ある料理や食材を用いた食文化の一端に触れ、幅広くその国の国民性や文化などについて学ぶなど、国際的な広い視野に立った好ましい能力を身につけていくことの手がかりとなるよう、姉妹・友好都市給食を実施している。平成16年度からは、「みんなで食べる！なごや産」という地産地消の取り組みを展開しており、現在、港区産の米やトマト、中川区産のみつば、水耕ねぎ、天白区産のにんじん、キャベツ、かぼちゃ、緑区産のたまねぎ、はくさい、ブロッコリー等の市内産野菜を使用しているほか、平成23年度より、愛知県の特産物を取り入れた献立や身近な郷土料理などの特徴ある献立を新たに「ふるさと献立」として位置づけ、食文化に対する総合的な理解を深め、郷土を心の拠り所とする気持ちの醸成を図った。

さらに、平成19年度から食物アレルギーの対策として、一部献立の除去食対応を実施している。

中学校スクールランチの献立については、中学生の発達段階を考慮し、学校給食法に基づき学校給食摂取基準にあわせるとともに、生徒の嗜好や季節感にも留意し、「楽しく・おいしく・バランスよく」という内容で作成している。種類は、ランチルーム用として2種類（A・Bランチ）と教室用として2種類（C・Dランチ）の複数メニューで実施している。

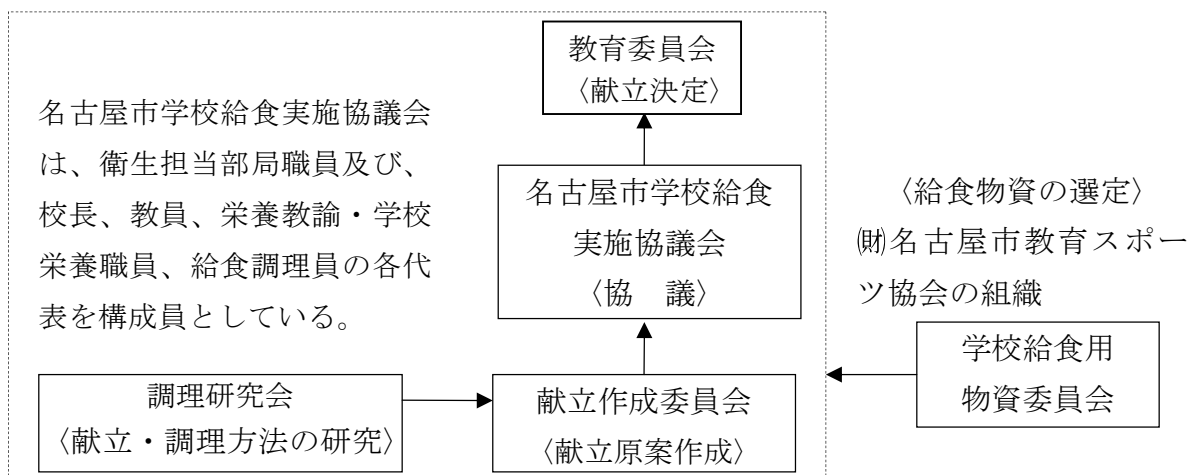
ランチルームメニューは、めん類・どんぶり物・シチューなど温かいメニューをメインとし、教室用のランチボックスでは、季節感・彩りにも配慮し、保温汁わんを使用して温かい汁物やカレー・どんぶりの具もつけている。

なお、東京電力福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質の食品への影響に対する不安を解消するため、平成23年9月より小学校給食及び中学校スクールランチにおいて使用する主な食材の放射性物質の検査を開始し、主な食材の産地情報と併せて名古屋市公式ウェブサイトにおいて公表を行った。

イ 献立のできるまで

「おいしい、楽しい、魅力ある学校給食」を実現するため、給食の基盤となる献立の作成には十分配慮し食事内容の改善充実に努めている。

小学校給食の献立作成過程は、次のとおりである。



献立の作成にあたっては、栄養・衛生・し好に配慮し、学校給食摂取基準に基づく栄養素を児童・生徒が摂取できるように努めている。

調理研究会で検討された献立内容を献立作成委員会に提出し、慎重に審議され、さらに学校給食実施協議会において了承したものを教育委員会が決定し実施される。

中学校スクールランチは、毎月1回の献立会議（献立調理技術会議）を通して、献立の実際のメニューを作成して検討を行ったものを、教育委員会で決定し実施している。

ウ 栄養摂取状況

平成23年度の小学校栄養摂取状況と本市の児童・生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準は、次のとおりである。

区 分	エネルギー kcal	たん ぱく質 g	脂 質 g	食 塩 相当量 g	カルシ ウム mg	鉄 mg	ビタミン				食 物 纖 維 g
							レチノール 当量 μ g	B ₁ mg	B ₂ mg	C mg	
平成23年度 平均(小学校)	627	24.2	18.7	2.5	338	2.4	280	0.55	0.51	19	3.8
本 市 基 準 (小 学 校)	660	20.0	摂取エネ ルギーの 25~30%	2.5未 満	350	3.0	140	0.40	0.50	23	6.0
平成23年度 平均(中学校)	868	34.2	25.3	4.5	397	3.2	470	0.55	0.65	34	5.3
本 市 基 準 (中 学 校)	850	28.0	摂取エネ ルギーの 25~30%	3以下	420	4.0	210	0.60	0.60	33	7.5

(3) 学校給食関係職員の活動等

ア 学校給食研究会

教員が食に関する指導を通して、子どもたちの望ましい食事のあり方と人間関係の効果的な育成について研究を進めている。

イ 栄養教諭・学校栄養職員研究会

学校に勤務する栄養教諭・学校栄養職員で構成され、健康な体と豊かな心を育てる学校給食をめざして、栄養管理上の指導及び食に関する指導の資料作成・研究等を行っている。

ウ 調理員

本市小学校では、単独校調理場方式を採用しており、各学校における日々の調理の中でおいしい魅力ある給食づくりに努めている。

(4) 食に関する指導の推進と充実

「なごやっ子 食に関する指導の手引」、「学校給食指導の手びき」を活用し、食に関する指導の充実を図っている。また、小学校を中心に栄養教諭・学校栄養職員による「食に関する指導」の巡回指導を実施した。

2 運 営 組 織

(1) 名古屋市学校給食実施協議会

名古屋市学校給食実施協議会は、学校給食の円滑な運営を図るため、標準献立作成、連絡調整その他給食実施の総括をしている。

(2) 中学校スクールランチ連絡協議会

中学校スクールランチ連絡協議会は、中学校校長・教員などで構成し、中学校スクールランチの円滑な運営について協議している。

(3) 財団法人名古屋市教育スポーツ協会（学校給食課）

名古屋市立小学校などにおける学校給食の円滑な運営、実施及びその発展に寄与することを目的として、次の事業を行っている。

ア 学校給食に用する物資の調達に関する事業

イ 学校給食の普及奨励に必要な事業

ウ その他この法人の目的達成に必要な事業

具体的な業務内容は、下記のとおりである。

(ア) 給食費の一括精算事務

(イ) 献立作成及び各種協議会等への協力

3 普 及 活 動

(1) 調理員の研修

平成23年度は、食品・調理及び衛生管理に関する知識の向上のため、全員を対象に講演会を実施し、さらに調理技術実習を行った。また、新規採用者を対象に、学校給食に従事するための職員としての心構えと調理実習、調理員経験2年以上の職員を対象に、衛生法規始め7科目の研修を実施するとともに、調理員経験10年以上の職員を対象に職場内における後輩職員等への円滑な指導が行えるよう研修を実施し、調理員の資質及び士気向上を図った。

(2) 学校巡回と夏季衛生講習会

中学校スクールランチ指導員・管理栄養士・栄養教諭・学校栄養職員が巡回し、実施校での実施状況や衛生管理状況などを把握し、各学校の配膳室で調理業者への指導を行っている。また、夏季衛生講習会を開催し、調理業者の従事者に衛生管理指導を実施した。

(3) 試食会

新入生の保護者などを対象として各小学校及び各特別支援学校が開催する試食会（延べ小学校185回、特別支援学校3回）を実施し、学校給食のPRに努めた。

中学校スクールランチでは、各中学校の保護者や次年度入学予定児童、地域の方などを対象に、学校主催の試食会（延べ305回）を実施し、スクールランチへの理解を深めた。

第3章 学 校 体 育

1 学校体育の概要

(1) 基本方針

学校における体育・スポーツ活動は、児童・生徒が生涯を通じて運動を実践するとともに、健康で安全な生活を営むための能力や態度の基礎を育てるため、その調和的な発達を促す価値ある教育活動として学校教育の一翼を担っている。

本市において、学習指導要領に基づく教科体育はもとより運動部活動の振興、学校体育施設の拡充等、児童・生徒が十分な活動ができるよう諸条件を整備し、学校体育の充実と発展を図っていく。

(2) 学校体育の重点施策と事業の概要

ア 学校体育の研究推進

- ・ 教科体育外部指導者派遣事業（中学校教科体育の柔道、剣道の指導者）

イ 学校体育指導者の資質の向上

- ・ 体育実技講習会
- ・ 水泳指導法講習会
- ・ 中・高等学校柔道、剣道指導者講習会
- ・ 野外活動指導者養成講習会（小・中学校）
- ・ 新規採用教員水泳講習会
- ・ スクールダンスサイズ講習会（小・特別支援学校）

ウ 児童・生徒の体力運動能力の育成

- ・ 「元気いっぱいなごやっ子の育成」事業
- ・ 体力・運動能力調査の実施と集計

エ 部活動の振興

- ・ 部活動顧問及び外部指導者の派遣
- ・ 部活動指導者謝金の支給
- ・ 部活動指導者の養成
- ・ 生徒の全国大会等参加費に対する助成
- ・ 各種体育大会の充実
- ・ 名古屋市小中学校体育連盟への助成

オ 学校体育施設の充実

- ・ 学校体育センターの運営

2 各種講習会

体育・スポーツの指導者の資質の向上を図るため各種の講習会を開催し、併せて学校体育の振興に努めた。

平成23年度に実施した主な講習会は、次のとおりである。

講習会名	期 日	参加者数
水泳指導法講習会	5月11日・13日	各校1人344人
部活動外部指導者研修会	6月4日	部活動外部指導者56人
体育実技講習会	6月7・8・10日	小学校260人、中学校86人
新規採用教員水泳講習会	8月2・3・4・5日	小・中・特別支援学校338人
中・高等学校 柔・剣道指導者講習会	8月29・30日 9月6日	柔道52人、剣道57人
野外活動指導者養成講習会 (小・中学校)	8月2・3・4日(中津川) 8月3・4・5日(稲武)	小学校54人(中津川) 中学校41人(稲武)
スクールダンスサイズ講習会	9月27日	小・特別支援学校266人
部活動指導者養成講習会	5月～1月	小・中学校11種目506人 高校1種目112人
各種スポーツ講習会	5月～1月	15種目

3 元気いっぱいなごやっ子の育成

子どもの体力・運動能力の向上を図るとともに、望ましい食生活等の指導を行うことにより、元気いっぱいなごやっ子の育成を目指した。

(1) 今の体力を知り、体力向上を目指そう

児童・生徒が自分自身の現在の体力・運動能力を知り、主体的に体力づくりに取り組んでいくことができる体力アップソフトの活用を行った。

(2) 体力アップに挑戦しよう

特色ある体力づくりに取り組む学校を募集し、実践研究を委嘱した。平成23年度は新たに小学校8校、中学校2校を委嘱し、平成23年度までに小学校82校、中学校15校の97校となった。各校とも全校体制で楽しく体力づくりに取り組んだ。

(3) 食を学んで健康アップしよう

「食生活学習教材」を活用して、望ましい食生活などを身につけさせる食に関する指導を実施した。

4 体力・運動能力調査

児童・生徒の体力・運動能力の現状を明らかにし、健やかな成長発達の指導に役立てることを目的に昭和41年度から継続して体力運動能力の調査を実施し、平成11年度からは、新種目で実施した。

(1) 平成23年度本市児童・生徒の体力の状況

区分	種目 性別 年齢	握 力 (kg)		上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (回)	
		男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	10	16.0	15.6	18.1	16.5	31.1	35.4	39.8	37.6
	11	19.0	18.9	20.6	18.4	34.0	39.0	43.9	41.3
中学校	12	23.1	21.2	24.0	20.6	37.8	41.6	47.3	43.2
	13	28.7	23.4	27.2	23.0	41.8	44.2	50.8	45.0
	14	34.0	25.0	29.7	24.2	46.7	47.3	54.0	46.5

(2) 平成23年度本市児童・生徒の運動能力の状況

ア 小学校児童の運動能力の状況

区分	種目 性別 年齢	20mシャトルラン (回)		50m走 (秒)		立ち幅とび (cm)		ソフトボール投げ (m)	
		男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	10	45.3	34.1	9.4	9.6	153.0	144.4	24.4	14.4
	11	56.9	42.4	9.0	9.3	163.2	153.7	28.3	16.8

イ 中学校生徒の運動能力の状況

区分	種目 性別 年齢	持久走 男・1500m 女1000m (分・秒)		20mシャトルラン (回)		50m走 (秒)		立ち幅とび (cm)		ハンドボール 投げ (m)	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
中学校	12	7' 14"	5' 07"	71.6	51.2	8.8	9.3	172.7	158.1	18.5	12.1
	13	6' 40"	4' 57"	85.9	57.4	8.2	9.0	188.8	162.6	21.3	13.4
	14	6' 23"	4' 59"	92.3	58.1	7.8	9.0	204.0	166.2	23.9	14.3

5 各種体育大会

児童・生徒の体力を増進し、スポーツ精神の育成を目指して各種体育大会を開催している。平成23年度に実施した主な体育大会は、次のとおりである。

体育大会名	期 日	会場・参加者等
名古屋市中学校総合体育大会 男子14種目・女子12種目 (陸上競技・体操・卓球・ソフトテニス・バスケットボール・バレーボール・サッカー・ハンドボール・バドミントン・剣道・水泳・柔道・軟式野球・ソフトボール・ラグビー) (ただし、サッカー・軟式野球・ラグビーは男女混合チームを編成できる)	4月30日～7月28日	瑞穂公園陸上競技場、市内各体育館、市内中学校他 男子 8,894人 女子 6,298人
名古屋市立高等学校体育大会 18種目	7月26日～9月23日	瑞穂公園陸上競技場他 2,899人
名古屋市中学校駅伝競走	10月29日	庄内緑地公園陸上競技場・サイクリングコース 男子 442人(51校) 女子 349人(46校)

6 名古屋市小中学校体育連盟

昭和22年4月に、学校体育の振興を図ることを目的として発足した。現在18部の運動部(陸上競技・水泳・軟式野球・ソフトボール・バスケットボール・バレーボール・ハンドボール・サッカー・ラグビー・ソフトテニス・卓球・体操・ダンス・すもう・柔道・剣道・登山ハイキング・バドミントン)を有し、主として、学校体育(特に教科外体育)の振興に寄与する行事を各部ごとに開催している。

平成23年度には主な事業として、小学校指導会(10種目)、各運動部講習会(15種目)を開催した。

7 名古屋市学校体育センター

(1) 学校体育センターの概要

学校体育センターは、学校建設予定地の有効活用を図り、学校教育にかかる体育大会及び練習などに利用するための施設として、設置されている。

なお、学校教育の諸活動を妨げない限度において、市民のスポーツ及びレクリエーションその他社会教育活動のために利用することができる。

施 設 名	開所年月日	施 設 概 要	所 在 地
平田学校体育センター	平成 5 年 4 月 10 日	体育館・運動場・会議室 敷地面積 10,038.55㎡	西区山木二丁目167番地
天白学校体育センター	平成 5 年 4 月 10 日	体育館・運動場・会議室 敷地面積 13,601.49㎡	天白区菅田一丁目501番地
中川学校体育センター	平成 7 年 4 月 26 日	体育館・運動場・会議室 敷地面積 15,057.34㎡	中川区下之一色町字松蔭 一丁目45番地の 1

(2) 利用状況

平成23年度における利用状況は、次のとおりである。

センター名	体 育 館		運 動 場		会 議 室	
	件	人	件	人	件	人
平田学校体育センター	1,032	39,532	238	18,693	423	7,477
天白学校体育センター	1,123	69,766	307	34,172	639	15,013
中川学校体育センター	1,144	57,537	272	27,011	387	6,709

第6部 生涯学習・社会教育

第1章 生涯学習の推進

1 生涯学習社会を目指して

平成18年12月に教育基本法が改正され、第3条に生涯学習の理念として、「その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」との条文が新設された。

変動する現代社会で生活する人々が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送るために、生涯を通して自ら学ぶ活動として「生涯学習」がますます重要になってきている。

また、同法の社会教育に関する条文においても、「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。」とする改正が加えられた。生涯学習を推進する中核的な役割を担う社会教育行政においては、個人的な興味・関心はもとより、社会共通の課題を解決するための学習の機会及び情報の提供など適切な方法で社会教育の振興に努め、生涯学習社会の構築を目指すことが求められている。

2 生涯学習が必要とされる社会的背景

(1) 社会の変化に対応するための学習の必要性

少子高齢化、科学技術の進展、情報化、国際化や環境問題などの社会の急激な変化によって生じたさまざまな課題に主体的に対応していくためには、学校教育で得た知識・技術だけでなく、絶えず新しく生みだされる知識・教養・技術を生涯にわたって学習する必要性が生じてきている。

(2) 社会の成熟化に伴う学習ニーズの拡大

人々のライフスタイルが大きく変化し、余暇時間の増大、生活水準や教育水準の向上などを背景として、物の豊かさから心の豊かさが求められるようになってきている。そして、価値観が多様化し、生涯を通じての生きがいや自己実現などのために、学習活動への意欲や関心が高まっているとともに、その目的や内容も多様かつ高度なものとなってきている。

(3) 生涯学習による市民の交流と地域活動の発展

市民一人ひとりが生涯にわたって学習することは、多くの人との交流や協調を通して、学習を基盤とした多様な活動が展開され、主体的に社会参加しようとする意欲の醸成につながるものであり、地域社会の活性化やまちづくりを進める上で有意義である。

3 基本方針

市民の学習は、学校や社会教育施設などの教育機関だけでなく、地域や社会の生活において、多様な学習機会を選択することにより、あるいは市民生活のなかで様々な形で行われている。こうした学習をきめ細かく支援していくためには、生涯学習に関連する諸機関の連携を図り、市民の学習環境を総合的に整備していくことが必要である。

本市では、こうした認識にたつて、市民一人一人の高度化・多様化する学習意欲に対応するため、次の基本方針のもとに、各種の取り組みを進めていく。

- (1) いつでも自由に学ぶことができ、その成果を生かして活躍できるような社会の構築をめざして、高等教育機関、民間教育事業者などとの役割分担と連携のもと、市民の多様なニーズに対応した学習機会の提供や活躍の場の充実につとめる。
- (2) 誰もが本に親しみ、必要な資料を入手できる環境づくりをすすめるとともに、情報化に対応した図書館サービスの提供につとめる。
- (3) 子どもから高齢者まで、各年代層において、気軽にスポーツに親しむことができるよう、多彩な事業の発展をはかるとともに、身近な活動の場の確保や地域に根ざしたさまざまな活動の支援をすすめる。

4 平成23年度重点事業

トワイライトスクールの実施

「親学」の展開

あい・あい・あいさつ活動の推進

ファミリーデーなごや

子どもの読書活動の推進

女性の学習活動の支援

生涯学習推進センター・生涯学習センター等の事業の充実

なごや子ども体験活動情報「わくわくキッズナビ」事業の実施

「家庭の日」の普及促進

プラザ事業への参加・参画事業の実施

青少年の自主活動推進事業の実施

文化財保護事業補助の実施

歴史的町並み保存事業の推進

遺跡発掘調査の実施

文化財保護・啓発事業の実施

「歴史の里」の整備

市民スポーツ祭の開催

マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知の開催

なごやかウォークの開催

なごやマイ・スポーツフェスティバルの開催

子どもスポーツフェスタの開催

第67回国民体育大会冬季大会スケート競技会（フィギュア・ショートトラック）

国際スポーツ交流の推進

部活動の振興

地域ジュニアスポーツクラブの育成支援

スポーツ教室の充実

博物館・美術館・科学館の特別展、企画展等の開催

第2章 成人教育

1 成人教育の概況

本市の成人教育は、生涯学習の観点から、市民一般を対象とした学習機会提供、親を対象とした家庭教育の振興、PTAを対象とした組織的活動の助成の3つを主な柱として推進している。なお、市民一般を対象とした学習機会提供としては、市民の多様化する学習要求にこたえるため、生涯学習推進センター、生涯学習センターなど社会教育施設を中心に、現代的課題、なごや学、親学・青少年育成などの講座を地域の実情に合わせて開設した。

(1) 家庭教育事業

ア 家庭教育セミナー

本市社会教育の重点施策のひとつとして、昭和55年度から全市立小・中学校PTAに、それに加え平成6年度からは全市立幼稚園PTA及び特別支援学校父母の会にも委託し、家庭教育セミナーを開設してきた。

	趣 旨	運 営 形 態	参加者
家庭教育セミナー	子どもの健全な成長を図るため、家庭教育に関する諸問題や親のあり方などについて学習を深めることにより、家庭や親のあるべき姿・親の役割やしつけのあり方（親学）などについて認識を深め、よりよい家庭を築こうとする意欲を高める。	- 市立幼稚園・小・中学校PTA、特別支援学校父母の会の計397団体に開設委託、年1回以上実施 「親学」を参考資料に、全体会で基調提案、分散会で討議	延べ 21,270人

イ パンフレット「親学」の発行

子どもにとって親はどうあるべきかを考え、子どもとともに親として成長する楽しさなどについて学ぶ「親学」の普及・推進のため、パンフレット「親学」を発行し、幼稚園・保育園・小・中・特別支援学校の保護者を対象として配布した。

ウ 幼児期家庭教育支援事業

(ア) 「幼稚園の子どもたち」の発行

乳幼児期の教育がその人の生涯にわたっての人間形成に資する面がきわめて大きいにもかかわらず、これらの養育者に対する家庭教育についての学習機会は必ずしも十分とはいえない。そこで、昭和46年度から家庭教育資料を発行し、その役割の一端を果してきた。

「親学」を柱に親としてのあり方を考える素材を提供することを編集方針とし、幼稚園の保護者を対象として年間3回配布した。

(イ) 家庭教育相談事業

全市立幼稚園で、専門家による子育て相談を実施した。

エ 地域ふれあい実践講座

家庭の教育機能を充実させるため、系統的に学習する場として昭和39年度から、家庭教育学級を開設してきたが、平成16年度より、事業名を「地域ふれあい実践講座」に改称し、親や地域の大人が子どもとの関わりをもつための実践的な活動手法について学習する機会を提供している。

平成23年度地域ふれあい実践講座一覧

区 分	実 施 機 関	受講者（人）
地域ふれあい実践講座	大和小、桜丘小、楠小、浮野小、諏訪小、平和小、川原中、井戸田小、高蔵小、長良中、東海小、笠寺小、大森中、大高小、平和が丘小、表山小	543

オ 子どもはつらつ基金事業

子どもの健全育成の一層の促進を目的とした学校・家庭・地域が協力・連携する地域の特色ある事業に対して助成した。

カ 「家庭の日」普及促進

昭和41年以来、親子のふれあいのある、明るい家庭づくりを促進するため、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めており、各種啓発資料や広報誌等により関係機関や団体、市民への普及啓発に努めた。また、「家庭の日」のポスター・作文の募集を行った。

キ ファミリーデーなごや

家庭の大切さや家庭の素晴らしさについて改めて考えるイベント「ファミリーデーなごや」を、市立幼稚園・小中学校PTA協議会などの協力により12月3日に名古屋国際会議場で開催した。参加者は約2万4千人。

ク e-ねっと*なごや

いつでも、どこでも学習できるように、平成16年度からインターネットを活用した講座を開設し、「現代的課題」「なごや学」「親学」に関する内容のコンテンツを動画とテキストで配信している。（平成24年3月末現在42講座）

ケ 「おやじの会」の促進

父親や地域の男性に親学の普及・啓発をめざすとともに、家庭教育や地域活動への参加を促すため、「おやじの会」「おやじクラブ」の結成や活動の促進を図っている。

コ 親学推進協力企業制度

企業(団体)に親学推進協力企業(団体)として登録してもらい、登録企業(団体)に、保護者である従業員が「親学」にふれる機会を提供してもらうことで「親学」の推進を図った。平成19年度から登録を開始し、平成24年3月末現在で150の企業(団体)が登録している。

サ 地域探検隊促進事業

地域に眠る歴史・文化・自然に係わる資産を探す「地域探検隊」活動を促進するため、市民や子ども、親子などを対象とした講座やイベントを開催した。

シ あいさつ活動の推進

あいさつの大切さを再確認するとともに、PTA、学校、地域と連携し、朝のあいさつ活動をきっかけとして、地域の大人と子どものつながりを深めるため、本年度から「あい・あい・あいさつ活動」を推進した。

(2) PTA活動

父母と教師の協力によって、子どもの健全な成長を図り、また、自らも学習する団体であるPTAを対象に指導者研修事業を始め、成人教育活動、非行防止活動等の諸活動への助成を行った。

ア PTAの団体数・会員数

(平成23年5月1日現在)

種 別	団体・会員数 (団体)	P T A 会 員 数			
		保護者 (人)	教師 (人)	その他 (人)	計 (人)
小 学 校	262	88,554	6,030	1,278	95,862
中 学 校	108	49,064	3,196	55	52,315
高 等 学 校	15	12,626	880	28	13,534
幼 稚 園	23	2,026	159	3	2,188
計	408	152,270	10,265	1,364	163,899

イ PTA指導者研修

(ア) 幼稚園PTA指導者研究集会

a 全 体 会

日 程 10月25日

会 場 女性会館

講演テーマ 「ぼくの絵本作り ～『けんかのきもち』を中心に」～

講 師 画家・絵本作家 伊藤秀男氏

b 分 科 会

日 程 11月15日

会 場 女性会館

研究テーマ 第1分科会「つながりやふれあいを広げるPTA活動はどうあればよいか」

第2分科会「幼児が心身ともに豊かに育つためのPTA活動はどうあればよいか」

(イ) 小中学校PTA指導者研究集会

a 市 集 会

日 程 6月8日

会 場 市公会堂

講演テーマ 「PTA活動の活性化に向けて

～リーダーシップとコミュニケーション～」

講 師 梶山女学園大学教授 吉田 あけみ氏

b 区 集 会

区	会 場	月 日	区	会 場	月 日
千種	ルブラ王山	6. 29	熱田	熱田区役所等複合施設	6. 27
東	ウィルあいち	7. 5	中川	富田北地域センター	6. 14
北	北生涯学習センター	6. 30	港	港区役所他	6. 29
西	サンライフ名古屋	7. 1	南	南生涯学習センター他	7. 5
中村	中村生涯学習センター	6. 30	守山	守山生涯学習センター	7. 5
中	青少年文化センター	7. 8	緑	緑信用農業組合	7. 6
昭和	昭和生涯学習センター	7. 12	名東	名東文化小劇場	7. 6
瑞穂	瑞穂陸上競技場	7. 5	天白	天白生涯学習センター	6. 24

(ウ) 高等学校PTA指導者研究集会

a 全 体 会

日 程 10月25日

会 場 女性会館

講演テーマ 「東日本大震災に学ぶ防災教育の必要性」

講 師 名古屋大学大学院教授 福和伸夫氏

b 分 科 会

日 程 11月24日

会 場 女性会館

研究テーマ 第1分科会 「みんなでできるPTA活動

～参加してみたいくなる企画づくり～」

第2分科会 「命の大切さ」

(エ) 幼・小・中・高PTA指導者研究大会（PTA活動研究大会）

日 程 2月7日

会 場 市公会堂

講演テーマ 「子どもの心に寄り添って」

講 師 心のアドバイザー 西村則子氏

ウ PTAパトロール活動

心身ともにたくましい青少年の育成を願って、市立小中学校PTA協議会との共催により、PTA全市一斉パトロールを実施し、児童生徒にとって有害な環境をなくすように努めるとともに、非行防止活動を積極的に展開した。

実施期間・参加人員	夏 7月12日～29日	11,166人
	冬 12月1日～15日	10,765人
	春 3月1日～15日	10,341人

2 女 性 教 育

(1) 女性教育の概況

社会変化により、女性のライフスタイルや家庭生活も大きく変わってきている。また、男女共同参画社会の実現をめざし、家庭・地域・職場などで女性が男性とパートナーシップを図り、個性と能力を発揮し活躍することが今後ますます期待されている。

こうした中で女性の能力の向上を図るとともに、男女平等意識の醸成や女性のエンパワーメント（主体的な力をつけること）をめざすことが大切になってくる。

本市の女性教育は、こうした状況を踏まえて、学習活動を側面から支援し、学習機会や内容の充実を図るとともに、団体・グループの育成、指導者の養成・資質を高めることを主眼として、すすめている。

(2) 主な事業

ア 学習活動の推進と支援

名 称	目 的 等	開設数	参加者 (延べ)
女 性 セ ミ ナ ー	女性がもつ身近な生活課題、地域課題や女性の課題をテーマに自主的、継続的に学習することを目的に開設。セミナー終了後も引き続き学習する例が多く、身近な学習機会の場として定着している。	16	514人
女 性 学 習 活動研究委託	女性団体や学習グループの自発的な学習を促すとともに、学習の定着化を図る。研究結果を女性教育推進の参考にするため、公募による委託を実施している。	委託団体・ グループ数 30	4,448

イ 指導者研修

名 称	対 象	回 数	参加者 (延べ)
女 性 学 習 団 体 リ ー ダ ー 研 修	学習活動研究委託団体、グループの リーダー他	2 回	352 人
女性団体指導者研修	女性団体・グループのリーダー	4	122
女 性 国 内 研 修	女性団体・グループのリーダー	6	24

ウ 女性団体等への支援

市内の女性団体には、地域を基盤として結成されたものと、目的別に結成されたものがある。そのうち、全市的規模をもち、協議会組織で活発に学習活動を展開している団体の活動に対し、事業補助、事業共催、求めに応じた指導・助言を行っている。

一方、その他の女性団体が行う学習活動に対しても、後援や助言などを行い、団体の育成に努めている。

3 視聴覚教育

本市では、生涯学習の一環として市民文化の向上や個性に応じた学習を支援するため視聴覚機器・教材の整備・充実に努めている。また、16ミリ映画教材等の視聴覚教材の収集・提供、視聴覚教育研修等の事業を積極的に行うことにより、視聴覚教育の普及・啓発を図るとともに、指導者の育成を計画的に実施している。

＜視聴覚ライブラリー＞

(1) 概 要

視聴覚ライブラリーは、昭和56年7月、それまで別個に管理されていた社会教育・学校教育の16ミリ映画教材の収集・提供、視聴覚教育研修などの事業を統合し、それらを総合的に行う施設として視聴覚教育センターを開所した。その後、社会教育・学校教育の両面を対象に、視聴覚教材の収集・提供を始め視聴覚教育に関する各種の研修、教材の作成等に取り組んできたが、平成16年4月、教育センターに統合、教育センター情報教育部視聴覚ライブラリーとなる。

(2) 16ミリ映画教材・ビデオ教材・DVD教材の整備状況（平成24年3月31日現在）

【16ミリ映画教材保有本数（タイトル数）】

4,330本 内訳：社会教育用1,591本 学校教育用2,739本 （3,537タイトル）

【ビデオ教材保有本数（タイトル数）】

2,441本（1,815タイトル）

【DVD教材保有本数（タイトル数）】

392本（355タイトル） 平成15年より利用開始

(3) 16ミリ映画教材・ビデオ教材・DVD教材の利用状況（平成23年度）

【16ミリ映画教材利用本数】	104本	内訳：社会教育での利用	104本
		学校教育での利用	0本
【ビデオ教材利用本数】	313本	内訳：社会教育での利用	58本
		学校教育での利用	255本
【DVD教材利用本数】	188本	内訳：社会教育での利用	136本
		学校教育での利用	52本

〈利用の多い作品〉

16ミリ映画教材		ビデオ教材		DVD教材	
分野	作品名	分野	作品名	分野	作品名
物語児童文学	だるまちゃんと うさぎちゃん	防 災	地震と安全 ー阪神大震災に学ぶ	物語児童文学	アニメ名作
物語児童文学	10+1ぴきのかえる	防 災	地震!! あなたは どうする	物語児童文学	手塚治虫ワールド
物語児童文学	小じかの太郎ちゃん	交通安全	安全な 自転車のルール	物語児童文学	シートン動物記
昔話童話	ディズニーの ありとキリギリス	交通安全	小学校交通安全	昔話童話	バイリンガル 世界の童話
物語児童文学	花いっぱいになあれ	ドキュメンタリー	新世界紀行 失われた文明	ドキュメンタリー	映像の世紀

(4) 研修会等（平成23年度）

16ミリ映写機等操作技術講座を開催し、40人が受講した。

研修会名	実施回数	受講者数	
		社会教育（人）	学校教育（人）
16ミリ映写機等操作技術講座	延べ2回	38	2

第3章 青少年教育

1 青少年教育の概況

激しく変化する現代社会において、今日の青少年の状況を見ると、情報化社会がより高度に発達していく中、携帯電話やインターネットの普及により、様々な情報ツールを活用する力を身につけている一方、人間関係の希薄化による社会性・主体性の欠如、直接体験の不足など、様々な課題も指摘されている。

こうした現状の認識の上に、青少年が直面する課題の克服をめざすとともに、青少年がもつ明るい可能性を伸ばしていくことが大切である。

生きる活力にあふれ、たくましく、心豊かな青少年を育成するため、青少年がボランティアや自然体験などの様々な体験活動や自主的な成果発表、交流活動等に取り組むことを通して、自らの成長や自己啓発に努め、地域や社会に貢献できるよう条件整備をし、青少年の活動を支援することに努めている。

2 青少年の教育

(1) 青少年の社会参加活動支援

青少年の社会参加活動の促進や青少年を指導者として養成することを目標に、次の事業を実施した。

ア 社会参加活動

事業名	期日・会場	対象	事業内容
プラザ事業への参加・参画事業	23年4月～24年3月 青少年交流プラザ等	15～34歳の青少年	地域と連携したプラザ事業の企画・運営を通して、青少年が主体的に地域やまちの活動に参加・参画することができるように促す。
地域活動への参加・参画事業	23年4月～24年3月 児童館、商店街、生涯学習センター等	15～34歳の青少年	地域や他団体からの要請により、青少年が地域へ出かけ、成果発表や子どもの体験活動、世代間交流活動について、主体的に活動することを通して、社会参加・参画を促す。

イ 青少年ボランティアの養成

事業名	期日・会場	対象	事業内容
青少年による支援者（サポーター）養成	23年4月～24年3月 青少年交流プラザ等	15～34歳の青少年	子どもの体験活動支援、まちづくりにかわる活動支援などのボランティアを養成する。

(2) 青少年の主体的な成果発表・交流活動支援

青少年がこれまでの活動の成果発表や子どもの体験活動等、地域において主体的に活動することを通して幅広い世代間交流を促進するため、次の事業を実施した。

事業名	期日・会場	対象	事業内容
青少年の自主活動推進事業	23年4月～24年3月 青少年交流プラザ等	15～34歳の青少年	青少年による体験、交流、成果発表の場を提供し、主体的な活動を促す。これらの企画、準備、広報、参加者募集、振り返りなどを自らの手で行い、その過程を通して青少年自身の成長を図る。

(3) 青少年の体験活動支援

自然体験活動や創作体験活動など青少年の体験活動を促進するため、次の事業を実施した。

＜青少年宿泊センター等を活用した自然・宿泊等の体験事業＞

事業名	期日・会場	対象	事業内容
「青少年の自主活動推進事業」の一部において実施（再掲）	23年4月～24年3月 青少年宿泊センター等	6～34歳の青少年	自然、宿泊、ボランティア、創作等の体験活動の場の提供により、主体性や豊かな心を育む

くなご子ども体験活動情報「わくわくキッズナビ」事業＞

子どもたちの学校外でのさまざまな体験活動に関するイベントや施設等の情報提供をするホームページを開設し、情報誌を発行した。

事業名	内 容
ホームページ運用 (パソコン版)	子どもの体験活動に関するイベントや施設の検索機能を備えた「イベント・施設情報」や市民との双方向性を指向した「行ってみました」等のコーナーから構成
情報誌発行（7月）	学校の長期休業前に体験活動のイベント情報を情報誌にて提供。市内の小中学生のいる各世帯に配布

（４）障害者青年学級

青少年の自主的な学習・活動と交流を支援し、健全な青少年を育成することを目的とし、障害者青年学級に対する支援を行った。

事項名	期日・会場	対 象	事業内容
障害者 青年学級	23年6月～24年3月 生涯学習センター他	15～34歳の障害者 青年・ボランティア 25人以上の団体	障害者青年の生きがいを つくりや生きる力の育成等 を目指した学級活動を支援

第4章 文化財の保護

1 概 要

われわれの歴史、文化、生活の変遷を知るうえで文化財は、市民全体にとって公共的な意義を持つかけがえない財産であり、将来に向かって保存し、活用し、伝承していく必要がある。

しかし、文化財の中には、開発事業や生活様式の変化等による地域社会の変ぼうや後継者難などから失われ、忘れ去られていくものもある。

そのため、本市では名古屋市文化財保護条例（昭和47年名古屋市条例第4号）を制定し、市指定文化財として指定し、指定文化財に対する保存事業への助成をするなど文化財の保護と活用を図っている。

また、新たに文化財を発掘したり、記録するための調査を行っている。その他、市内遺跡の発掘調査、文化財保護意識の高揚、史跡の整備管理等の事業を実施している。

市内所在指定等文化財数

（平成24年3月31日現在）

種別 区分	有 形 文 化 財							無形 文化 財	有形 民俗 文化 財	無形 民俗 文化 財	史跡	名勝	天然 記念 物	計
	絵画	彫刻	工芸	書跡	建造 物	考古 資料	歴史 資料							
国 指 定	16	5	41	53	9	1	—	—	—	—	6	1	1	133
県 指 定	17	9	40	17	12	6	4	—	—	2	—	—	—	107
市 指 定	11	5	9	—	25	3	4	2	38	10	6	1	4	118
国 登 録	—	—	—	—	68	—	—	—	—	—	—	1	—	69

2 文化財の保護

（1）文化財保護事業補助

指定文化財等の保存を図るため、建中寺開山堂（東区筒井）の修理や、高針棒の手（名東区高針）の後継者育成等44件の事業に対して補助金を交付した。

（2）文化財保護事業等

文化財に関する出版物を刊行するとともに、文化財保護意識の高揚や史跡の整備等を図った。その主なものは、次のとおりである。

ア 出版物の刊行

名古屋市文化財調査報告65「埋蔵文化財調査報告書65 朝日遺跡（第19次）」

名古屋市文化財調査報告66「埋蔵文化財調査報告書66 高蔵遺跡（第57次）」

玉ノ井遺跡（第6次・第8次～第10次） 楠町遺跡」

名古屋市文化財調査報告67「埋蔵文化財調査報告書67 海東遺跡」

イ 保護意識の高揚

(ア) わくわく文化財普及事業の実施

図書館と協働し、土器の展示や古代の歴史に関する講演を行い、地域の古墳や史跡に関する図書の紹介を行うイベントを実施した。また、普段は見ることのできない文化財建造物(名古屋大学豊田講堂、東区内の寺院)を広く一般に公開するイベントを実施した。

(イ) 史跡名勝標札の管理

史跡名勝等の所在地294ヶ所に設置してある標札の一部塗り替えを行った。

(ウ) 文化財の管理

教育委員会所管の史跡の除草、清掃を行った。また、文化財パトロール員(16名)による市内の文化財の監視等を行った。

(3) 市内遺跡の発掘調査

周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為などに先立って、埋蔵文化財の記録保存をするために、玉ノ井遺跡始め2遺跡で延べ290㎡、3件の発掘調査を行った。また、埋蔵文化財包蔵地での開発計画等に対して、埋蔵文化財の保護を検討するための試掘調査を高蔵遺跡(熱田区)始め30件実施した。

(4) 史跡散策路の活用

地域における文化財の活用と保護意識の普及を図り、あわせてゆとりとうるおいのあるまちづくりに資するため設定された散策路(市内16区80コース)の利用者に便宜を図るため、説明板等の設置を行った。

(5) 「歴史の里」の整備

守山区上志段味地区に残る古墳群や自然資源を生かし、歴史を学ぶ施設「歴史の里」整備のため、「歴史の里」計画地内の埋蔵文化財の基礎データを得る確認調査(調査面積 大久手4・5号墳 約200㎡)を行った。

第5章 市民スポーツ

1 市民スポーツの概況

スポーツ及びレクリエーション事業を通じて、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の実現を図るために、各区まちづくり推進室、財団法人名古屋市教育スポーツ協会、名古屋市レクリエーション協会と連携して、各種スポーツ・レクリエーション大会、講習会、研修会等を開催し、その普及奨励に努めている。なお、平成6年11月から電話やインターネットで施設の空き情報や、予約の抽選申込みができる「スポーツ・レクリエーション情報システム」を運用し、市民サービスの向上と生涯スポーツ活動の推進を図っている。

(1) スポーツ功労者表彰

昭和56年度より本市のスポーツ振興を図ることを目的に、特にスポーツ振興に功績のあった者に対しスポーツ功労賞を、また、スポーツ競技大会において優秀な成績をあげ、かつ、将来の活躍が期待される者に対してスポーツ奨励賞を、それぞれ市長が授与し表彰している。

平成23年度は、スポーツ功労賞として安藤美姫、小塚崇彦（フィギュアスケート）、寺田邦昭（名古屋市スポーツ推進審議会会長）、スポーツ奨励賞として個人43名、団体9チームを表彰した。

(2) 市民スポーツ祭

スポーツの日常化を図るため、毎年8月を中心に実施しており、平成23年度は6部門（区対抗、一般、高校、中学生、小学生、マスターズ）38種目にわたり開催した。3万人以上の市民が、スポーツを通じて交歓しており、スポーツの普及・振興に大きな役割を果たしている。

(3) 市民体力づくり推進事業

ア スポーツ普及事業

本市制定の女性レクリエーションバレーボール大会・レクリエーションインディアカ大会を開催し、普及に努めた。

イ 「なごやマイ・スポーツフェスティバル」の開催

「体育の日」を中心に、親子ラジオ体操in鶴舞など多彩なスポーツ・レクリエーション事業を実施し、市民へのスポーツ普及に努めた。

ウ 「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」の開催

名古屋シティマラソンと名古屋ウィメンズマラソンを同時開催し、3万人規模の大会とした。開催種目として、女子フルマラソンと男女ハーフマラソン、男女10km、ファミリージョギングを行った。

エ 「なごやかウォーク」

健康づくりや家庭・地域での交流を深めるため、市内16区でウォーキングイベントを開催し、ウォーキングの推奨に努めた。

オ 「子どもスポーツフェスタ」の開催

子どもが誰でも気軽に参加できるスポーツイベントを開催し、子どもへのスポーツ普及に努めた。

カ 「第67回国民体育大会冬季大会スケート競技会（フィギュア・ショートトラック）」の開催

フィギュアスケートとショートトラックの競技を日本ガイシアリーナで実施し、数多くの市民に見るスポーツの楽しさを提供した。

（４）部活動の振興

ア 部活動外部指導者派遣事業

民間指導者の活用により部活動の充実を図るため、小・中・高等学校へ専門的な技術指導を補助する部活動外部指導者を派遣した。さらに、部活動外部指導者の資質向上のための研修会を開催した。

イ 部活動顧問派遣事業

部活動顧問がいなかったため、部活動を継続できなかつたり創部できない中学校へ学校の指導方針、指導計画のもとに部活動全般を担う民間指導者を顧問として派遣した。さらに、部活動顧問の資質向上のための研修会を開催した。

ウ 指導者養成講習会

部活動指導者層の拡大と資質向上のため、小・中・高等学校教員を対象に部活動指導者養成講習会を開催した。

エ 補助金

東海大会・全国大会等に出場する中・高等学校生徒の参加費の補助を行った。

オ 各種大会の開催

小学校ブロック指導会、中学校総合体育大会、高等学校体育大会等を開催した。

カ わいわいスポーツアカデミー・ワクワクアカデミー

トップアスリート・プロの演奏家・指導者による専門的技術指導教室を開催したり、トップレベルのスポーツ観戦招待を行ったりした。

キ 学校体育センター

小・中学校における各種体育大会、交流試合練習などに活用できる施設として、3施設を設置しており、管理運営を「財団法人名古屋市教育スポーツ協会」へ委託した。

（５）地域ジュニアスポーツクラブ育成事業

地域における子どもたちのスポーツ活動の充実を図るため、地域ジュニアスポーツクラブの設立・育成を支援した。

（６）競技力向上事業

市内の優秀な選手や素質のある選手を早期発掘するとともに、年齢・競技種目に応じて計画的、継続的に適切な指導を行い、国際的選手の育成を図り、さらに、審判員資格取得又は上級

審判員資格取得のための研修会を実施し、審判員等の育成を図った。

ア ジュニア競技力向上事業	33競技	3,027人参加
イ 審判員・指導者養成事業	16競技	585人参加

(7) 体育指導委員（平成23年8月24日からスポーツ推進委員へ改称）

昭和36年に制定されたスポーツ振興法（平成23年8月24日にスポーツ基本法として施行）に基づき、スポーツ活動を奨励するため、本市においても体育指導委員を配置（1学区3人、全市で792人）し、各区まちづくり推進室と協力して、市民生活に直結したスポーツ・レクリエーション活動を展開するとともに、グループリーダーやスポーツ指導者の養成を図り、地域スポーツの促進と育成に努めた。

(8) (財)名古屋市教育スポーツ協会

昭和58年10月、財団法人名古屋市スポーツ振興事業団として発足し、アマチュアスポーツ及びスポーツ・レクリエーションの普及促進並びに教育の振興に資する事業を行うことを目的として、①競技者・指導者の育成・派遣事業②スポーツ・レクリエーションの普及・奨励・振興事業③体育施設等の管理運営④学校施設の開放及び野外教育活動に係る事業⑤学校給食の物資調達事業——などを行っている。なお、平成22年4月に(財)名古屋市体育協会と合併し、現名称に変更した。

事務局 名古屋市南区東又兵ヱ町5-1-16（スポーツ振興会館内）

理事長 柴田達男

副理事長 伊藤 彰、加藤 常文、山内 健一

（平成24年7月1日現在）

(9) 名古屋市レクリエーション協会

健全で明るい市民生活を営むため、レクリエーション活動の普及推進のために、教育委員会と連携して各種レクリエーション行事を開催し、市民の健康増進に努めた。

事務局 名古屋市中区三の丸三丁目1-1（市教委スポーツ振興課内）

会長 小林 義雄

副会長 寺田 邦昭

理事長 岩間 千晃

（平成24年7月1日現在）

2 活動状況（平成23年度主要事業実績）

月	日	事業名	会場
4	10・17・24 4月～3月	第79回レクリエーションインディアカ大会 競技力向上事業	稲永スポーツセンター 千種スポーツセンター 各会場
5	11～6/3 15 18 25	第46回春の女性レクリエーション バレーボール大会 2011ふるさとふれあいウォーキング歩かまい稲武 第26回名古屋市ゲートボール大会 スポーツ振興審議会	日本ガイシスポーツプラザ 稲永スポーツセンター 千種スポーツセンター 豊田市稲武地区 庄内緑地ゲートボール場 正庁
7	10	第18回グラウンド・ゴルフ大会	瑞穂公園北陸上競技場、瑞穂公園レクリエーション広場
8	20～28 22～28	第53回市民スポーツ祭 第19回日・韓・中ジュニア交流競技会愛知・名古屋大会	各競技場 瑞穂公園陸上競技場他
9	7～10/4 23～25 25～10/31	第46回秋の女性レクリエーション バレーボール大会 レインボーカップマスターズスイミング in NAGOYA 2011 なごやマイ・スポーツフェスティバル2011	日本ガイシスポーツプラザ 稲永スポーツセンター 東スポーツセンター 日本ガイシアリーナ 瑞穂公園運動場他
10	10 23・30 11/6	親子ラジオ体操 in鶴舞 第80回レクリエーションインディアカ大会	鶴舞公園 稲永スポーツセンター 千種スポーツセンター
1	21 28～2/1	子どもスポーツフェスタ・冬 第67回国民体育大会冬季大会スケート競技会（フィギュア・ショートトラック）	日本ガイシスポーツプラザ 東スポーツセンター 天白スポーツセンター 中スポーツセンター 日本ガイシアリーナ
2	13 19	スポーツ推進審議会 第53回市民スポーツ祭スキー競技大会	大会議室 ほおのき平スキー場
3	9～11 23	マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2012 スポーツ功労者表彰	ナゴヤドーム他 名古屋市公館

第6章 社会教育施設

1 社会教育施設の概況

本市の社会教育施設は、学習、集会等の多目的施設として、生涯学習推進センター、生涯学習センター、女性会館等がある。専門施設としては、図書館、博物館、スポーツ施設等がある。

図書館は、中区を除く各区と全支所管内に設置されている。

博物館施設としては、博物館、見晴台考古資料館、美術館及び科学館がある。

スポーツ施設としては、総合施設としての瑞穂運動場、平成19年度からネーミングライツ（命名権）を導入した日本ガイシスポーツプラザを始めスポーツセンター、プール、庭球場、スポーツトレーニングセンター、野外スポーツ・レクリエーションセンターがあり、合理的な管理運営と利用の促進を図るため、指定管理者制度を導入している。

このほか、学校施設を、学校教育に支障のない範囲で市民の学習、スポーツ、レクリエーションの場として開放する学校施設開放を行っている。

2 図 書 館

（1）平成23年度活動のあらまし

平成23年度名古屋市図書館全体で貸出した資料は、個人が3,354,234人の12,194,346点、団体が8,815団体の68,993冊で合計12,263,339点となる。これは、名古屋市民が1人5.42点ずつ借りたことになる。この貸出登録者数は、平成23年度末現在、499,222人である。蔵書数は、平成23年度全館で186,026冊受入れ、3,152,980冊となった。図書以外では、新聞、雑誌、CD、カセットテープ、ビデオテープ、紙芝居等を所蔵している。

平成19年4月に策定された「名古屋市子ども読書活動推進計画～読書でふくらむ子どもの夢～」における「はじめての本との出会い事業」は保健所の乳幼児健診時に絵本の紹介や読み聞かせを行うものであり、23年度は絵本の紹介冊子を作成し、全保健所の健診時に配付するとともに、東図書館始め5館でボランティア養成講座を開催した。

また、「その道の達人派遣事業」として司書が小・中学校等に出向く「ブックトーク&読み聞かせ」は100校974クラスに対して延べ648回実施した。図書館見学や調べ学習の援助をする図書館訪問は88校、中学生の職場体験学習は50校（延べ64回）176人が体験した。

平成20年4月にリニューアルした図書館ホームページ及び同じく平成20年4月に新規開設した携帯電話サイトにおいて、平成21年6月よりインターネットによる図書の貸出し予約受付サービスを実施している。年間のアクセス件数（トップページ）は、図書館ホームページが平成22年度4,855,051件に対し、平成23年度は5,463,955件となり、携帯電話サイトにおいても平成22年度316,501件に対し、平成23年度は401,049件といずれも大幅に増加している。

10月より中央館の開館時間を午前10時から9時30分に繰り上げ、利用者から気軽に声を掛けられるよう、腕章を着用した司書が巡回し応対する「ほんシェルジュ」サービスを全館で開始した。

(2) 図書館一覧

館 名	鶴 舞 中 央	千 種	東
開館年月日	大正12年10月1日	昭和43年10月8日	昭和40年7月1日
沿革	大正12年10月1日市立名古屋図書館として開館。 昭和20年戦災にて焼失。昭和27年名古屋市鶴舞図書館として旧地に再建。 昭和39年4月市の中央図書館となる。 昭和59年4月新装開館。	第9番目の市立図書館として開館。	第5番目の市立図書館として開館。 平成13年10月に東スポーツセンター、東文化小劇場、市民ギャラリー矢田の入った複合施設「カルポート東」に移転、新装開館。
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階	鉄筋コンクリート造2階	鉄骨鉄筋コンクリート造 5階
敷地面積 延床面積	8,800.0㎡ 11,285.9㎡	1,691.2㎡ 1,106.5㎡	10,639.5㎡ 1,759.1㎡
所在地	昭和区鶴舞一丁目1番155号	千種区田代町字瓶杵 1番地の137	東区大幸南一丁目1番10号
開館時間	火～金 9時30分～20時 土 9時30分～19時 日・祝 9時30分～17時	火～土 9時30分～19時 日・祝 9時30分～17時	
休館日	月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第3金曜日（祝日を除く）、 年末年始（12/29～1/4）等		
施設内容	主題別参考閲覧室、読み物実用書コーナー、児童室、児童図書研究室等	一般・児童コーナー、集会室、学習コーナー、展示コーナー、閉架書庫等	一般コーナー、スポーツ資料コーナー、参考コーナー、児童コーナー等
行及読書会	おはなし会 名古屋郷土文化会 読書会（つるの会、ぼちぼちいこう会） 展示会 てづくりあそび ちくちく手づくりの会 ほか	おはなし会、展示会 伊吹俳句会 ちくさ文学研究会 千種英語クラブ こぐまちゃんの会 ナルニアの会、パパールの会 ちくちく手づくりの会 東山読書会、きららの会	おはなし会、人形劇 わらべうた 対面読書 ふきのとうの会 葵の会（東区婦人読書会） 対面読書ボランティアグループ
特色	市の中央館として資料を保存、提供している。 各種和漢書・絵草紙・遺墨・風俗史料・市史資料を所蔵する。 点字文庫を併設する。	南側は東山公園の緑に囲まれ新緑の頃が美しい。 玄関を入るとすぐ、展示コーナーがあり、毎月展示会が催されている。	特色コーナーとして「スポーツ資料」と、東区関係の郷土資料と古地図を中心とした「わが街の伝統と新しい息吹」がある。

北	楠	西	山 田
昭和42年6月15日	平成9年7月10日	昭和40年11月1日	平成17年5月6日
第8番目の市立図書館として開館。 平成12年6月に文化小劇場と複合施設の1階に移転開館。	第17番目の市立図書館、北区楠支所管内図書館として開館。 北区役所楠支所、北消防署楠出張所、北保健所楠分室に隣接。	大正14年矢田績氏により東区武平町に設立された後本市に寄付され、その後、栄図書館となる。 昭和40年11月西区花の木二丁目に移転し西図書館と称する。 平成6年6月に文化小劇場との複合施設の1・2階に開館。	第20番目の市立図書館、西区山田支所管内図書館として開館。
鉄骨鉄筋コンクリート造3階	鉄筋コンクリート造2階	鉄筋コンクリート造地上2階地下3階	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨5階(3階部分)
3,776.8㎡ 1,525.3㎡	1,163.2㎡ 799.9㎡	1,983.1㎡ 2,364.4㎡	3,576.0㎡ 818.9㎡
北区志賀町 4丁目60番地の31	北区楠二丁目974番地	西区花の木二丁目 18番23号	西区八筋町358番2号
火～土 9時30分～19時 日・祝 9時30分～17時			
月曜日(祝日の場合は直後の平日)、第3金曜日(祝日を除く)、 年末年始(12/29～1/4)等			
一般コーナー、街道と旅のコーナー、医療情報コーナー、児童コーナー、集会室等	一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、新聞・雑誌コーナー等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室、閉架書庫等	一般コーナー、児童コーナー、集会室、学習室、閉架書庫等
おはなし会 子ども映画会など おはなしの会ボランティア(プー、どんどこ、千成小学校童話の会、いろり、まほうのおなべ)、対面読書ボランティア(桜)、保健所よみきかせボランティア(おはなしポケット)、読書会(志賀読書会、近代文学読書会)	おはなし会 子ども映画会 工作教室 テーマ展示 対面読書 おはなし会ボランティア(くすのき) 対面読書ボランティア	おはなし会 子ども映画会など としょかんくらぶ 対面読書ボランティア(プリムラ) 万年青読書会・ひよこの会 おはなし会ボランティア(グループぼんぼん、ぐるーぷころころ)	おはなし会 子ども映画会 対面読書ボランティア(オリーブ) おはなし会ボランティア(なずなの会、いちにのさん、おはなしピッカ) 保健所よみきかせボランティア(ころころたまご)
稲置街道に因み「街道と旅のコーナー」を設置し、街道や、そこを旅した人々に関する図書を集め、閲覧に供している。また、「医療情報コーナー」を設け、より詳しい医療関連の図書資料を提供している。	日常生活に実際に役立つ図書・雑誌の収集に力を入れ、調べものや読書相談にも積極的に応えるサービスを行っている。地域団体・住民と連携した活動を行っている。	郷土のシンボルである名古屋城に関する資料を豊富に集めた名古屋城コーナーや対面読書室などを備えている。配本所(西文文庫)を運営している。	山田支所との合築施設の3階にある。小説・エッセイや暮らし・娯楽に関する本を中心に、地域に密着したサービスを展開している。

中 村	瑞 穂	熱 田	中 川
昭和40年7月15日	昭和44年8月1日	昭和35年9月1日	昭和45年6月20日
昭和40年旧配水塔を大改修して、第6番目の市立図書館として開館。 平成3年5月中村公園の中村公園文化プラザ内1・2階に移転開館。	第10番目の市立図書館として開館。	昭和35年東邦瓦斯より寄付を受け、次いで昭和42年井上ゴム工業より冷房設備の寄付をうける。 平成13年10月、JR熱田駅前に移転開館。	第11番目の市立図書館として開館。 平成14年11月、中川文化小劇場との合築施設の1・2階に移転開館。
鉄骨鉄筋コンクリート造3階（一部4階）	鉄筋コンクリート造2階	鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階・地上7階（北館1階部分）	鉄骨鉄筋コンクリート造4階
5,772.0㎡ 1,324.0㎡	2,021.7㎡ 1,142.4㎡	8,500.0㎡ 1,790.8㎡	3,596.1㎡ 1,529.2㎡
中村区中村町 字茶ノ木25番地	瑞穂区東栄町2丁目 1番地	熱田区神宮三丁目 1番15号	中川区吉良町 178番地の3

火～土 9時30分～19時

日・祝 9時30分～17時

月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第3金曜日（祝日を除く）、
年末年始（12/29～1/4）等

一般閲覧室、秀吉清正コーナー、児童閲覧室、閉架書庫等	一般・児童閲覧室、集会室、学習室、新聞コーナー、閉架書庫等	一般室、児童室、熱田資料コーナー、学習室、集会室、閉架書庫	一般コーナー、川と花と緑のコーナー、児童コーナー、学習室等
おはなし会 読書会（ぼんの会） 工作教室つくってあそぼう 中村公園文化プラザ夏休み科学講座	おはなし会 やかまし村くらぶ ちくちく手づくりの会 ほか 読書会 （葦の会、葦の会万葉、年輪読書会、よんでる会、まいまい）	おはなし会、子ども映画会 おはなし会ボランティアグループ（ピッピの会、つくしの会、ピースの会、まほうのおなべ） 対面読書ボランティアグループ 保健所よみきかせボランティアグループ（びよんぴょんうさぎ）	おはなし会、乳幼児向けおはなし会、夏のこわ〜いおはなし会 わらべうたの会、子どもと本の入門講座、手づくり布おもちゃ講座、工作教室、冬のおたのしみ会、カルタ大会 絵本の読み聞かせボランティア（こぶしの会）、対面読書ボランティア（葉ぼたん）、保健所読み聞かせボランティア
緑豊かな中村公園の一角にあり、文化小劇場・秀吉清正記念館を併設した複合施設。 秀吉・清正コーナーを備えている。	市内有数の文教地域の中にある。 ボランティアルームが設けられているなど市民活動も活発で、児童関係行事などが盛んに行なわれている。	区役所、保健所、文化小劇場、在宅サービスセンターとの複合施設の北館1階にある。 誰もが気軽に立ち寄れるバリアフリーの図書館となっている。	地域の特徴を生かした川と花と緑のコーナー、また前田利家の本コーナーも設置している。吹き抜けの明るい閲覧室はバリアフリーにも配慮されている。

富田	港	南陽	南
平成9年7月8日	昭和42年4月27日	平成14年7月12日	昭和39年5月1日
第16番目の市立図書館、中川区富田支所管内図書館として開館。	第7番目の市立図書館として開館。平成11年9月改築開館。	第18番目の市立図書館、港区南陽支所管内図書館として開館。	南部工業地帯の生涯学習振興のために田中均一郎氏の寄付により建設される。平成4年3月に文化小劇場との複合施設の1・2階に移転開館。
鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄骨造 2階	鉄骨鉄筋コンクリート造3階（一部4階）
1,599.9㎡ 800.0㎡	1,779.1㎡ 1,571.0㎡	1,597.4㎡ 800.0㎡	3,069.2㎡ 1,750.4㎡
中川区服部三丁目 601番地	港区港楽一丁目 14番16号	港区秋葉一丁目 130番地の79	南区千竈通 2丁目10番地の2

火～土 9時30分～19時

日・祝 9時30分～17時

月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第3金曜日（祝日を除く）、
年末年始（12/29～1/4）等

一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、新聞・雑誌コーナー等	一般閲覧室、児童室、学習室、集会室、海と港の資料室等	一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、閉架書庫等	一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、伊勢湾台風資料室等
おはなし会 工作教室 対面読書ボランティアグループ（すぎな） おはなし会ボランティア（おはなしえほんばこ・ノンタンくらぶ） 保健所よみかせボランティア（BBクラブ）	おはなし会 読書会 （もくよう会、まつぼっくり） 対面読書ボランティアグループ （しおかぜの会）	おはなし会 （ぴこの会） 工作教室 子ども映画会	おはなし会 南図書館まつり 子ども映画会 読書会（二水会、しろうさぎの会） 対面読書ボランティアグループ（虹の会） おはなし会ボランティア（Zoo（ズー）の会）
対面読書室等機能的な設備を備えている。また、千音寺地域には古くからキツネにまつわる民話が多いことから、キツネをイメージシンボルとしてパンフレットなどに載せている。	港北公園の一角に位置し、読書環境を整え、地下鉄の便も良い。 1階には対面読書室、2階には「海と港の資料室」を備えている。	支所管内3番目の図書館として開館。 「本」「人」「地域」との出会いのお手伝いの場としての図書館サービスを展開している。特色あるコーナーとして「郷土・南陽コーナー」を設置。	南部工業地帯にあり文化小劇場を併設したモダンな建物。 伊勢湾台風資料室を備えている。

守 山	志 段 味	緑	徳 重
昭和47年 8 月10日	平成16年 7 月15日	昭和47年 8 月12日	平成22年 5 月 6 日
第12番目の市立図書館として開館。	第19番目の市立図書館。守山区志段味支所管内図書館として開館。	第13番目の市立図書館として開館。	第21番目の市立図書館。緑区徳重支所管内図書館として開館。
鉄筋コンクリート造 2 階、一部 3 階	鉄筋コンクリート造 2 階	鉄筋コンクリート造 2 階	鉄骨造 4 階建（3 階西側部分）
2, 103. 5 m ² 1, 125. 3 m ²	2, 100. 0 m ² 800. 0 m ²	1, 600. 0 m ² 1, 171. 8 m ²	1, 758. 5 m ² 1, 039. 1 m ²
守山区守山一丁目 6 - 1	守山区深沢一丁目101	緑区旭出一丁目1104	緑区鳴海町字徳重 18 番地の 41
火～土 9時30分～19時 日・祝 9時30分～17時			月・水～土 9時30分～19時 日・祝 9時30分～17時
月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第3金曜日（祝日を除く）、 年末年始（12／29～1／4）等			火曜日（祝日の場合は直後の平日）、第3金曜日（祝日を除く）、年末年始（12／29～1／4）等
一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、閉架書庫等
おはなし会 子ども映画会 工作教室 人形劇 読書会 （わかば会、かつらの会、 熟年読書会、絵本を楽しむ会）	おはなし会 工作教室 おりがみ教室 おはなし会ボランティア （ほんわかい） 対面読書ボランティア （しだみライブ）	おはなし会 読書会（あゆち会、モモの会） 文化講演会 おはなしの会（きらら会、 3つのりんご、おはなし会 コスモス、ルるる、もうや っこ、にこにこ） 手づくりあそび	おはなし会 工作教室 ユメリアブッククラブ 科学実験講座 カルタ大会 講演会 おはなし会ボランティア （ぐるんぱ、にこにこ、 波の会、がらがらどん）
旧守山市役所跡に建設された図書館。 2 階には郷土資料や辞書類を備えた参考室があり、落ちついた読書環境を提供している。	支所管内 4 番目の図書館として開館。 子どもや高齢者、障害者にも配慮した、人にやさしい施設となっている。 また、2 階のテラスは樹木を植え庭園となっている。	市立緑高等学校の南隣に設置され、高台にあるため南部を遠くまで見わたすことができ、その眺望が素晴らしい。	区役所支所、保健所分室、地区会館との複合施設。月曜日を開館、休館日を火曜日とし、新たに時間外貸出しロッカーを整備した。

名 東	天 白
昭和51年 6 月15日	昭和52年11月18日
第14番目の市立図書館として開館。	第15番目の市立図書館として開館。
鉄筋コンクリート造 2 階	鉄筋コンクリート造 4 階（1 階部分）
2,464.7m ² 1,250.7m ²	2,081.6m ² 1,102.7m ²
名東区文教台二丁目 205番地	天白区横町 701 番地
火～土 9時30分～19時 日・祝 9時30分～17時	
月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第3金曜日（祝日を除く）、年末年始（12/29～1/4）等	
一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等
おはなし会・読書会（ともしび読書会）・子どもと本の講座・名東手づくり絵本の会 子ども人形劇、名東の日おたのしみ会、小さい子向けおはなし会（乳幼児と保護者）、耳でたのしみおはなし会、英語でおはなし会 図書館まつり・講演会、工作教室・科学実験講座、ちくちく手づくりの会	おはなし会、あかちゃんからのおはなし会、おはなしとてづくりあそび、昔話の会・人形劇、子どもと本の入門講座、工作教室、おとなのためのおはなし会、おはなし会ボランティアグループ（ひばりの会・おはなしピピンの会・波の会）、保健所読み聞かせボランティア（絵本で子育てよちよち）、講座、ティーンズ交流会
レンガ風タイル貼りの外壁を持つシックな建物で、身体障害者対策を初めてとりいれた。	大きな窓より陽射しが入り明るい図書館。一般コーナー南側には庭があり、雰囲気のを和らげている。市民の作品を飾る展示コーナー、小グループで使える和室を設置している。

(3) 蔵書数(平成24年3月31日現在)

(単位 冊)

分類 館名	総数	一 般							
		郷土資料	総記	哲学宗教	歴史地理	社会科学	自然科学	工業工学	産 業
総数	3,152,980	138,183	84,073	95,749	205,534	347,003	152,822	240,252	91,360
鶴舞	1,236,241	47,697	46,262	56,526	98,294	212,741	77,820	105,471	50,816
千種	95,178	4,197	2,145	2,376	5,561	7,911	4,387	5,584	1,955
東	106,138	5,618	2,266	2,274	5,969	7,607	4,308	6,708	2,036
北	113,236	5,208	2,625	2,258	7,261	8,158	4,859	7,557	2,746
楠	72,604	3,137	1,201	1,403	3,908	4,412	2,808	5,405	1,558
西	105,978	11,005	2,600	1,592	6,313	7,063	3,696	8,188	1,401
山田	69,711	2,027	956	1,253	3,137	4,562	2,663	6,069	1,368
中村	95,250	5,222	2,339	2,086	6,307	7,091	3,486	5,624	1,757
瑞穂	104,225	4,827	2,262	2,432	6,302	8,262	4,105	6,712	2,228
熱田	127,505	7,277	3,765	3,580	10,232	10,833	5,043	7,124	2,803
中川	104,312	4,098	1,826	2,191	5,857	6,999	4,127	7,280	2,914
富田	65,288	2,113	1,078	1,266	3,571	4,630	2,473	5,211	1,457
港	98,976	5,880	1,949	1,864	5,875	6,664	4,299	6,322	2,492
南陽	64,115	2,269	907	888	3,268	4,302	2,487	5,581	1,656
南	108,433	6,190	2,180	1,895	5,614	7,543	4,051	7,311	2,123
守山	106,942	4,315	1,999	2,240	5,899	7,297	4,063	8,011	2,267
志段味	68,644	2,145	1,009	1,409	3,466	4,584	2,813	6,214	1,678
緑	100,406	5,318	2,109	2,474	5,743	8,065	3,929	6,480	2,210
徳重	63,246	1,298	696	1,011	2,343	3,167	2,585	5,023	1,491
名東	99,233	3,949	1,770	1,907	5,044	6,902	3,677	6,866	2,033
天白	93,517	4,197	2,004	2,007	4,537	6,792	3,898	5,905	1,674
建物館計	3,099,178	137,987	83,948	94,932	204,501	345,585	151,577	234,646	90,663
自動車館計 (南自動車)	53,802	196	125	817	1,033	1,418	1,245	5,606	697

和 書						一般洋書	児童書	点字
芸 術	語 学	文 学	漫 画	その他	小 計			
197,541	43,154	794,345	20,941	27,064	2,438,021	12,658	670,619	31,682
92,276	21,206	247,193	3,794	26,486	1,086,582	10,928	107,049	31,682
4,795	1,302	24,775	1,873	0	66,861	503	27,814	0
7,805	1,304	31,047	437	0	77,379	191	28,568	0
6,185	1,332	35,890	306	0	84,385	28	28,823	0
4,397	735	20,648	1,304	0	50,916	1	21,687	0
4,017	983	25,722	2,217	578	75,375	36	30,567	0
3,766	882	17,551	543	0	44,777	1	24,933	0
5,258	1,059	27,561	370	0	68,160	166	26,924	0
6,474	1,162	32,316	796	0	77,878	34	26,313	0
8,530	1,585	34,659	973	0	96,404	209	30,892	0
5,942	1,299	32,756	823	0	76,112	60	28,140	0
3,609	673	19,606	699	0	46,386	3	18,899	0
5,458	1,426	30,141	480	0	72,850	41	26,085	0
3,572	643	18,528	405	0	44,506	0	19,609	0
6,338	1,224	33,685	395	0	78,549	198	29,686	0
5,842	1,253	34,673	420	0	78,279	34	28,629	0
3,689	772	17,147	1,071	0	45,997	4	22,643	0
6,337	1,167	28,195	816	0	72,843	39	27,524	0
2,607	619	16,657	12	0	37,509	0	25,737	0
4,854	1,283	24,932	726	0	63,943	148	35,142	0
4,779	1,069	23,325	1,985	0	62,172	34	31,311	0
196,530	42,978	777,007	20,445	27,064	2,407,863	12,658	646,975	31,682
1,011	176	17,338	496	0	30,158	0	23,644	0

(4) 平成23年度館外貸出登録者数

(単位 人)

分類 館名	個 人						団 体	
	一 般	児 童	小 計	郵送貸出	点字文庫	合 計	団体数	構成員数
総 数	387,547	110,392	497,939	278	1,005	499,222	860	139,423
鶴 舞	67,285	7,125	74,410	107	1,005	75,522	100	10,104
千 種	16,932	4,570	21,502	13	-	21,515	38	9,304
東	22,644	6,044	28,688	1	-	28,689	37	4,265
北	17,033	4,444	21,477	13	-	21,490	39	5,492
楠	9,701	3,619	13,320	3	-	13,323	22	2,576
西	15,059	3,448	18,507	11	-	18,518	35	1,979
山 田	11,294	4,747	16,041	7	-	16,048	28	6,673
中 村	19,038	4,711	23,749	12	-	23,761	41	6,625
瑞 穂	14,837	4,007	18,844	9	-	18,853	50	7,096
熱 田	19,404	5,442	24,846	9	-	24,855	32	4,517
中 川	21,304	6,376	27,680	22	-	27,702	34	6,218
富 田	10,577	4,383	14,960	5	-	14,965	36	8,024
港	14,937	3,843	18,780	8	-	18,788	48	8,354
南 陽	5,398	2,193	7,591	2	-	7,593	19	3,496
南	17,519	5,053	22,572	7	-	22,579	42	7,689
守 山	12,745	4,086	16,831	12	-	16,843	46	7,267
志段味	10,304	5,005	15,309	5	-	15,314	13	2,041
緑	21,766	7,720	29,486	9	-	29,495	68	14,786
徳 重	10,750	4,894	15,644	3	-	15,647	12	1,341
名 東	22,144	8,194	30,338	11	-	30,349	51	6,984
天 白	20,206	7,575	27,781	9	-	27,790	50	13,715
建物館計	380,877	107,479	488,356	278	1,005	489,639	841	138,546
自動車館計 (南自動車)	6,587	2,836	9,423	-	-	9,423	19	877
配本所 (西文化センター)	83	77	160	-	-	160	0	0

(5) 平成23年度館外貸出利用者数

(単位 人)

分類 館名	個 人						団 体
	一 般	児 童	小 計	郵送貸出	点字文庫	合 計	
総 数	2,575,397	761,657	3,337,054	1,801	15,379	3,354,234	8,815
鶴 舞	256,975	34,386	291,361	693	15,379	307,433	750
千 種	108,792	32,333	141,125	88	-	141,213	539
東	157,547	43,085	200,632	6	-	200,638	362
北	120,048	31,114	151,162	59	-	151,221	654
楠	69,983	23,292	93,275	21	-	93,296	330
西	109,994	24,606	134,600	38	-	134,638	343
山 田	86,919	38,018	124,937	64	-	125,001	444
中 村	120,680	30,697	151,377	74	-	151,451	405
瑞 穂	125,370	34,870	160,240	93	-	160,333	596
熱 田	142,026	35,502	177,528	45	-	177,573	217
中 川	141,071	40,703	181,774	123	-	181,897	254
富 田	76,937	28,680	105,617	9	-	105,626	405
港	97,517	22,484	120,001	97	-	120,098	571
南 陽	41,319	14,732	56,051	0	-	56,051	217
南	118,280	32,098	150,378	28	-	150,406	359
守 山	99,848	30,434	130,282	76	-	130,358	426
志段味	76,145	35,854	111,999	14	-	112,013	232
緑	130,267	46,277	176,544	81	-	176,625	388
徳 重	155,490	62,373	217,863	55	-	217,918	309
名 東	164,879	60,705	225,584	59	-	225,643	414
天 白	147,771	49,898	197,669	78	-	197,747	485
建物館計	2,547,858	752,141	3,299,999	1,801	15,379	3,317,179	8,700
自動車館計 (南自動車)	26,502	8,829	35,331	-	-	35,331	115
配本所 (西文化センター)	1,037	687	1,724	-	-	1,724	0

(6) 平成23年度館外貸出冊数

(単位 冊)

分類 館名	個 人						団 体	合計 A
	一 般	児 童	小 計	郵送貸出	点字文庫	計		
総 数	7,101,651	4,121,091	11,222,742	6,307	23,819	11,252,868	68,993	11,321,861
鶴 舞	608,283	185,770	794,053	2,152	23,819	820,024	5,532	825,556
千 種	286,497	157,142	443,639	327	-	443,966	2,759	446,725
東	412,175	236,759	648,934	12	-	648,946	2,339	651,285
北	329,677	175,092	504,769	238	-	505,007	3,886	508,893
楠	202,336	120,969	323,305	41	-	323,346	1,804	325,150
西	319,789	125,338	445,127	137	-	445,264	2,507	447,771
山 田	235,859	195,339	431,198	193	-	431,391	2,419	433,810
中 村	335,420	174,727	510,147	207	-	510,354	2,749	513,103
瑞 穂	342,357	178,356	520,713	290	-	521,003	3,084	524,087
熱 田	380,802	203,369	584,171	239	-	584,410	2,302	586,712
中 川	400,273	233,195	633,468	533	-	634,001	2,626	636,627
富 田	231,019	142,656	373,675	27	-	373,702	3,246	376,948
港	269,037	129,764	398,801	303	-	399,104	3,812	402,916
南 陽	124,597	78,575	203,172	0	-	203,172	3,260	206,432
南	337,678	184,280	521,958	123	-	522,081	2,314	524,395
守 山	308,821	169,880	478,701	350	-	479,051	3,505	482,556
志段味	220,588	197,017	417,605	27	-	417,632	2,069	419,701
緑	381,198	247,394	628,592	335	-	628,927	3,167	632,094
徳 重	389,341	341,548	730,889	181	-	731,070	3,061	734,131
名 東	444,499	315,095	759,594	223	-	759,817	2,095	761,912
天 白	407,564	242,469	650,033	369	-	650,402	4,342	654,744
建物館計	6,967,810	4,034,734	11,002,544	6,307	23,819	11,032,670	62,878	11,095,548
自動車館 (南自動車)	130,718	81,000	211,718	-	-	211,718	6,115	217,833
配本所 (西文化センター)	3,123	5,357	8,480	-	-	8,480	0	8,480
OPAC等	-	-	-	-	-	-	-	-

視聴覚資料館外利用点数（点）				総貸出数 A + B	貸出延長冊 (点)数 C	総貸出数 A+B+C
個 人	郵送貸出	点字文庫	合計 B			
334, 176	557	7	334, 740	11, 656, 601	606, 738	12, 263, 339
52, 967	410	7	53, 384	878, 940	25, 029	903, 969
10, 896	6	-	10, 902	457, 627	10, 871	468, 498
20, 003	0	-	20, 003	671, 288	15, 251	686, 539
12, 798	0	-	12, 798	521, 691	12, 064	533, 755
11, 458	3	-	11, 461	336, 611	7, 239	343, 850
16, 096	6	-	16, 102	463, 873	11, 107	474, 980
8, 679	0	-	8, 679	442, 489	8, 952	451, 441
12, 434	1	-	12, 435	525, 538	11, 736	537, 274
11, 301	11	-	11, 312	535, 399	11, 634	547, 033
18, 646	1	-	18, 647	605, 359	13, 581	618, 940
19, 290	5	-	19, 295	655, 922	15, 948	671, 870
9, 203	0	-	9, 203	386, 151	9, 119	395, 270
10, 790	72	-	10, 862	413, 778	9, 119	422, 897
7, 328	0	-	7, 328	213, 760	3, 741	217, 501
15, 981	0	-	15, 981	540, 376	12, 644	553, 020
11, 263	37	-	11, 300	493, 856	11, 471	505, 327
10, 557	1	-	10, 558	430, 259	9, 108	439, 367
15, 041	3	-	15, 044	647, 138	14, 860	661, 998
22, 717	0	-	22, 717	756, 848	20, 723	777, 571
17, 909	0	-	17, 909	779, 821	20, 193	800, 014
14, 150	1	-	14, 151	668, 895	16, 777	685, 672
329, 507	557	7	330, 071	11, 425, 619	271, 167	11, 696, 786
4, 521	-	-	4, 521	222, 354	200	222, 554
148	-	-	148	8, 628	0	8, 628
-	-	-	-	-	335, 371	335, 371

(注) OPAC等には、館内蔵書検索機・インターネット用(パソコン・携帯電話)・情報ダイヤルサービスを含む。

(7) 自動車図書館

自動車図書館は、南図書館に基地があり、運営は、平成24年4月から鶴舞中央図書館に移管された。

現在、自動車図書館は2台で、中央図書館、各区の分館とともに図書館システムの一環を担い、建物館から離れた地域への個人貸出サービスと、図書館へ来館できない社会福祉施設や病院などへの団体貸出サービスを行っている。原則として各区の図書館から1.5km以遠を対象に1学区1ヵ所の駐車場を設置し、巡回周期は年8回を目標としている。個人貸出は1人8冊以内で、市立図書館共通の個人貸出券で利用できる。

3 名古屋市博物館

(1) 名古屋市博物館

ア 概 要

沿 革	昭和52年4月 本館工事完成 10月 開館 53年10月 常設展開設 // 蓬左文庫・豊清二公顕彰館が分館となる 11月 博物館法に基づく登録博物館となる 61年4月 国宝・重要文化財の公開指定館となる 平成元年7月 常設展を全面改装		
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造、地上4階・地下2階建		
敷 地 面 積	15,100.39㎡		
延 床 面 積	18,821.59㎡		
所 在 地	名古屋市瑞穂区瑞穂通1丁目27番地の1		
休 館 日	月曜日（祝日の場合は直後の平日）・第4火曜日（祝日を除く） 年末年始（12/29～1/3）		
開 館 時 間	午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）		
施 設 内 容	部 屋 名	面 積	内 容
	常設展示室	1,867.9㎡	尾張地方の原始から現代までの歴史を時代順に16テーマに区分し、わかりやすく展示するとともに、フリールームでは随時、展示替も行う。
	特別展示室	498.0㎡	内外のすぐれた文化財を紹介する展覧会を催すとともに、常設展示を補う意味で、随時、時代別・分野別の展示を行う。
	部門展示室	465.0㎡	
	展示説明室	264.5㎡	博物館についての基礎知識や、展示資料に関する解説を行う。
	ふれてみるコーナー	11.4㎡	常設展のエントランスに、直接手に触れて学ぶ資料を展示する。

施設 内容	部 屋 名		面 積	内 容
	ギ ャ ラ リ ー	第1室	204.0㎡	美術家、美術団体を始め一般市民が行う展覧会の開催に施設を供用し、また、時には国際的な展覧会も催す。
		第2室	123.0	
		第3室	171.0	
第4室		171.0		
第5室		156.0		
第6室		89.0		
第7室		389.0		
第8室		115.0		
	屋外展示場		500.0㎡	
	講 堂		378.0㎡	舞台、映写室を備え、客席238を有する。講演会、映画会、芸能鑑賞などを催すとともに、一般の利用にも供する。
事 業 概 要			1 歴史、考古、民俗及び美術工芸に関する資料（以下「博物館資料」という。）の収集、保管、展示及び供用 2 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究、博物館資料の保管、展示等に関する技術的研究 3 博物館資料に関する講演会、研究会等の開催、解説書、目録、年報、報告書等の作成及び頒布、その他博物館資料の利用者に対するサービスの提供 4 ギャラリー、講堂等の博物館施設の供用 5 常設展「尾張の歴史」の運営 ボランティアと音声解説機による展示ガイド 6 出前ミュージアム、歴史体験セミナー等の教育・普及活動の実施 ＜平成24年度開催(予定)の特別展・企画展＞ ○企画展「尾張氏☆志段味古墳群をときあかす」 4／28～6／10 ○特別展「マリー・アントワネット物語展」 7／7～9／2 ○特別展「芭蕉」 9／29～11／11 ○特別展「大須観音展」 12／1～1／14 ○特別展「驚きの博物館コレクション」 2／2～3／17	
所 蔵 資 料 (平成24年3月31日現在)			総 集 308点 民 俗 43,295点 考 古 114,636点 自 然 128点 美術工芸 14,749点 文 献 65,453点 合 計 238,569点	

イ 平成23年度博物館資料利用状況

	資料特別利用		資料貸出		図書閲覧	
件数及び点数	501件	1,240点	90件	237点	—	—

ウ 平成23年度施設利用状況

	特 別 展 示 室	部 門 展 示 室	ギ ャ ラ リ ー									講 堂
			第 1 室	第 2 室	第 3 室	第 4 室	第 5 室	第 6 室	第 7 室	第 8 室	屋外	
利 用 日 数	189	189	237	169	198	238	233	200	229	207	0	58
利 用 率 (%)	73	73	92	65	76	92	90	77	88	80	0	22

(注)利用率＝利用日数÷開館日数259日×100

エ 平成23年度入場者数

区 分	日 数	入場者数	1 日平均	備 考
常 設 展	259	68,383	265	※ 展覧会開催 状況は別掲
ビ デ オ コ ー ナ ー	259	4,318	17	
ふ れ て み る コ ー ナ ー	259	7,669	30	
展 覧 会	延 189	111,551	591	
く ら し 体 験 学 習 室	45	22,251	495	
ギ ャ ラ リ ー	249	177,111	712	
講 堂	49	6,481	133	
展 示 説 明 室	28	2,620	94	
合 計	—	400,384	—	

※ 展覧会開催状況

会 期	展 覧 会 名	日 数	入場者数	1 日平均	備 考
4 / 16 ~ 6 / 26	古代メキシコ・オルメカ 文明展	60	30,078	501	
7 / 16 ~ 8 / 28	甚目寺観音展	36	27,493	764	
10 / 22 ~ 12 / 4	狂言でござる	36	7,738	215	
12 / 22 ~ 3 / 4	ヴェネツィア展	57	46,242	812	
合 計	4 展覧会	189	111,551	591	

(2) 名古屋市蓬左文庫

ア 概 要

沿 革	尾張藩祖徳川義直が父家康の旧蔵書を中心に、名古屋城内に創設された尾張藩御文庫を起源とする。 明治以降、尾張徳川家の私有、昭和7年、財団法人徳川黎明会に寄付されて、東京へ移転 昭和25年4月 名古屋市が購入、社会教育課に所属 26年11月 徳川園において公開 36年6月 鶴舞図書館の分館 41年4月 蓬左文庫として、社会教育部に所属 53年10月 博物館の分館 平成10年 「徳川園整備基本構想」策定 16年11月 新蓬左文庫開館。蔵書数約110,000点（内重要文化財154点）		
構 造	鉄筋コンクリート造2階建 木造瓦葺2階建（旧書庫）		
延 床 面 積	3,002.67㎡ うち旧書庫406.36㎡		
所 在 地	名古屋市東区徳川町1001番地（徳川園内）		
休 館 日	月曜日（祝日の場合は直後の平日）・12月中旬～1月3日		
開 館 時 間	閲覧室 午前9時30分～午後5時・展示室 午前10時～午後5時		
施 設 内 容	部屋名	面積	内 容
	ガイダンスホール	147.39㎡	蓬左文庫展示室入り口のホールで、デジタル御文庫（デジタル映像視聴）、陶板地図を設置して、展示室への導入とする。
	展示室1	280.10㎡	徳川美術館と提携し、蓬左文庫の蔵書と徳川美術館の調度をあわせて展示し、近世武家文化等をわかりやすく表現する。
	展示室2	103.38㎡	
	映像ルーム（32席）	58.67㎡	「源氏物語」をテーマとしたハイビジョン映像「千年の時を越えて」（朗読竹下景子）を上映する。
	閲覧室（26席）	296.82㎡	蓬左文庫所蔵の資料の閲覧、研究・調査のために一般利用に供する。
	エントランスホール	120.62㎡	旧書庫を正面玄関ホールに再利用。1階に蔵書の複製等を展示し、2階に旧書庫の姿を一部再現している。
事 業 概 要		1 文庫資料の収集、保管、展示及び供用 2 文庫資料の利用者に対する説明、助言及び指導 3 文庫資料に関する専門的、技術的な調査・研究 4 文庫資料の保管、展示等に関する技術的研究 5 文庫資料に関する解説書、目録、調査研究の報告書等の作成及び頒布 6 文庫資料に関する講演会等の開催	

事業概要	〈平成24年開催（予定）の特別展・企画展〉		
	春・秋2回の特別展と5回の企画展を開催する。		
	○特別展「江戸の粋ー尾崎久弥コレクションー」	4/14～5/27	
	○企画展「尾張徳川家大曾根邸と徳川園」	6/2～7/22	
	○企画展「戦国の合戦」	7/25～9/30	
	○特別展「徳川将軍の御成」	10/6～11/11	
	○企画展「尾張藩の学問と教育」	11/17～12/13	
	「源氏物語の世界」		
	○企画展「大名と鷹狩ー富士・二鷹・三茄子ー」	1/4～2/11	
	「名古屋城下図」		
	○企画展「ひなの世界・源氏物語の世界」	2/14～4/7	
	「国絵図」		

イ 平成23年度利用状況

閲覧者	2,239人	資料特別利用	189件
観覧者	199,221人	資料貸出	5件
資料複写	524件	写真掲載許可	130件

(注)開館日数 299日。入館者数 221,936人。(無料開放施設利用者20,476人を含む)。

※ 展覧会開催状況

会期	展覧会名	日数	入場者数	1日平均
4/1～4/3	「ひなのせかい」 「姫たちの絵本」	3日	2,806人	936人
4/9～5/22	特別展「徳川将軍と尾張の殿さま」	39	22,895	588
5/28～7/24	「建中寺と尾張徳川家ゆかりの寺院ー 法然上人800年大遠忌ー」 「名古屋の天王まつり」	50	27,009	541
7/27～9/19	「歿後400年 加藤清正の時代」 「城造りあれこれ」	49	30,387	621
9/23～11/6	特別展「宮廷の雅ー有栖川宮家から高 松宮家へー」	39	32,118	824
11/12～12/11	「源氏物語の世界」	26	24,039	925
1/4～2/12	「大名の服飾」 「よろいを写す」	35	20,482	586
2/15～3/31	「琉球漆器の美」 「アジアの風ー中国・朝鮮・琉球ー」	40	39,485	988
合計	13展覧会	281	199,221	709

ウ 地域別閲覧人員

(単位 人)

市内	県内	県外	計	1日平均
906	435	510	1,851	6.3

エ 参考事務取扱数

(単位 件)

窓 口	電 話	文 書	画 像	計
126	58	20	298	502

オ 分類別閲覧冊数

(単位 冊)

国 書	郷 土 資 料	絵 図	漢 籍	一 般 図 書	計
1,378	610	160	424	7,015	9,587

(3) 名古屋市秀吉清正記念館

ア 概 要

沿 革	昭和42年5月 豊臣秀吉と加藤清正の業績を顕彰する目的で中村公園内に豊清二公顕彰館として開館 53年10月 博物館の分館となる 平成元年4月 改築のため休館 3年5月 秀吉清正記念館と名称を改め、中村公園文化プラザ2階に再オープン
構 造	鉄骨・鉄筋コンクリート造3階
延 床 面 積	721.21㎡
所 在 地	名古屋市中村区中村町字茶ノ木25番地
休 館 日	月曜日（祝日の場合は翌日）・第3金曜日（祝日を除く） 年末年始（12/29～1/3）
開 館 時 間	午前10時～午後5時
施 設 内 容	1 常設展示室 205㎡ 2 特別陳列室 88㎡ 3 収蔵庫 81㎡
事 業 概 要	秀吉・清正に関する資料や尾張の戦国武将に関する資料のほか、戦国～安土桃山時代の生活や文化に関連する資料の収集・保管・展示。
所 蔵 資 料 (平成24年3月31日現在)	絵画160点、工芸52点、文書584点、その他21点 合計817点

イ 平成23年度利用状況

	資 料 特 別 利 用		資 料 貸 出	
件 数 及 び 点 数	52件	72点	34件	34点

ウ 展覧会開催状況

会 期	展 示 会 名	日 数	入場者数	1 日 平 均
4 / 1 ~ 3 / 31	常設展示	日 297	人 49,609	人 167
4 / 1 ~ 4 / 24	名古屋市文化財指定記念 特集展示「兼松家資料展」	20	(2,355)	118
4 / 26 ~ 6 / 5	没後400年記念 特集展示「武将 加藤清正」	35	(5,234)	150
6 / 7 ~ 7 / 18	パネル展「尾張西部・北部の城」	35	(7,275)	208
7 / 20 ~ 8 / 28	夏休み特集展示「秀吉・清正の合戦」	34	(9,497)	279
8 / 30 ~ 10 / 2	パネル展「戦国武将と尾張東部・知多の寺社」	29	(4,042)	139
10 / 8 ~ 11 / 13	加藤清正没後400年記念特別陳列「三成と清正」	31	6,887	222
11 / 29 ~ 1 / 29	パネル展「桶狭間の戦跡を歩く」	47	(5,997)	128
1 / 31 ~ 3 / 25	パネル展「伊勢・伊賀の城」	46	(5,695)	124
3 / 27 ~ 3 / 31	名古屋市文化財指定記念 特集展示「近江木下家資料展」	5	(527)	105
合 計	9 展 覧 会		56,496	

() は再掲

4 名古屋市見晴台考古資料館

ア 概 要

沿 革	見晴台遺跡は、南区見晴町一帯に広がる弥生時代後期から古墳時代にかけての集落跡を主とした遺跡であり、考古資料館は、この遺跡に関する資料の調査研究、収集及び保管並びに展示を中心とした教育普及活動を行うとともに、市内の遺跡を発掘調査する施設として昭和54年10月11日に開館した。 昭和55年1月25日 博物館法に基づく登録博物館となる。
構 造	本館 鉄筋コンクリート造、地上1階、地下1階、一部中2階 西館 軽量鉄骨造平屋建
敷 地 面 積	1,902.33㎡
延 床 面 積	1,529.41㎡
所 在 地	名古屋市南区見晴町47番地（笠寺公園内）

休 館 日	毎週月曜日（休日に当たるときはその翌平日）、毎月第4火曜日（休日を除く）、 年末年始（12／29～1／3）
開 館 時 間	午前9時15分～午後5時
施 設 内 容	展示室 142.58㎡・映像展示室 136.17㎡
事 業 概 要	見晴台遺跡を学習する場として、遺跡から出土した遺物・模型・パネル・写真等の展示、講演会・展示説明会・映画会の開催、教育普及活動として、考古学関係の印刷物の発行及び遺跡に実際にふれることにより歴史と文化財に対する関心を高めるための、市民参加による遺跡の発掘調査を行っている。

イ 展示活動

展示室では、見晴台遺跡から出土した遺物を中心に、年約5回テーマを設定して展示会を開催し、市民の利用に供している。

＜平成23年度開館日数・入館者数＞

（ア）展示会別

会 期	展 示 会 名	日 数	入場者数	1日平均
4／1～6／26	常設展「見晴台遺跡展」	77	10,122	131
6／29～9／25	企画展「見晴台遺跡発掘展」	75	8,367	112
9／28～10／23	常設展「見晴台遺跡展」	23	2,556	111
10／26～1／22	特別展「弥生の拠点集落」	70	8,093	116
1／25～3／25	企画展「新出土品情報展」	52	5,937	114
3／28～3／31	常設展「見晴台遺跡と市内の遺跡展」	4	391	98
合 計		301	35,466	118

（イ）月 別

月 別	開館日数	入 館 者 数			1日平均	団 体	
		高校生以上	中学生以下	計		団体数	人 員
年 月	日	人	人	人	人		人
23 4	27	1,356	3,028	4,384	162	25	2,271
5	27	1,270	1,813	3,083	114	15	903
6	25	1,009	1,810	2,819	113	29	1,094
7	26	1,887	1,636	3,523	136	1	21
8	25	1,376	1,183	2,559	102	1	17
9	25	1,359	1,123	2,482	99	3	89
10	25	1,686	1,056	2,742	110	0	0
11	25	2,783	1,314	4,097	164	3	1,291

月 別	開館日数	入 館 者 数			1 日 平 均	団 体	
		高校生以上	中学生以下	計		団体数	人 員
年 月	日	人	人	人	人		人
12	23	1,296	748	2,044	89	1	4
24 1	23	1,219	705	1,924	84	5	87
2	24	1,947	892	2,839	118	6	131
3	26	1,912	1,058	2,970	114	1	8
合 計	301	19,100	16,366	35,466	118	90	5,916

ウ 教育普及活動

(ア) 見晴台遺跡第51次発掘調査（市民参加発掘調査）

期 間 7月13日～8月14日（市民参加の期間）

参加者数 185人（延べ482人）

(イ) 映像展示室などでは映画の上映・講演会・展示説明会などを開催した。

行 事 名	回 数	参 加 者 数
講 演 会 等	回 7	人 298
展 示 説 明 会	5	42
映 画 会	10	286
「みはらしの日」	10	106

(ウ) 見晴台遺跡を理解するための広報、出版活動を行っている。

館報6回、見晴台教室'11、年報28

(エ) 市内遺跡の発掘調査の成果を現地で公開している。

現地説明会 1遺跡 1回 参加者数83人

エ 市内遺跡の発掘調査活動

遺 跡 名	所 在 地	調査期間	面積 (㎡)	主な調査成果
玉ノ井遺跡 (第9次)	熱田区玉の井町	8月～9月	140	縄文土器、古代～中世の掘立柱建物跡
玉ノ井遺跡 (第10次)	熱田区玉の井町	10月～11月	75	古代の須恵器、灰釉陶器、土錘
高蔵遺跡 (第58次)	熱田区夜寒町	11月～12月	75	古代の竪穴住居、古墳時代の方墳、中世陶器

オ 「歴史の里」関係遺跡の発掘調査活動

遺 跡 名	所 在 地	調査期間	面積 (㎡)	主な調査成果
大久手４・５号墳	守山区大字上志段味 字大久手下・字大塚	10月～12月	200	葺石、埴輪列、テラス面
中 社 古 墳	守山区大字上志段味 字東谷	9月～1月	8,000	〔測量調査〕 20cm間隔等高線の墳丘地形測量
尾張戸神社古墳	守山区大字上志段味 字東谷	1月～3月	6,600	〔測量調査〕 20cm間隔等高線の墳丘地形測量

カ 見晴台遺跡の市民参加発掘調査活動

遺 跡 名	所 在 地	調査期間	面積 (㎡)	主な調査成果
見 晴 台 遺 跡 (第 51 次)	南区見晴町	7月～9月	190	弥生時代の濠

キ 発掘調査監督業務

遺 跡 名	所 在 地	調査期間	面積 (㎡)	主な調査成果
瑞 穂 遺 跡	瑞穂区豊岡通二丁目	4月～7月	1,250	環濠の一部、弥生土器
朝 日 遺 跡 (第 20 次)	西区中沼町	4月～7月	1,935	弥生時代の方形周溝墓、弥生土器
NN319号窯群	天白区土原	5月～6月	28.2	中世山茶碗の窯体4基、碗、皿、壺
特 別 史 跡 名 古 屋 城 跡	中区本丸	6月～3月	508	築城期の整地・盛土、南二之門 周辺の石垣、中世の包含層、古 墳時代の竪穴住居、縄文時代晩 期の埋甕
尾 張 元 興 寺 跡	中区正木四丁目	6月～7月	92.5	古代の掘立柱建物跡、須恵器、 土師器、古代瓦、中世陶器
仁 所 遺 跡	瑞穂区軍水町三丁目	7月～8月	450	谷地形の包含層 銅鐸形土製 品、鶏形土器、人面付土製品や 弥生土器、縄文土器、 古代の須恵器、中世陶器
正 木 町 遺 跡	中区正木一丁目	10月～11月	205	竪穴住居跡、掘立柱建物跡、土 坑、土師器、須恵器、石製紡錘 車、陶馬

5 名古屋市美術館

ア 概 要

沿革	昭和58年1月 美術館調査委員会より「名古屋市美術館（仮称）の基本構想について」答申 7月 美術館建設委員会を設置 63年4月 開館 平成元年9月 博物館法に基づく登録博物館となる		
構造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造） 地下1階・地上2階建		
敷地面積	10,509.125㎡（白川公園内の美術館管理区域）		
延床面積	7,232.41㎡		
所在地	名古屋市中区栄二丁目17番25号		
休館日	月曜日（祝日の場合はその直後の平日） 年末年始（12／29～1／3）		
開館時間	午前9時30分～午後5時（入場は4時30分まで）、金曜日（祝日の場合は除く。）は午後8時（入場は7時30分）まで		
施設内容	部屋名	面積	内 容
	常設展示室 1 2 3	768 ㎡ 102 175	エコール・ド・パリ、メキシコ・ルネサンス、現代の美術、郷土の美術という4つの柱からなる収蔵作品を、年3回程度展示替えをしながら、系統だててわかりやすく展示する。
	企画展示室 1 2	688 ㎡ 571	時代的に、また地域的に変化と多様性に富む美術の世界を、テーマを定めて幅広く紹介する企画展を開催する。
	図書室	95 ㎡	美術関係の専門書（洋書も含む。）や各種展覧会の図録などの文献やビデオソフトがあり、自由に閲覧、視聴できる。
	講 堂	239 ㎡	180人収容可能で、ビデオを始めとする映像機器を備え、美術講演会、美術講座、映画会等を開催する。
	事業内容	1 美術品及び美術に関する図書、文献、写真等の資料の収集、保管、展示及び供用 2 美術に関する専門的な調査研究 3 美術に関する案内書、解説書、目録、年報、調査研究の報告書等の作成及び頒布 4 美術に関する講演会、ミュージアム・コンサート、ビデオ上映会等の開催 5 常設展示室でボランティアによる所蔵作品のガイド <24年度開催(予定)の特別展> ○いのちの煌めき 田淵俊夫展 4/7～5/20 ○ポジション2012 名古屋発現代美術 6/2～7/16 ○大エルミタージュ美術館展 7/28～9/30 ○青木野枝展 10/20～12/16	

所 蔵 作 品 (平成24年3月31日現在)	エコール・ド・パリ関係	513点	} 計 5,434 点
	メキシコ・ルネサンス関係	501点	
	現代の美術	555点	
	郷土の美術	3,865点	

イ 特別展示

会 期	展 覧 会 名	日 数	入場者数	1 日平均	備 考
(2/22～) 4/1～4/10	没後120年 ゴッホ展	10	72,081	7,208	中日新聞社、中部日本放送と共催
4/23～6/12	写真家・東松照明 全仕事	44	13,756	313	中日新聞社、東海テレビ放送と共催
6/25～9/4	レンブラント 光の探求/闇の誘惑	62	97,670	1,575	中京テレビ放送と共催
9/13～10/23	画家五十年の軌跡 平松礼二展	36	14,040	390	中日新聞社、東海テレビ放送と共催
11/1～12/25	日本画壇の風雲児 中村正義 新たな全貌	48	8,187	171	中日新聞社と共催
2/11～3/25	ベン・シャーン クロスメディア・アーティスト	38	12,842	338	読売新聞社、中京テレビ放送、美術館連絡協議会と共催
合 計	(6) 5 展覧会	238	218,576	918	

ウ 常設展示

会 期	展 覧 会 名	日 数	入場者数	備 考
	常設展	280	74,130	特別展入場券による入場者数を含む。
6/18～7/18	特集1 宮島達男	(27)	(5,318)	常設企画展
9/13～10/23	池水慶一 「毛深き人たち」 - 東山動物園のゴリラ達	(36)	(5,195)	〃
1/21～3/25	特集2 北川民次の芸術	(56)	(7,621)	〃

(注) 常設展日数・入場者数は、() 内を含む。

エ 平成23年度美術品等利用状況

資 料 貸 出	図 書 閲 覧
14件、67点	9,443人

オ 教育普及事業

内 容	回 数	参 加 者 数
美術講演会、作品解説会など	20 回	2,626 人
コンサート、上映会	10	1,453
夏休みこどもの美術館 (ワークショップ含む)	40 (日)	12,042
子どものためのワークシート キッズ・アートウォッチングなど	147	1,779
合 計	217	17,900

6 名古屋市科学館

ア 概 要

沿 革	昭和37年11月 天文館開館 39年11月 理工館開館 平成元年4月 生命館開館 市立名古屋科学館から名古屋市科学館へ名称変更 2年1月 博物館法に基づく登録博物館となる 23年3月 理工館・天文館改築		
構 造	理工館・天文館 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7階・地下2階建 生命館 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階・地下2階建		
敷 地 面 積	13,661.95㎡		
延 床 面 積	22,551.32㎡		
所 在 地	名古屋市中区栄二丁目17番1号		
休 館 日	月曜日(祝日の場合はその直後の平日) 第3金曜日(祝日の場合は第4金曜日)・年末年始(12/29～1/3)		
開 館 時 間	午前9時30分～午後5時(入場は4時30分まで)		
施設内容	部 屋 名	面 積	内 容
	展 示 室	計6,515 ㎡	天文・理工・生命などの分野を、各階の展示室ごとにテーマを定め、観覧者が実物・模型・映像などを通して、楽しみながら科学を容易に理解できるよう展示する。
	天文館 5 階	702	
	理工館 2 階～6 階	3,636	
	生命館 2 階～5 階	2,177	
	第 1 実 験 室	115 ㎡	科学に関する実験や工作などの各種講座を開催する。
	第 2 実 験 室	120 ㎡	
	学 習 室	102 ㎡	

情 報 資 料 室	97 m ²	科学系分野の図書と映像（ビデオ、DVD）の閲覧、インターネット検索のサービスを提供する。 開架用図書 約7,000冊 ビデオ等 約1,000本		
プラネタリウム ブラザー アース (Brother Earth) 内径 35m 定員350人	830 m ²	投影する話題を月ごとに定め、学芸員の生解説により1日6回投影している。また、幼児向け、小学生向け、夜間投影など特別投影も行う。投影時間は約50分。		
イベントホール	778 m ²	特別展、企画展、各種展覧会や事業を開催する。		
サイエンスホール (定員320席)	440 m ²	各種講演会等を開催する。		
サイエンス ステージ	173 m ²	空気、運動、電気、化学反応などの実験をショー形式で開催する。		
天文台	87 m ²	口径80cmの反射望遠鏡を設置し、昼間の星をみる会、市民観望会などを開催する。		
星の広場 (屋上)	598 m ²	小型望遠鏡を並べて市民観望会を開催する。		
事業概要	1 天文、理工、生命に関する資料及び装置の展示 2 プラネタリウムによる天体運行等の投影及び天体観測等の指導 3 天文、理工、生命に関する知識の普及及び指導 4 科学技術に関する情報の収集及び提供並びに出版 5 科学技術及び運営企画に関する調査研究 6 その他、教育委員会が必要と認める事業 ＜理工館・天文館の改築＞ 世界一のプラネタリウムと大型展示により、学習施設であるとともにエンターテインメント性豊かな観光拠点ともなる世界レベルの科学館を整備。 ＜24年度開催(予定)の特別展＞ ○「OCEAN!海はモンスターでいっぱい」 3／17～6／10 ○「空飛ぶのりもの～大空から宇宙まで」 7／16～9／2			
展示資料 (平成24年3月31日現在)	宇宙天文 44点 物質 27 数学情報 10 エネルギー・物理 30	交通機械 22点 生命 32 生活 11 環境 26	その他総合 38点 計 240点	
ネーミングライツ の導入 ブラザー アース (Brother Earth)	対象施設：プラネタリウムドーム 権利内容：施設命名権、施設サイン掲出権等 ネーミングライツ・パートナー：ブラザー工業株式会社 契約期間：平成23年3月19日から平成28年3月31日			

イ 平成23年度月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10
入館者数	113,719	138,879	119,155	177,577	283,861	91,165	104,799
開館日数	25	25	25	26	27	23	25

月	11	12	1	2	3	計
入館者数	100,374	78,970	89,388	89,504	144,463	1,531,854人
開館日数	25	23	23	24	26	297日

ウ 平成23年度各種行事実施状況

行 事 名	期 間	日 数	参加者数
		日	人
特別企画「お化け屋敷で科学する！」	4/23～6/26	54	72,886
特別展「黄河大恐竜展」	7/16～8/31	41	157,822
特別展「OCEAN!海はモンスターでいっぱい」	3/17～6/10	73	29,881 (3月31日時点)
古川為三郎サイエンス企画展「最新の映像技術 深海の不思議」	3/19～ 5/5	26	13,815
楽しい鉄道模型	6月・9～1月	1	入館者対象
鉄道模型スペシャル	2/11・12	2	入館者対象
科学技術週間行事			
①記念講演会	4/23	1	①②共通
②学術映像祭入選作品発表	4/23	1	134
第32回古川為三郎サイエンス講演会	3/11	1	214
プラネタリウム特別投影			
①キッズアワー (土・日・祝・夏・春休み)	年間	166 (回)	56,983
②字幕付きで見るプラネタリウム	8/20、3/17	2	630
③夜間特別投影	毎月1回	12	4,360
④幼児向け学習投影	5/10～7/20、2/28～3/8	47	24,601
⑤小学校4年生向け学習投影	11/22～2/24	35	19,423
⑥小学校6年生向け学習投影	9/28～11/17	26	16,772
昼間の星をみる会(日)	4/24～3/18	22	13,950
市民観望会(土または日)	5/14～3/24	12	2,836

行 事 名	期 間	日数	参加者数
		日	人
電子工作教室	7/29～7/31	3	84
かがくの実験室	7/27・28、8/12・13	4	174
かがくゼミナール	8月～3月	4	114
第14回リフレッシュ理科教室	8/5・6	2	181
レッツ・サイエンス	8/10、8/24、12/27	3	139
地球教室	5月～2月	8	97
科学的な考え方を学び楽しむ化学（科学）実験室	6/25・7/2	2	49
放射線ウォッチング	7/28・29、8/2・3	4	45
名古屋でんちフェスタ2011	7/17	1	649
ラベルライター製作教室	9/23	1	54
夏休み親子写真教室	8/27・28	2	133
夏休み親子プラモデル教室	8/26	1	52
その道の達人派遣事業			
①出前ものづくり工房	6月中旬～	28	2,981
②出前サイエンスゼミナール	9月～	12	810
③トワイライト事業	12月～3月	6	605
名古屋少年少女発明クラブ			
①ものづくりコース			
(a)ものづくり工房	毎週土曜日(4～7月、9～3月)	42	4,191
(b)ものづくり教室	第3土曜日(8・3月を除く)	10	270
②ロボットコース			
(a)ロボット工房 (会場：科学館及び吹上ホール)	週日曜日(8月を除く)	38	8,411
(b)ロボット教室	第3日曜日(4～6月、9～3月)	7	60
(c)夏休みロボット教室	8/18・19	2	16
ロボカップジュニア大会			
◎ロボカップジュニアなごやオープン	12/17	1	27
◎ロボカップジュニアなごや大会	12/18	1	41
◎ロボカップジュニア東海ブロック大会 (会場：愛知工業大学八草キャンパス)	2/11	1	48
◎ロボカップジュニアジャパンオープン			

行 事 名	期 間	日数	参加者数
		日	人
会場：インテックス大阪	5/3～5/5	3	20チーム
会場：バイコム尼崎	3/30・31	2	22チーム
			(東海地区より)
③地球コース			
地球工房	毎週土・日曜日(4～7月、 9月～3月)	60	3,563
文化講演会「化石を語る」	4/29	1	252
文化講演会「旅するウナギ～1億円の時空をこえて」	3/4	1	243
親子講座「お天気キャスターと学ぶ」	3/24	1	174
日本学術会議サイエンスカフェin名古屋(第12回)	10/29	1	47
公開講座「ソフトサイエンスシリーズ」	11/5	1	239
国際ヒメボタルサミット	8/20	1	300
第18回生きている地球の記録	7/23・24	2	408
走る昆虫教室「ファールブル号」がやってくる!	8/3	1	1,796
知財子ども教室プログラム	8/30・31	2	180
スペース・キッズ・プラットフォーム2011	8/30	1	89
科学創作コンクール	10/10～10/15	5	入館者対象
第55回愛知県学生科学賞入賞作品展	10/18～22	5	入館者対象
青少年のための科学の祭典2011名古屋大会	10/1・2	2	3,118 (6,265)
高校生による科学の祭典2011	10/30	1	()内はでんきの科学館含む 515
高校生電気自動車プロジェクト 「鉛電池実験セミナー」	12/10	1	28
ミニ写真展「昆虫たちとのふれあいの世界～この 指とまれ」	11/19～1/9	39	入館者対象
サイエンストーク	3/4・10・18	3	199
スペシャル実演	3/17～3/20	4	142
地球ライブ	3/19	1	259
ガイドツアー	11/13・26、3/19	3	561
芸術と科学の杜連携 平松礼二記念対談	9/18	1	250
コンサート	11/13、12/24	2	600
グランドオープン記念講演会	11/6	1	186
コンサート	3/18・19・20・22	4	315
新館1周年記念 環境学習センター・科学館コラ ボ企画「出張ワークショップin創造ひろば」	3/21～3/30	7	653

7 生涯学習センター、生涯学習推進センター、女性会館

(1) 生涯学習センター

生涯学習センターは、市民の誰もが気軽に利用できる学習、集会、軽スポーツのための総合社会教育施設である。その性格として現代的課題、なごや学、親学・青少年育成などの講座や新たに4館で試行実施した市民が企画・運営する「なごやか市民教室」、講演会などの実施により市民の広範な学習要求に応えるとともに、市民が自主的に行う各種グループ活動に対してその求めに応じて、適切な指導、助言を与えるものである。また、市民の各種活動の場として施設の貸与も行っている。事業は以下の7つの柱のもとに行われている。

- a 幅広い層の市民のための講座の開設
- b 講演会等の開催
- c 市民の学習活動等の支援
- d 図書・記録・資料等の保管及び展示・活用
- e 生涯学習に関する情報の提供
- f 生涯学習のための相談
- g 各種社会教育活動に対する場の提供

また、平成12年4月には、区におけるまちづくり推進事業との連携を図りながら、より地域に密着した柔軟で幅広い事業を展開することを目指して、地域の総合行政機関である区役所に各区の生涯学習センターを編入した。

ア 生涯学習センター一覧

			千種 生涯学習センター	東 生涯学習センター	北 生涯学習センター	西 生涯学習センター
開館年月日			昭和50年4月	昭和56年6月	昭和59年6月	昭和60年7月
沿革			平成9年4月「社会教育センター」を「生涯学習センター」に名称変更 平成12年4月 各区生涯学習センターを各区役所に編入			
構造			鉄筋コンクリート 3階建	鉄筋コンクリート 3階建	鉄筋コンクリート 4階地下1階建	鉄筋コンクリート 3階建
敷地面積			3,766.00㎡	1,932.81㎡	1,960.98㎡	874.48㎡
延床面積			2,905.55㎡	2,399.47㎡	3,958.63㎡	2,391.38㎡
所在地			千種区振甫町3丁目34番地	東区葵一丁目3番21号	北区黒川本通2丁目16番地の3	西区浄心一丁目1番45号
休館日			第2水曜日、第4月曜日、 年末年始等		第2火曜日、 第4月曜日、 年末年始等	第2水曜日、 第4月曜日、 年末年始等
開館時間			午前9時～午後9時（日曜日、祝日は午前9時～午後5時）			
施設内容			集会室、和室、視聴覚室、美術室、料理室、体育室等			
23 年度 の 主 な 事 業	定期 講座数 (延回数)	前期 後期	11 (59) 9 (44)	10 (53) 10 (54)	9 (48) 10 (53)	11 (58) 8 (39)
		合計	20 (103)	20 (107)	19 (101)	19 (97)
	定期講座 受講者数	前期 後期	314 241	201 212	185 246	284 181
		合計	555	413	431	465
	特色ある 事業		・くなごや学マイスター講座＞千種区の花「あじさい」を育てよう！ ・親子で和菓子作りに挑戦！ ・障がい者ふれあい太鼓教室 ・史跡散策事業 ・大学共催講座 ・生涯学習まつり ・小中学生スポーツ広場 ・土曜映画会	・ときめきの風は東から生涯学習まつり2011 ・くなごや学マイスター講座＞東区文化のみちマイスター養成講座 ・お二人様の食卓～元気・笑顔・愛情は料理から～ ・ハンディを越えた交流事業	・ジュニア手話クラブ「ゆびきり」 ・手作り絵本教室 ・きたきた福祉の日 ・パソコン広場 ・くなごや学＞写真に残す「北区の魅力」 ・くなごや学マイスター講座＞ぶらりわが町再発見Ⅲ ・くなごや学＞北区の伝統工芸に学ぶ	・色は心のサプリメント ・今なら間に合う防災術～もし、名古屋で大地震が起きたら～ ・くなごや学＞どえりゃあ！うみやあ！なごやめし～知って作って大満足～ ・くなごや学＞名古屋の街道を歩く ・シリーズ講演会

中 村 生涯学習センター	中 生涯学習センター	昭 和 生涯学習センター	瑞 穂 生涯学習センター	熱 田 生涯学習センター
昭和60年 6 月	昭和57年 6 月	昭和55年 6 月	昭和57年 6 月	昭和59年 6 月
平成 9 年 4 月 「社会教育センター」を「生涯学習センター」に名称変更 平成12年 4 月 各区生涯学習センターを各区役所に編入				
鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 2 階 建
2,683.46㎡	2,118.97㎡	2,548.76㎡	2,942.57㎡	3,793.73㎡
2,560.49㎡	2,372.27㎡	2,311.46㎡	2,397.47㎡	2,394.63㎡
中村区鳥居通 3 丁 目 1 番地の 3	中区橋一丁目 7 番 11号	昭和区石仏町 1 丁 目48番地	瑞穂区惣作町 2 丁 目27番地の 3	熱田区熱田西町 2 番13号
第 2 水曜日、 第 4 月曜日、 年末年始等	第 2 火曜日、 第 4 月曜日、 年末年始等	第 2 水曜日、 第 4 月曜日、 年末年始等	第 2 火曜日、 第 4 月曜日、 年末年始等	第 2 水曜日、 第 4 月曜日、 年末年始等
午前 9 時～午後 9 時（日曜日、祝日は午前 9 時～午後 5 時）				
集会室、和室、視聴覚室、美術室、料理室、体育室等				
10（ 57） 10（ 53）	9（ 49） 9（ 50）	9（ 49） 10（ 56）	11（ 59） 9（ 59）	9（ 45） 9（ 45）
20（110）	18（99）	19（ 105）	20（118）	18（90）
232 300	228 190	222 234	349 267	258 208
532	418	456	616	466
・シニアのためのシリーズ講演会 ・なかむら歴史講演会 ・キッズわくわくスクール ・おもちゃ図書館 ・子育てほっとひろば ・自主グループ春の発表会 ・初心者・初級者のためのパソコン相談会	・＜なごや学マイスター講座＞なごやの城下町、碁盤割の魅力を見つめて！ ・みんなで始めよう！パソボラ ・なか・ぶんかまつり ・親学特別講演会 ・楽しくつくろう！おこしもち ・Nakaミュージアム散策 ・幼児向け人形劇「おたま劇場」	・自遊ひろば ・スポーツ交歓会 ・八事里山ふれあい体験会 ・親子パンづくり教室 ・親子そば打ち道場 ・新春コンサート ・発見！川名公園 ・まるはちの日関連事業「親子ふれあいコンサート」 ・親子ふれあい人形劇 ・子育てわいわいサロン ・自遊らんど	・'11センターまつり ・2012春のこどもまつり ・瑞穂の魅力まるかじり ・レトロな瑞穂ヘタイムスリップ ・子育てワイワイ広場[保健所共催] ・みずほプラザ ・おばけやしきをつくろう	・熱田生涯学習まつり ・家庭の日事業 ・子ども科学工作教室 ・中部森林管理局共催事業 ・熱田史跡ガイドの会共催事業 ・あつた産業再発見イベント

中川 生涯学習センター	港 生涯学習センター	南 生涯学習センター	守山 生涯学習センター	緑 生涯学習センター
昭和53年 6 月	昭和54年 6 月	昭和58年 6 月	昭和51年 5 月	昭和52年 5 月
平成9年 4 月 「社会教育センター」を「生涯学習センター」に名称変更 平成12年 4 月 各区生涯学習センターを各区役所に編入				
鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 2 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建
2,057.92㎡	2,223.41㎡	3,573.74㎡	3,856.88㎡	2,330.11㎡
2,074.24㎡	2,299.90㎡	2,386.26㎡	2,993.29㎡	2,094.71㎡
中川区富川町1丁目2番地の12	港区港陽一丁目10番18号	南区東又兵衛町5丁目1番地の10	守山区守山三丁目2番6号	緑区鳴海町字本町54番地
第2水曜日、 第4月曜日、 年末年始等	第2火曜日、 第4月曜日、 年末年始等	第2水曜日、 第4月曜日、 年末年始等	第2火曜日、第4月曜日、 年末年始等	
午前9時～午後9時（日曜日、祝日は午前9時～午後5時）				
集会室、和室、視聴覚室、美術室、料理室、和洋裁室（守山生涯学習センターのみ）、体育室等				
9（44） 9（47）	10（54） 8（48）	9（47） 8（41）	10（53） 9（52）	10（53） 11（53）
18（91）	18（102）	17（88）	19（105）	21（106）
213 245	247 174	200 162	272 247	243 228
458	421	362	519	471
・くながや学マイスター講座> 前田利家外伝 ・くながや学>中川運河の魅力再発見 ・“THE 舞台裏”～音響・照明・舞台づくり～ ・新春コンサートアイルランド音楽紀行	・みなとふれあいウォーク ・ボートで中川運河を探検！ ・自主グループによる家庭の日事業・あそびの広場 ・みんなで楽しく国際交流～ブラジルのお菓子を作って、遊ぼう～ ・パソコン相談室	・大同工業大学大同高等学校共催パソコン講座 ・中国帰国者日本語教室「みなみ文化教室」 ・おもちゃの無料修理 ・まちを花でかざりませんか ・魅力再発見！南区の歴史 ・親子料理教室～ドライカレー・スープをつくろう～	・守山金曜科学夜話 ・守山生涯学習まつり ・くながや学マイスター講座>“ええとこ守山”の案内人養成講座 ・鉄道の楽しみ ・くながや学>すばらしき守山の自然 秋・初冬 ・「歴史の里」ウォーク ・無料パソコン相談	・くながや学「今こそ、鳴海を学ぶ」「中世の道『鎌倉街道』探索」 ・親学関連講座「親の想いを伝えよう～実践！体験！ハートフル・コミュニケーション～」 ・戦争体験を語り継ぐ集い ・パソコン体験教室&ワンポイント相談

緑生涯学習センター 上汐田教育集会所	名 東 生涯学習センター	天 白 生涯学習センター
昭和60年 5 月	昭和55年 6 月	昭和56年 6 月
平成12年 4 月 緑生涯学習 センターの分館となり区役 所に編入	平成 9 年 生涯学習センターに名称変更 平成12年 各区役所に編入	
鉄 骨 造 2 階 建	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 2 階 建	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 2 階 建
187.00㎡	3,691.52㎡	7,393.70㎡
155.14㎡	2,213.61㎡	2,349.93㎡
緑区鳴海町字上汐田 447番地	名東区社が丘三丁目 802番地	天白区天白町島田 黒石4050番地
月曜日、祝日、 年末年始等	第 2 火曜日、第 4 月曜日、 年末年始等	
午前 9 時 ～午後 9 時	午前 9 時～午後 9 時 (日曜日、祝日は午前 9 時～午後 5 時)	
集会室、和室、 談話室	集会室、和室、視聴覚室、美術室、 料理室、体育室等	
5 (33) 5 (31)	10 (53) 10 (54)	10 (52) 9 (51)
20 (64)	20 (107)	19 (103)
66 51	286 257	253 187
117	543	440
・人権週間記念行事 ・社会見学 ・健康相談 ・自動車図書館	・ふれあい生涯学習まつり ・名東サロンコンサート ・名東っ子遊びの広場 ・名東っ子スポーツ広場 ・「家庭の日」親子スポーツ教室 ・子どもの可能性を伸ばす子育て術 ・シニアからのブログ講座 ・いたかの森で生きものがし ・自分らしく素敵に輝く生き方 ・メイクボランティア養成講座 ・手作り絵本講座 ・森の案内人養成講座	・子どもまつり ・スポーツ交流会 ・大学との共催事業 ・深めよう！親子のきずな地域のきずな ・テンパク・テニユア ・「人生これからが面白い！」講演会

イ 利用状況（平成23年度）

	利 用 件 数				利 用 者 数				左のうち 主催事業の 参加者数
	集会室等	体育室	館外等	計	集会室等	体育室	館外等	計	
千種生涯学習 セ ン タ ー	3,921	1,783	40	5,744	52,979	36,434	2,211	91,624	10,767
東生涯学習 セ ン タ ー	5,456	886	180	6,522	66,563	24,482	3,098	94,143	8,373
北生涯学習 セ ン タ ー	6,222	900	22	7,144	89,897	31,386	6,500	127,783	19,485
西生涯学習 セ ン タ ー	4,081	856	269	5,206	52,347	27,928	4,807	85,082	9,690
中村生涯学習 セ ン タ ー	4,128	921	204	5,253	54,054	31,386	3,197	88,637	12,008
中生涯学習 セ ン タ ー	4,939	891	61	5,891	62,580	23,126	2,141	87,847	8,039
昭和生涯学 習センター	4,154	921	136	5,211	51,387	26,564	2,955	80,906	9,407
瑞穂生涯学 習センター	4,702	912	388	6,002	63,009	26,997	4,029	94,035	16,060
熱田生涯学習 セ ン タ ー	2,649	908	20	3,577	31,961	28,010	3,517	63,488	6,514
中川生涯学習 セ ン タ ー	2,554	848	17	3,419	31,847	13,557	370	45,774	5,720
港生涯学習 セ ン タ ー	2,569	885	264	3,718	31,656	23,445	4,359	59,460	8,672
南生涯学習 セ ン タ ー	3,590	934	232	4,756	58,272	31,121	4,676	94,069	12,718
守山生涯学習 セ ン タ ー	5,212	872	31	6,115	68,053	20,059	711	88,823	8,114
緑生涯学習 セ ン タ ー	3,703	864	387	4,954	59,792	21,785	4,189	85,766	9,822
名東生涯学習 セ ン タ ー	3,415	912	17	4,344	47,191	30,071	2,110	79,372	9,769
天白生涯学習 セ ン タ ー	3,878	928	288	5,094	64,353	30,088	5,698	100,139	16,849
上 汐 田 教育集会所	416	-	62	478	2,779	-	527	3,306	779
計	65,589	15,221	2,618	83,428	888,720	426,439	55,095	1,370,254	172,786

(2) 生涯学習推進センター

ア 概 要

沿 革	社会教育法に基づく公民館として生涯教育センターの名称で昭和63年8月31日開館。生涯学習に関する調査研究を行い学習情報の蓄積ネットワーク化の中心としての機能を強めるため、平成9年4月1日から生涯学習推進センターと名称を改める。平成12年4月1日からはさらに弾力的な事業展開を図り、生涯学習の推進に努めるため、公民館から、社会教育施設に変更した。 平成16年4月1日 現在地に移転。
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階・地上4階建のうち1階部分の一部
延 床 面 積	96.17㎡
所 在 地	名古屋市中区大井町7番25号
休 館 日	毎月第1日曜日・第3木曜日、国民の祝日に関する法律による休日 年末年始（12月29日～1月3日）
開 館 時 間	午前9時～午後9時（日曜日は午後5時まで）

イ 平成23年度事業内容

事 業 名	内 容
企 画 開 発 ・ 調 査 研 究 事 業	(1) 生涯学習センターが行う新たな事業展開についてー市民協働による「なごやか市民教室」の創設ー 平成22年度の調査研究で提案した「市民が学びの成果を生かす学習成果還元事業」を市民と協働し「なごやか市民教室」として試行実施した。その結果、企画概要の見直し、効果的な広報、グループ化の支援等の課題を得ることができた。そして、課題解決の手立てを講じた上で、開催館を拡大して再度実施する必要性が明らかとなった。 (2) 公的社会教育施設が行う情報発信のあり方～市の生涯学習総合サイト・総合誌としての機能を高めるために～ 平成23年3月におけるインターネット生涯学習総合サイト「生涯学習 Web ナビなごや」リニューアルと、総合誌「生涯学習なごや」改善における検証をもとに、課題を見出した。そして、「生涯学習 Web ナビなごや」の再リニューアル実施や「生涯学習なごや」の情報充実を図った。その結果、市の情報集約施設である推進センターの情報発信のあり方を明らかにするとともに、総合サイト・総合誌としての機能を高めることができた。
情 報 提 供 ・ 学 習 相 談 事 業	学習成果を生かしたい市民の情報を、教育や生涯学習に関する指導・支援を必要とする地域や学校などからの求めに応じて提供する教育サポーターネットワークを運用するとともに、学習グループ情報の提供、情報誌「生涯学習なごや」の発行、生涯学習情報総合サイト「生涯学習Webナビなごや」による学習情報提供を行った。 また、市民ボランティア（生涯学習アドバイザー）による学習相談を実施した。 さらに、生涯学習資料を収集し、閲覧、貸し出しに供した。

事業名	内 容				
学 習 機 会 提 供 事 業	市民の多様化・高度化する学習要求に応えることができる広域的・専門的な学習機会として「名古屋市民大学」や「市民大学公開講演会」を開設した。また、大学等高等教育機関との連携による「大学連携講座」を開設した。				
	・名古屋市民大学	通年	1講座	受講者数	860人
		後期	1講座	受講者数	31人
	・大学連携講座	前期	15講座	受講者数	654人
		後期	16講座	受講者数	1,138人
	・市民大学公開講演会	6回		入場者数	2,080人
そ の 他 事 業	連絡・連携のための事業 ・大学連携協議会 28大学 31人参加				

(3) 女性会館

ア 概要

沿革	女性教育の振興を図ることを目的に、女性教育の専門施設として設置された社会教育施設である。その性格は、「女性の学習・交流・情報の拠点」として位置づけられ、女性教育のセンター的役割を果たすものとして、大井プール跡地に、昭和53年7月19日婦人会館として開館した。 平成3年5月女性情報センターの開設に伴い、女性会館と改称した。				
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階・地上4階建				
敷地面積	3,380.34㎡				
延床面積	5,730.50㎡ <table border="1"> <tr> <td>「女性学習センター</td><td>3,434.18㎡」</td></tr> <tr> <td>「女性情報センター</td><td>2,296.32㎡」</td></tr> </table>	「女性学習センター	3,434.18㎡」	「女性情報センター	2,296.32㎡」
「女性学習センター	3,434.18㎡」				
「女性情報センター	2,296.32㎡」				
所在地	名古屋市中区大井町7番25号				
休館日	第1日曜日、第3木曜日、国民の祝日に関する法律による休日、年末年始（12月29日～1月3日）				
開館時間	午前9時～午後9時（日曜日は午後5時まで） ただし、図書資料室は午前9時30分～午後8時30分（日曜日は午後4時30分まで）				

	部 屋 名	面積 (㎡)	定員 (人)	部 屋 名	面積 (㎡)	定員 (人)
施設 内 容	大 会 議 室	97.40	42	小 会 議 室	26.70	12
	中 会 議 室	49.80	24	文 化 活 動 室	108.00	50
	大 研 修 室	141.60	150	託 児 室	87.00	—
	第 4 集 会 室	94.40	63	印 刷 室	32.00	—
	視 聴 覚 室	144.60	126	ボランティアルーム	26.70	—
	視 聴 覚 準 備 室	23.60	—	談 話 室	60.10	—
	第 1 研 修 室	70.80	54	ホ ー ル	350.00	350
	第 2 研 修 室	70.80	54	図 書 資 料 室	322.52	—
	第 3 研 修 室	70.80	54	第 3 集 会 室	37.78	18
	第 4 研 修 室	49.80	30	録 音 室	10.52	—
	生 活 科 学 研 修 室	81.00	54	学 習 相 談 室	11.74	—
	第 1 和 室	} 97.00	18	グ ル ー プ 相 談 室	18.29	—
	第 2 和 室		15	第 1 集 会 室	55.11	36
				第 2 集 会 室	36.77	22

イ 平成23年度事業内容

事 業 名	内 容
学習機会提供事業	講座・講演会等 女性の主体的な学習を支援するため、女性の課題に対応した学習の機会を提供した。「女性の生き方・エンパワーメント」「現代的課題」「社会参画」「子育て」を4本柱として講座を開設したほか、講演会などを実施。 17講座 学習者数445人 13講演会・公開講座等2,038人
	なごや女性カレッジ 大学等の高等教育機関と連携して、女性の学習機会を提供することにより、女性の生涯学習及びリーダーとしての資質の向上を図るため実施。平成23年度は南山大学大学院教育ファシリテーション専攻と共催し、女性会館で託児付で実施。 学習者数36人
	託 児 女性の学習、交流を支援するため、主催講座を中心に託児事業を実施。 講座託児・講演会託児・学習支援託児 99回 学習者数977人 託児室交流会 4回 学習者数69人 託児ボランティア研修会 5回 学習者数125人
グループ活動支援事業	自主的な学習活動・文化活動・ボランティア活動をしているグループを支援するため、研修会、交流会等を開催。日常活動の発表と市民の交流の場として、イーブネット・フェスティバル2011を開催。
学習相談事業	女性の学習課題解決に向けて、適切な情報を提供するとともに、自ら学び、情報収集できるよう学習相談を行った。相談件数 192件
情報収集提供事業	女性の学習に必要な図書・資料の収集・提供のほか、ホームページによる情報提供を行った。 図書資料室の運営 利用者数 延べ15,017人 ホームページ アクセス件数 91,624件

ウ 平成23年度利用状況

区 分	大会議室	中会議室	小会議室	大研修室	第 1 研修室	第 2 研修室	第 3 研修室	第 4 研修室	第 1 和室	第 2 和室
利用件数	647	689	806	788	698	671	672	703	657	598
利用者数	13,021	6,690	5,184	20,658	12,752	12,228	11,795	6,873	4,092	3,248

区 分	生活科学 研修室	視聴覚室	文 化 活動室	第 1 集会室	第 2 集会室	第 3 集会室	第 4 集会室	ホー ル	合 計
利用件数	695	658	838	767	795	792	770	374	12,618
利用者数	7,765	27,488	11,798	9,756	7,175	6,871	12,695	48,405	228,494

8 スポーツ施設

平成17年4月1日から冷水プールに指定管理者制度を導入。その他のスポーツ施設においては、平成18年4月1日から導入。

(1) 名古屋市総合体育館（日本ガイシ スポーツプラザ）

沿 革	昭和60年4月に着工し、昭和62年3月竣工。開館昭和62年7月19日 平成4年4月、レインボープール（日本ガイシアリーナ）等を増築、開館 平成19年4月にネーミングライツを導入。			
指 定 管 理 者	財団法人名古屋市教育スポーツ協会			
構 造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階建			
敷 地 面 積	116,708.01㎡			
延 床 面 積	48,902.38㎡ 日本ガイシホール13,399.70㎡第2競技場5,816.49㎡ 第3競技場1,552.86㎡日本ガイシアリーナ14,547.11㎡ 50m温水プール3,560.22㎡弓道場1,466.13㎡ 共用棟3,051.45㎡宿泊研修棟1,505.11㎡ ガイシフォーラム棟4,003.31㎡			
所 在 地	名古屋市南区東又兵衛町5丁目1番地の16			
開 館 時 間	午前9時から午後9時（ただし、選手控室兼軽運動室及び飛込練習室の日曜日及び祝日は午後6時、日本ガイシアリーナ、50m温水プール及び25m温水プールの専用使用時の日曜日及び祝日は午後5時、弓道場の日曜日及び祝日は午後4時30分） また、日本ガイシアリーナ、50m温水プール、25m温水プールの個人使用及びトレーニング室は午前10時から午後8時30分（日曜日及び祝日は午後6時）、宿泊研修室は午前0時（1月4日は午前9時）から午後12時（12月28日は午前9時）、駐車場は午前8時45分から午後9時30分			
休 館 日	毎月第3月曜日（祝日の場合第4月曜日。ただし、日本ガイシアリーナ、50m温水プール、25m温水プール、弓道場及びトレーニング室は、祝日を除く毎週月曜日）、また、レインボープールは10月1日から翌年4月30日、レインボーアイスアリーナは4月1日から10月31日、年末年始（12月29日～1月3日）			

施 設 内 容	日本ガイシホール 3,646㎡ (49.4×84.4m)	観覧席 10,000席
	第2競技場 1,638㎡ (36×45.5m)	観覧席 480席
	第3競技場 (格技場－柔道、剣道各4面) 826.5㎡	観覧席 200席
	日本ガイシアリーナ (温度調節付)	
	競泳プール (夏季) 50m 10コース	観覧席 3,500席
	飛込プール 25×25m	
	日本ガイシアリーナアイスリンク (冬季) 60×30m	
	50m温水プール 50m 8コース	観覧席 244席
	25m温水プール 25m 6コース (他に幼児用1コース)	
	アーチェリー場 長さ90m×幅30m	
	弓道場 近的 12人立 遠的 8人立	
	トレーニング室 468㎡	
	その他	
	会議室・飛込練習室・幼児室・スポーツ健康相談室・宿泊研修室・選手控室兼軽運動室・レセプションホール・研修室・和室	

〈平成23年度利用状況〉

施設名	区 別		専 用 利 用		個人利用
	件 数		人 数		人 数
日 本 ガ イ シ ホ ー ル	121 (内、貴賓室24)		1,117,795 (内、貴賓室520)		—
第 2 競 技 場	1,024		208,663		—
第 3 競 技 場	1,028		61,104		500
ア ー チ ェ リ ー 場	93		2,985		5,652
会 議 室 (Ⅰ)	197		3,916		—
競 泳 プ ー ル	214		63,507		3,816
飛 込 プ ー ル	72		21,225		2,367
日 本 ガ イ シ ア リ ー ナ ア イ ス リ ン ク	238		34,744		9,528
5 0 m 温 水 プ ー ル	800		34,784		47,723
2 5 m 温 水 プ ー ル	72		2,782		39,941
弓 道 場	239		47,156		9,368
会 議 室 (Ⅱ)	341		11,574		—
飛 込 練 習 室	87		546		—
選 手 控 室 兼 軽 運 動 室	963		22,500		—
宿 泊 研 修 室	146		3,201		—
ス ポ ー ツ 情 報 セ ン タ ー	—		—		17,471
ス ポ ー ツ 資 料 展 示 室	—		—		1,010
レ セ プ シ ョ ン ホ ー ル	214		73,190		—
研 修 室	1,187		36,985		—
和 室	286		6,529		—
ト レ ー ニ ン グ 室	—		—		82,357
計	7,322		1,753,186		219,733

(2) 名古屋市体育館

沿 革	昭和25年開館の金山体育館が前身(昭和39年4月1日に総務局から教育委員会に移管)。市民会館建設のため取りこわし、昭和44年8月1日開館。		
指 定 管 理 者	シンコースポーツ株式会社		
構 造	鉄筋コンクリート造2階建		
敷 地 面 積	5,386.6㎡		
延 床 面 積	4,330㎡		
所 在 地	名古屋市熱田区六野二丁目5番3号		
開 館 時 間	午前9時から午後9時(第2及び第4日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後6時)		
休 館 日	毎週月曜日(祝休日は開館)、年末年始(12月29日～1月3日)		
施 設 内 容	競技場 1,620㎡(36×45m) 観覧席 908席		
平 成 23 年 度 利 用 状 況	競技場 専用	1,107件	65,354人
	会議室 専用	199件	2,421人

(3) 名古屋市港サッカー場

沿 革	平成5年3月竣工、平成5年9月開館		
指 定 管 理 者	財団法人名古屋市教育スポーツ協会		
構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造		
敷 地 面 積	36,722㎡	所 在 地	港区野跡四丁目11番12号
開 場 時 間	4月から10月は午前9時から午後8時30分、11月から3月は午前9時から午後4時30分		
休 場 日	毎週月曜日(祝休日は開場)、年末年始(12月29日～1月3日)		
施 設 内 容	サッカー場(20,000人収容)、会 議 室		
平 成 23 年 度 利 用 状 況	競技場 専用	147件	28,620人
	会議室 専用	42件	1,910人

(4) 瑞穂運動場

瑞穂運動場は、本市の中心部からおよそ7.5km離れた東南部に位置し、都市公園として緑豊かな自然に恵まれた総面積24.348haの総合運動公園(瑞穂公園)の中にあり、'94「わかしゃち国体」のメイン会場にもなった陸上競技場を始め、ラグビー場、野球場、テニスコート、相撲場、弓道場、アーチェリー場、屋内・屋外プール、トレーニング室、宿泊研修室などの各種スポーツ施設が設置されている。これらの施設は身近な生活圏におけるスポーツ施設として利用される一方、全国的・国際的競技大会の開催が可能な拠点施設としても重要な役割を担っている。

<瑞穂運動場の施設内容>

施設名	所在地	敷 地	竣工年月	施 設 内 容
陸 上 競 技 場 (第 一 種 公認)	瑞 穂 区 山 下 通 5 - 1	33,386.88㎡	昭和16年2月 平成6年5月 (改修)	○トラック 1周400m 8コース 全天候舗装 3000m障害物競走用トラック ○フィールド 走幅跳、三段跳施設6面 棒高跳施設6カ所 走高跳施設6カ所 槍投施設2面 砲丸投施設3カ所 円盤投、ハンマー投施設2面 ○芝生フィールド 天然芝(ティフトン芝・冬芝(ライグラス類) オーバーシーディング) 106m×71m
北 陸 上 競 技 場 (第 三 種 公認)	瑞 穂 区 萩 山 町 3 - 68 - 1	19,820.82㎡	昭和25年10月 平成5年5月 (改築)	○トラック 1周400m 8コース全天候舗装 ○フィールド(走高跳、走幅跳、棒高跳、 槍投、砲丸投、円盤投、三段跳、ハンマー投) ○芝生フィールド 天然芝(高麗芝) 102m×69m
田辺陸上競 技 場	瑞 穂 区 田 辺 通 3 - 2	7,541.31㎡	昭和54年3月 平成6年6月 (改修)	○ソフトボール等多目的運動広場
レ ク リ エ ー シ ョ ン 広 場	瑞 穂 区 萩 山 町 4 - 1	11,326.71㎡	平成6年5月	○トラック 1周300m (6コース可能)
ラ グ ビ ー 場	瑞 穂 区 山 下 通 5 - 4	26,000㎡	昭和25年10月 平成2年3月 (改築)	○フィールド 天然芝(ティフトン芝・冬芝(ライグラス類) オ ーバーシーディング) 135m×80m
ラ グ ビ ー 練 習 場	〃	2,400㎡	平成6年5月	砂入人工芝(60m×40m)

収 容 人 員	附 属 設 備 等	平成23年度利用状況	
メインスタンド 9,000人 身 障 者 席 50人 バックスタンド 18,000人	◦大型映像装置 ◦照明塔 6 基 夜間照明設備 1,500LX （1 階）本部室、記録室、放送室、審判員室、役員室、報道関係者室、医務室、更衣室、シャワー室など （2 階）会議室、観覧席、身障者用観覧席、練習走路など （3 階）貴賓席、売店、観覧席など（スタンド階） 写真判定室、放送室、指令室など	専用	160件 558,690人
		会議室	77件 3,155人
メインスタンド 1,500人 身障者席 10人 芝生スタンド 1,500人	観覧席（コンクリート造、一部芝生） ◦電光掲示板（磁気反転式） ◦本部室、役員室、更衣室など	専用	179件 190,370人
		個人	19,369人
		専用	298件 15,990人
芝生スタンド 600人		専用	103件 109,550人
メインスタンド 6,500人 バックスタンド 5,400人 サイドスタンド 3,100人 身障者席 18人	観覧席（コンクリート造、一部芝生） ◦更衣室、シャワー室、会議室など ◦電光掲示板（磁気反転式） サッカー・アメリカンフットボール競技併用 夜間照明設備 500LX	専用	128件 138,910人
		会議室	138件 2,560人
		専用	206件 15,870人

施設名	所在地	敷 地	竣工年月	施 設 内 容
野 球 場	瑞穂区 豊岡通 3-28	26,079.41㎡	昭和32年6月 平成3年3月 (改築)	両翼99.1m中堅122m 舗装材 内外野ロングパイル人工芝
相 撲 場	瑞穂区 萩山町 3-68-1	延床面積 170.82㎡	昭和49年3月 平成5年5月 (改築)	屋形付土俵 1面
弓 道 場	〃	※	昭和37年3月 平成5年5月 (改築)	近的 10人立 28m
アーチェ リー 場	〃	※	昭和43年10月 平成5年5月 (改築)	30m 50m 10人立
テ ニ ス コ ー ト	瑞穂区 田辺通 4-5	9,035.82㎡	昭和45年1月 (3面増設:54年3月) 平成7年6月 (改築)	硬式・軟式両用コート9面 (砂入人工芝コート)
プ ー ル	瑞穂区 萩山町 3-68-1	※	練 習 昭和40年7月 平成5年5月 (改築) 屋 内 昭和42年6月 平成5年5月 (改築)	○練習プール(冷水) 25m×7コース 学童用、幼児用 ○屋内プール(温水) 25m×5コース 25m×1コース(学童用) 10m×5m(幼児用)
ト レ ー ニ ング 室	〃	※	昭和42年6月 平成5年5月 (改築)	器具52 種類128点
宿 泊 研 修 室	〃	※	平成5年5月	和室10畳×10室 20畳×2室 計定員70人

注 ※の合計は、23,003.36㎡

収 容 人 員	附 属 設 備 等	平成23年度利用状況
内野スタンド 6,000人 外野芝生スタンド 12,600人	観覧席（内野鉄筋コンクリート造2階建外野芝生） 会議室、本部席、記者席、放送室、審判控室、スコア ボード、ダッグアウトなど 夜間照明設備 内野1,000LX 外野500LX バッテリー間 1,500LX	専用 471件 215,350人 会議室 40件 1,440人
スタンド 255人	練習場、更衣室	専用 11件 973人
	更衣室、師範席 夜間照明設備	専用 59件 2,083人 個人 7,608人
	更衣室 夜間照明設備	専用 48件 2,107人 個人 5,096人
スタンド 1,000人	更衣室 夜間照明設備 300LX	専用 8,850件 70,867人 会議室 71件 761人
		屋外練習プール 専用 0件 0人 個人 21,987人 屋内プール 専用 230件 10,207人 個人 55,745人
		77,557人
	ミーティングルーム 浴室、洗濯室	宿泊研修室 160件 3,490人

(5) スポーツセンター

施設名 区分	露 橋 スポーツセンター	枇杷島 スポーツセンター	稲 永 スポーツセンター	天 白 スポーツセンター
開館年月日	昭和57年6月11日	昭和62年4月24日	平成元年7月11日	平成2年7月17日
指定管理者	財団法人名古屋市教育スポーツ協会	財団法人名古屋市教育スポーツ協会	財団法人名古屋市教育スポーツ協会	日本空調サービス共同事業体
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階建	鉄骨鉄筋コンクリート造、公営住宅棟の1・2階部分体育館棟3階建	鉄骨鉄筋コンクリート造2階建	鉄骨鉄筋コンクリート造4階建
敷地面積	5,170.53㎡	14,213.43㎡	26,000㎡	8,145.37㎡
延床面積	9,672.30㎡	9,783.13㎡	9,792.91㎡	9,793.91㎡
所在地	中川区露橋二丁目14-1	西区枇杷島一丁目1-2	港区野跡五丁目1-10	天白区植田三丁目1502
開館時間	午前9時から午後9時(第2及び第4日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後6時) また、プール・トレーニング室は午前10時から午後8時30分(日曜日及び祝日は午後6時)			
休 館 日	金曜日(祝日を除く)、年末年始	金曜日(祝日を除く)、年末年始	月曜日(祝日を除く)、年末年始	金曜日(祝日を除く)、年末年始
施設内容	競技場 45×36m 観覧席 1,326席 柔道場497㎡(2面) 観覧席 105席 剣道場 497㎡(2面) 観覧席 105席 トレーニング室 249㎡ 屋内プール温水 25m 4コース (他に幼児用1コース)	第1競技場 45×36m 観覧席 1,750席 第2競技場 (格技場) 525㎡ 観覧席 104席 トレーニング室 348㎡ 屋内プール温水25m 6コース(他に幼児用1コース) 軽運動室 305㎡ 弓道練習場(近的) 6人立	第1競技場 46.5×35.5m 観覧席 3,441席 第2競技場 33.5×23m 観覧席 144席 トレーニング室 427㎡ 軽運動室 353㎡ 弓道練習場(近的) 6人立	第1競技場 36×45m 観覧席 1,252席 第2競技場 33×15.5m 観覧席 104席 トレーニング室 384㎡ 屋内プール温水 25m 5コース (他に学童用1コース・幼児用50㎡) 軽運動室 252㎡ 弓道練習場(近的) 6人立
平成23年度 利用状況	競技場 専用1,199件 67,088人 柔道場 専用 278件 21,431人 個人 14,427人 剣道場 専用 599件 26,254人 個人 1,736人 トレーニング室 個人 53,506人 屋内プール 専用 64件 1,535人 個人 28,599人 会議室 専用 318件 8,934人	第1競技場 専用1,055件 89,853人 第2競技場 専用622件 28,634人 個人 3,355人 トレーニング室 個人 67,280人 屋内プール 専用 75件 2,974人 個人 45,986人 軽運動室 専用 2,075件 17,038人 弓道練習場 専用 14件 183人 個人 2,680人 会議室 専用 505件 10,828人	第1競技場 専用751件 83,483人 第2競技場 専用841件 29,310人 トレーニング室 個人 55,535人 軽運動室 専用1,341件 27,174人 弓道練習場 専用 20件 349人 個人 3,932人 会議室 専用 391件 8,701人	第1競技場 専用 1,319件 77,915人 第2競技場 専用1,199件 36,215人 トレーニング室 個人 74,972人 屋内プール 専用 50件 1,254人 個人 76,450人 軽運動室 専用1,668件 27,462人 弓道練習場 専用 23件 462人 個人 4,218人 会議室 専用1,112件 20,717人

緑 スポーツセンター	北 スポーツセンター	中 村 スポーツセンター	名 東 スポーツセンター
平成4年7月17日	平成4年7月23日	平成6年7月20日	平成9年10月7日
株式会社 J P N	財団法人名古屋市教育 スポーツ協会	財団法人名古屋市教育ス ポーツ協会	財団法人名古屋市教育ス ポーツ協会
鉄骨鉄筋コンクリート 造 地上2階・地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート 造3階建	鉄骨鉄筋コンクリート 造 地上3階・地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート 造(一部鉄骨造) 3階建
13,011.75㎡	12,591.93㎡	10,365.44㎡	12,408.06㎡
9,799.44㎡	9,714.79㎡	9,796.58㎡	14,312.88㎡
緑区相原郷一丁目2901	北区成願寺一丁目6-12	中村区中村町字待屋43-1	名東区猪高町大字高針字勢子坊 307番地の12
午前9時から午後9時（第2及び第4日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後6時）また、プール・トレーニング 室は午前10時から午後8時30分（日曜日及び祝日は午後6時）			
月曜日（祝日を除く）、 年末年始	金曜日（祝日を除く）、 年末年始	月曜日（祝日を除く）、 年末年始	月曜日（祝日を除く）、 年末年始
第1競技場 36×45m 観覧席 1,123席 第2競技場 35×15m 観覧席 177席 トレーニング室 402㎡ 屋内プール温水 25m 6コース （他に学童用1コース・幼児 用 50㎡） 軽運動室 265㎡ 弓道練習場(近的) 6人立	第1競技場 36×45m 観覧席 1,118席 第2競技場 35×15m 観覧席 100席 トレーニング室 395㎡ 屋内プール温水 25m 6コース （他に学童用1コース・幼児 用 50㎡） 軽運動室 228㎡ 弓道練習場(近的) 6人立	第1競技場 36×45m 観覧席 1,268席 第2競技場 33×15m 観覧席 100席 トレーニング室 400㎡ 屋内プール温水 25m 6コース （他に学童用 60㎡・幼児用 45㎡） 軽運動室 240㎡ 弓道練習場(近的) 6人立	第1競技場 36×45m 観覧席 1,196席 第2競技場 34×17.2m 観覧席 102席 トレーニング室 326㎡ 屋内プール温水 25m 6コース （他に学童用1コース・幼児 用 50㎡） 軽運動室 264㎡
第1競技場 専用 1,623件 54,236人 第2競技場 専用 868件 33,380人 個人 2,390人 トレーニング室 個人 78,529人 屋内プール 専用 58件 1,325人 個人 76,293人 軽運動室 専用 1,731件 21,284人 弓道練習場 専用 21件 454人 個人 4,197人 会議室 専用 232件 3,710人	第1競技場 専用 1,320件 54,663人 第2競技場 専用 772件 23,006人 個人 923人 トレーニング室 個人 63,693人 屋内プール 専用 121件 4,483人 個人 68,878人 軽運動室 専用 1,690件 12,705人 弓道練習場 専用 32件 533人 個人 2,316人 会議室 専用 248件 4,123人	第1競技場 専用 1,228件 86,310人 第2競技場 専用 626件 24,105人 個人 1,849人 トレーニング室 個人 74,036人 屋内プール 専用 112件 2,851人 個人 77,266人 軽運動室 専用 1,538件 24,996人 弓道練習場 専用 11件 232人 個人 3,975人 会議室 専用 689件 11,573人	第1競技場 専用 1,341件 89,524人 第2競技場 専用 1,240件 35,396人 個人 0人 トレーニング室 個人 61,792人 屋内プール 専用 57件 1,048人 個人 68,082人 軽運動室 専用 1,795件 21,910人 会議室 専用 393件 6,326人

千 種 スポーツセンター	中 スポーツセンター	東 スポーツセンター	昭 和 スポーツセンター	守 山 スポーツセンター
平成10年 7 月15日	平成13年 7 月11日	平成14年11月 1 日	平成14年 2 月18日	平成22年12月 1 日
財団法人名古屋市 教育スポーツ協会	財団法人名古屋市 教育スポーツ協会	MT 共同事業体	株式会社愛知スイ ミング	守山エス・アンド・ エス株式会社
鉄骨鉄筋コンクリ ート造 4 階建	鉄骨鉄筋コンクリ ート造（一部鉄骨造） 地上 4 階地下 1 階建	鉄骨鉄筋コンクリ ート、鉄骨造 地上 5 階地下 1 階建	鉄骨鉄筋コンクリ ート造（一部鉄骨造） 地上 3 階建	鉄骨鉄筋コンクリ ート造（一部鉄骨造） 地上 3 階建
7,646.47㎡	3,221.72㎡	10,639.47㎡	8,290.69㎡	11,660.81㎡
9,799.13㎡	8,335㎡	10,196.70㎡	8,733.44㎡	10,386.13㎡
千種区星が丘山手121	中区栄一丁目30-10	東区大幸南一丁目 1-10	昭和区吹上二丁目 6-15	守山区竜泉寺二丁目 112
午前9時から午後9時（第2及び第4日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後6時）また、プール・トレーニング 室は午前10時から午後8時30分（日曜日及び祝日は午後6時）				
金曜日（祝日を除く）、 年末年始	月曜日（祝日を除 く）、年末年始	月曜日（祝日を除 く）、年末年始	金曜日（祝日を除 く）、年末年始	金曜日（祝日を除 く）、年末年始
第1 競技場 36×45m 観覧席 1,136席 第2 競技場 32×15.5m 観覧席 104席 トレーニング室 349㎡ 屋内プール温水 25m 6 コース （他に学童用1コース・ 幼児用 35㎡） 軽運動室 246㎡ アーチェリー練習場 （30m） 6 人立	第1 競技場 31.5×36.5m 観覧席 498席 第2 競技場 15×28m 観覧席 72席 トレーニング室 440㎡ 屋内プール温水 25m 4 コース （他に学童用1コース・ 幼児用・ジャグジー） 軽運動室 270㎡	第1 競技場 36×45m 観覧席 981席 第2 競技場31×15.4m 観覧席94席 トレーニング室 380㎡ 屋内プール温水25m 5 コース（他に学童用1コース・ 歩行用1コース・幼児用50 ㎡） 軽運動室 215㎡ 弓道練習場（近的） 6 人立 スポーツ広場 3×3バスケット1 面	第1 競技場 36×34m 観覧席 512席 第2 競技場 31.8×14.9m 観覧席 103席 トレーニング室 347㎡ 屋内プール温水 25m 5 コース （他に学童用1 コー ス・歩行用1コース・ 幼児用） 軽運動室 229㎡	第1 競技場 44.8×34.5m 観覧席 1259席 （内車椅子4席） 第2 競技場 30×17m 観覧席 106席 （内車椅子2席） トレーニング室 343㎡ 屋内プール温水 25m 5 コース （他に学童用1 コー ス・幼児用） 軽運動室 282㎡ 屋外フットサルコート（民間設 置施設） 25×15m
第1 競技場 専用1,228件90,939人 第2 競技場 専用 721件 50,621人 個人 4,011人 トレーニング室 個人 74,308人 屋内プール 専用 158件 7,087人 個人 78,003人 軽運動室 専用 1,809件 22,179人 アーチェリー練習場 専用 47件 970人 個人 2,890人 会議室 専用 688件 9,577人	第1 競技場 専用 1,338件 41,476人 第2 競技場 専用 1,085件 24,328人 個人 0人 トレーニング室 個人 85,348人 屋内プール 専用 60件 1,319人 個人 54,585人 軽運動室 専用 1,733件 15,397人 軽運動室兼会議室 専用 2,840件 15,127人 会議室 専用 927件 9,759人	第1 競技場 専用 1,149件 98,057人 第2 競技場 専用 776件 34,105人 個人 2,062人 トレーニング室 個人 89,124人 屋内プール 専用 114件3,170人 個人 84,149人 軽運動室 専用1,902件19,335人 会議室 専用 711件 9,350人 弓道練習場 専用 76件1,506人 個人 7,679人 スポーツ広場 990件 4,870人	第1 競技場 専用 1,203件 52,928人 第2 競技場 専用 1,094件 36,396人 個人 0人 トレーニング室 個人 70,430人 屋内プール 専用 150件 6,718人 個人 78,429人 軽運動室 専用 2,211件 18,686人 会議室 専用 1,088件 12,321人	第1 競技場 専用1,297件53,978人 第2 競技場 専用 1,092件 25,373人 個人 0人 トレーニング室 個人 68,422人 屋内プール 専用 276件3,759人 個人 59,673人 軽運動室 専用 2,623件 19,041人 会議室 専用 362件 5,128人 屋外フットサルコート（民間設 置施設） 694件 3,207人

(6) 名古屋市名城庭球場

開設年月日	昭和41年4月1日	所在地	北区名城一丁目3-3
指定管理者	財団法人名古屋市教育スポーツ協会	敷地面積	17,662㎡
構造	アンツーカ		
開場時間	4月から9月は午前6時から午前8時及び午前9時から午後9時、10月は午前9時から午後9時、11月から1月は午前9時から午後4時、2月及び3月は午前9時から午後5時	休場日	毎月第2月曜日（祝・休日の場合は第3月曜日）及び年末年始（12月29日から1月3日）。ただし、4月から9月の午前6時から午前8時については毎週月曜日
施設内容	観覧席付コート1面、その他のコート14面（全面夜間照明設備）		
平成23年度利用状況	専用 14,267件 71,672人		

(7) 名古屋市黒川スポーツトレーニングセンター

開設年月日	平成9年9月11日	所在地	北区清水四丁目17-17
指定管理者	財団法人名古屋市教育スポーツ協会	敷地面積	5,411.85㎡の一部
構造	鉄筋コンクリート造地上6階地下2階建ての一部		
開場時間	午前9時から午後9時（日曜日及び祝日は午後6時）また、トレーニング室及び浴室サウナ室は午前10時から午後8時30分（日曜日及び祝日は午後6時）	休場日	毎週月曜日（祝日を除く）、年末年始（12月29日～1月3日）
施設内容	トレーニング室、浴室サウナ室、軽運動室		
平成23年度利用状況	トレーニング室 個人 70,383人 軽運動室 専用 1,542件 23,936人		

(8) 名古屋市上社レクリエーションルーム

開設年月日	平成10年6月16日	所在地	名東区上社一丁目802番地上社ターミナルビル3階
指定管理者	公益財団法人 名古屋市文化振興事業団	敷地面積	948.63 ㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下2階地上8階建（内3階）		
開場時間	午前9時から午後9時（日曜日及び祝日は午後6時）	休場日	毎週月曜日（祝休日の場合は開館）及び年末年始
施設内容	軽運動室（1）、軽運動室（2）、軽運動室兼会議室		
平成23年度利用状況	軽運動室（1）専用 1,462件 16,363人 軽運動室（2）専用 1,075件 22,315人 軽運動室兼会議室 専用 1,264件 10,350人		

(9) 名古屋市志段味スポーツランド、名古屋市武豊野外活動センター

施設名 区分	志段味スポーツランド	武豊野外活動センター
沿革	昭和60年7月20日開所（体育館昭和62年4月18日開館、流水プール等平成2年7月1日増設、平成22年4月1日屋外プール廃止）	昭和63年4月30日開所
指定管理者	株式会社 J P N	財団法人名古屋市教育スポーツ協会
敷地面積	約 98,000㎡	約 208,000㎡
所在地	名古屋市守山区大字下志段味 字生下り2287番地の1	愛知県知多郡武豊町字下山ノ田 64番地の46
休場日	毎週月曜日（祝日を除く。）、年末年始（12月29日～1月3日）	毎週月曜日（祝日を除く。）、年末年始（12月29日～1月3日）
施設内容	《体育館》 競技場 1,092㎡（約34×32m） 観覧席 350席 トレーニング室 200㎡ 会議室（兼軽運動室） 80㎡ 《庭球場》 テニス・ソフトテニス両用コート14面（全天候型砂入人工芝） 《少年野球場》8,900㎡	《庭球場》 テニス・ソフトテニス両用コート4面（全天候型） 《野球場》 1面（軟式野球、ソフトボール、その他） 《キャンプ場》 25テント（最大収容人員200名） 《その他の施設》 フィールドアスレチック10ポイント、芝生広場（約4,500㎡）、サークル広場（約700㎡）、散策路（約1km）
平成23年度 利用状況	庭球場 専用 7,207件 90,376人 少年野球場 専用 304件 22,795人 競技場 専用 1,505件 47,994人 トレーニング室 個人 45,669人 会議室（兼軽運動室） 専用 746件 12,842人	庭球場 専用 545件 2,275人 野球場 専用 104件 5,278人 キャンプ場 専用 326件 6,387人 フィールドアスレチック等の無料施設利用者 団体利用 2,167人 個人利用 61,101人

(10) 名古屋市プール（冷水）

名 称	所 在 地	開 設	指定管理者	施 設 内 容	平成23年度 利用状況
港 プ ー ル	港区当知一丁目1401番地	昭和34年7月 平成3年改築	シンコースポーツ株式会社	練習プール25m 7コース 学童、幼児プール	16,710
名 城 プ ー ル	北区名城一丁目2番13号	昭和39年7月 平成7年改築	株式会社JPN	練習プール25m 5コース 学童、幼児プール	16,233
中 川 プ ー ル	中川区北江町3丁目1番地	昭和40年7月 平成10年改修	シンコースポーツ株式会社	練習プール25m 7コース 幼児プール	5,937
守 山 プ ー ル	守山区村合町197番地	昭和44年7月	株式会社JPN	練習プール25m 7コース 幼児プール	11,461
熱 田 プ ー ル	熱田区六野二丁目5番2号	昭和45年7月	財団法人名古屋市教育スポーツ協会	練習プール25m 7コース 幼児プール	10,717
楠 プ ー ル	北区若鶴町126番地	昭和57年7月	財団法人名古屋市教育スポーツ協会	練習プール25m 7コース 学童、幼児プール	5,534
山 田 プ ー ル	西区五才美町236番地の1	昭和59年7月	株式会社JPN	練習プール25m 7コース 学童、幼児プール	9,716
富 田 プ ー ル	中川区東かの里町809番地	昭和63年7月	株式会社JPN	練習プール25m 7コース 学童、幼児プール	8,091

(11) 名古屋市プール（温水）

名 称	鳴 海 プ ー ル	香 流 橋 プ ー ル	山 田 西 プ ー ル
沿 革	昭和47年6月1日開場	昭和54年8月7日開場 (平成10年12月5日改築移転)	昭和61年11月11日開場
指定管理者	シンコースポーツ株式会社	株式会社 J P N	財団法人名古屋市教育スポーツ協会
構 造	鉄筋コンクリート造平家建	鉄筋コンクリート造3階建 (プール部分は2階)	鉄筋コンクリート造2階建 一部平家建
敷地面積	2,037.76㎡	4,125㎡ (地域センターとの 共用部分含む)	5,197.91㎡
延床面積	1,419.38㎡	3,813.40㎡ (地域センター との共用部分含む)	1,887.50㎡
所 在 地	緑区浦里一丁目66番地	千種区香流橋一丁目2番35号	西区長先町173番地
開 場 時 間	午前10時から午後8時30分 (日曜日及び祝日は午後6時)	午前10時から午後8時30分 (日曜日及び祝日は午後6時)	午前10時から午後8時30分 (日曜日及び祝日は午後6時)
休 場 日	祝日を除く金曜日、 年末年始 (12/29～1/3)	祝日を除く月曜日、 年末年始 (12/29～1/3)	
施 設 内 容	屋内温水プール ・練習用25m 6コース ・幼児用25m 1コース	屋内温水プール ・練習用25m 5コース ・歩行用25m 1コース ・学童用、幼児用 ・ジャグジー	屋内温水プール ・練習用25m 5コース (入水用スロープ有) ・学童用、幼児用
平成23年度 利 用 状 況	個人利用 42,072人 専用利用 362件 9,861人	個人利用 90,610人 専用利用 241件 10,235人	個人利用 40,026人 専用利用 126件 2,639人

名 称	南 陽 プ ー ル	富 田 北 プ ー ル
沿 革	昭和60年6月8日開場	平成元年11月18日開場
指定管理者	財団法人名古屋市教育スポーツ協会	財団法人名古屋市教育スポーツ協会
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建	鉄筋コンクリート造2階建 一部平家建
敷 地 面 積	7,008㎡	6,772.42㎡
延 床 面 積	2,762㎡	2,990.58㎡(地域センターとの共用部分を含む)
所 在 地	港区藤前四丁目701番地	中川区吉津四丁目3201番地
開 場 時 間	午前9時から午後9時(日曜日及び祝日は午後6時) また、プール・トレーニング室は午前10時から午後8時30分(日曜日及び祝日は午後6時)	午前9時から午後9時(日曜日及び祝日は午後6時) また、プールは午前10時から午後8時30分(日曜日及び祝日は午後6時)
休 場 日	祝日を除く金曜日 年末年始(12/29～1/3)	祝日を除く月曜日 年末年始(12/29～1/3)
施 設 内 容	屋内温水プール ・50m 6コース (練習用、学童用、幼児用) トレーニング室 200㎡ 軽運動室 146㎡ 会議室 97㎡	屋内温水プール ・練習用25m 6コース ・学童用、幼児用 体育室 608㎡
平成23年度 利 用 状 況	屋内プール 個人利用 45,039人 専用利用 55件 1,490人 トレーニング室 個人利用 30,971人 軽運動室 専用利用 1,670件 9,018人 会議室 専用利用 57件 960人	屋内プール 個人利用 75,828人 専用利用 56件 2,441人 体育室 専用利用 1,367件 20,114人

9 その他の社会教育施設

(1) 名古屋市楠学習センター

沿 革	昭和45年1月防衛施設周辺民生安定施設整備事業の補助金を得て着工 昭和45年6月30日開設	
構 造	鉄筋コンクリート造 2階建一部平屋建	
敷地面積	1217.03㎡	
延床面積	581.60㎡	
収容人員	1階200人、2階40人	
所在地	北区如意一丁目125番地	
開館時間	平日 午前9時00分～午後8時30分、日曜日 午前9時00分～午後4時30分	
休館日	火曜日、祝日の翌日、年末年始（12／29～1／3）	
施設内容	集会室（150名程度）、学習室（40名程度）、和室（22畳）、 子ども室（15名程度）	
事業概要	市民の教養の向上と生活文化の振興を図るための学習施設 ※平成24年3月31日閉館	
平成23年度 利用状況	集 会 室 544件 子ども室 462件 学 習 室 225件 和 室 268件 （計 1,499件）	延利用人員 17,481人

第7章 学 校 開 放

1 学校開放の概況

教育委員会では、市立の小・中・高等学校の施設を、市民のスポーツや学習、レクリエーションの場、若しくは団体活動の場として開放することにより、市民の健康増進、体力向上、情操の
かん養、教養の向上等に寄与することを目的として、次の学校開放事業を行っている。

2 学 校 開 放

(1) トワイライトスクール

放課後などに子どもたちが学年の異なる友達と自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の大人と交流することなどを通して、子どもたちの自主性、社会性、創造性などを育むトワイライトスクールを小学校247校（平成24年3月31日現在）において実施した。

（対 象）参加を希望する児童

（活動場所）放課後学級プレイルーム、体育館及び運動場等

（活 動 日）月曜日～土曜日（祝日、年末年始は休み）

（活動日時）授業のある日……………授業終了後～午後6時

授業のない日……………午前9時～午後6時

※トワイライトスクールと留守家庭児童健全育成事業の良い面を取り入れながら、すべての子どもたちが豊かで健やかに放課後を過ごすことができることを目指す名古屋市放課後子どもプラン（仮称）の創設へ向けて、モデル事業を10校にて実施した。（平成21年4月に8校、平成22年1月に2校、トワイライトスクールからモデル事業へ移行。）

平成23年度 トワイライトスクール参加状況

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
内山	287	2,185	
春岡	291	7,421	
千種	289	6,852	
高見	291	7,032	
大和	289	3,048	
田代	289	9,563	
上野	289	8,733	
東山	290	14,245	
自由ヶ丘	290	6,608	
千石	293	3,185	
富士見台	293	17,629	
星ヶ丘	286	5,618	
宮根	290	5,206	
千代田橋	289	6,062	
見付	291	9,444	
旭丘	285	7,163	
筒井	288	6,638	
東桜	286	5,508	
矢田	291	10,447	
山吹	287	9,829	
東白壁	289	6,401	
葵	288	5,531	
明倫	289	3,807	
飯田	291	7,970	
大杉	290	3,426	
清水	289	9,126	
杉村	290	2,917	
名北	288	7,955	
城北	283	5,927	
六郷	288	4,012	
楠	291	8,484	
光城	292	6,423	
東志賀	284	4,470	
味鋤	285	4,748	
西味鋤	292	5,274	
楠西	290	7,451	
如意	288	8,227	
宮前	293	9,045	
川中	288	4,871	
六郷北	292	5,733	
辻	286	9,763	

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
榎	289	3,879	
幅下	293	4,781	
栄生	290	5,823	
上名古屋	290	5,776	
城西	286	4,834	
児玉	291	7,796	
枇杷島	287	6,573	
南押切	290	2,927	
江西	287	3,824	
那古野	288	7,197	
庄内	288	9,816	
稲生	287	11,051	
山田	292	9,516	
平田	288	10,737	
比良	290	8,569	
大野木	286	11,540	
浮野	288	5,942	
比良西	293	7,775	
中小田井	287	10,030	
中村	290	3,371	
米野	283	4,900	
日比津	291	8,739	
柳	287	5,830	
稲葉地	289	11,500	
日吉	289	4,297	
岩塚	288	8,738	
豊臣	289	5,385	
千成	286	8,210	
諏訪	289	9,049	
稲西	289	5,441	
八社	290	7,677	
ほのか	289	10,875	
笹島	289	6,239	
名城	290	7,936	
栄	289	4,602	
新栄	287	1,810	
松原	290	6,053	
橘	287	6,167	
平和	291	5,122	
老松	291	5,396	
正木	289	4,851	

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
千早	291	3,683	
御園	288	2,177	
鶴舞	289	3,812	
吹上	291	4,487	
村雲	288	4,544	
松栄	291	10,701	
御器所	287	8,144	
八事	286	4,249	
白金	290	3,514	
川原	290	4,911	
滝川	289	7,207	
伊勝	287	4,970	
御劔	289	5,863	
堀田	291	8,404	
汐路	291	7,130	
高田	291	10,799	
瑞穂	290	7,126	
井戸田	289	5,584	
穂波	291	6,726	
豊岡	285	4,893	
陽明	290	7,416	
中根	288	7,829	
旗屋	290	6,627	
千年	288	7,456	
船方	293	13,646	
白鳥	287	8,046	
野立	290	5,396	
大宝	289	7,308	
広見	290	4,882	
露橋	291	10,165	
愛知	293	5,231	
八熊	290	5,907	
昭和橋	289	8,423	
常磐	289	10,190	
八幡	287	10,608	
荒子	287	11,373	
正色	288	7,043	
篠原	288	12,084	
戸田	290	10,813	
豊治	286	9,291	
千音寺	292	12,676	

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
長須賀	288	8,010	
万場	287	9,926	
野田	288	9,776	
明正	287	5,943	
中島	289	7,785	
玉川	288	6,467	
西中島	284	9,070	
五反田	283	17,359	
春田	291	10,550	
赤星	289	8,239	
西前田	286	7,689	
東築地	289	12,070	
中川	287	5,300	
大手	292	10,203	
港西	289	10,931	
小碓	288	9,757	
西築地	288	5,659	
高木	285	8,126	
南陽	286	9,075	
港楽	289	9,782	
成章	288	6,275	
明德	289	9,656	
稲永	290	13,909	
東海	283	7,343	
野跡	288	9,047	
当知	288	8,503	
正保	288	9,230	
神宮寺	287	4,702	
西福田	285	7,768	
福田	287	10,266	
福春	287	8,341	
豊田	288	15,060	
明治	288	10,633	
呼続	289	4,290	
白水	289	3,974	
桜	289	3,615	
道德	291	7,452	
大生	291	4,793	
大磯	290	5,023	
千鳥	293	3,839	
菊住	289	5,825	

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
宝	291	6,827	
柴田	285	4,275	
伝馬	285	9,226	
星崎	287	8,848	
春日野	288	5,800	
笠東	287	8,480	
宝南	291	6,669	
大森	289	6,555	
小幡	291	11,496	
守山	287	10,626	
廿軒家	290	13,672	
鳥羽見	290	6,866	
瀬古	288	12,625	
志段味東	290	10,502	
志段味西	288	18,546	
白沢	287	9,742	
本地丘	290	4,619	
二城	289	8,029	
森孝東	290	2,424	
森孝西	290	5,735	
西城	289	6,135	
大森北	288	6,197	
小幡北	289	9,416	
吉根	287	19,417	
鳴海	287	10,552	
平子	287	9,909	
鳴海東部	288	13,715	
東丘	289	8,211	
鳴子	287	5,365	
有松	288	10,304	
大高	288	11,150	
緑	283	5,742	
片平	293	8,935	
戸笠	289	6,451	
太子	285	6,810	
旭出	288	7,756	
浦里	290	6,156	
黒石	288	7,000	
神の倉	17	507	H24年3月12日
長根台	288	5,247	
桶狭間	289	12,512	

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
相原	290	11,853	
桃山	289	10,593	
大高北	291	10,291	
徳重	291	12,314	
滝ノ水	288	11,252	
大清水	289	12,843	
常安	288	8,699	
小坂	287	8,668	
熊の前	286	14,697	
猪高	291	6,831	
藤が丘	287	9,588	
香流	289	13,468	
猪子石	289	8,027	
高針	291	13,367	
西山	289	10,651	
名東	290	6,471	
梅森坂	289	6,015	
蓬萊	291	8,309	
本郷	290	6,965	
貴船	288	10,720	
上社	291	10,842	
豊が丘	288	7,871	
引山	290	8,318	
極楽	286	8,137	
平和が丘	290	4,440	
前山	292	9,781	
北一社	292	4,487	
牧の原	286	7,689	
天白	290	12,520	
野並	290	11,116	
八事東	286	8,342	
表山	289	10,116	
平針	289	9,290	
植田	291	9,761	
山根	285	12,449	
相生	288	3,506	
大坪	287	10,462	
原	289	10,738	
植田南	290	8,518	
平針北	290	6,284	
植田北	290	7,873	
植田東	289	9,618	

平成23年度 放課後子どもプランモデル事業参加状況

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	モデル事業開始 日
砂田橋	293	8,737	H21年4月1日
金城	293	11,443	H22年1月4日
牧野	293	4,429	H21年4月1日
大須	293	4,196	H21年4月1日
広路	293	5,766	H22年1月4日

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	モデル事業開始 日
弥富	292	14,786	H21年4月1日
高蔵	293	9,672	H21年4月1日
笠寺	293	11,071	H21年4月1日
天子田	293	10,526	H21年4月1日
南陵	293	8,645	H21年4月1日

ア 生涯学習開放

地域の身近な施設である学校を、生涯学習や生涯スポーツ及び地域コミュニティ活動の場として有効に活用するため、施設の開放を小学校27校において実施した。

(開放施設等)

開放施設	開 放 日	開 放 時 間
体 育 館 特 別 活 動 室 視 聴 覚 室 多 目 的 室 音 楽 室 研 修 会 議 室	平 日 (月曜日を除く。)	午後 6 時から午後 9 時まで
	土曜日、日曜日、休日 (月曜日を除く。)	午前 9 時から午後 5 時まで
運 動 場	土曜日、日曜日、休日 (月曜日を除く。)	午前 9 時から午後 5 時まで
図 書 室	週 3 日の範囲内で学校の実情により適宜定める日	午前 9 時から午後 9 時までの間で概ね 3 時間
プ ー ル	夏季休業期間中の概ね 20 日間	午前 9 時から午後 5 時までの間で概ね 3 時間

(注) 開放施設は学校ごとに異なる

(休 館 日) 月曜日、12月23日から1月6日まで

(平成23年度利用者数)

区分 学校名	体育館	特別活動室等	運動場	図書室	音楽室	研修会議室	プール	合 計
	人	人	人	人	人	人	人	人
高 見	-	-	-	-	-	-	1,500	1,500
見 付	8,646	1,195	-	307	-	-	-	10,148
旭 丘	4,656	-	8,974	2,828	-	-	1,233	17,691
矢 田	6,774	-	-	-	-	1,040	-	7,814
山 吹	5,515	1,184	6,987	751	849	-	-	15,286
比良西	911	-	1,885	-	-	-	-	2,796
諏 訪	5,133	196	5,282	550	-	-	-	11,161
松 原	4,666	-	6,382	515	245	1,705	-	13,513
吹 上	-	-	-	-	-	-	289	289
滝 川	4,565	2,036	6,612	-	-	-	-	13,213
穂 波	4,125	2,235	5,811	1,257	383	-	-	13,811
八 熊	7,279	1,455	3,076	868	870	-	490	14,038
春 田	1,651	-	2,559	-	-	659	-	4,869
明 徳	3,231	38	3,827	750	-	-	-	7,846
東 海	3,544	-	3,544	-	-	274	-	7,362
神宮寺	2,208	839	1,310	423	-	-	-	4,780
明 治	4,158	267	9,688	1,672	-	-	877	16,662
道 徳	6,348	2,572	2,796	624	-	-	1,188	13,528
伝 馬	8,281	767	4,433	533	240	-	-	14,254
守 山	4,389	-	2,880	-	-	62	-	7,331
森孝西	3,054	172	2,393	430	401	-	-	6,450
相 原	3,527	-	3,944	-	-	113	-	7,584
常 安	6,782	5,459	3,332	713	1,345	-	1,598	19,229
本 郷	3,895	1,075	5,006	-	-	1,300	-	11,276
極 楽	3,988	855	5,634	639	-	-	-	11,116
表 山	4,767	1,234	3,352	497	5	-	-	9,855
相 生	4,557	-	2,370	-	-	482	-	7,409

(注)特別活動室等は、特別活動室、視聴覚室及び多目的室

(2) 小学校施設の一般開放

小学校の特別教室（会議用）、体育館及び運動場を午後6時から午後9時まで（ただし、休業日は午前9時から午後9時まで）、その小学校の通学区域内の住民をもって組織する各種団体の連合組織で教育委員会が適当と認めるものが使用する場合に、一年を単位として目的外使用の許可をしている。

＜小学校施設一般開放実施校＞

(平成24年5月1日現在)

区	千 種	東	北	西	中 村	中	昭 和	瑞 穂
一 般 開 放 実 施 校	内 山 千 種 千 石 高 見 上 野 宮 根 田 代 東 山	東 桜	清 水 金 城 東 賀 志 志 光 城 如 意 楠 西 飯 田 杉 村 大 杉 名 北 城 北 六 郷 宮 前 川 中 辻 北 六 郷 西 味 鏡	栄 生 城 西 江 西 南 切 押	豊 臣 日 吉 ほ の か	橘	御 器 所 川 白 原 伊 勝 金 勝 勝	高 田 井 戸 陽 明 瑞 穂 中 根
計	8	1	17	4	3	1	4	5

区	熱 田	中 川	港	南	守 山	緑	名 東	天 白	
一 般 開 放 実 施 校	野 立 大 宝 千 年	昭 和 橋 玉 川	大 手 稲 永 南 陽 西 福 福 田 港 田 小 楽 成 確 福 章 福 春	豊 菊 菊 笠 星 星 春 日 大 宝 大 宝 宝 磯 南	田 住 本 森 地 孝 守 二 山 羽 見 古 戸 幡 熊 代 の 沢 前 北 田 北 田	鳴 海 神 の 倉 東 丘 戸 笠 熊 の 前	平 和 丘 引 山 牧 の 原	山 根 八 事 大 東 坪	合計
計	3	2	9	9	11	5	3	3	88

(3) 学習開放

市立名東高等学校の図書室及び集会室を、学校教育に支障のない範囲で、市民の学習その他公共活動の場として開放している。（昭和59年8月11日開設）

ア 開放時間及び休室日

区 分	開放時間	休室日
平 日	午後5時30分～午後8時30分	月曜日、祝日（月曜日が祝日の場合は翌日も休室）、12月24日～1月6日 図書室については、上記に加え図書の整理のため金曜日
土曜日	午後2時00分～午後8時30分	
日曜日	午前9時30分～午後5時00分	

平成23年度利用状況等

開放室	利用者数	貸出冊数等
図書室 （利用定員：90人、蔵書数：約45,000冊）	3,257人	524冊 （学校教育に支障のない範囲で県内に在住、在勤、在学する者に対し3冊/2週間以内で室外へ貸出す）
集会室 （収容人員：60人）	1,268人	

(4) スポーツ開放

＜地域スポーツセンター＞

スポーツやレクリエーション活動の場を提供するため、市内の中学校の体育館・運動場・格技場を学校教育に支障のない範囲で開放し、「地域スポーツの拠点」として親しまれている。

各センターには、専任の管理員を配置し、管理や利用者の調整にあたっている。

（昭和50年3月15日大曾根中、御田中、高針中、名南中で開放開始）

（開放時間）平 日——午後6時～午後9時

日曜日——午前9時～午前11時、午前11時～午後1時

又は午後1時～午後3時、午後3時～午後5時

（利用種目）バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、レクリエーション
インディアカ、軟式野球、ソフトボール、テニス、サッカーなど

〈平成23年度 地域スポーツセンター利用状況〉

区分 施設名称		登 録 件 数		開 放 日 数			
		団体	個人	体育館	格技場	運動場	テニス コート
千 種 区	甫種台	10	48	225		206	0
	千種池	8	43	181		37	0
	千種池	12	82	215		47	0
	今水山	8	102	236		7	0
	若城山	4	57	226		0	0
	東星	14	178	233		34	37
		10	27	146		4	0
	区 計	66	537	1,462	0	335	37
東 区	矢田丘	14	53	226		171	0
	桜丘	16	43	281		129	0
	あずま	12	106	262		28	0
	富士	7	44	226		0	1
	区 計	49	246	995	0	328	1
北 区	大曾根	20	74	240		144	131
	北	15	76	266		159	0
	志賀	8	83	250	282	5	0
	北陵	9	85	230	274	4	0
	若葉	7	52	226	265	11	0
	八王子	7	95	227		0	0
	楠	2	89	229		4	0
	区 計	68	554	1,668	821	327	131
西 区	名塚	11	73	181		156	0
	平田	6	52	221		31	0
	山田	3	53	179		71	0
	山田東	2	60	230		0	0
	浄心	5	31	179		0	0
	天神山	3	68	229		0	0
	菊井	5	36	180		0	0
	区 計	35	373	1,399	0	258	0
中 村 区	御田	19	34	225		117	0
	笈瀬	12	79	266	282	36	0
	豊国	2	49	206		0	0
	豊正	24	69	261		149	0
	日比津	8	56	230		40	0
	黄金	11	80	277		45	0
	笹島	24	47	244		0	35
	区 計	100	414	1,709	282	387	35
中 区	伊勢山	20	37	227		192	39
	白山	36	159	278		156	0
	丸の内	10	73	231		0	0
	前津	14	37	256		0	0
	区 計	80	306	992	0	348	39

利 用 者 数							
体 育 館			格 技 場	運 動 場			合 計
団体利用	個人利用	小 計	団体利用	運動場	テニス	小 計	
人	人	人	人	人	人	人	人
1,204	1,327	2,531		3,545	0	3,545	6,076
995	1,383	2,378		550	0	550	2,928
1,051	3,524	4,575		671	0	671	5,246
2,097	2,753	4,850		159	0	159	5,009
1,155	1,505	2,660		0	0	0	2,660
1,527	3,912	5,439		0	276	276	5,715
2,108	992	3,100		0	0	0	3,100
10,137	15,396	25,533	0	4,925	276	5,201	30,734
1,213	566	1,779		950	0	950	2,729
1,665	1,285	2,950		1,477	0	1,477	4,427
1,518	2,509	4,027		300	0	300	4,327
636	1,331	1,967		0	0	0	1,967
5,032	5,691	10,723	0	2,727	0	2,727	13,450
1,498	1,848	3,346		1,335	516	1,851	5,197
1,133	1,585	2,718		2,296	0	2,296	5,014
2,685	2,155	4,840	367	135	0	135	5,342
834	2,053	2,887	4,749	90	0	90	7,726
1,261	1,803	3,064	1,119	53	0	53	4,236
975	2,317	3,292		0	0	0	3,292
913	2,437	3,350		0	0	0	3,350
9,299	14,198	23,497	6,235	3,909	516	4,425	34,157
12	3,032	3,044		2,290	0	2,290	5,334
708	1,977	2,685		756	0	756	3,441
996	2,481	3,477		0	0	0	3,477
1,161	1,379	2,540		0	0	0	2,540
934	1,591	2,525		0	0	0	2,525
976	2,354	3,330		0	0	0	3,330
1,158	882	2,040		0	0	0	2,040
5,945	13,696	19,641	0	3,046	0	3,046	22,687
1,927	1,253	3,180		2,184	0	2,184	5,364
2,063	1,703	3,766	3,997	705	0	705	8,468
1,028	1,652	2,680		0	0	0	2,680
1,949	2,044	3,993		633	0	633	4,626
744	1,484	2,228		339	0	339	2,567
2,232	2,625	4,857		606	0	606	5,463
1,851	296	2,147		0	14	14	2,161
11,794	11,057	22,851	3,997	4,467	14	4,481	31,329
1,904	1,070	2,974		3,562	346	3,908	6,882
3,363	4,006	7,369		1,986	0	1,986	9,355
1,108	1,375	2,483		0	0	0	2,483
1,447	596	2,043		0	0	0	2,043
7,822	7,047	14,869	0	5,548	346	5,894	20,763

区分 施設名称		登 録 件 数		開 放 日 数			
		団体	個人	体育館	格技場	運動場	テニス コート
昭 和 区	山方名上山桜	24	29	276		229	0
		15	39	216		177	0
		12	63	197		20	0
		11	32	227		34	0
		7	52	223		0	0
	区 計	69	215	1,139	0	460	0
瑞 穂 区	山ヶ丘	23	97	241		235	0
	穂ヶ田	30	65	259		150	0
	津賀田	7	72	267		0	0
	田光路	7	94	273		36	0
	汐路	13	76	249	259	42	0
	区 計	80	404	1,289	259	463	0
熱 田 区	宮野分	12	73	224		22	0
	日比野	14	0	244		147	0
	日比野	2	96	227		0	0
	沢上	11	74	272		181	0
	区 計	39	243	967	0	350	0
中 川 区	長良	23	93	230		172	0
	助光	2	74	233		6	8
	昭和橋	6	27	224		1	0
	富田	2	207	225		140	0
	供米田	5	137	226		19	0
	山王	4	61	204		0	0
	一色	4	102	224		1	0
	高杉	12	59	217	217	0	0
	一柳	3	62	227		0	0
	八幡	7	78	270		0	0
	はとり	5	67	208		0	0
	区 計	73	967	2,488	217	339	8
港 区	宝神	4	91	220		5	0
	南陽	6	30	230		135	0
	当知	18	59	266		194	0
	東港	10	39	219	220	0	0
	港明	7	68	228		0	0
	港南	3	67	218		0	0
	港北	9	118	268		10	0
	南陽東	3	106	232		1	0
	区 計	60	578	1,881	220	345	0
南 区	名南	28	21	225	279	168	0
	明豊	4	70	231		0	0
	桜田	13	55	223		137	0
	大江	7	46	276		0	0
	南光	6	81	270		2	0
	本城	8	54	240		17	0
	新郊	4	71	220		0	0
	区 計	70	398	1,685	279	324	0

利 用 者 数							
体 育 館			格 技 場	運 動 場			合 計
団体利用	個人利用	小計	団体利用	運動場	テニス	小計	
人	人	人	人	人	人	人	人
2,043	1,270	3,313		3,470	0	3,470	6,783
2,474	1,226	3,700		1,645	0	1,645	5,345
2,396	1,287	3,683		365	0	365	4,048
1,678	823	2,501		910	0	910	3,411
1,258	1,604	2,862		0	0	0	2,862
9,849	6,210	16,059	0	6,390	0	6,390	22,449
1,013	1,223	2,236		7,524	0	7,524	9,760
2,643	1,661	4,304		2,510	0	2,510	6,814
1,751	2,428	4,179		0	0	0	4,179
3,113	2,673	5,786		1,252	0	1,252	7,038
2,708	2,055	4,763	2,402	1,261	0	1,261	8,426
11,228	10,040	21,268	2,402	12,547	0	12,547	36,217
1,734	1,005	2,739		397	0	397	3,136
1,089	1,989	3,078		330	0	330	3,408
419	2,618	3,037		0	0	0	3,037
1,945	1,639	3,584		424	0	424	4,008
5,187	7,251	12,438	0	1,151	0	1,151	13,589
1,683	2,940	4,623		4,221	0	4,221	8,844
2,535	2,011	4,546		76	0	76	4,622
1,458	1,774	3,232		0	0	0	3,232
1,813	2,123	3,936		543	0	543	4,479
1,249	2,373	3,622		447	0	447	4,069
1,837	1,269	3,106		0	0	0	3,106
1,715	2,657	4,372		39	0	39	4,411
1,667	525	2,192	2,717	0	0	0	4,909
1,252	1,531	2,783		0	0	0	2,783
797	2,836	3,633		0	0	0	3,633
1,364	1,393	2,757		0	0	0	2,757
17,370	21,432	38,802	2,717	5,326	0	5,326	46,845
1,275	1,499	2,774		117	0	117	2,891
2,247	1,672	3,919		767	0	767	4,686
2,971	1,345	4,316		3,769	0	3,769	8,085
1,728	1,088	2,816	977	0	0	0	3,793
1,501	2,429	3,930		0	0	0	3,930
1,490	1,728	3,218		0	0	0	3,218
3,560	3,343	6,903		199	0	199	7,102
1,158	1,922	3,080		21	0	21	3,101
15,930	15,026	30,956	977	4,873	0	4,873	36,806
3,400	523	3,923	760	1,977	0	1,977	6,660
990	1,539	2,529		0	0	0	2,529
1,386	1,978	3,364		4,705	0	4,705	8,069
1,723	2,573	4,296		0	0	0	4,296
2,608	2,721	5,329		0	0	0	5,329
1,119	2,636	3,755		389	0	389	4,144
898	2,482	3,380		0	0	0	3,380
12,124	14,452	26,576	760	7,071	0	7,071	34,407

区分 施設名称		登 録 件 数		開 放 日 数			
		団体	個人	体育館	格技場	運動場	テニス コート
守 山 区	守 山 北	9	16	234		38	0
	守 山 西	7	44	226		198	0
	森 孝	2	55	228		1	0
	大 森	4	50	236	271	4	0
	守 山	7	211	221	237	0	0
	志 段 味	1	15	199		0	0
	守 山 東	10	78	215	223	3	0
	区 計	40	469	1,559	731	244	0
緑 区	扇 台	5	83	143		1	0
	大 高	15	22	181		206	0
	鳴 子 台	5	66	225	283	0	0
	有 松	8	117	225		196	0
	東 陵	4	41	229		0	0
	千 鳥 丘	7	40	254		45	50
	滝 ノ 水	7	76	202		214	0
	神 沢	4	97	227		0	0
	鳴 海	6	55	224		0	0
	左 京 山	5	95	201		0	0
	鎌 倉 台	11	77	245		41	0
	神 の 倉	14	108	258	263	13	13
	区 計	91	877	2,614	546	716	63
名 東 区	高 針 台	4	41	176		90	0
	猪 子 石	10	19	224		180	0
	藤 森	8	54	217		4	0
	猪 高	5	82	230		0	16
	牧 の 池	12	66	259	274	41	0
	上 社	8	158	225		1	0
	香 流	6	138	220		4	0
	神 丘	6	52	216		0	0
	区 計	59	610	1,767	274	320	16
天 白 区	天 白	13	68	171		178	0
	南 天 白	9	61	257		45	0
	植 田	5	114	225	225	0	0
	平 針	3	41	185		0	0
	久 方	5	82	216	279	0	0
	御 幸 山	11	46	188		0	0
	原	9	39	206		128	0
	区 計	55	451	1,448	504	351	0
合 計		1,034	7,642	25,062	4,133	5,895	330

利 用 者 数							
体 育 館			格 技 場	運 動 場			合 計
団体利用	個人利用	小 計	団体利用	運動場	テニス	小 計	
人	人	人	人	人	人	人	人
1,423	315	1,738		1,679	0	1,679	3,417
788	860	1,648		6,758	0	6,758	8,406
603	940	1,543		0	0	0	1,543
402	1,455	1,857	282	78	0	78	2,217
2,023	2,725	4,748	0	0	0	0	4,748
611	436	1,047		0	0	0	1,047
1,038	2,036	3,074	4,327	44	0	44	7,445
6,888	8,767	15,655	4,609	8,559	0	8,559	28,823
404	1,558	1,962		0	0	0	1,962
601	752	1,353		3,346	0	3,346	4,699
1,148	2,329	3,477	7,401	0	0	0	10,878
1,160	1,958	3,118		6,572	0	6,572	9,690
1,060	2,035	3,095		0	0	0	3,095
1,581	1,761	3,342		595	0	595	3,937
1,621	2,701	4,322		11,359	0	11,359	15,681
726	2,745	3,471		0	0	0	3,471
1,218	1,814	3,032		0	0	0	3,032
1,414	2,206	3,620		0	0	0	3,620
780	2,353	3,133		1,012	0	1,012	4,145
4,269	3,179	7,448	5,668	0	0	0	13,116
15,982	25,391	41,373	13,069	22,884	0	22,884	77,326
1,731	1,769	3,500		2,154	0	2,154	5,654
943	683	1,626		4,929	0	4,929	6,555
1,921	1,556	3,477		0	0	0	3,477
911	1,782	2,693		0	0	0	2,693
2,217	2,378	4,595	2,862	119	0	119	7,576
811	3,977	4,788		0	0	0	4,788
1,958	2,176	4,134		0	0	0	4,134
1,310	2,007	3,317		0	0	0	3,317
11,802	16,328	28,130	2,862	7,202	0	7,202	38,194
478	1,247	1,725		4,824	0	4,824	6,549
1,418	1,168	2,586		119	0	119	2,705
520	1,464	1,984	3,350	0	0	0	5,334
1,491	1,333	2,824		0	0	0	2,824
1,611	2,014	3,625	3,772	0	0	0	7,397
1,864	1,020	2,884		0	0	0	2,884
939	1,765	2,704		972	0	972	3,676
8,321	10,011	18,332	7,122	5,915	0	5,915	31,369
164,710	201,993	366,703	44,750	106,540	1,152	107,692	519,145

第7部 人 権 教 育

第1章 人権教育の推進体制

1 基本的な考え方

人権が尊重され、差別や偏見のない「人間性豊かなまち・名古屋」を実現するためには、市民一人ひとりが人権に関心を持ち、自らの課題として主体的に考えて行動することが重要である。また一人ひとりが、人権の意義やその尊重と共存の重要性について、理性と感性の両面から理解を深めるとともに、権利の行使に伴う責任を自覚し、互いの人権を尊重することが求められる。このような基本的認識のもと、これまでの同和教育事業の成果をふまえ「新なごや人権施策推進プラン」に基づいて、学校教育や社会教育の場において、以下のように、人権尊重の精神の涵養を図る人権教育の充実を図っていくこととする。

- (1) 人権教育事業は、「名古屋市教育委員会人権教育推進会議」において必要な事項を審議し、教育委員会関係各課（室）及び公所をあげて推進する。

具体的な事業の推進については、施策や事業を所管する課（室）及び公所による対応を基本とする。

- (2) 学校教育においては、あらゆる差別や偏見をなくし、お互いの人権を認め合う人間性豊かな幼児、児童、生徒を育成する人権教育を推進する。

発達段階に応じながら、学校教育活動全体を通じて、幼児、児童、生徒の人間尊重の意識を高める教育を推進するため、教育研究などに取り組むとともに、初任者から校（園）長まで職務や経験年数に応じた教職員の人権教育研修を計画的に実施する。

- (3) 社会教育においては、差別意識の解消と人権意識の高揚を図る人権教育を推進する。

市民が生涯の各時期に応じて、人権に関する学習ができるよう、生涯学習センター等の社会教育施設における講座・講演会の開催、家庭教育への支援、市民の自主的な学習を支援する場と機会の提供などに取り組む。また、人権教育を推進するための学習教材・情報の収集・提供、指導者の育成、職員研修の充実などに取り組む。

第2章 学 校 教 育

1 人権教育の研究推進

(1) 小中学校人権教育研究協議会

人権教育に関する研究をすすめ、教職員の人権教育への理解と認識を深めることを目的とする名古屋市小中学校人権教育研究協議会を助成し、学校での人権教育の推進に努めた。

(2) 人権教育の推進

人権教育研究実践校・推進校を設定し、研究・実践をすすめ、その成果を本市の人権教育の推進に資するよう努めた。

平成23年度主な研究テーマ

- 自他ともに大切にし、共感できる児童の育成
- 認め合う心を持ち、共に生きる態度をはぐくむ教育活動
- 人や生き物とのかかわりを通して、思いやりの心を育てる活動
- 人として互いに尊重し合う態度の育成
- 互いの人権を大切にする心と態度の育成
- 互いを理解し、尊重し合う児童の育成
- 人の心と体を大切にする子どもの育成
- 人と人とのつながりを大切にし、ともに生きようとする児童の育成
- 笑顔で学び、笑顔で生きる生徒の育成
- 相手の立場でも考え、相手を大切にしようとする心情の育成
- 自他の存在を認め合い、共に生きる態度を育てる人権教育

2 人権教育研修会

教職員の人権教育についての認識を深めるため、各種の研修会を開催した。

平成23年度事業実績

月 日	研 修 会 名	対 象
4. 27	校（園）長研修会（新任）	新任校（園）長
	校（園）長研修会（2年目）	経験年数2年目の校（園）長
6. 22	教頭研修会（新任）	新任教頭
	教頭研修会（2年目）	経験年数2年目の教頭
8. 4	学校運営研修会（Ⅰ）	経験年数2年目の教務主任
8. 25	学校運営研修会（Ⅱ）	新任校務主任
8. 4	学校運営推進講座	経験年数13年目以上の教諭
7. 27	教職経験者研修会（Ⅰ）	経験年数5年目の教諭
7. 25	養護教員経験者研修会（Ⅰ）	経験年数5年目の養護教諭
7. 29	養護教員経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10、11年目の養護教諭
	高等学校養護教員経験者研修会（Ⅱ）	
8. 26	教職経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の教諭
	高等学校教職経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10、11年目の学校事務職員
	学校事務職員経験者研修会（Ⅱ）	
7. 28	初任者研修会	新規採用教諭、養護教諭
	幼稚園新規採用教員研修会	
	新規採用養護教員研修会	
	高等学校初任者研修会	
	高等学校新規採用養護教員研修会	
7. 5	新規採用学校事務職員研修会	新規採用学校事務職員
4. 22	教育研究員	教育研究員
4. 13	人権教育研修会	研究実践校の新任・転任教諭
11. 22	人権教育担当教員研修会	人権教育担当教諭

3 資 料 の 整 備

教職員の人権問題に対する認識を深め、同和問題をはじめとする人権問題の解決に積極的な意欲をもった人間を育てる教育の充実を図るため、人権教育を推進するための指導者用参考資料として「人権教育の手引き」を始めとして各種指導資料を充実した。

第3章 社 会 教 育

1 文化センター等における教育委員会主催事業

地域住民の生活の充実・教養の向上・相互交流の促進を図るための各種の事業を実施した。

区 分	開 設 回 数	延 参 加 者 数
教 養 講 座	回 182	人 1,987
子 ども 向 け 事 業 (親子対象事業を含む)	36	851
家 庭 教 育 講 座	21	506

2 市民の人権問題についての認識を深めるための社会教育

市民の一人ひとりが同和問題をはじめとする人権問題の解決を自らの課題であると認識するための啓発活動を実施した。

(1) 名古屋市民大学の開設

ア テ ー マ	人権ファシリテーター 養成講座 ～「気づき」「学び」を「まちづくり」へ～		
イ 期 間	12月3日、12月10日、12月18日、1月21日、1月28日	10回	
ウ 受講者数	延べ76人		
エ 会 場	生涯学習推進センター		

(2) 市民大学公開講演会の開催

ア テ ー マ	聴こえますか 心の叫びが		
イ 期 日	12月7日		
ウ 参加者数	245人		
エ 会 場	生涯学習推進センター		

(3) 社会教育施設等における人権問題学習

学級講座等の受講者を対象に、同和問題をはじめとする人権問題学習や冊子「みんなのねがい」、「人間らしいってなに」等による啓発を行った。

事 業 名	実 施 回 数	延 参 加 者 数
同 和 問 題 等 講 座	回 109	人 1,676
同和問題等特別講演会	4	86

※生涯学習センター、女性会館、青少年交流プラザ

(4) グループリーダー人権問題研修会

社会教育関係団体や地域社会の指導者を対象に、同和問題をはじめとする人権問題についての理解と認識を深めるため実施した。

ア 期 日 9月5・6日

イ 会 場 女性会館

ウ 内 容 講演、ビデオ鑑賞、グループ討議

エ 研 修 生 社会教育関係団体指導者、地域団体指導者等延べ104人

(5) 市民啓発のための資料の作成・整備

市民の同和問題をはじめとする人権問題についての認識を深めるために、視聴覚教材等を整備し、学習活動の充実を図った。

付 録

1 事務参考資料

出版物等一覧（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

名 称	担当課等	時期 (月)	部数	形式	ページ	主な配布対象
学校配置図	総務課	8	5,000	B全	1	事務局各課室、公所、関係機関
教育要覧	企画経理課	9	850	A4	251	事務局各課室、公所、関係機関
名古屋市教育振興基本計画リーフレット	企画経理課	10	200,000	A4	8	事務局各課室、公所、学校（園）の全教員・園児・児童・生徒、関係機関
小規模校対策に関する実施計画	施設計画室	9	2,000	A4	20	学校、公所、政令指定都市、市民
小規模校対策リーフレット	施設計画室	9	20,000	A4		学校、市民
名古屋の特別支援教育	指導室	6	6,400	A5	8	学校（園）、事務局各課室、公所、関係機関
特別支援教育資料	指導室	7	1,000	A4	28	学校（園）、事務局各課室、公所、関係機関
なごやの学校	指導室	3	900	A4	86	学校（園）、事務局各課室、公所、関係機関
定時制の生徒調査と研究紀要	指導室	12	300	A4	50	高等学校
まもろうたいせつないのち	指導室	3	47,000	A4	4	学校（園）
子どもCOP10あいち・なごや開催の記録	指導室	3	2,400	A4	28	市内小・中・特別支援学校、事務局各課室、公所、関係機関
名古屋市立幼稚園の子どもたち	教職員課	9	15,000	A4	4	幼稚園、各区役所、その他の施設
名古屋市教職員いきいき心の健康づくり計画	教職員課	3	1,900	A4	30	学校（園）
親子で歩いてつくる安全マップ	学校保健課	7	40,500	A4	12	小学校1・4年生の児童・保護者
中学校スクールランチ	学校保健課	9	22,000	A4	2	中学校
中学校スクールランチー楽しくおいしくバランスよくー	学校保健課	10	24,900	A4	4	小学校

名 称	担当課等	時期 (月)	部数	形式	ページ	主な配布対象
パンフレット「親学」	生涯学習課	6	292,000	A 4	8	市内全市立・国立・私立幼稚園・保育園・小・中・特別支援学校の保護者
幼児期家庭教育支援事業「幼稚園の子どもたち」	生涯学習課	7・12・2	各37,000	A 4	4	市内全市立・国立・私立幼稚園の保護者
生涯学習なごや	生涯学習推進センター	毎月	各5,500	A 4	16	市民
公的社会教育施設が行う情報発信のあり方～市の生涯学習総合サイト・総合誌としての機能を高めるために～	生涯学習推進センター	3	100	A 4	21	関係機関
楽しく充実した運動部活動リーフレット	スポーツ振興課	3	15,000	A 4	2	学校
地域ジュニアスポーツクラブリーフレット	スポーツ振興課	3	2,500	A 4	2	学校、関係機関、市民
志段味古墳群を巡る～ナゴヤのルーツを訪ねて～	文化財保護室	3	1,000	A 4	48	関係機関、市民
館報みはらし No.272～277	見晴台考古資料館	隔月	各1,200	A 4	4	関係機関、市民
見晴台考古資料館年報28	見晴台考古資料館	6	650	A 4	14	関係機関
見晴台教室 '11	見晴台考古資料館	3	200	A 4	76	関係機関、発掘調査参加者
名古屋市見晴台考古資料館研究紀要 第14号	見晴台考古資料館	3	600	A 4	32	関係機関、市民
パンフレット「見晴台遺跡と笠寺公園」	見晴台考古資料館	5	10,000	A 4	3つ折	市民
名古屋市立図書館年報 平成23年版	鶴舞中央図書館	7	260	A 4	57	関係図書館
こんなほん あんなほん 2011<小学生向き>	鶴舞中央図書館	7	7,050	B 6	32	市民
こんなほん あんなほん 2011<ティーンズ(中高生)向き>	鶴舞中央図書館	7	4,900	B 6	16	市民
絵本で子育て あぶあぶ編 (3か月児健診用)	鶴舞中央図書館	5	21,650	A 5	16	市民

名 称	担当課等	時期 (月)	部数	形式	ページ	主な配布対象
絵本で子育て よちよち編 (1歳6か月児検診用)	鶴舞中央図書館	5	21,300	A 5	16	市民
絵本で子育て すくすく編 (3歳児健診用)	鶴舞中央図書館	5	21,050	A 5	16	市民
選定児童図書目録 平成22年版	鶴舞中央図書館	5	1,100	A 4	20	学校、関係機関
なごやっ子読書ノート (1・2年生向き)	鶴舞中央図書館	7	43,000	B 5	16	学校
なごやっ子読書ノート (3・4年生向き)	鶴舞中央図書館	7	43,000	B 5	16	学校
なごやっ子読書ノート (5・6年生向き)	鶴舞中央図書館	7	43,000	B 5	16	学校
100さつのえほんたち	鶴舞中央図書館	2	30,000	A 5	28	学校
どうわがいっぱい	鶴舞中央図書館	2	16,550	A 5	32	学校
どれからよもうかな?	鶴舞中央図書館	2	10,000	A 5	32	学校
どこから読んでもおもしろい	鶴舞中央図書館	2	10,000	A 5	32	学校
ひらいてみようかがくの とびら	鶴舞中央図書館	2	10,000	A 5	32	学校
名古屋市博物館だより No.197～No.200	博物館	7・10・ 1・3	各3,800	A 4	8	関係機関、関係博物館、市民
名古屋市博物館年報 No. 34	博物館	6	800	A 4	40	関係機関、関係博物館
名古屋市博物館研究紀要 第35巻	博物館	3	900	A 4	70	関係機関、関係博物館、市民
猿猴庵の本 第19回配本 「絵本上雲雀」	博物館	3	1,500	A 4	132	関係機関、関係博物館、市民
平成24年度企画展のご案内	蓬左文庫	3	20,000	A 3 2つ折り	4	市民
蓬左 No.83～No.84	蓬左文庫	10・3	4,000	A 4	8	関係機関、学校、市民
名古屋市美術館ニュース アートペーパー No.86～No.89	美術館	4・ 11・ 2・3	各5,000	A 2 2つ折り	4	市民
「キッズの日」案内スケ ジュール	美術館	3	38,000	A 4	2	市民
名古屋市美術館年間案内	美術館	3	20,000	A 4 3つ折り	2	市民

名 称	担当課等	時期 (月)	部数	形式	ページ	主な配布対象
アサラスコープ No.398～No.399	科学館	6	30,000	A 4	6	学校、公所、同種 施設、市民
		3	30,000		8	
名古屋市科学館要覧 (平成23年度)	科学館	8	700	A 4	72	同種施設、関係機 関
科学館紀要 No.38	科学館	3	350	A 4	56	同種施設、関係機 関
事業案内	教育センタ ー	3	800	A 4	46	学校(園)、公所
教育センターNAGOYA No.57～No.59	教育センタ ー	4	12,000	A 4	16	学校(園)、公所
		10	各		8	
		2	11,500		8	
教育研究員研究要録	教育センタ ー	2	600	C D	490	学校(園)、教育研 究所
「ハートフレンドなごや」 リーフレット	教育センタ ー	3	9,000	A 4 3つ折り		学校(園)、公所
なごや子ども体験活動情報 「わくわくキッズナビ 2011」	子ども青少 年局 青少年家庭 課	7	166,000	A 4	24	学校、関係機関
ユースクエアNEWS	青少年交流 プラザ	7・12・2	各2,000	A 4	2	市民

2 教 育 年 表

(平成23年4月～平成24年3月)

▲印は、名古屋市の教育に関係のあるものを示す。

月 日	事 項
4. 1 15 28	政府、人権教育・啓発に関する基本計画(平成14年3月15日閣議決定)の一部変更を閣議決定。「北朝鮮当局による拉致問題等」を人権課題に対する取組として追加 2011年度から公立小学校1年生について35人学級を制度化する改正義務教育標準法が成立。学級定員の引き下げは31年ぶり 文部科学省、昨年の骨子から更なる検討を行い、「教育の情報化ビジョン」を公表。デジタル教科書の導入などを柱としたもの
5. 2 24 30	総務省統計局、15歳未満の子供の人口1693万人で30年連続の減少 文部科学省、2015年度までに全国の公立小中学校の耐震化を完了させる方針を決定 最高裁判所、卒業式の君が代斉唱で起立・斉唱を命じた校長の職務命令は合憲とし、起立・斉唱の職務命令に係る憲法論争に事実上の決着
6. 7 17 26	政府、2011年版「子ども・若者白書」を閣議決定。若者の失業率増加が問題に 「スポーツ基本法」成立。国民のスポーツ権を明記 ユネスコ、「平泉」の世界文化遺産登録を決定
7. 1 8	文部科学省及び厚生労働省がまとめた2011年度春大学卒業者の就職率は91.0%。過去最低 高木文部科学大臣、2013年度の「全国学力・学習状況調査」は全員参加方式も視野に入れた「きめ細かな調査」で実施する方針を表明
8. 23 24 26	文部科学省、2010年度「文部科学白書」の中で東日本大震災を受け「東北発・未来型教育モデル」づくりの促進などを掲げる 文部科学省、学校耐震改修状況調査の結果を公表。公立小・中学校の耐震化率は初めて8割を超え80.3%になったが、自治体格差が浮き彫りに 「子ども手当特別措置法」成立。学校給食の天引き可能を明確化
9. 2 15 20 21 27	野田内閣が発足し、文部科学大臣に中川正春氏が就任 文部科学省、2009年度の地方教育費は約16兆4千億円で13年ぶりに増加との調査結果を発表 文部科学省検討会議、2012年度は「35人学級」を小学2年にも導入するとの意見を了承 橋下徹大阪府知事が主導する「大阪維新の会」が「教育基本条例案」を大阪府議会に提出。知事による教育目標の設定や校長公募制など 中川文部科学大臣、全国の小中高校などに3年計画で「緊急地震速報」受信装置を整備する方針を表明

月 日	事 項
10. 4	厚生労働省、認可保育所に入所できない「待機児童」は4年ぶりに減少。(4月1日現在)
10	文部科学省、2010年度「体力・運動能力調査」で子どもの体力は回復傾向に。しかし運動習慣の有無で体力格差が拡大
11. 2	理化学研究所、スパコン「京」が1秒間に1京を超える計算速度を実現。世界初
12. 1	2013年春大卒予定者の就職活動、本格的にスタート。早期化防止のため例年より2か月遅れ
8	文部科学省、2011年度「学校保健統計調査」で5～17歳の女子の平均体重が全学年で減少
9	文部科学省、2012年度の「全国学力・学習状況調査」は理科を加えて3教科で実施すると発表
28	文部科学省の専門家会議、2013年度「全国学力・学習状況調査」は全員参加方式で実施すること、また学力の経年変化を調べるため一部の問題を非公開にすることなどを決定
1. 13	野田改造内閣が発足し、文部科学大臣に平野博文氏が就任
14	大学入試センター試験、問題冊子配布ミス等で7,515人にトラブル
28～	▲「第67回国民体育大会冬季大会スケート競技会（フィギュア・ショートトラック）」を名古屋市で開催
2. 1	
3. 9	文部科学省、地震・津波災害を想定した「学校防災マニュアル作成の手引き」を発表
9～11	▲「名古屋シティマラソン」と「名古屋ウィメンズマラソン」を併催する「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」の第1回を開催
27	文部科学省、2011年度の教科書検定結果を発表。2013年度入学者から高校の新学習指導要領対応の教科書のページ数は全体で平均12%増に
30	政府、幼保一元化した「総合こども園」創設など、子育て支援改革関連3法案を閣議決定 ▲教職員の健康の保持増進のため、「名古屋市教職員いきいき心の健康づくり計画」を策定

3 中学校区一覧

(平成24年4月1日現在)

区名	中学校名	学区関係小学校名
千種	今 池 城 山 東 星 千 種 台 千 種 振 甫 若 水	内 山 千 種 千 石 田 代 見 付 東 山 星 ケ 丘 自由ケ丘 富士見台 宮 根 千代田橋 大 和 上 野 春 岡 高 見
東	あ ず ま 富 士 桜 丘 矢 田	筒 井 葵 東 桜 山 吹 東 白 壁 旭 丘 明 倫 矢 田 砂 田 橋
北	若 葉 志 賀 北 陵 大 曾 根 八 王 子 楠 北	杉 村 名 北 金 城 光 城 川 中 辻 東 志 賀 城 北 飯 田 宮 前 六 郷 六 郷 北 大 杉 清 水 楠 楠 如 意 楠 西 味 鉦 西 味 鉦

区名	中学校名	学区関係小学校名
西	浄 心 菊 井 名 塚 天 神 山 山 田 平 田 山 田 東	上名古屋 城 西 児 玉 幅 下 江 西 那 古 野 庄 内 稲 生 榎 栄 生 枇 杷 島 南 押 切 山 田 中小田井 平 田 浮 野 大 野 木 比 良 比 良 西
中村	豊 国 笹 島 笈 瀬 御 田 豊 正 黄 金 日 比 津	日 吉 千 成 笹 島 ほ の か 柳 岩 塚 八 社 中 村 稲 葉 地 稲 西 牧 野 米 野 豊 臣 日 比 津 諏 訪
中	前 津 丸 の 内	栄 大 須 名 城 御 園

区名	中学校名	学区関係小学校名
中	伊 勢 山 白 山	松 原 橋 平 和 正 木 新 栄 老 松 千 早
昭和	桜 山 北 山 川 名 駒 方 円 上	松 栄 御 器 所 鶴 舞 吹 上 川 原 伊 勝 滝 川 広 路 八 事 村 雲 白 金
瑞穂	田 光 瑞穂ヶ丘 萩 山 汐 路 津 賀 田	堀 田 穂 波 御 劔 高 田 弥 富 中 根 豊 岡 汐 路 陽 明 瑞 穂 井 戸 田
熱田	沢 上 宮 日 比 野	高 蔵 旗 屋 千 年 白 鳥 船 方 野 立 大 宝
中川	一 色 長 良 山 王 一 柳	正 色 五 反 田 愛 知 常 磐 篠 原 露 橋 広 見 熊 橋 八 熊 子 野 田 荒 子 野 田

区名	中学校名	学区関係小学校名
中川	高 杉 八 幡 昭 和 橋 富 田 供 米 田 助 光 は と り	中 島 西 中 島 八 幡 昭 和 橋 玉 川 春 田 明 正 戸 田 豊 治 長 須 賀 西 前 田 千 音 寺 赤 星 万 場
港	港 南 港 北 当 知 宝 神 東 港 港 明 南 陽 南 陽 東	大 手 稲 永 野 跡 小 碓 正 保 明 徳 当 知 港 西 高 木 神 宮 寺 東 築 地 西 築 地 港 楽 中 川 東 海 成 章 西 福 田 福 田 福 春 南 陽
南	本 城 新 郊 桜 田 大 江 明 豊	笠 寺 笠 東 星 崎 呼 続 大 磯 桜 住 春 日 野 菊 田 道 徳 豊 田 治 伝 馬 明 治

区名	中学校名	学区関係小学校名
南	名 南 南 光	白 水 柴 田 千 鳥 大 生 宝 宝 南
守山	守 山 守 山 北 守 山 東 大 森 森 孝 守 山 西 志 段 味	守 山 西 城 廿 軒 家 小 幡 北 白 沢 小 幡 苗 代 大 森 大 森 北 天 子 田 森 孝 西 本 地 丘 森 孝 東 二 城 鳥 羽 見 瀬 古 志 段 味 東 志 段 味 西 吉 根 下 志 段 味
緑	鳴 海 左 京 山 滝 ノ 水 扇 台 鎌 倉 台 千 鳥 丘 東 陵 鳴 子 台 神 沢	鳴 海 相 原 緑 平 子 旭 出 滝 ノ 水 小 坂 鳴海東部 徳 重 常 安 大 清 水 片 平 浦 里 東 丘 太 子 鳴 子 長 根 台 戸 笠 黒 石 桃 山

区名	中学校名	学区関係小学校名
緑	有 松 大 高 神 の 倉	有 松 桶 狭 間 南 陵 大 高 大 高 南 大 高 北 神 の 倉 熊 の 前
名東	猪 高 上 社 藤 森 猪 子 石 香 流 神 丘 高 針 台 牧 の 池	猪 高 猪 子 石 北 一 社 上 社 本 郷 藤 が 丘 豊 が 丘 蓬 来 平和が丘 香 流 引 山 西 山 名 東 高 針 極 楽 貴 船 前 山 梅 森 坂 牧 の 原
天白	天 白 植 田 南 天 白 平 針 原 久 方 御 幸 山	天 白 山 根 植 田 植 田 北 植 田 南 植 田 東 野 並 平 針 平 針 南 原 平 針 北 高 坂 相 生 しまだ 八 事 東 表 山 大 坪

教 育 要 覧

平 成 24 年 版

発 行 名 古 屋 市 教 育 委 員 会

編 集 名 古 屋 市 教 育 委 員 会 事 務 局
総 務 部 企 画 経 理 課

発行年月 平 成 2 4 年 9 月

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。